吉田秀彦参戦で『PRIDEミドル級GP』に大熱風!!

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

紙のプロレス RADICAL

63
2003

オレたちの“祭り”は闘うことだ!!

ZERO-ONE両国大会、
そして“OH祭り”大接近!!

奇跡のREBORN!!
『PRIDE.26』を大総括!!
髙田延彦
統轄本部長

ミルコ戦前にも強敵現る!!
エメリヤーエンコ・ヒョードル

ミルコ・高瀬ら、
それぞれの“REBORN”

『PRIDE』の超新星が激白!!
浜中和宏

K-1で**中西学**と激突!!
TOAとは何者だ!?

U-STYLE大阪初上陸目前!!
渦中の**田村潔司**を直撃!!
／**冨宅飛駈**

芸能界一の川田番が
「ヤーッ!!」と語りまくり!!
ダチョウ倶楽部

“憂国の虎”が日本人の
復活に立ち上がった!!

“OH祭り”濃厚情報!!&本番に向け、
小川直也が大咆吼!!

7・6両国決戦へ向け
破壊王ワールド全開&暗雲
ZERO-ONE6月シリーズ完全密着!!

来日メンバー大予想!!
WWE日本再上陸直前大特集!!

WJの問題児が
ブチマケ・トーク!! **鈴木健想**

初代タイガーマスク改め
THEマスク・オブ・タイガー

OH砲

紙のプロレス RADICAL NO. 63 『PRIDEミドル級GP』に大熱風!!
発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188
ワニマガジン社 定価：本体838円＋税

6・8"REBORN"した『PRIDE』に大熱風吹く!!

新・熱風地帯!!

吉田秀彦ミドル級GPへ驚ガクの電撃参戦!!

かった風景が見えること。そして、
自分を変化させていくことである」

止〜まれ!!

『PRIDE．26 REBORN』はバツグンに熱かった。ミルコとヒョードルは驚くほど強かった。藤田もヒースも素晴らしかった。ストレートに凄かった。

理屈抜きに面白かった。

でも、理屈を言わないと活字にならない。

そうなると、いまは締め切り時間が遙かに過ぎ去っているので、ヒトの力を借りる。

それも思いきり借りる。

『バカの壁』という本がある。これも面白い。養老猛司さんの本だ。

ここからは、そのごくごく一部の引用である。一部だけでは伝わりづらいとは思うが、読んでくれる人、おまえは男だ！（女でもよし）●

人間は変わる、ということについていえば、学生たちを教えているとしみじみ思うのが、彼らは勉強しないという以上に、勉強するという行為の意味をほとんど考えたことがないのではないか、それをしみじみ感じる。

勉強するということは、少なくとも知ることとパラレルになっている。知ることイコール勉強することではないが、非常に密接な関係があるのは当然です。

ところが、あるときから、知るということの意味や捉え方が何か違ってきたんじゃないかな、と思えてならなくなってきた。

私は東大を辞める少し前まで、東大出版会の理事長をやっていた。その時に一番売れた本が『知の技法』というタイトルでした。知を得るのにあたかも一定のマニュアルがあるかのようなものが、東大の教科書で出ている。

気に入らない。それで、何でこんな本が売れていやがるんだ、と思って、出版会の中で議論したことがある。結局、答えが得られない。私以外は、そんなことを気にしてはいなかったのでしょう。

その後、自分で一年考えて出てきた結論は、「知るということは根本的にガンの告知だ」ということでした。学生には、「君たちだってガンになることがある。ガンになって、治療法がなくて、あと半年の命だよと言われれることがある。そうしたら、あそこで咲いてる桜は違って見えるだろう」と話してみます。

この話は非常にわかり易いようで、学生にも通じる。それぐらいのイマジネーションは彼らだって持っている。

その桜が違って見えた段階で、去年までどういう思いであの桜を見ていたか考えてみろ。たぶん、思い出せ

「“REBORN”とは、見えなか
その風景と向き合うために、自

この熱に

ない。では、桜が変わったか。そうではない。それは自分が変わったということに過ぎない。知るというのはそういうことなんです。

知るということは、自分がガラッと変わることです。したがって、世界がまったく変わってしまう。それが昨日までと殆ど同じ世界でも。

【中略】

要するに、ガンの告知で桜が違って見えるということは、自分が違う人になってしまった、ということです。去年まで自分が桜を見てどう思っていたのか。それが思い出せない。つまり、死んで生まれ変わっている。

●

この養老猛司さんという人は、いまはフリーの解剖学者で、以前は東大の先生をやってたえらい人だ。

えらい人といえば、PRIDEのえらい人、高田延彦統括本部長はこんなことを言っていた。

「恥を掻いたその瞬間から違う風景が見えてくるからさ、自分にとって。全ての風景が変わってくる。だからこそ、見えなかったものが見えてくるわけだ。その見えたものに、今度は自分がどう動いて変化していくかっていうことになる。恥を掻いて見えなかった風景が見えたら、怖くなってそこで目を閉じてもおかしくない。でも、そこで立ち上がらなければ〝REBORN〟したとは言えない。違う風景が見えた瞬間に自分が生まれ変わる。なおかつトライしようとすることが〝REBORNする〟ってことだよ」

●

人間は変わる。寝ている間も含めて成長なり老化なりをしているのだから、変化し続けている。昨日の寝る前の「ボク」と起きた後の「ボク」は明らかに別人だし、去年の「キミ」と今年の「キミ」も別人のはずだ。日が変わるたびに、生まれ変わったという実感が湧かないために、気づかないだけだ。

個性も変わる。K―1のミルコと、『PRIDE』のミルコでは別人のようだ。リングスのヒョードルと、『PRIDE』のヒョードルも別人だ。

微妙に変化する人もいれば、ダイナミックに変化する人もいる。

いずれにしても、人間は常にREBORNしている。REBORNしなきゃ人間じゃない。

それを闘いを通して、激しく強烈にわかりやすく伝えてくれる人たちが、たくさんいたからこそ、『PRIDE.26』は熱くて、凄くて、面白かった。たぶん、そういうことです。

仰天!! ミドル級GPに 吉田秀彦 電撃参戦!! ……またひとつ〝熱の種〟が蒔かれた!!

〝REBORN〟した『PRIDE』に、またひとつ超ド級の〝熱の種〟が蒔かれた！　昨年夏は、国立競技場で行われた『Dynamite！』がマット界の話題をさらったが、今年は『PRIDE』が、「ん～っ、ダイナマイッ!!」な爆弾を投下した!!

6月18日、都内ホテルにてDSEが緊急会見を開催。「今日は思いっきり驚きの発表になるので、お楽しみに！」——と自信たっぷりに宣言した髙田延彦統括本部長の口から、なんと驚くことに、8月10日にさいたまスーパーアリーナで開催される『PRIDEミドル級グランプリ』（11月9日・東京ドームが決勝）に、〝柔道王〟吉田秀彦が電撃参戦することが発表された！　ん～ッ、GOOD!!（親指を突きあげて）。

会見には、吉田の登場に先立ち、榊原DSE代表と髙田統括本部長の2人が着席。髙田本部長はビッグ・サプライズに興奮を隠しきれないのか、「私の方は手短にコメントを終わらせて頂きます」と挨拶もそこそこに、「それでは、ミドル級

柔道王の野望は二階級制覇

会見終了後の高田本部長のコメントによると、吉田の出場に関してサクの反応は「何も。無反応。誰が出ても無反応。相手を気にするより、いかに自分らしく闘えるかの自分作りをしている」と、サクはすでに臨戦態勢に入っていることをうかがわせた

この号が出るころには決定しているはずのミドル級GP怒濤の有力メンバー

クイントン・ランペイジ・ジャクソン

“暴走ホームレス”から、、PRIDEミドル級王座のトップコンデンターに変貌を遂げたスーパーパワー！　シウバとの凄惨遺恨マッチは実現するか!?

ヴァンダレイ・シウバ

サクを2回、田村、金原らと日本人キラーぶりを発揮する、現・PRIDEミドル級王者。GPではヒザの負傷からどれくらい立ち直れているかが鍵となる

吉田秀彦

ヘビー級と併せて二階級制覇も視野に入れている柔道王。誰もがこのミドル級GP参戦には驚きの声を挙げたが、優勝もモギ取れるポテンシャルの高さだ

桜庭和志

完全復活なるか!?　背水の陣での秘策とはなにか？　この最高の舞台でサクは見事にREBORNするか？　とにかく何から何まで気になるのがサクの動向だ

GPに正式に参戦が決定しました〝あの選手〟に登場してもらいます。吉田選手です！」と、柔道王を呼び込んだ。事前に吉田の『PRIDE』参戦をキャッチしていたマスコミも、あくまでワンマッチでの登場だろうと予測していたのか、まさかのミドル級GP参戦に驚嘆&拍手が巻き起こった。

しかし、当の吉田も「みなさんも驚いていると思いますけど、自分が一番驚きました」と、今回の参戦が自分の中でもビッグ・サプライズだったことを吐露。

「オファーを受けたときはワンマッチと思っていましたが、『ミドル級GPに出てくれないか？』ということで、最初は悩みましたが、いち格闘家として強い者と闘ってみたい、自分を試してみたいと思って決意しました」「（一回戦の相手は）誰もが強い選手なので、誰でもいい」「ミドル級はスピードが速くてグラウンドに思ったように持ち込めないと思うので、その辺を（練習で）重点的にやりたい」

強豪ひしめくミドル級戦線に臆することない闘志をみせた吉田は、従来通り柔道着を着用しての参戦となる模様だ。

現在、吉田のウエイトは、ミドル級のリミットである93キロをオーバーする100キロ強。報道陣からも減量問題について質問が飛んだが、「総合格闘技はヘビー級でやるということもあって、無理に増量した部分もありました。柔道時代から減量には慣れているんで苦にはならないと思います」と、減量に関してはまったくノー問題であることを口にし、「ヘビー級をやめたわけではなくて、ミドル級GPはこのあと何年もないと思うので、今年に賭ける」と、体重を絞っての制覇に自信をのぞかせた。

そして、柔道王の狙いはミドル級GPの制覇だけにとどまらない！

会見終了後、吉田は早々と控室に姿を消したが、榊原代表は「（吉田は）来年に行われる予定のヘビー級GPと二階級制覇を目指している」と胸に秘めた野望を代弁！　「優勝する前から、次の優勝を考える馬鹿がいるかよっ!?」というアントン総帥張りの突っ込みが入れられないくらい、吉田の格闘技者としてのモチベーションは高まっているのだ！

髙田本部長も会見後、「彼（吉田）のベスト体重は90キロ前半。桜庭以外でミドル級で期待感持たせてくれる対抗馬としては誰も文句がつけようがない」と、〝熱の種〟を蒔いた吉田に大きな期待を寄せるコメントを残した。吉田！　お前も男だ!!

吉田のエントリーにより、8名制のトーナメントで行われるミドル級GPは、すでに参戦が決定している桜庭、シウバ、ランペイジと併せて4枠が埋まった。グレイシー一族枠を含んだ残り4名については、この号が店頭に並ぶ25日近辺に発表され、同時に一回戦の組み合わせの公開抽選会も行われる予定となっている。

別枠の参戦予想メンバー。その予想メンバーは、6月20日現在の参戦最有力候補。その予想メンバーは、6月20日現在の

8・10はミドル級GP一回戦の4試合以外に「ワンマッチを3試合予定している」と榊原代表。「ヒョードルのヘビー級タイトルマッチをやるかもしれない」とも言うだけに、息をつく間もないカード編成になりそうだ！　ノゲイラの復帰戦や、ミルコの連続登場という心臓バクバクモノの噂も流れているが……!?

ゲイラ弟、UFCミドル級王者ムリーロ・ブスタマンチ、〝シュートボクセの忍び〟ことムリーロ・ニンジャ、〝電撃戦隊〟ホドリゴ・グレイシーなどが控えており、誰が選出されてもGPに相応しいラインナップが約束されている。ん〜、グランプリッ！

ところで、気になるサクの動向だが、すでにGP用の調整を始めているという。このGPでビッグカムバックしてほしいと願うファンの数は底知れない。優勝、一回戦突破、シウバへのリベンジ……サクに望む姿はファンひとりひとり違うだろうが、とにかくこのGPという大舞台で、久々にサク・スマイルを見たいというのがファン共通の思いだろう。

そして榊原代表が「日本人をもう1人入れたい。田村選手もいますし」と語ることからも、やはり、これも気になってくるのが〝元祖・お前は男だ男〟田村潔司の動向だ。ファンからも参戦を望む声がベラボーに多い田村だけに、すでにオファーは出されていると見ていい。まだまだ〝熱の種〟がミドル級GPに蒔かれる気配も十分漂っているのだ（と言っているいま頃、参加選手は発表されているだろうが）。

もし田村が参戦すれば、一回戦ないしその先で、田村vs桜庭！　吉田vs田村！　という夢の日本人対決の組み合わせが実現する可能性も出てくる。田村の参戦がなくても、桜庭vs吉田という日本人同士の夢の超ビッグ・カードが実現する可能性もある。髙田本部長も「一番いいのは吉田選手と桜庭の決勝！」と語っており、名実ともに世界規模、地球規模のこのGPの決勝が日本人同士、しかも桜庭vs吉田となったら、11・9東京ドームはひっくり返る騒ぎになるだろう。

他にも、シウバとランペイジの血を血で洗う仁義なき闘い、UFC・オクタゴンからの刺客、復権を賭けたグレイシー一族の動向、イズマイウの自費来日乱入（？）など、見どころは腐るほどある！

一回戦から、どの対戦が実現しても全試合メインイベントであり、灼熱の季節をさらに熱くするのは必至の『PRIDEミドル級GP』！　まさしく「『熱いファンが求めるカードを提供する』という本道」（髙田本部長）を突き進む『PRIDE』に、みんな親指を突きあげろ!!

田村潔司

この号が出るころには出席、欠席がハッキリしているであろうタムタム。夢の桜庭戦、吉田戦、シウバへのリベンジなど、参戦すればGPの奥行きは深まるが……

アリスター・オークレイム

ムショ帰りにして実力がメキメキとアップしている、オランダの若き暴れ馬。若干23歳の瞬発力と194cmの長身は脅威！　今GPのダークホースとなるか

チャック・リデル

オクタゴンからの刺客はUFCきってのストライカー！　6・6『UFC43』でR・クゥートアーに敗れはしたが、ランデルマン、ビクトーを破った超実力者だ

ヒカルド・アローナ

『PRIDE』ではいまだ無敗であり、キング・オブ・アビダビの次の獲物は、このGPの制覇。MMAマニアからは優勝候補の筆頭という声も多い

ハイアン・グレイシー

グレイシー一族の復権を賭けて送り込まれるのは“最狂”のハイアンが最有力。大山峻護の腕を折った狂気が、アップセットを起こす可能性は十分だ！

ファンはもちろん、
イベントを作る側や
書く人間たちも憧れる、
素直に評価できるものを
間近で見れるのが
懐かしく思える。
大事なことだよ。

括本部長!!

延彦

“REBORN”したPRIDE統括本部長が
熱風吹いた『PRIDE.26』を、
ビールをジョッキで5～6杯イッキしたかの勢いで
ストレートに大総括!!

統括
髙田延

――それにしても、6・8の〝高田劇場〟はバツグンでしたね。ファン、関係者含めて、あの空間の評価はうなぎ登りですよ！

高田　うなぎ登り？

――あれを見て、某専門週刊誌・大編集長の佐藤っていう人は、「高田さんも〝REBORN〟したんだから、俺も〝REBORN〟しなきゃ！」なんて、わけわからない興奮の仕方をしてましたね（笑）。

高田　再生のしがいがある男だよ。

――それを聞いたら大喜びしますよ、きっと（笑）。

高田　少しずつ〝REBORN〟してるよ（微笑）。

――前回（3・16『PRIDE．25』）のタイトルマッチ認定賞を読み上げたときは、「ここ10年間で一番緊張した」って言ってたけど、今回も緊張したんですか？

高田　そうでもなかったね。ただ、やっぱりあそこのリングは、独特な空気感がある。洋服姿で上がるとよくわかる。

――「私服だと、もの凄く緊張するんです」とマイクでも言ってましたね。ファイターとして上がるのとは全然違う？

高田　違うよ！　ビリビリ痺れる。いいよね、あの緊張感。1回上がってみるといいよ。

――は？　上がれるわけないじゃないですか（笑）。

高田　いちイベントに一回だけ、ファンにも体験させてあげたいな。

――VIP席を買ってくれた人の中から抽選で1名様！（笑）。

高田　未知の空間を体験させてみたいね（笑）。

――でも、あの〝高田劇場〟は、引退試合の高田さんのマイクもフューチャーされるという豪華さも手伝って（笑）、ミドル級グランプリ（以下、GP）への期待感や幕開け感みたいなものが、わかりやすい形で伝わったと思います。

高田　あぁ、そう？　それはよかった。

――月並みな質問ですけど、6・8で、『PRIDE』は、〝REBORN〟しましたか？

高田　REBORNね。その言葉は、あなたと私、ここ（高田道場）で、同じシチュエーションで2～3ヶ月前に初めて聞いたな（笑）。

●

※3・16『PRIDE．25』は、故・森下社長の衝撃的な一件もあり、大会前には〝RESTART〟という空気感があった。それを踏まえて大会後に、聞き手の山口と高田統括本部長がインタビュー中に、こんな会話をした。

――今回は〝RESTART〟というより、〝REBORN〟って感じでしたよね。生まれ変わったっていう感じがしましたね。

高田　〝REBORN〟ね。

――そんな言葉があるのかどうか知りませんけどね（笑）。

高田　あるのかな？

●

――もしかして今回のサブタイトルは、あのときの会話がもとで付いたんですか？

高田　そうだろう。

――ゲ！　全然知らなかった（笑）。光栄だなぁ。でもそのときにも言ったけど、僕の中では、前回の3月の大会で〝REBORN〟してた感覚があるんですよね。

高田　新体制になって、初のイベントだからね。

――あぁ、前回は旧体制のままってことですね。

高田　そう。今回は組織的なことも含めて、ホントにREBORNするという気持ちを込めたサブタイトルを敢えて打ち出したんだよ。『PRIDE．26』は、イベントとしての評価を考えると、非常に高いレベルで仕上がったと思う。

――実に高いですよ。僕も客席から見てたけど、なんだか熱風が吹いてる感じがしましたしね。

高田　そうだね。ホントに熱風だった。放送席に座った瞬間に、そう感じた。

統括本部長!!
髙田延彦

さらに高まったミドル級GPへの期待感!!
6・8〝髙田劇場〟完全再録!!

●休憩明け。いつもならアントン・エグゼクティブ・プロデューサーの登場だが、今回は「踊る大捜査線」テイストの入った髙田統括本部長の紹介Vが会場に流れる。「髙田統括本部長　皆様に御挨拶」の文字が画面にデカデカと出て、リングにピンスポットが当たると、そこに髙田統括本部長の姿が――。館内は大歓声に包まれ、本部長がマイクで語り始めた。

髙田　すいません！　あと3試合、待ち遠しいと思いますけど、ちょっとだけ時間をください!!　このリングっていうのは、私服では緊張するんですよね（笑）。えーっ、『PRIDE』のREBORNということで、私が皆さんにお話しするメッセージを考えてきましたんで、ちょっとだけ時間をください！　読ませていただきます！【大歓声】本日は『PRIDE．26　REBORN』に、ご来場いただきまして誠にありがとうございました。心から！　感謝いたします!!　この『PRIDE』も今夜で、シリーズ26回目、GPを入れたら28回目です。『PRIDE．1』から数えて丸6年。振り返れば、決して平坦な道のりではなかった。ただ前だけを見つめ、歩き続けて、ここまで来ました【客席から「髙田、お前のおかげだぞ！」と声が上がる】（声援に応えて）ありがとう！【場内爆笑】しかし、『PRIDE』は、決して立ち止まりません！　歩みを止めずに、『PRIDE』は常に新たな世界を目指して、何度でも何度でも生まれ変わります。この〝REBORN〟という言葉は、我々自身への言葉であり、皆様方への決意表明なのであります！　今夜、このリングで繰り広げられる闘い。どれだけ傷つき、どれだけ打ちのめされても必ず立ち上がる。これこそが、まさに〝REBORN〟!!　今年8月、我々はまた新たな大地に足を踏み入れます。灼熱の太陽の季節に、世界一過酷なトーナメント、『PRIDE』ミドル級グランプリ2003を開催いたします!!【大歓声】

●場内が暗転し、髙田のみにスポットライトが当たる

髙田　ヴァンダレイ・シウバ！

●エプロンサイドにスポットライトが当たると、シウバが立っている【大歓声】

髙田　おまえは……。

シウバ　（「おまえは」を「こんばんわ」と聞き間違えたのか、突然）コンバンワ！【場内爆笑】

髙田　（怯まずにうなずき）お前はチャンピオンとしてグランプリに出る気はあんのか!?（シウバに一歩詰め寄りながら）

シウバ　ヤル！（日本語で）

髙田　わかった！　おまえは男だ！（親指を立てるGOOポーズ、そして逆サイドを振り向き）ランペイジ！

●リングのエプロンサイドにスポットライトが当たり、ランペイジが出現【大歓声】

髙田　（ジャクソンを指差し）お前もヴァンダレイ・シウバとやりたいなら、GPに出てこいよ！

ホントに熱風だった。放送席に座った瞬間に、そう感じた

男

——新体制になって経費削減で、冷房入れてないのかな？　と思うくらい、館内が熱気で暑かった（笑）。

髙田　あれはイベントをやる側と選手とファンが、三位一体となって熱を起こそうとしてる。共同作業だ。

——よくライブでは「客席ができあがってる」っていう言い方をするけど、そのできあがってる状態は、ある種の気持ち悪さを伴うこともありますよね。でも、今回はそういうのも感じなかったなぁ。

髙田　ファンの中に「見よう、聞こう、空気を感じよう」という、一歩下がってみる姿勢というのかな？　ゆとりを持った心の体勢ができてるんだよ。決して悪い意味で前に行かない。

——客席が、熱狂と観察を同時にこなせてるんですかね。

髙田　そう。同時にできてる。そうなることで、さらに熱くなってきたよ。観客とトップファイターが見せるベストファイトとの見えない距離感みたいなものが、『ＰＲＩＤＥ』に怒濤の相乗効果を生みだしているよ。

——「このリングは凄いんだ」っていう認識が客席に染み渡ってますよね。

髙田　それがやっぱり、いい意味で一歩引くという意識をファン側に持たせるんだろうね。だからじっくり試合も見てくれる。

——またまた月並みな質問ですけど、その試合ということでは、真近で見ててどの試合が一番良かったですか？

髙田　ひとつだけ選ぶのは無理だね。ただ最後のふたつは、明らかにスケール感が違ったよ。それから一発目に出て行った浜中の試合。結果論だけど、あの一つ目の試合はできあがりとして、会場の空気を変える非常にいい役割を果たした。

——浜中選手には、サクちゃんとまた違う質のハートの強さを感じますね。判定勝ちではあったけど。

髙田　ＫＯできた試合だけどな。

——でも、ヘンな言い方だけど、キッチリ判定でＫＯしたというか。

髙田　とにかく結果が出てよかったよ。嬉しさより安堵のほうが強いね。

——浜中選手のマイクはどうでした？　「今日は僕のために集まってくれてありがとう！」って第一声で叫んでましたよ（笑）。

髙田　いいんじゃないの？（笑）。

——浜中、高瀬と連勝したんですけど、やっぱり日本人が勝つっていうのは大きいですね、イベントの雰囲気づくりとしては。

髙田　それはあるね。タメ息で始まるのと、「よし、行くぞ」で始まるのでは天と地だよ。アレを見たとき、これはメインもいけるんじゃないかと。期待感を持たせてくれたね。

——それと、簡単に乗り越えていっちゃうんですよね、ファンが。サクちゃんが負けたニーノが敗れたショックが全然ない。強いニーノにサクちゃんがリベンジするとか、ストーリー重視やアングル的な見方からす

ミドル級ＧＰへの幕開け感を、実にわかりやすい形で見せた“髙田劇場”。「おまえは男だ！」という決めゼリフが耳に残り、サムアップポーズ（Gooポーズ）が目に焼き付いた

髙田　（…を指差し）お前も…

レイ・シウバとやりたいなら、ＧＰに出てこいよ！

ジャクソン　ヤル！　ヤル！（日本語で）。アウーッ！（吠吼）

髙田　おまえも男だぁあ！

●リング外にスポットが当たりヘンゾ登場【大歓声】闇の中でまだランペイジは吠えている

ヘンゾ　ちょっと待った、髙田さん!!　ＧＰはグレイシーなしでやるつもりなのかい？（通訳で）

髙田（ヘンゾを指差し）ヘンゾ！　お前が出るのか!?

ヘンゾ　いや、違う。グレイシーからの刺客を送り込む！（通訳で）

髙田　オーケー！　グレイシー一族、お・ま・え・らも男だよ！（場内を見渡し）ですけれども！　ひとり、大事なのを忘れちゃいませんか？【場内大歓声】

髙田（思いきり力を込めて）桜庭ア！　ここへ出てこいやアア!!

●サクの入場テーマが鳴り響き、黒マスクを被ったサクが登場【場内割れんばかりの大歓声＆手拍子！　サクがリングイン】

桜庭（マスクを鼻のあたりまで上げて）ちょっと恥ずかしいので、このままで失礼します。最近、負けが多くて飽きてきたので……髙田さん、ＧＰいただきます！【場内大歓声】

髙田　サクよ。お前、身体ボロボロやん？　大丈夫か？　大丈夫？

桜庭　はい。大丈夫です。

髙田　桜庭、やっぱり、おまえは男の中の男だ!!（親指を突き上げるＧＯＯポーズ）。皆さん！　というわけでですね、超ド級の対決、8月10日、さいたまでお会いしましょう！【場内大歓声】

●サクがエプロンで黒マスクを脱ぎ捨て、客席へ投げ入れる！

男

（ミルコが手を差しのべたシーンは）背筋がゾーッとするドキュメンタリーを見たね

ると、"ニーノにはここで負けてほしくない"っていう空気がもっとあってもいいはずなのに、そういうのを簡単に乗り越える熱を生み出してますよね。

高田 やっぱりストーリーはもの凄く大事なことだよ。今回のサクの後輩がニーノに挑むというのも、ファンの熱を生んだ側面はあるよ。それと同時に、前回サクがニーノにやられたときもそうだったけど、単発で試合をひとつひとつ切り離して見るっていう許容量が『PRIDE』のファンにはできあがってる。だから、一試合一試合を、いい意味で引きずらないで、スイッチを入れ直して次の試合を見れるんだよ。

——ところで実際に闘ったこともあるミルコはどうでした？ 高田さん的には。

高田 言うことないだろう（笑）。文句のつけようがないよ。

——アレは実にバケモンですね！

高田 化け物と言ってしまえばそれまでなんだけど、彼を見てると『PRIDE.1』のヒクソンを思い出す。ヒクソンは日本のサムライというものを非常に意識しながら自分のイメージづくりをしたけど、彼はナチュラルな西洋のサムライだね。あの雰囲気だけでゼニを取れる。佇まいもピカイチだ。あの日の彼はナチュラル・ヒールだから、歓声が多い少ないは別にして、彼の一挙手一投足に、ファンは熱を持った見方をしてる。

——『PRIDE』というホームリングだから、当然ヒースに対する声援は多いし、ミルコにはブーイングがいく。でも、「こいつは凄ェ！」っていう畏敬の念が声援に出てますよね。

高田 明らかに出てる。

——僕はあのミルコとフルタイム闘った高田さんが凄いと思います。

高田 ……ケナしてるのか？

——ダハハハ！ なんでケナすんですか（笑）。高田道場勢の評価がいま海外のネットでうなぎ登りなんですよ。あのミルコとやった高田延彦は凄い、桜庭和志は凄いっていう。

高田 あぁ、そう。それはよかった。

——ミルコを筆頭にした外国人の選手が光れば光るほど、高田さんや桜庭さんがやってきた道筋の奥行きが評価されてるんですよ。

高田 そうだといいね。ミルコの存在が、純粋打撃系の選手が総合に出てくるときの最高のサンプルになるという考え方もできそうだが、あれは、あくまでもミルコにしか当てはまらない公式で成り立ってるからね。

——なるほど。ストライカーがグラップリングを学んだほうが強くなるっていう意見とは別次元で、あの強さは、始めにミルコありき！

高田 ミルコありき、だよ。あれを打撃系の総合の闘い方だと収めるのは無茶だよ、ミルコのオリジナル。ミルコ型だよ。

——俗に言うマタドール（闘牛士）のようなタックルの切り方、かわし方とか。

高田 独特の間でのさばき。相手に手を差し延べるゆとり。

——ゾッとするくらいのものを感じてしまいましたね。

高田 私も全く同じだよ。あの瞬間、「お前に負けた」「お前には恐れ入った」と感じたよ。あれでもし、ミルコがやられたとしても、あのシチュエーションであの芸当はできないよ。たぶんミルコも、ヒールとして出てきてるのはわかってる。その中であれだけの闘いをやった。俺にとって大きなスパイスだったんだよ。あの手を差し延べるっていうのはね。

——俗に言う猪木―アリ状態で、ヒースに手を差し延べたシーンですね。

高田 背筋がゾーッとするドキュメンタリーを見たよ。

——ドキュメンタリーであり、またドラマですよね。

高田 ドラマだね。

——でも、背筋がゾーッとしたって言うけど、高田さんはあの選手と引き分けたんですよ（笑）。

高田 いやぁ、凄い選手だ。まだまだ強くなるわ。

——高田さんはテイクダウン取ってますけど、闘った当事者から見て、その頃から全然進化してますか、ミルコは？

高田 もともとファーストマッチのとき（01年8月の藤田戦）も、距離を取りながら来たところをかわすということをやってたわけよ。要するにあの戦法だ。だけど、試合や練習を重ねる中で「俺は『PRIDE』も取れる」と思わせる何かを掴んでる。当然進化し続けてるよ。彼の腹の底から出てる自信、オーラがますますデカクなってるのがわかる。何回でも見たいね、あいつの試合を。

——ホント驚くなぁ、ミルコには。高田さんが言うように、あの胆力というか、醸し出す雰囲気だけで銭が取れますよね。

高田 取れる。カッコイイと思わせる。

——いや、だから、高田さんは実際に闘ったんですよ。ファンじゃないんだから（笑）。

高田 いや、やっぱりね、変にみんな冷めて見る癖が付いていたんだよ、マスコミもファンも。だけど、ファンはもちろん、イベントをつくる人間たちや書く人間たちも憧れる、あるいは評価してるのを間近で見れるのが懐かしく思えるんだよ。大事なことだよ。

——それはメチャメチャ大事ですよ。

高田 その熱が業界をさらによくしていくんだよ。

——逆に言うと、それがないとやってられないですからね（笑）。

髙田　やってられないよ。夢を売る商売してるわけだからさ。

――そうですよね、リングでべたべた自己満足の世界でやられても書きようがないっていうのはありますからね。無理して押し上げても、読者にバレちゃうんですよ、いまの時代は。

髙田　そうだろう。その熱をつくりあげた材料として、ヒースを忘れちゃいけないな。彼も最高の仕事をしたよ。

――戦前は「総合だったらヒースだろう。ミルコにいま負けさせたらもったいない」っていう空気感もありましたよね、関係者の中には（笑）。そんな心配を見事に跳ね返しちゃうんだから、凄いよなぁ。

髙田　ヒースが前に出た。あの闘うスタイル。ヒースらしいものを見せてくれたから、あれだけ回転力のある試合になったんだよ。実にめまぐるしい4分だったね。あんなの見せられたらさ、……どうなっちゃうの!?

――「どうなっちゃうの!?」（笑）。現役じゃなくてよかったと思いませんでした、いま？

髙田　あんな風景を見ると、いろんな意味でリングに引っ張られるよ。

――また出て行ってくださいよ！

髙田　人を殺す気かよ！（睨みつけながら）。

――いや、実に濃密な4分でした。

髙田　ミルコとヒースの戦前のコメントのやり取りも面白かった。あれは、つまらん試合を1試合見るより面白かったし緊迫感があったよ。ミルコのバックボーンにある、目の前で殺された友達を思うと力が出てくるとか、子供のときも決して恵まれてない中で、みんながバスケをやってるときに、自家製の鉄のバーベルを挙げるなんて変わりモンだよ。とにかく強くなることを自分の拠り所にしてた。ああいうのを見ると、あのクールさも、なるほどなと頷けるよ。

統括本部長!!
髙田延彦

――リップサービスじゃないリアルさがありますね、ミルコには。今度のヒース戦はどういう闘いになるのかって聞かれて、「戦争だ」っていうひと言にも。

髙田　作りじゃないからね。ストレートに入ってくるよ。

――自分で自分を演出するっていう部分は含んでないわけがないと思うんですよ、人間誰しも。その自己演出のハードルの高さにリアルさや現実が追いついてるんですよね。そのミルコやヒースの背負ってるものや意地や闘いへのモチベーション。いろんな要素が絡まって、シチュエーション的にも髙田さんの言う回転力が加わりましたね。

髙田　濃かったね、あの試合は。

――プロレス雑誌的に言うと、実にいい〝プロレス〟を見ました。その後が、メインのヒョードルvs藤田戦。これも戦慄が走りましたね。

髙田　藤田選手の動きが最高によかった。いまだから言えるけど、5・2（新日本での中西戦）を見たときは、「これは厳しいな」って思った。キレがなかったからね。だけど、ヒョードル戦はゴングが鳴った瞬間から全然違ってた。

――あの中西戦をヒョードルに見せたのは、実は作戦だったんじゃないかっていう妄想も成り立ちますよ（笑）。

髙田　アレが作戦だったら、もの凄いことだよ。

――でも試合後にロシアン・トップチームの総監督であるパコージンは「正直、ヒョードルはフジタをナメてた。ノゲイラ戦の前に比べたら何分の一かしか練習をしてな

かった。今回はヒョードルにとって実にいい薬になった」って言ってましたね。

髙田　なるほど。中西戦を見たらナメるよ。パンチのスピード、身体のキレ、なにもかもが違うからね。逆に言うと藤田選手が、ヒョードル戦に向けて自分をつくり始める底辺のところに中西戦があって、そこから1ヶ月のなかで仕上げる。そのくらいの相手としてしか見てなかったのかもしれない。

――照準は完全にヒョードルだったんですね、藤田選手の中で。

髙田　ヒョードル戦を見て、改めて藤田選手の強さを再認識したよ。

――それに輪をかけて、ヒョードルは強いですね！

髙田　普通じゃないよ。

――アレも人間じゃない（笑）。

髙田　彼のワンツーで入っていくところなんて、見えない。踏み込むスピードとパンチを出すときの瞬発力。早過ぎて見えなかった。

――一番間近で見てる島田レフェリーに聞くと、いいパンチがかなり藤田選手に入ってるらしいんですよ。藤田選手じゃなかったら、確実に倒れてるくらい入ってるらしい。そこで倒れない藤田選手の打たれ強さも凄いですよ。逆にヒョードルも一発いいのをもらっちゃいましたからね。

髙田　完全に足にきてたからね。勝負のアヤだよね。あそこは千載一遇のチャンス。

男

藤田選手の負けに、さらに厚みが加わったラストシーンだったね

勝てる瞬間だった。だけどヒョードルは、あの状態から食いついてる。そこからグラウンドに流れた状態で落ち着いて回復を待った。その十数秒の間が、戦況を引っ繰り返した。ヒョードルの中にも「こりゃ強いわ」というスイッチが入ったんだろうね。
——パンチをもらって、目尻を切った後のヒョードルがまた怖かった（笑）。
高田　隙がゼロ。戦慄だよ。最後のチョークなんか、見たことない。
——カメの状態の藤田選手を、引っ剥がすように引っ繰り返しましたからね。
高田　カメになった状態を引っ繰り返した上向きのチョークっていうのは、めったにない。あのシーンは、神から『PRIDE』への贈り物みたいなものだよ。頚動脈を絞めるスリーパーじゃなくて、喉仏からまっすぐ潰すチョークだからね。四方八方

黒マスクを鼻のあたりまでしか上げず、「ちょっと恥ずかしいので、このままで失礼します」と桜庭節を炸裂させた後、「高田さん、ＧＰいただきます」と力強く宣言。行っちゃってくれ、サク！

のファンに見えたフィニッシュだった。藤田選手の負けにさらに厚みが加わったラストシーンだったね。
——まさに戦慄のフィニッシュ。ミルコもそうだけど、ヒョードルにも「コイツは人を殺せるな」っていう怖さを感じますよ。
高田　ノゲイラも加えて、彼らには、ちょっと違う次元に行っちゃってる強さがあるね。
——でも、こういうふうに、ミルコと実際に闘った人とヒネたマスコミが、ファンに戻ったかのように話せるっていうのが、一番重要ということですね（笑）。
高田　重要だよ。横から見る、ナナメから見る、透かして見るんじゃなくて、ストレートにミルコとヒーリングの試合や、藤田選手、ヒョードルの強さを語れる。俺たちは単にまっすぐ試合のことを語っているだけなんだよね。凄く気持ちがいいよ！　話

絶賛配信中の『紙プロHand』（iモードサイト）のユーザーから取った

PRIDE.26 REBORN アンケート

［有効投票数1554票　集計期間6／9〜6／18］

Q1 あなたは『PRIDE.26』をどんな形で見ましたか？ &満足or不満足、どっちでしたか？

会場	満足	406票
	不満足	28票
PPV	満足	1015票
	不満足	42票
フジテレビ『すぽると』	満足	35票
（※CX系の地上波放映前の集計）	不満足	28票

Q2 大会前、あなたが最も期待していた試合は？

ミルコvsヒーリング	882票
ヒョードルvs藤田和之	483票
アンデウソンvs高瀬大樹	63票
ジャクソンvsミーシャ	49票
ドン・フライvsコールマン	42票
ニーノvs浜中和宏	28票
ベンチッチvsオーフレイム	7票

Q3 今大会のベストバウトは？

ヒョードルvs藤田和之	702票
アンデウソンvs高瀬大樹	425票
ミルコvsヒーリング	311票
ニーノvs浜中和宏	75票
ジャクソンvsミーシャ	35票
ベンチッチvsオーフレイム	4票
ドン・フライvsコールマン	2票

Q4 今大会のワーストバウトは？

ドン・フライvsコールマン	939票
ベンチッチvsオーフレイム	349票
ジャクソンvsミーシャ	105票
ニーノvs浜中和宏	75票
ミルコvsヒーリング	42票
ヒョードルvs藤田和之	35票
アンデウソンvs高瀬大樹	9票

Q5 『PRIDE』ミドル級GPに出てほしい選手は誰ですか？（複数回答含む）

田村潔司	315票
桜庭和志	205票
高瀬大樹	189票
桜井“マッハ”速人	154票
ダン・ヘンダーソン	119票
近藤有己	119票
ヴァンダレイ・シウバ	84票
ティト・オーティス	75票
菊田早苗	72票
クイントン・“ランペイジ”・ジャクソン	52票
ハイアン・グレイシー	51票
カーロス・ニュートン	47票
美濃輪育久	42票
ヒカルド・アローナ	40票
ヒクソン・グレイシー	32票
ヴァリッジ・イズマイウ	25票
フランク・シャムロック	16票

（※サク、シウバ、ランペイジなどの参戦が決定した選手にも票が集まってしまいました）

Q6 今大会のMVPは誰ですか？

高瀬大樹	483票
ミルコ・クロコップ	406票
藤田和之	182票
エメリヤーエンコ・ヒョードル	133票
高田延彦	88票
浜中和宏	49票
藤波辰爾	24票
桜庭和志	16票

してて、ストレートな爽快感がある。明らかに何か見えない力のようなものが『PRIDE』に付いてきてる。

――血管で言うと、詰まってないっていうか、血の巡りがいい感じがしますよね。ところで今回MVPを渡すとしたら誰ですか？　統括本部長的には。

髙田　ひとり？

――ここは敢えてひとりでいきましょう‼

髙田　凄く難しいよ。先にどうぞ。

――僕はもちろん、髙田本部長です！（笑）。

髙田　ありがとさん（笑）。

――あとはヒース。ヒースがいたからあの大会があそこまで盛り上がったっていう意味で。

髙田　なるほどな。

――でも、こういうのを考えてること自体が昔のプロレスを見てる熱気ですよね（笑）。

髙田　まさにそうだ。でも今回のようにレベルの高い大会からひとりって厳しいよ。敢闘賞、技能賞はないの？

――ないです！（笑）。

髙田　……難しいなぁ。

――じゃあ敢闘賞、技能賞、殊勲賞の三賞があるとしたらどうなりますか？

髙田　そうすると敢闘賞は藤田選手だね。先にMVPを決めると……。

――あ、決めちゃう。決められないと思ったから、三賞からいこうと思ったんですけど（笑）。

髙田　日本人として、あそこまで行けたっていう闘いを見せてくれた。次への期待感を持たせてくれた藤田選手。でも、ここはやっぱりミルコかヒョードルになってくるだろうね。ふたりとも何が凄いって、よく風景を見てる。もうひとりの自分が自分を見てる。そこで違う自分が指令を出してるくらいの冷静さがある。風景がよく見えてるよ。

――風景がよく見えてる！

髙田　それが底力になってる。ヒーリングはガムシャラにやった。だけど、風景は見えてない。精一杯、目一杯だからね。

――その比較はよくわかりますね。

髙田　自分のやること、いまやっていることで精一杯だった。

――で、ミルコ、ヒョードル、どっちにあげましょう。統括本部長認定のMVPは？

髙田　チャンプとしての内容、結果を見せてくれた。そしてしっかりメインを締めたということを考えると、ヒョードルだな！あの怒涛であり戦慄の凌ぎに一票。殊勲賞は浜中。技能賞はミルコ。

――ノブヒコ賞、決定！（笑）。ミルコ vs ヒョードルは髙田さんも見たいですか？

髙田　当然見たいよ。

――最高のシュチュエーションで見たいですね、このふたりの対決は。

髙田　すぐ見たいのは当たり前なんだけど、まだ見なくてもいいんじゃないかっていうのも、空気感としてあるんだよね。ミルコが純粋なPRIDEルールでやったのは今回が初めて。もう一丁ハードルがあってもいいね。さっきの賞の話で言い忘れたけど、ランペイジにも何かあげたいね。いまヘビー級はヒョードル、ノゲイラ、ミルコ、吉田選手、藤田選手という一団のその下が若干空いて、団子状態になってる。ランペイジは上の集団に入れる資質を持ってるよ。間違いなく誰とやっても面白いよ。

――その、ヘビー級のトップ戦線に食い込める力を持つランペイジが出てくるミドル級GPですけど、気になるサクちゃんの調子はどうですか？

髙田　GP用に向けての調整が始まった。

――髙田さんはGPでのサクちゃんに何を

統括本部長!!
髙田延彦

サクはGP用の調整が始まった。まずは一回戦突破！　それだけだよ

臨みますか？

髙田　とにかく先を見ずに、まずは一回戦突破！　それだけだよ。

――以前、「サクが時代に閉じ込められてる気がする」っていう言い方を髙田さんはしてたけど、真近で見ててそういう部分は突破してるんですか？

髙田　突破するひとつの鍵は勝ちしかないんだよ。彼にとっての一番の良薬は、彼が自分の中で採点をしたときに、満足感が持てる内容と結果。それが付いてくれれば、彼にとってはすでに突破してるんだよ、その瞬間に。

――久しぶりに試合後に笑顔の桜庭和志を見たいですよね。

髙田　そうだよ。いま自分で自分をつくってる段階で突破したとかしないっていうのは俺にはわからないし、多分本人もわからないと思う。

――ぜひサクちゃんに試合後に笑っててほしいですね。ところで話は戻りますけど、〝髙田劇場〟での親指を突き立てるGOOポーズ。「ヴァンダレイ、お前は男だ！」って言った後のあのポーズ。アレはどっから来てるんですか？

髙田　癖なんだよ。

――あれが印象に残っちゃって、メール打つときの最後は、あのGOOポーズの絵文字を多用させていただいてます（笑）。

髙田　普段も使えるよ。言葉がいらないから。これ（といって親指を立ててGOOポーズ）で大体済む。

――次回も〝髙田劇場〟を楽しみにしたいなぁ。恒例化していくんでしょうか？

髙田　していくんじゃない？

――していく！　言いましたね！

髙田　あとで消しといて（笑）。

――していくと言いました、関係者の皆さん（笑）。

髙田　でもテーマがないとできないよ。まぁ、テーマさえあれば、「なんでもやりまっせ」ということだよ。現役を辞めて、ある意味で裏方としてイベントの空気感を味わったけど、いいものを見せればファンはまっすぐ見てくれる。しっかり支持してくれるということが改めて証明されたよね。確信を持てた。だからこそ、俺たちはその姿勢を崩さぬためにも一歩前を行く発想を持っていなきゃいけない。当然、次の『PRIDE』に対しても一歩前を見て、あそこまで熱狂してくれるファンに対して裏切らないものを見せたいね。いい意味で、「どんなもんだ！」と言える内容のものをね。ファンは手ぐすね引いて待ってるよ。ほどよい綱引き状態を続けることが一番いいものを生み出す関係だよ。

――今回熱があったからといって、次にあるとは限らないですからね。

髙田　イベントっていうのは生き物だからね。熱しやすくて冷めやすいところも多分に持ってる。28回も歴史を重ねてる中で、いろんな過去を振り返るのは当然だし、今後もいろいろあるだろう。あって当たり前だよ。病にかかるときもあるかもしれない。でも、それを乗り越えてきたし、これからも乗り越えていきたいね。原点として、ファイターやイベントをつくる側が持っていなければいけないのは、ファンが何を望んでるのかを知る姿勢だよ。ファンに対するサービス業だから。それが核だよ。でも、いまの選手は若くて、スキルもハートもハイレベルなものを兼ね備えてるからね。ある意味で近年、高いプロ意識を持たなければならない。そういう環境に対して急速に変化している。そんな連中が闘ってつまらないわけがないよね。

――ホントにイベントって難しくって、内容が良ければ付いてくるのかというと、それだけじゃダメな時期も来るでしょうしね。

髙田　来ると思う。だから、安定期に入っちゃダメだね。常にREBORNだよ。

――常にREBORN！　本部長！　これからやることたくさんありますね。

髙田　楽しいよ！

――とりあえず8月のミドル級GP、期待してます！

髙田　（親指を突き立てGOOポーズ）

【03年6月13日／髙田道場にて収録】

“究極の最強対決”
今夏、遂に実現か!?
それとも新たな敵が
立ちはだかるのか!?

Who's next!

「ミルコに必ず勝つとは
言いません。しかし、
私は彼に勝つ為の
完璧な準備を怠りません」

藤田を撲殺！ そして絞殺!!

覚醒

皇帝覚醒!!!!!　まさに“キラー”ヒョードルだ！　6·8『PRIDE.26』で藤田和之と対戦したヒョードルは、前半を有利に進めながら、藤田の強烈なフックで『PRIDE』参戦以来最大のピンチに見舞われた。しかし、そこからが恐ろしかった。復活したヒョードルは、まさに鬼のような強さで藤田を殴り倒し、そして絞め落とした。“キラー”に目覚めた皇帝に立ち向かう人間ははたしているのか？

聞き手／堀江ガンツ
撮影／松本崇　試合写真／乾晋也
designed by matsu(Two three)

エメリヤーエンコ・ヒョードル & イリューヒン・ミーシャ
Interview

まさに"キラー"ヒョードル!!

皇帝

――さて、それでは毎月恒例ロシアン・トップチームインタビューを始めさせていただきます！

パコージン（ロシアン・トップチーム代表） チョットマッテクダサイッ！

――パコージンさん、今日はなんですか（笑）。

パコージン 私もインタビューに同席したいのはヤマヤマなんだが、今日は公式な会合があるので、残念ながら失礼させていただくよ。

――あ、そうなんですか。残念ですねぇ。

パコージン その代わりと言ってはなんだが、コーチをひとり同席させよう。紹介しよう、ロシアン・トップチームのスーパーコーチ、アンドレィ・ヴィルジンだ！

ヴィルジン どうもはじめまして。

――初めまして……イズマイウさんじゃないですよね？（笑）。

ヴィルジン イズマイウ？

――いや、こっちの話です（笑）。ところでなんで"スーパーコーチ"なんですか？

ミーシャ いや、パコージンさんの言うことに、特に意味はありません（アッサリ）。

――あ、そうですか（笑）。ヴィルジンさんは何のコーチなんですか？

ヴィルジン 3年半ぐらい前からボクシングを教えています。私はトゥーラ出身で、ヴォルク・ハンがトゥーラに『ヴォルク・ハン格闘術』を結成したときから、彼らを教えるようになりました。

――そうなんですか。じゃあちょうどヒョードル選手が総合格闘技を始めたころから教えてるわけですね。

ヒョードル …………。

――もしもし、ヒョードルさん起きてますか？（笑）。

ヒョードル ……まったく寝てないので非常に眠いです（苦笑）。

――またですか！（笑）。

ヒョードル 試合をやった日はもの凄くアドレナリンが出るんで、興奮して眠れないんですよ。それで毎回ちょうど眠くなったころにインタビューが始まるからもう……眠い（微笑）。

――いつもすみません（笑）。では、とりあえず先にミーシャさんにお話をうかがいます。昨日が初めての『PRIDE』参戦だったわけですけど、まずあのリングに上がってみた感想を聞かせてください。

ミーシャ 『PRIDE』には以前からずっと出たいと思っていたので、二つ返事で参戦OKの返事をしたんだけど、準備不足だったのが残念だね。あと1ヶ月ぐらいは必要だったなぁと。

――リングスが活動停止になってから1年半になりますけど、その間ミーシャさんは何をしていたんですか？

ミーシャ 昨年5月に『プレミアム・チャレンジ』というイベントに出た後（現UFOの藤井克久にフロントチョークで一本勝ち）、膝の靱帯を痛めてしまい、試合はもちろんずっと練習すらできない状態だったんだ。昨日の試合も膝が万全だったらフロントチョークやアームロックを足でガッチリ固定できたんじゃないかと思うけど、しょうがないね。もちろん相手のジャクソン選手の実力には敬意を表するけど、本音を言えば万全のときにやりたかったよ。

――ミーシャさんが休んでいるうちに、後輩のヒョードルさんがチャンピオンになったわけですけど、それについてはどう感じていましたか？

ミーシャ すべてのロシアの選手に言えることだけど、他のロシアの選手の活躍はとても嬉しいよ。これはホントだよ（笑）。

ミーシャさんを尊敬していたので初めて道場で会った時は興奮しました（ヒョードル）

Ilioukhine Mikhail

1966年11月21日、ロシア・トゥーラ出身。ロシア・サンボ選手権2位の実績を持ち、コマンド・サンボの使い手でもある。95年にはロシア初のバーリ・トゥード大会である『アブソリュート大会』で優勝、リングスマットでもブラジル人と最も多く闘ったロシアVTのパイオニア的存在。その頑丈な肉体は"ウラル山脈の岩石男"と呼びたいものがある。

Ilioukhine Mikhail

れたミーシ
カアームロ
ランペイ

試合序盤、ミーシャはコーナーに追いつめられながらも、得意のフロントチョークで一気に締め上げる。ガッチリと決まり「イケるか?」とも一瞬思われたが、足のフックが甘く逃げられてしまった。

ゴング前、野口レフェリーに"逆イエローカード"を呈示するランペイジ。前回、自分が有利な体勢で膠着ブレイクを取られ、イエローを出されたことが納得いかなかったらしい。

満を持しての『PRIDE』初登場となったロシアン・トップチームの重鎮ミーシャ。ベテランらしく緊張した様子もなく、リングスファンにはお馴染みのポーズでリングイン。

6.8「PRIDE.26」Yuti Review

ミーシャ善戦も完敗PRIDEデビュー

○クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン
［チーム・パニッシュメント］

1R6分26秒、KO

●イリューヒン・ミーシャ
［ロシアン・トップチーム］

でも、まだまだ自分も現役としてやっていく欲があるから、早く万全な体調に戻してもう一度チャンスがほしいね。

――ミーシャさんと言えば、ロシアのバーリ・トゥード先駆者であり、リングスの防波堤になってきた功労者ですから、ゼヒ復活してほしいですよ！

ミーシャ　ありがとう。私がやってきたブラジル人選手との闘いというのは、決してすべてがいい結果ではなかったけれど、少しはヒョードルらその後の若いロシア人選手の役に立ったかなとは思っているよ。

ヒョードル　少しじゃないですよ（微笑）。ミーシャさんを初めとして、私の周りにはたくさんいい選手がいて、そのお陰でいまの私があるんです。チャンピオンになれたのは私だけの力じゃないです。

――ヒョードル選手がハンの道場に入門したとき、ミーシャさんはリングス・ロシアのトップ選手でしたけど、当時ミーシャさんに対してはどんなイメージを持っていましたか？

ヒョードル　本人を前にして言うのはちょっと恥ずかしいんですけど（微笑）、私がヴォルク・ハンに連れられて初めてリングス（ロシア）の試合を見たとき、メインイベントで闘っていたのがミーシャさんなんですよ。だからその当時から尊敬していましたし、初めてトゥーラにあるハンの道場でミーシャさんに会ったときは、凄く興奮しました（微笑）。それから一緒に練習するようになって、より尊敬するようになりましたね。

――以前、リングスでヒカルド・アローナと闘ったとき、アブダビ王者であり〝寝技世界一〟と呼ばれていたアローナに対して「寝技ではイリューヒン・ミーシャの方が上」と言ってましたよね？

ヒョードル　そうですね。あのとき私はまだ総合格闘技を始めたばかりで、練習ではミーシャさんに敵わなかったですけど、アローナに極められそうな場面はなかったですから。でも、アローナも非常に強い選手であることは確かですよ。

――そのミーシャさんが昨日は敗れてしまったわけですけど、ヒョードルさんはあの試合をどう見ましたか？

ヒョードル　結果はよいものではありませんでしたけど、すべての局面においてミーシャさんは正しく闘ったと思います。ただ、準備をする時間が少なかったことと、誰と闘うかといった情報が少なかったのが問題だったと思います。

――ロシアはそういった情報不足というのが非常にハンデになってますよね。ヒョードルさんにしても藤田選手の情報というのは非常に限られていたんじゃないですか？

ヒョードル　確かに情報は少なかったです。東京ドームでフジタさんの試合を初めて見て、そのあとロシアに帰ってからビデオを送ってもらったのですが、届いたのが直前だったので相手をよく知るまでにはいかなかったですね。

――それじゃあ〝5・2の藤田選手〟を相手するつもりで闘ったら、実際の藤田選手は予想以上に強かったんじゃないですか？

ヒョードル　そうですね。私のことを研究していたのか、彼が強くなったのかはわかりませんが、予想以上にいい選手でした。それから私が試合前に予想していたプランとまったく違うことをやってきたので、序盤は自分の思ったような闘いが出来なかったのが反省点ですね。

――当初はどんなプランだったんですか？

ヒョードル　最初にフジタさんを疲れさせて、それからKOで勝つ作戦でした。

――でもボクが見る限り、序盤は非常に余裕があるように見えたんですけど？

ヒョードル　確かに余裕はありました。相手が私の攻撃を非常に警戒していたのがわかりましたからね。でも、そこで余裕を感じてしまったことが私の間違いでしたね。

――じゃあ、ノーガードで挑発的な動きを見せたのも、その一つですか？

ヒョードル　いや、あれは別に余裕を見せたり、相手を甘く見てやったものではないです。あれはフェイントの一種で、手をいろいろ動かすことでパンチの出るところとタイミングをわからなくして、突然打ち抜くというものです。実際、それが上手くいって、いいストレートが入ったのは見ませんでしたか？

――確かにモロに入りましたよね。あれは作戦だったんですか!?

ヒョードル　ヴィルジンコーチに習ったボクシングテクニックのひとつです。

――なるほど。それから序盤で驚かされたのは、ヒョードル選手がタックルに行かれ

ロシアン・トップチームのボクシング"スーパーコーチ"ヴィルジン。その風貌から、「ヒョードルのセコンドになぜイズマイウが?」と思った人もいたのでは?

Emelianenko Fedor ×

勝っても勝ってもシウバ戦が実現しないランペイジは、試合後も厳しい表情のまま。『PRIDEミドル級GP』を制するのは、ハングリー精神が人一倍旺盛なこの男かも。

最後は寝技のポジショニングでミーシャを制したランペイジが、恐怖の膝を振り下ろしたところで、ミーシャは勝負を諦めたかのようにタップ。終わってみればランペイジの完勝だった。

ネックロックとアームロックで力を使い果たしてしまったミーシャは、その後はもう防戦一方。特にスタンドでは、序盤からなされるがままの状態。やはり現代VTで立ち技がいかに重要かがわかる。

予想通りグラウンドで下の体勢を強いられたミーシャだが、ここからこれまた得意の"馬鹿力アームロック"を執拗に狙う。しかし、馬鹿力ならランペイジも負けておらず、極めるには至らず。

ても足を取られてもまったく倒れなかったことなんですけど、やはりあそこは勝負どころだと思いましたか？

ヒョードル　もちろんそれも含めて自分が不利な体勢にならないように気を付けました。それから練習も、下になった状況を想定した練習に特に力を入れてきました。

——それが今回の一番のポイントだと思ったわけですか？

ヒョードル　一番重要だというわけではなくて、重要なもののひとつということですね。フジタさんはタックルも上手いし、グラウンドで闘った場合、上になって闘うパターンが多かったから、それを想定した練習をすることは当然でしょう。

——一発パンチがコメカミに入ってぐらついた場面がありましたけど、あのダメージはいかがでしたか？

ヒョードル　あれは凄くいいパンチでしたね。死角から入ってきた突然のパンチだったので正直言って効きましたけど、すぐ体勢を整えることができたので、それほど大きな問題ではありません。ああいったことは闘いにおいてはよくあることですから。重要なのはそういった場面に出くわしたとき、どう対処するかです。

——確かにパンチが入ってからグラウンドで下になってもまったく慌てずに、体勢を立て直してましたよね。

ヒョードル　はい。普段からあらゆる状況を想定したトレーニングを積んでいるので、どんな体勢になっても対応できる準備はしてあります。

なぜかドラゴンまで加わり超豪華メンバーでの記念撮影。この強烈なメンツの頂点に立っているのがヒョードルなのだ。

——そして最後のラッシュなんですけど、あの左ミドルからワンツーで倒すコンビネーションは、打撃のスーパーコーチからしてもかなり褒められる技術なんじゃないですか？

ヴィルジン　凄く速いスピードでしかもアクセントがついた打撃というのが彼の特徴で、これができる総合格闘技の選手というのはなかなかいないでしょう。

——通常ヘビー級の人のパンチだと、たいてい大振りになってしまって、当たれば効くけれども当たる可能性は低かったりしますけど、ヒョードル選手のあの命中率の高さの秘密ってなんなんでしょうか？

ヒョードル　打撃に関しては特に力を入れて練習を積んできていたので、ちゃんと練習どおりにやれば相手を倒すことができます。

——普通はそれがなかなかできないんですけどね（笑）。しかも昨日は、打撃でボコボコにしたあと、間髪入れずにスリーパーで絞め落としましたよね。あれには戦慄を覚えましたよ！　いつものヒョードルさんの場合、倒れた相手を殴っていたのに、昨日あそこからスリーパーに行ったのは瞬間的な判断だったんですか？

ヒョードル　う～ん、私の意志でそうやろうと思ったわけじゃなくて、身体が自然に動いたんです。頭ではなく体が瞬間的に判断したんですね。

——反射的にあれだけの動きができるわけですか！　こりゃ敵わないですね（笑）。

ヒョードル　でも、フジタさんも本当にいい選手でしたよ。体力的にも凄く力を持った選手だと思いました。

——そういえば藤田選手に対して、試合前は5・2で睨み付けられたことでイメージがよくなかったようですけど、そういった感情も試合後は変わりましたか？

Ilioukhine Mikhail

ヒョードル
ヒョード
、再びス

パンチの打ち合いになったところで、藤田の強烈な右ゴリラフックがヒョードルのコメカミを直撃！　無敵の皇帝がフラフラと泳ぐような足取りに。まさかのシーンに横浜アリーナは大爆発！

「藤田がヒョードルからタックルを取れるかどうか」はこの試合を大きな焦点だったが、ヒョードルは驚異的なバランス感覚で、テイクダウンを許さず。これで藤田なす術なしかと思われたが……。

序盤は立ち技ボクシングの攻防。やや堅さが見える藤田に対して、ヒョードルは実にリラックスした感じで、ノーガードのフェイントまで見せながらパンチを的確に叩き込んでいく。

6.8「PRIDE.26」Puti Review

藤田爆発!!されどヒョードルは強すぎた!!

○エメリヤーエンコ・ヒョードル
［ロシアン・トップチーム］

1R4分17秒、チョークスリーパー

●藤田和之
［猪木事務所］

私はミルコと違い自分に才能があるとは思っていません。私の強さは全てトレーニングの賜物です

ヒョードル　そうですね。確かに藤田さんに対する印象はよくなかったかもしれません。でも、それがモチベーションになって、たくさんトレーニングを積んで準備をしてきたので、自分としては結果的に良かったのかもしれませんね（微笑）。

――いや、効果テキメンでしょう（笑）。そして試合後、猪木さんを中心にいろんな選手がリングに上がって記念撮影をしましたけど、これだけのメンツの中でナンバー1なのがヒョードル選手なんだと思うと、改めてその凄さを感じましたね。

ヒョードル　ありがとうございます（微笑）。でも、まだ闘わなくてはいけない選手はたくさんいますから。

――自分では、次に闘うべき選手は誰だと思いますか？

ヒョードル　いまはまだ次の試合のことは考えたくないですね（苦笑）。早くロシアに帰ってゆっくりしたいです。

――8月の『PRIDE』でミルコ・クロコップ戦という声も出ていますけど？

ヒョードル　次の試合についてはまだ何もわかりません。まだ8月の大会に出るかどうかもわかりませんし、これからコーチやマネージャーと相談してからの話です。

――対戦するしないは置いといて、ヒョードル選手個人の意見として、ミルコの総合格闘家としての実力はどのように評価していますか？

ヒョードル　凄くいい選手だと思いますよ。闘うたびに1試合1試合確実に強くなってきていると思いますし、現時点で一番強い選手だと思います。

――じゃあ、ヘビー級王座のナンバーワンコンテンダーとして申し分ないと。

ヒョードル　そう思います。

――ミルコはテイクダウンを逃れるのが凄く得意ですけど、ヒョードルさんだったら、ミルコをテイクダウンする自信はありますか？

ヒョードル　う〜ん、「必ずできる」とは言いたくありません。それから「勝つ自信がある」ということも言いません。私はいつも闘いが決まったら、勝てるように準備するだけです。

――それじゃあ、ミルコは「自分が強いのは格闘技の才能に溢れているからだ」と言っているんですが、ヒョードル選手は自分が強いのはなぜだと思いますか？

ヒョードル　私が強いのはトレーニングを積んでいるからです。自分に才能があるとは思っていません。いつも闘いに対して準備を怠ってないだけです。

――ミルコとは考え方もまったく正反対なんですね。ますます対戦が見たくなってきたなぁ（笑）。ミルコ以外だと吉田秀彦選手との対戦も期待されていますが、吉田選手の印象はいかがですか？

ヒョードル　いい選手であり強い選手です。ヨシダさんは格闘技の達人だと思います。ゼヒ一度闘ってみたいですね。

――でも、吉田選手自身は「ヒョードルとは同じ柔道出身だから、膠着する可能性もあるのであまりやりたくない」と言ってるんですよ。

ヒョードル　そうなんですか？　なぜヨシダさんがそう言うのかはわかりませんけど、私は素晴らしい試合になると思いますよ。

――ファンもミルコ戦と並んで見たいカードの筆頭だと思いますよ。ボク自身メチャクチャ見たいですから（笑）。では、次の試合が誰になるかはわかりませんけど、また凄い試合を期待してます！

【03年6月9日／都内・某ホテルにて収録】

藤田の健闘を讃えるヒョードル。藤田にとっても完全燃焼できた納得の敗戦だろう。藤田、敗れてなお強し！

このインタビューでは、次に行う試合について明言をさけたヒョードルだったが、その後の取材によって8・12さいたま大会への出場が確定したことが明らかになった。

注目の対戦相手だが、ミルコとの〝究極対決〟はどうやら11・19東京ドーム大会での実現を目指していることが判明。それに変わって、初代PRIDEヘビー級王者マーク・コールマンとゲーリー・グッドリッジが打倒ヒョードルに名乗りを上げたという。

コールマンなら新旧王者対決、ゲーリーならば剛腕世界一決定戦と、どちらもド迫力の一戦になることは間違いない。

ミドル級グランプリで沸くさいたまスーパーアリーナが、〝怪獣大戦争〟の舞台となる！

Emelianenko Fedor

髙田統轄本部長がテレビ解説で「鳥肌立ちました!」と絶叫するほどの、強さを見せつける勝ち方で藤田を退けたヒョードル。次にこの男の餌食となるのは果たして誰か?　Who's next!!

ヒョードルは、倒れながらも足を取りに行く藤田のバックに素早く回り、巨大なカメをひっくり返すように、喉笛の潰してしまいそうな戦慄のチョークスリーパー。藤田はたまらず、VT初のタップ!

復活したヒョードルは"覚醒"したかのように、一気に勝負へ。藤田の意表をつく左ミドルキックから、正確にして強烈なワンツーでアゴを打ち抜き、あの打たれ強い藤田が前のめりにダウン!

強烈な右フックから、遂にグラウンドでヒョードルの上を取ることに成功した藤田。しかし、ヒョードルは冷静にガードポジションで体勢を整え、再びスタンドへ。

パンチの
右ゴリラ
敵の皇帝
のシーン

構成／ジャン斉藤
designed by matsu(Two three)

「ヒョードルは藤田の打撃でグラついた。私の打撃なら勝てる!!」(ミルコ)

ミルコ、荒馬を一蹴!!
世界最強の座へ待ったなし!!

『PRIDE』ルールでも死角なし！

●ミルコ・クロコップ
[クロアチア／クロコップ・スクワッド・ジム]
vs
ヒース・ヒーリング×
[アメリカ／ゴールデン・グローリー]
(1R3分17秒、KO)

「俺の前を歩いてる奴は絶対に許さん！」とでも言いたげな、ファイターとしてのリアルな感情と、試合前のビジョンでも流れた「俺は才能に溢れている」という傲慢さをむき出しにして、『PRIDE』に乗り込んできたミルコ・クロコップ！

「無謀」と関係者の間で囁かれたヒーリングとの決闘は、暴れ馬のタックルをマタドールのようにひらりと交わし、寝転び起きあがろうとするヒーリングに手を差しのべる余裕を見せる。フィニッシュは左脇腹に左ミドル一閃から、崩れ落ちたヒーリングにパンチの11連打！ ブーイング混じりの歓声を完全なる賞賛へと変化させたのである。

言いたいことバンバン言って、試合でガンガン勝つ！

プロとして断じて正しいミルコの姿勢であるが、『PRIDE』における試合を「戦争だ！」と言い切る表現力にしても、センセーショナルにブチ上げてるわけではなく、もしくは独特のユーモアに富んでるわけでもない。すべてがリアル。さまざまな経験を培って形成された素養なのだ。

「『PRIDE』とK—1の王者になる」ことにも、ミルコ自身は疑う余地もない。尋常ではないモチベーション、一戦ごとにレベルアップする実力、嫌みなほどみなぎる自信を武器に、賞金首だった男が賞金稼ぎに生まれ変わり、『PRIDE』王座を目指しているのだ。

はたして、ミルコのREBORNの先に待ち受けるのはヒョードルか？ 復活・ノゲイラが立ちはだかるか？ それとも……!? 世界最強の座を争いは佳境を迎える!!

REBORNは高瀬のためにある!!

●高瀬大樹
［フリー］
vs
アウンデウソン・シウバ×
［ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー］
（1R8分33秒、三角絞め）

強豪アンデウソンから華麗に一本勝ち!!

日本人選手が『PRIDE』のリングで、強豪ガイジン相手にここまで見事な一本勝ちをしたのはいつ以来だろうか？（各自調査）。5年振り『PRIDE.3』ヤーブロー戦以来の参戦となった高瀬が、松浦亜弥の曲で入場。そして、アンデウソンから三角絞めで一本極めるビックカムバック!! スタンドの攻防で危ない局面はあったものの、グラウンドに移れば高瀬の独壇場。「桜庭さんや吉田さんようなヒーローになります!」。生まれ変わった高瀬には可能性十分!! REBORNという言葉は高瀬にためにあった!

マーク勝利も内容は不発! 男塾入塾はできず……

●マーク・コールマン
［アメリカ／ハンマーハウス］
vs
ドン・フライ×
［アメリカ／フリー］
（3R判定3-0）

7年前にUFCで敗北したフライの男塾リベンジマッチ! 全米PPVのメインカードとして内容も期待されたが、グラウンド&パウンドの攻防からいま一歩抜け出せないコールマン。大差の判定で勝負を制したが、フライの男気を空回りさせる、ズバリ言って低調な内容となった

アリスター、ミルコの鬼教官を軽くヒネる!

●アリスター・オーフレイム
［オランダ／ゴールデン・グローリー］
vs
マイク・"バットマン"・ベンチッチ×
［アメリカ／クロコップ・スクワッド・ジム］
（1R3分44秒、KO）

アローナがインフルエンザのため欠場。代わりに登場したのが、ミルコに総合の指導をする"鬼教官"ことベンチッチだったが、急成長を遂げるアリスターの打撃の前に轟沈した。アリスターまだ22歳。末恐ろしい逸材だ!

「最強の男になるからね！みんな見てて!!」

高田道場期待の新鋭

Kazuhiro Hamanaka

『PRIDE』デビュー戦でニーノに殴り勝ち！

浜中和宏

——まずは『PRIDE』初登場、初勝利おめでとうございます！

浜中　ありがとうございます！（ニッコリ）。

——『PRIDE』デビュー戦を勝利で飾ったことで、取材が殺到されてるみたいですね。

浜中　殺到という程では（笑）。

——インタビューはだいぶ慣れましたか？

浜中　いや、まだ苦手ですね（苦笑）。

——試合前に『格通』でやった桜庭選手との対談では、桜庭選手にかなりイジられてましたよね。

浜中　はい（笑）。

——桜庭さんに「浜中、男が好きなんです」って、散々からかわれてましたけど、あれってホントなんですか？（笑）。

浜中　（慌てて）いやいや、そんなわけないですよ！　そういう文化もあるんでしょうけど、ボクは違います（笑）。

——でも、試合後のマイクの語尾が微妙でしたよ！「世界最強の男になるからね！　みんな見てて！」って（笑）。

浜中　「ホモだ！」って思いました？（笑）。

——その優しい口調を聞いて「もしかして!?」ってビックリしました（笑）。浜中さんは普段からああいった口調なんですか？

浜中　道場でチビッ子にレスリングを教えてるんで、そういう口調になったのかもしれませんね（笑）。だけど、なんでああいうこと言ったのか覚えてないんですよ。……恥ずかしいです（笑）。

——浜中さんは入場からして凄かったですよね。高田さんの入場テーマに乗って、サクマシンのマスクを被ってきましたけど、あれは誰のアイデアだったんですか？

浜中　周りの人たちのノリですね。ニーノがああいう入場じゃないですか？

——エルビスな入場ですね。ニーノ本人は至って大真面目なんですけど（笑）。

浜中　ニーノの入場に負けないように考えてくれたんですけど……痺れますよね（笑）。

——高田さんと桜庭さんをある意味で背負うわけだから、プレッシャーですよね。

浜中　いや、そのときはいっぱいいっぱいだったんで、そういうことを考えてる余裕がなかったんですよ。

——浜中さんはレスリングの試合とかでも、二時間前から落ち着かなくてウロウロしてるって話ですけど（笑）。

浜中　試合が近づくと落ち着かないんですよね。アップし過ぎて試合前に疲れてるというか（笑）。早く精神をコントロールできるようになりたいです。

——普段から喜怒哀楽が激しい方って聞いてますけど。

浜中　（高田道場の広報に向かって）俺、喜怒哀楽、激しい？

広報　そういう部分もあるかもしれないですね。

浜中　落ち込むときは落ち込むしな（笑）。今回の試合でも、反省する点も多かったから落ち込みましたよ。

——たとえば、どんな点ですか？

浜中　打撃でラッシュをかけるときも、もっと相手を見て打てないとダメでしたよね。

——浜中さんは打撃でニーノを圧倒してましたけど、ニーノのヒザをモロに喰らってグラつく局面がありましたよね。

浜中　あのヒザ喰らって吹っ切れましたね。だいぶ、スッキリしました（笑）。

——一発もらって緊張の糸がほぐれた、と（笑）。終わってからいうわけじゃないですけど、勝つ自信はあったんですか？

浜中　いや、誰とやっても勝たなければという気持はありました。相手は誰であれ、

新生『PRIDE』の記念すべき第一試合で、“桜庭を破った男”“ヒクソンの再来”と謳われたニーノを打撃で圧倒！　見事勝利した高田道場の新鋭・浜中和宏は、今回がデビュー戦とは思えないアグレシッブなファイトの強心臓振り、「世界最強の男になる！」とみなぎる闘志は、今後に大きな期待を感じさせる。『PRIDE』に日本人期待の若武者がやってきた！

聞き手／松澤チョロ　構成／ジャン斉藤　撮影／田中花海

designed by hisa (Two Three)

練習の成果を出せて良かったですね。

——試合の直前にはアメリカのチーム・クエストの元に行かれてましたけど、どんな練習をされたんですか？

浜中　（ダン・）ヘンダーソンはケガで入院中だったんですけど、マット・リンドランドやランディ・クゥートアーに打撃を打つときの立ち位置とか、押さえつけての殴り方を教わりました。良かったですね、アメリカは。英会話も勉強できましたし（笑）。

——もれなく勉強できた、と（笑）。こないだのUFCでマットは負けちゃいましたけど、ランディはUFCライトヘビー級王座を奪取しましたね。

浜中　凄い40歳ですよね（感心しながら）。ランディは二週間前に子供が産まれてこともあって、やる気満々でしたよ。一番練習をやるし、あんなイケイケの40歳は見たことないです（笑）。

——困ったオヤジですね（笑）。そういえば、浜中さんは同じレスリング出身の中西選手と闘いたいらしいですね。

浜中　中西選手はレスリングの先輩として、一番輝いてる選手なんで。リングは新日本でも『PRIDE』でも、闘えるならどこでもいいです。K—1でもいいから、中西選手と殴り合ってみたいです!!

——中西選手とは体重が違いますけど、それでも構わない？

浜中　全然問題ないです！

——ノー問題ですか！　舞台は、猪木さんがブチ上げた『ジャングルファイト』でもいいですか？（笑）。

浜中　アマゾンでもいいですよ（笑）。やっぱりいろんなことをやっていかないと強くならないと思うんですよ。チャンスがあれば何でも食い付いていきたいですね。

——まぁジャングルで闘うなんて、なかなか機会はないでしょうしね（笑）。

Kazuhiro Hamanaka

輝いてる中西選手と闘いたい 舞台はアマゾンでもどこでもいいです

浜中　ランペイジやシウバとも闘ってみたいです。

——日本人とはパワーがワンランク違いますけど、不安はありませんか？

浜中　いや、力負けはしないと思うんですよ（キッパリ）。

——やけにアッサリ言いますね（笑）。

浜中　レスリングでもガイジンにパワー負けしないし、問題ないと思いますよ。でも、ボクは器用じゃないんでしっかり練習して、技を身体に染み付けないといけないです。

——浜中さんは現時点では、器用さよりパワーが売りのファイターと思っていいんでしょうか（笑）。

浜中　そうですね。

——勉強と格闘技の頭って別って言いますけど、浜中さんはどうですか？　どっちもいけます？

浜中　学生時代はあまり勉強した記憶はないですね（笑）。

——レスリング一直線だったんですね。

浜中　小学校2年のときから飽きずにやってますよ（笑）。オリンピックのレスリング中継を見てやり始めたんですけど。その頃からレスリングのこと以外、考えてなかったですね。

——まさに"アイアム・アマレスラー"なんですか（笑）。じゃあ、女の子と遊ぶなんてこともほとんどなかったわけですか？

浜中　そんな時間はなかったですね。

——それでも高校時代はモテたりしたんじゃないですか？

浜中　全然モテないですね（笑）。

——野球やサッカーに比べて、モテないもんなんですかね。

浜中　そんなことはないけど、レスリングの部室自体が近づきたくないオーラを発散

8.10 YOKOHAMA PRIDE.26 vs Nino"Elvis"Schembri

デビュー戦の勝利に歓喜のパフォーマンス！……と、思ったら、まだ試合前だよ！　超ハイテンション状態でリングインした浜中は、ランデルマン張りの跳躍力をみせたのだ

浜中を下に引き込んで、オモプラッタ、関節技を執拗に狙うニーノ。驚異的な関節の柔らかさで、観客のド肝を抜くが、浜中はレスリング仕込みのパワーでハネ返す！　力が技を制した！

セコンドで懸命に指示を送った桜庭。試合後の花道で「良い試合だった」と浜中に声をかけると、浜中は「(嬉しくて) 泣きそうになった」とインタビュールームでコメント

させてましたから（笑）。
――アハハハ！　男臭い匂いが漂ってたんですね（笑）。そんな浜中さんが憧れてたレスリングの選手って誰になるんですか？
浜中　やっぱりアレキサンダー・カレリンですね。前田さんとの試合を見ましたけど、前田さんをリフトして投げて凄かったですよね。
――そのカレリンも恐れたという、マット・ガファリの評価はいかがでしょう？　レスリング時代とはかなり変わっちゃいましたけど（笑）。
浜中　やっぱりガファリも強いですよ。オリンピック銀メダリストですし、素晴らしいレスラーでしたからね。
――やっぱりそうですか。いまはガファリはプロレスで活躍してるんですけど、浜中さんもプロレスに興味あったりします？
浜中　プロレスも素晴らしい競技ですから興味はありますよ。さっきの話じゃないですけど、やっぱり何でもできないとダメだと思うんですよ。新しい世界を見ることによって自分の型や殻を破って、ベースのレベルアップしていくというか。ボクもバーリ・トゥードをやることによって、いろいろ見えてきましたからね。
――高田道場には安達（巧）さんの紹介で入ったってことですけど、入門当初は戸惑いとかはありませんでした？
浜中　もの凄い世界だったんで、やっていけるかなって正直思いましたね（笑）。高田さんや桜庭さんのことも入る前はそんなに詳しく知らなかったんですけど、ホント凄い人たちですし。
――やっぱりレスリングと違う部分ってありました？
浜中　レスリングとは動きが違うんで戸惑いましたね。関節技一つとっても凄く勉強になってます。それとプロは魅せないといけないじゃないですか？
――ただ勝つだけじゃなくて、内容も問われてきますよね。
浜中　その難しさがありますよね。だから、ニーノ戦はガンガン攻めてアグレシップに動こうと考えてました。
――デビュー戦で極度に緊張していても、そういうプロ意識はあったんですね。
浜中　それは普段から高田さんや桜庭さんからも言われてることですからね。だから、ニーノ戦に勝って「良かったぞ」って言葉を掛けられて、涙が出そうになりました（笑）。
――練習ももちろん大変だとは思いますけど、高田道場は飲みの席も壮絶だって有名ですからね（笑）。
浜中　はい（笑）。ボクはお酒は飲めなかったんですけど、かなり飲めるようになりましたからね。
――道場では誰が一番、飲みますか？
浜中　みんな飲みますね。大学時代はレスリングの練習ばっかで、飲んでる場合じゃなかったんですよ。でも、いまは練習もするし酒も飲むし、いい勉強になってます（笑）。
――ちびっ子にレスリングを教えることも、勉強になるんじゃないですか？
浜中　そうですね。もともと子供が大好きなこともありますけど。ただ、たまにニュアンスで教えちゃうときがあるんですよね。た「こーやって、あーやって、こうやるんだよぉ」って（笑）。
――ワハハハ！　ニュアンスにもほどがありますよ（笑）。
浜中　困った顔されるときがありますけど、ちびっ子は純粋だから意外と通じるんですよ（笑）。子供と一緒にいると素になれますよねぇ。
――なるほど（笑）。それでは最後に今後の抱負をお願いします！
浜中　プロである以上は、高田さんや桜庭さんみたいなヒーローになりたいですし、頂点に立ちたいです！　誰とやっても負けない……アマチュア的な考え方かもしれないけど、どのリングであろうが、日本人だろうがガイジンだろうが負けない選手なるよって。
――頼もしい意気込みです！　世界最強の男を目指して頑張ってください！
浜中　期待していていてください！

【03年6月15日／高田道場にて収録】

【はまなか・かずひろ】1978年青森県八戸市出身。172センチ、90キロ。幼少のころからレスリングに没頭。名門・私立光星学院に入学。大学は日本体育大学に進み、レスリング部の主将を務めた。日大レスリング部監督・安達巧の勧めにより、大学卒業と同時に高田道場に入門。フリースタイル・レスリングの戦績は、'00世界学生代表予選優勝、'00インカレ2位、'00全日本選抜3位、'00KBS杯（韓国）2位、全日本社会人選手権96キロ級準優勝。

試合後のマイクで「これからもガンガン練習して、世界最強の男になるからね！　みんな見てて！」と浜中節（？）が炸裂！　みんな待ってるね！

スタンドの打撃を嫌がりグラウンドに引き込むニーノだが、浜中はひたすら殴る!!殴る!!殴りまくる!!　KOまでには至らなかったが、文句なしの判定でデビュー戦を勝利で飾った！

浜中の強打がニーノに炸裂！　1R、首相撲からのヒザ攻撃を顔面に喰らった浜中だが、その一撃で吹っ切れ怒濤の攻勢へ！　浜中の逆襲にニーノの顔が見る見るうちに腫れ上がった

ファンが選ぶ「PRIDEミドル級GPに出てほしい選手」

ブッチギリの第1位！

“元祖「お前は男だ」と呼ばれた男”の

運命とは何か？

6.29パンクラス冨宅飛駆と激突！

垣原賢人、そして高山善廣からも対戦要求!!

誰が為の田村潔司

また、田村潔司の名前が騒がれる季節がやってきた。昨年の11・23『PRIDE・23』でかつての師・高田延彦の“介錯人”を努めて以来、『PRIDE』を中心とする格闘技シーンから一歩離れ、自らのライフワークである“U復興”に力を注いできた田村。しかし、今夏『PRIDEミドル級GP』開催が発表されると、多くのファンが望んだのは、田村がこの最高峰のトーナメントに参加することだった。そして、時を同じくして垣原賢人、そして高山善廣という、かつての同志からのラブコール。こんな状況下で、孤高の男・田村潔司ははたしてどんな決断を下すのか。そして、誰がために田村潔司はあるのか！

聞き手＆撮影／堀江ガンツ　扉写真／乾晋也　designed by ... Three)

little camp

——さて、今日はU−FILE CAMP町田での指導風景を見させていただいたわけですけど、ジム2号店もオープンして、スッカリ順風満帆じゃないですか？

田村　いや、全然！　だって投資分回収してないもん。人件費も掛かってるし。その他にも……ブツブツブツブツ。

——細かいですね（笑）。

田村　だって実際、そうなのよ!?　売り上げがあがったとしても、そっからいろいろ思ったより飛んでいくからね。いま個人財産で賄ってるようなもんだから。

——でも、最初にU−FILEを立ち上げてから、ジム内の大会ができて、『U−STYLE』というプロの興行もできて、着実に輪が広がってるんじゃないですか？

田村　U−FILEを立ち上げて、ちょうど丸6年を迎えるわけだけど、振り返ると理想の形だとは思うよ。でも、ここからまた2年、3年先を見ていかないと持たないから。今あるのも3年前の俺が頑張ってたってことだからね。今から3年後ってのはU−FILEを大きくするのもちっちゃくするのも若い選手にかかってるから。

——田村さん自身が現時点で考えてる3年後のプランは何なんですか？

田村　それはちょっと言えない。

——言えませんか（笑）。

田村　でも1年後ぐらいに俺が一通りやりたい事が終わるから、その頃には完成させたいけどね。

——ほぉ、1年後にはやりたい事が完成するわけですか？

田村　3ヶ月後かもわかんない。

——3ヶ月後！　また早いですね（笑）。

田村　うん。3ヶ月後にはやりたい事が一通り完成するから。それは俺のジムを立ち上げてからの発想というか考えが、一応6年3ヶ月後には一通り形にはなるから。そこから第一章が終わって、第2章に広げていくっていうことだから。今、何かって言ったら、もうちょっと待ってっていう感じだね。

——じゃあ、第2章の青写真がもう見えてるわけですね。

田村　はい（キッパリ）。

——おぉ〜、楽しみですね。じゃあ『U−STYLE』の興行っていうのはまだ第1章の中なんですか？

田村　『U−STYLE』はあくまで付属だから。

——付属ですか！

田村　付属って言う方は語弊があるなぁ。『U−STYLE』はなきゃいけないものだと思うし、続けていくことが大事だと思うんだけど、興行は水物だから。毎回リスクも抱えてるから変な心配もしないといけないから、もう面倒くさい！

——出た、面倒くさい（笑）。でも、今のところは『U−STYLE』って、お客さんも入ってるし上手くいってますよね？

田村　まあ、上手くはいってると思うんだけど、それはさっき言ったように今の状態で左うちわになっちゃうと1年後、3年後はダメだから。今のいい状態で次に繋げなきゃいけない事も一生懸命考えていかないといけないんで、それがいっぱいいっぱいだね。よくチャンピオンになるより維持し続けるのが大変って言うけど、『U−STYLE』も立ち上げるより、そこから維持するのが大変なことだからね。

Kiyoshi TAMURA

——じゃあ、『U−STYLE』の興行を1回、2回とやってきて、今のところの手応えっていうのはどんな感じなんですか？

田村　手応え……どうなのかなねぇ……手応えはあんまない！

——あんまない！（笑）。

田村　う〜ん、何を基準に手応えがあるのかないのかっていうのがあるから。メチャメチャ手探り状態だしね。ガンツは2回目の『U−STYLE』（4月6日）はどう思った？

——ボク見てないんですよ。ちょうどリングス・リトアニアの取材に行ってたんで。

田村　あ、リトアニアに行ってたの？　あっちって『武士道（UWFインター）』の放送が流れてるんでしょ？

——何年か前に流れてて凄い人気あったみたいですよ。その後リングス、いまは『PRIDE』もやってるみたいです。

田村　じゃあ、俺は知られてるの？

——凄い有名人らしいです（笑）。

田村　よし！　リトアニアに行こう！

——ガハハハ！　『U−STYLE』リトアニア公演ですか（笑）。

田村　うん。真面目にリトアニア行こう！　国内ダメだったら海外。そうするわ。そうした！

——そうした（笑）。まぁ、世界に目を向けるのはいいことだと思いますけど、現時点の『U−STYLE』の問題点は、興行の中で田村さんの比重が大き過ぎると

この日はできてまだ1ヶ月、ピカピカのU−FILE CAMP町田ジムでジム生の指導をしていた田村。リングを降りれば「単なるセクハラ親父」を自認する田村だけに、実に気さくな雰囲気なのだ。

いうか、極端に言えば田村さんしかないっていうことだと思うんですけど。

田村 そうねぇ。

──だから、いまって総合格闘技の大会に出てるU－FILEの選手が掛け持ちしてるじゃないですか。そうじゃなしに、新弟子を取って、田村さんが純粋『U－STYLE』のプロレスラーを育てたらいいんじゃないかと思うんですよね。時間はかかるでしょうけど、やっぱり若い選手が総合とプロレスを平行させると、どうしても『U－STYLE』での試合は軽く見えちゃうじゃないですか。

田村 うん。じゃあ、新弟子募集する！

──また即決ですね（笑）。でも、〝U〟の概念の残すなら、本当の意味でのプロレスラーを育てるしかないと思いますよ。

田村 ただ、俺も新弟子っていう発想はなくしちゃいけないとは思うんだけど、今の時代さ、金を払えばどこにでも行けるじゃん。昔は新日本、全日本、UWFの3団体で狭き門だったから、夢を求めて何百人、何千人に一人の世界だったけど、それがもう散らばってるからね。金を払えばどこのジムでも格闘技が習える時代に昔みたいなやり方で、ついてくる人っていうのはなかなかいないんじゃないの。仮に新弟子を取ったとして、残るのは一人、二人ぐらいだと思うよ。新弟子ってそういう意味だからね。

──じゃあ、お金を取って〝U〟のプロレスラーに育てるのはどうですか？ 今人気の闘龍門なんかはお金を取ってメキシコの道場に住み込みで練習させて、卒業生をプロレスラーとしてデビューさせるシステムなんですけど、闘龍門の『U－STYLE』版っていうのはできないんでしょうかね？

田村 （即座に）それやる！ 今すぐ募集！

──早い！（笑）。

田村 まぁ、お金は相場がわからないから、後で決めるとしても、これは真面目に募集しよう。身長175センチ以上、年齢は23歳ぐらいまで、体力はなくていい。

──体力はなくていいんですか？（笑）。

田村 いい！ 昔はもう、いきなりスクワット1000回とかだったけど、そうじゃなしに体力作りから徐々にステップアップさせるから。それで1年後デビュー。所属はU－FILE CAMP・タムラ。

──ガハハ、どんな所属名ですか（笑）。

田村 じゃあ、U－STYLE・X・田村！

──「X」の意味がわからない（笑）。

田村 入会に関して詳しくは『U－STYLE』大城までお問い合わせください。

新弟子時代に苦しい思いを経験した選手は、例え試合時間が1分でもお客に何か残せると思う

４・６U－STYLE第２回大会で、プロレス初体験の三島ド根性ノ助相手にも好勝負を展開し、改めてその力量を見せつけた田村。それだけに、他のと田村の差をどう縮めるかが、U－STYLEが早急に解決すべき課題だろう。

──まだ大城さん（『U－STYLE』関係者）は何にも知りませんよ！（笑）。

田村 あ、そうか（笑）。

──さあ、U－FILE企画会議はこれくらいにして（笑）、『U－STYLE』次回大会の話をしましょう！ 6・29大阪大会で田村さんはパンクラスの冨宅選手と対戦するわけですけど、この試合について田村さん的な狙いっていうのは何ですか？

田村 な～んもない（アッサリ）。

──なんもない！

田村 あのね、細かい事は聞かないで。もういいじゃん、なんでも（笑）。

──なんでもいいって、大会を盛り上げるためのインタビューなのに、意味がないじゃないですか！（笑）。

田村 もうね、俺、最近喋り過ぎだから。昔は多くを語らず体で示してたんだよねぇ（遠い目で）。あの頃が一番輝いてたな（笑）。

──なんで遠い目になってるんですか（笑）。でも、今は冗談抜きに『U－STYLE』の定義を言葉で説明しなければいけない時期だと思いますよ。「プロレスやるんだったらプロレスやればいいじゃん、格闘技をやるんだったらバーリ・トゥードやればいいじゃん」という風潮の中で、『U－STYLE』の存在意義は何なのかっていう。

田村 言葉で説明しようにもホントにわかんないんだよ。全然わかんない……ホント、だからそういう運命なんだよ。1年後に潰れたとしたら運命だし、大きくなっても運命だから、計算してできるようなもんじゃないから適当！

──出た、適当！（笑）。田村さん、インタビュー中に「適当」は禁句にします！

田村 だってホントにないんだも～ん（かわいらしく）。

──じゃあ、冨宅選手と闘うってことについてはどう思いますか？ UWFの新人時代から団体は別れて違う道を歩んできて、『U－STYLE』っていう場で初めて闘うことになったわけですが。

田村 う～ん、まあ冨宅とは同世代だけど、格闘技で生き残るにはキツイ歳になってきてるから、彼は彼なりに悩んだろうし、団体で考えてもあっただろうし、鈴木（みのる）さんにしてもそうだし、違う形で自分を見せれる場所があれば、それに越したことはないからいいんじゃないの。

──だけど『U－STYLE』にしてもパンクラスMISSIONにしても、いわゆる「格闘技ができなくなったから第二希望」みたいなものではないんですよね。

田村 そうじゃないよ。格闘技も知っててプロレスも知ってるっていう選手は、いま

少なくなってるから貴重な存在だと思うし、やっぱり昔の苦しい時代に育った選手だから、例えば試合時間が1分だったとしてもお客さんに何かを見せて、残せるんじゃないかなって。それがいまのU－FILEの若手との違いだと思うんで。試合はやってみないとわからないけど、その時の新弟子時代の苦しい思いをした気持ちっていうのは全面に出ると思うんで、そこの部分の違いは必ず出るんじゃないかなって思う。

――そうですよね。だから僕らがプロレスや『U－STYLE』に求めてるものっていうのは、究極的には技の攻防じゃないんですよ。もちろん攻防が美しいっていうのも大事ですけど、技を越えた部分が一番見たいわけですよね。

田村　うんうん。

――そして『U－STYLE』のプロレスっていうのは、通常のプロレスともまた違いますよね。田村さんは何が一番違うと思いますか？

田村　いや、もうだからね、それはわからん。難しいことは聞かないで、そういう細かいことは一年後にゆっくりと喋れる部屋で喋るから。

――土曜の午後に町田のデニーズで喋る内容じゃないと（笑）。

田村　それは別にいいんだけど、今はもう見て面白ければそれでいいんじゃないのって、ただそれだけだから。

――その「面白さ」を分析していきたいんですよ。で、これはボクの仮定なんですけど、田村さんのUスタイルの試合が緊張感があって面白いと思うのは……田村さんって試合が決まったら相手と一切、話しをしないじゃないですか？

田村　う～ん、どうでしょう（長嶋茂雄のモノマネで）……それで？

――なんで長嶋さんになってるかわからないけど無視して続けます（笑）。で、闘う相手だから口をきかないっていう部分だけでなく、もちろん試合前に打ち合わせじみたことなんてしない。それって今の純プロレスと言われるものの中にはない発想だったりしますよね？

田村　そう言われたら……う～ん、どうでしょう！（長嶋風）。

――（無視して）だから今回の冨宅選手との試合にしても、お互いにどんな技を使ってくるか、そして現在の力量はどのくらいか、そういったことが全くわからない中でやるわけじゃないですか。そういった中でやるからこそ、「プロレス」という枠の中でも"勝負"があり、緊張感も生まれてくるんだと思うんですよ。

田村　奥深～いところを突いてくるよなぁ。『紙のプロレス』は恐いなぁ～。

――実際問題、そこが田村潔司とUWFを知らない人たちが作るUのスタイルの違いだと思うんですよね。そして、そんな出たとこ勝負でも名勝負にしてしまうところが、プロレスラー田村潔司の一番非凡な才能だと思いますよ。

田村　ありがとう（笑）。でもそういうのはさ、口コミで広げてって。俺が言う事じゃないし。ガンツの口とペンで、俺のことをどんどん褒めといて（笑）。

――また「褒めといて」ですか（笑）。まぁ、要は『U－STYLE』に出る選手には、試合で観客も対戦相手もビックリさせてほしいってことなんですよ。

田村　そうだね。まあ、そういうところは本来、俺が教えなきゃいけないところだけど、俺も教わったわけじゃないからね。

――それが凄いんですよね。

田村　宮戸さんとかも言ってたんだけど、やっぱり限界以上の練習をして初めて「何クソ」っていう気持ちが練習に出ると。今の若い子は「何クソ」っていう気持ちがないから試合に出ないよね。だから面白くないんじゃないかな。

――やっぱりプロレスをやるなら、お互いの感情を見える試合、人格と人格がぶつかるような試合が見たいんですよ。だから次に田村さんが誰と闘ったら面白いかと考えたとき、バトラーツの石川（雄規）選手なんかいいんじゃないかと思ったんですよね。

田村　あ、面白いと思う？　じゃあ、やる。

――「じゃあ」って、簡単だなあ（笑）。

田村　まあ、石川クンにしても藤原組としてUWFのギリギリのラインの選手だから、そういう上下関係が厳しいところで苦労してきただろうし、バトラーツ勢は面白いかもね。唯一そういう匂いのする選手が育ってる団体だと思う。

――あと田村さんの対戦相手として考えると、垣原（賢人）選手が新日本の『ベスト・オブ・スーパージュニア』で優勝したんですよ。

田村　ゆ、優勝したの!?

――知らなかったんですか？（笑）。

田村　知らなかった。凄いねぇ。

――その優勝した後のコメントで「田村潔司、冨宅飛駆、桜庭和志の3人と闘いたい」っていう発言があったんですけど、それについてはいかがですか？

田村　………。

――新日本のプロレスがやりたいのか、Uスタイルをやりたいのか、それともバーリ・トゥードがやりたいのかわかりませんけど、その3人の名前が出てきたんですよ。

田村　なるほど……じゃあ、やる！

――また「じゃあ」ですか（笑）。

田村　でも垣原もけっこう気分屋だから。明日になったら「田村さんって言わなきゃ良かったなあ」って思ってるかもしれないから、もう一回確認してみて。それでも気持ちが変わってなかったら、やる。

――田村vs垣原戦と言うと、Uインター

Kiyoshi TAMURA

6・10『スーパーJr.』優勝をはたした垣原賢人、6・13NWFを防衛した高山善廣と、元Uインター勢が続けざまに闘いたい相手として田村の名を挙げた。両者共現在の主戦場は新日本。はたしてかつて対抗戦を拒否した田村が新日マットに上がる日は来るのか？

高山（善廣）との対戦には興味がある！　でも垣原は気分屋だから本気かどうかわからない

時代は武道館のメインで純ＵＷＦスタイルの試合をやって、ＮＫではそこから一歩踏み出した試合がありましたよね。そして今この時流だったら何をやるのが相応しいと思いますか？

田村　いや、垣原だったらＵスタイルでしょう。でも、さっきも言ったけど垣原は波があるからわかんないよ。１週間後とかには変わってるし。

――そういえばノアをたった一日で辞めたりしたこともありますからね（笑）。

田村　だから、そういう気持ちを１年間維持をしてもらえるんであれば、その時点でって言ったら変だけど……まぁ、名前を挙げるってことは意識されてのことだから、悪い気はしないんで、あとは昔の気持ちを忘れないで頑張ってもらいたいね。

――あともう一人、高山善廣選手もＮＷＦベルトの防衛戦の相手として、田村さんの名前を挙げているんですけど、高山選手との試合というのは興味ありますか？

田村　高山も俺の名前出してるの？　やる！　興味ある！

――また、簡単ですねぇ（笑）。

田村　じゃ、インタビューこれで終わり？

――いやいや、最後に重要な話が残ってるんですよ。この夏、『ＰＲＩＤＥミドル級グランプリ』というものが……

田村　（遮って）それはいいよ！　それを言うと『Ｕ－ＳＴＹＬＥ』の話が死んじゃうから！　宮戸さんだったら絶対そう言うよ（笑）。

――ガハハハ！　確かに言いそうですけど、ウチとしてもこの時期に田村さんにインタビューするなら、これだけは聞いておかないと！

田村　それ以前に、『ＰＲＩＤＥ』であろうが、新日本であろうが、全日本であろうが、まず俺はＵ－ＦＩＬＥ　ＣＡＭＰ、『Ｕ－ＳＴＹＬＥ』で頑張っていくから、あまり周りは気にならない。元々気まぐれだし、我が道を行きます。じゃ、お疲れ様でした！（笑）。

――まだ終わりませんよ！（笑）。

田村　だってそれ以上、答えようがないもん（かわいらしく）。

――やっぱりファンのニーズっていうものがあるじゃないですか。ウチの携帯のサイトでも「グランプリに出て欲しい人は誰ですか」ってアンケートで、１位は田村さんなんですよ。そしてどうやら『ＰＲＩＤＥ』の会場で取ったアンケートでも１位は田村選手らしいんですよ。

田村　ていうか、俺は『Ｕ－ＳＴＹＬＥ』で契約してるからね、違約金も含めて俺一人で決められる話じゃないから。そういうものがクリアできるようだったら、その時点で考える。だけどさぁ、俺が全日本とか新日本に出るって噂が流れたこともあったけど、なんでそういう噂が立つのかなぁ。

――それだけ期待されてるってことでしょうけどね。

田村　あまりそういう期待だけされても良くないよね。だから１年ぐらい前に鎖国宣言をした時があったんだけど、ちょっとホントに閉じこもろうかな。

――そんな閉じこもってる場合じゃないですよ！　田村さんも33歳じゃないですか。ホント輝ける時期に輝いて欲しいですよ。

田村　そんなこと山口さんも言ってたなあ（笑）。だけどね、何でこんな年寄りに声を掛けるの？　若い選手は何をしとんだって感じじゃないですか。そう思わない？

――いや、若い選手がどうのではなく、ファンが田村さんにそれだけ期待しているんだから、声を掛けざるを得ないですよ。

田村　汚い！　ファンのせいにするのは汚いよ！（笑）。

――ホントにアンケートの結果なんだから仕方がないじゃないですか（笑）。

田村　絶対に汚いよ！　じゃあ、俺も後ろに誰か出すよ。「俺自身は出たいのはやまやまなんだけど、佐伯さんが俺のことを囲って出さない」って（笑）。

――ガハハハ！　批判の矢を全部、佐伯さんに向けさせますか（笑）。

田村　佐伯さんが「ウチも田村さんが他に出られたら『Ｕ－ＳＴＹＬＥ』キツイんですから」って言ってたことにするから！

――出る出ないは別にして、試合について興味はないですか？

田村　全日本？

――グランプリですよ！（笑）。

田村　そうやって特定の団体名を出されると喋れないよ。もう、そういうことは来月話すから。ま、来月も話すかどうかわからないけど（笑）、「後編に続く」って書いておいて！

――じゃ、とりあえず６・29大阪と、８・12さいたまに期待してます！（笑）。

田村　だから８月は知らないって！

【03年６月14日／ＪＲ町田駅前「テニーズ」にて収録】

6.29U-STYLE 大阪大会

田村潔司戦決定!!

〝最後の生え抜きU戦士〟がU―STYLEに出陣！

第2次UWF最後の新人としてデビューしたパンクラスの冨宅飛駈が、鈴木みのるに続く「パンクラスMISSION」所属第2号選手として、6・29U―STYLEグランキューブ大阪に出場。メインイベントで田村潔司と対戦することが決定した。

冨宅と言えば、パンクラス旗揚げメンバーという一見派手な経歴とは裏腹に、自らを「テレビ神奈川」と称するように、これまで多くの人間に向けてアピールするというより、どちらかと言えば限られた人間に対してのみ微弱な電波を送り続けるという、UWFスタイルならぬ、〝UHFスタイル〟とも言うべき生き方貫いてきた選手。

そんな男が、パンクラス10周年のこの年に、なぜ「パンクラスMISSION」という小舟に乗り、闘いの大海原にこぎ出す決心をしたのか？　〝哀愁のパンクラシスト〟10年目の自己主張を聞け！

冨宅　『紙プロ』の取材って久しぶりですね。何年ぶりぐらいですか？

――実に丸5年ぶりみたいです。

冨宅　5年ぶりですか！　確か前回はShow大谷さんにインタビューしてもらったんですよ。

――そうみたいですね。ボクもこの取材が決まって、改めてその記事を読んでみたんですけど、タイトルが「後輩に負け続ける男のテレビ神奈川宣言！」って、メチャメチャ失礼ですよね（笑）。

冨宅　まぁ、でもそういうのも『紙プロ』らしくて〝アリ〟だと思ってましたけどね。僕個人的には『紙プロ』は面白いって昔から思ってましたから。

――あ、ありがとうございます（笑）。

冨宅　マイナー的なところをさりげなく突いてくるのが僕と合うなと（笑）。

――そう言えば冨宅選手って、毎年『週プロ』の選手名鑑でマイナーな所を突いてきてますよね？（笑）。

冨宅　ああ、あれはここ2、3年よく言われるんですけど、パンクラスの旗揚げの頃からやってきたことなんですよ。

――そんな昔からやってましたか（笑）。その芸風が最近ようやく知れてきた、と。

冨宅　でも、毎年一人二人ぐらいに気付いてもらえてた最初の頃の方がやってて充実感ありましたね。ここ1、2年はネットとかたまに見たら「冨宅の選手名鑑は楽しめる」とか評価されてて、それ見たとき「もう来年からやめよかな」と思いましたから。

――あくまでも一部の人だけに気付かれる微弱な電波を発していたいわけですね（笑）。

冨宅　そうですね。だから試合後のコメントとかでも、知ってる人がおったら、たまにその人だけにわかる冗談言ったりして（笑）。

――そこまで微弱でしたか（笑）。でも、そういう冨宅さんのキャラって、ファンにはあまり知られてないですよね？

冨宅　関係者とか身内関係っていうのはわかってると思いますけど、ファンの人はリング上と雑誌のイメージだけでしょうからね。僕は雑誌のインタビューも少なかったし（笑）。だから前にパンクラスのイベントでちょっと喋ったら、最後に参加したファン一人一人と握手したときに「結構、明るいんですね」って言われたんですよ。別に普通やし、面白い事を言ったり、いっぱい喋ったりっていうわけでもなくて、聞かれた事に答えてただけだったんですけど、雑誌とか試合のイメージがかなり強いんでしょうね。

6・29U-STYLE大阪大会の対戦カード発表記者会見に出席した冨宅は、「田村さんをロープに振ってみたい。凄い違和感があると思うから」と発言。本当にトライするのか!?

――確かに寡黙でマジメというイメージはあると思いますよ。

冨宅　実際は寡黙でもマジメでもないですけどね。人前では普通の格好をしてますけど、僕が心の中で思ってる通りにいろいろやってたら前科何犯とかですからね（笑）。

――前科何犯！

冨宅　ホンマ、とんでもない奴だと今頃言われてるかもしれないですよ。頭の中では何十回も犯罪起こしてるし、何百人も●●してますから！（笑）。

――●●までしてますか！（笑）。

冨宅　頭の中でですけどね（笑）。

――ま、そういったことも含めて、今日は冨宅選手の知られざる内面に迫ってみたいんですけど、冨宅選手と言えばこの5年前のインタビューでもすでに言われてましたけど、パンクラスという完全実力主義のリングができて、いまでは当たり前である「若い選手に先輩がどんどん負けていく」というリアルな姿を、U系を含めたプロレ

冨宅が前回『紙プロ』に登場したのは5年前のNO.7。そのインタビュー内容は、なんとこの頃から「連敗問題」と「引退問題」だった。逆に言えば冨宅の土壇場の生命力は実に侮れない。

聞き手／堀江ガンツ
撮影／松本崇
designed by matsu（Two three）

冨宅飛駆

Takaku FUKE

〝テレビ神奈川宣言〟から5年──
哀愁のパンクラシストが最後の自己主張

「これがUWFや」という闘いを僕と田村さんがやらずに誰がやるんやって思いますから

ス界で初めて見せた選手じゃないですか。
冨宅　ある意味、先駆者ですよね（笑）。
――現在も、失礼ですけど戦績は勝利からかなり遠ざかってますけど、どのような気持ちでリングに上がり続けてきたのかっていう所にまず一番興味があるんですよ。
冨宅　もちろん、負けが続いているのに試合を組んでもらえるっていうのは、旗揚げメンバーというだけで優遇されてるなって思うし、バイトしながらリングに上がってる選手とかのことを考えると肩身が狭いし、申し訳ないなって思ってるんですよ。僕も練習をサボってるわけでは全然ないですけど、若い人たちのためには退いた方がいいのかなっていうのもあったりはするんですけど、本気で辞めようっていうのはないですね。
――いま「一期生で優遇されてる」っていうのがありましたけど、ボクが見る限り、優遇どころか残酷なマッチメイクが多いと思うんですよ（笑）。なぜ一期生がここまでやらなきゃいけないんだっていう。
冨宅　そう言ってくれる人も結構いるんですけど、例えばこれが修斗だったら、2連敗、3連敗してたら契約解除になってると思うんですよ。それを思うと、捨て駒みたいなもんでも、試合を組んでもらえるだけで嬉しかったし、有り難かったし、確かに結果は出せてないですけど、精一杯それに応えられるようにっていう気持ちではやってましたね。あと、組んでもらえるということは、どんな役目でもまだそれだけ必要なんやって、周りからは「また負けた」って言われても、使ってくれるっていうことはまだ1%くらいは何かがあるからじゃないかなって。そう思ってやってますよ。
――なるほど。では、前回の大阪大会（2・16グランキューブ大阪、星野勇二に判定負け）で、試合後リング上にグローブを置いていったのは、別に何かのメッセージじゃなかったんですか？
冨宅　いろいろあって、パンクラスの所属選手としてはあの試合が最後の試合になるかもしれないっていうのがあったんですよ。結局はそれはなくなったんですけど、そのときから「U―STYLEに出たい」っていう希望もあったんで、まだ続けるけどひとまずの区切りはつけようかなって。まだ、「パンクラスMISSION」もできてませんでしたからね。
――やっぱり今回冨宅さんが、U―STYLEに出られるというのは、「パンクラスMISSION」ができたことが大きいですか？
冨宅　それはありますね。田村さんがU―STYLEを始めるというのは、去年の夏ぐらいに佐伯代表から聞いてたんですけど、「パンクラスにおる限り無理やろな」というのがあったんで、こっちからも「出たい」とは言えなかったし、多分、社長の方からも「出てくれ」とは言えなかっただろうし。でも、まず鈴木さんの方から先に道を切り拓いてくれたんで、タイミングが良かったというか、僕としてはやりやすかったかなと。僕が先に道を切り拓いてってなってたら、ちょっと難しいところもあったと思いますからね。
――パンクラス所属選手がプロレスをやるっていうのは一種タブーみたいな感がありましたよね？
冨宅　僕もそれは思ってたし、もしU―STYLEをやるってなれば、パンクラスを抜けるしかないなと思ってたんで。
――船木さんもウチのインタビューで「も

これが修斗だったら契約解除されてると思う だから試合が組まれるだけで嬉しかった

Takaku FUKE

2月16日グランキューブ大阪■半年ぶりの試合出場となった冨宅だが、勢いのある星野勇二の攻撃に苦しい展開が続き3-0の判定負け。このときグローブをコーナーに置いてからリングを降りたため、「冨宅引退か?」との憶測を呼んだ。

しプロレスのリングに上がる時はパンクラスからは完全に足を洗ってからだ」って言ってましたよ。

冨宅　やっぱり一番最初にそれでやってますからね。自分自身も裏切れないし、仲間も裏切れないし、ヘンな話、パンクラスが潰れて金が一銭もなくなってもやっぱり旗揚げメンバーっていう仲間は裏切れないし、それは凄く強いですね。

――やっぱり、「パンクラス」という新しいものを一緒に作り上げた仲間は違いますか。

冨宅　違いますね。でも、僕の場合作ったことは作ったんですけど、僕個人が作ったって偉そうには言えないですからね（笑）。やっぱり船木さん、鈴木さん、あと尾崎社長が中心でできたものですから。特に船木さんがおらんかったら、パンクラスはできなかったと思います。

――そう言えば、旗揚げ前に船木さんが「俺はこういう真剣勝負をやりたいんだけど、お前はどう思う？」って、みんなに聞いたらしいですね？

冨宅　いや、言われてるかもしれないですけど、僕は記憶にないんですよね。もちろん、こういうスタイルで行くというのは決まってたんですけど、具体的な話っていうのは覚えてないんです。だから正直言うと、旗揚げ戦が終わるまでは「メインぐらいはプロレスっぽくやるんかな」と思ってたぐらいなんですよ（笑）。でも、リングサイドで見てたら全然そんなことなくて、船木さんは負けるし。終わってみて「ああ、やっぱりこれか」っていう感じで。

――やってる当の選手も半信半疑でしたか（笑）。

冨宅　だから僕自身、旗揚げ戦ってどういう試合をしていいかわからなかったですよ。どんな試合になるかわからなかったし、試合がすぐ終わるのか、長引くのかもやってみるまでわからなかった。

――じゃあ、"秒殺"っていうのが旗揚げ当時の代名詞になったわけですけど、蓋を開けるまでは、あんなに秒殺が続くとは予想だにしなかったわけですか？

冨宅　全然予想外でしたね。とにかく何が起こるのかわからなかったんですよ。だから、ホンマに旗揚げ戦のNK（ホール）の舞台の上で試合前、会場全体を見渡しながらストレッチやってたんですけど、その時に「こんだけ緊張すんねんやったら、早く今日が終わってくれ」って、最初の頃は毎回そう思ってましたね。

――ああ、それぐらい気持ちの面でも違ったわけですね。

冨宅　だから最初の頃はキツかったですね。体もそうやし、気持ちもね。肩を亜脱臼して試合のホンマ直前まで全然スパーリングできなくて、そのままリングに上がったりとかありましたからね。旗揚げ当時は、絶対に月に一回試合をやるっていう義務感があったし、意地もありましたから。旗揚げ2戦目にルッテンとやった時も「こんなキックボクサーに負けてたまるか」みたいなものもあったし。

冨宅は90年8月13日に、同期の垣原賢人相手にデビューし、UWFで3度試合を行っている（対戦相手はいずれも垣原）。そして、この年末にUWF分裂劇が起ったため、結果的に"最後のU戦士"となった。

――それから早10年たったわけですけど、あっという間でしたか？

冨宅　ホンマにいろいろありましたけど、早かったですね。これはみんなそうだと思います。振り返れば一選手で一冊ずつ本ができますよ。

――パンクラスって総合格闘技が現在の形になる過程をすべてリアルタイムで見せてきたわけですからね。

冨宅　まあ、僕の場合は表立ってはいろいろしてないですけどね、隅の方で見せてましたから（笑）。

――ガハハハ！　それで今、「パンクラスMISSION」所属になったわけですけど、途中でプロレスをやってみたいなっていうのはなかったんですか？

冨宅　それはありました。僕は体もちっちゃいし、ネームバリューも全然ないんで、鈴木さんみたいに新日本とかいきなりデカイところでプロレスをやるんじゃなくて、初心者として一からちゃんとやってみたいなっていうのは今でもありますね。こんなんでも使いたいっていう所があれば、それは全然出たいなって思います。

――プロレスをやりたいって思ったのはいつ頃からですか？

冨宅　藤原組の最初の頃からですね。

――あ、そんな前から（笑）。

冨宅　藤原組の最初の頃って2ヶ月か3ヶ月に1回ぐらいしか試合がなかったんですよ。藤原さん、船木さん、鈴木さんはSWSに出てたんですけど、僕は出られなかったんで。やっぱり最初は経験のために場数を多く踏みたいと思ったんで、そう考えたらやっぱりプロレスやなと。それはずっと船木さんにも言ってて、パンクラスの2年目か3年目ぐらいにようやく念願叶って、イギリスでやらせてもらったんですけどね。

――ありましたねぇ。あれこそ早過ぎたパンクラスMISSIONですよね（笑）。そんな風にずっとプロレスに出たい気持ちもあった冨宅さん的には、田村さんが"UWF"を旗揚げするっていう構想を初めて耳にしたときはどう思いましたか？

冨宅　「へぇ～」って感じで、どうなんかなっていうのはありましたね。昔は（U系も含めて）プロレスしかなかったけど、いまは格闘技とプロレスって完全両極端じゃないですか。UWFっていうのはそれのちょうど中間なんで、言い方によったらどっちつかずの中途半端なスタイルやと思うんですよ。それを今の時代にどうなんかなっていうのはあったんですけど、高田さんの引退があったり、高山選手の活躍があったりでUインターっていうものが見直されるようになってきて、実際、またUインターの昔のビデオが売れたりっていうのも聞いたりして、そういうちょうどいい時期に旗揚げがあって、タイミング的には良かったなっていうのはありますね。

――冨宅さん自身は"UWF"に対する思い入れみたいなものはあったんですか？

冨宅　いや、僕の中では藤原組の旗揚げが終わった頃には「UWF」は頭から消えて

ましたね。それまではUWFっていう名前とかにこだわりはありましたけど、藤原組旗揚げでスパッとなくなりました。だから田村さんとか垣原さんが「UWF」って言い続けてましたけど、僕なんかはもう全然ないですからね。ないっていうのは嫌いとかじゃなくて、やっぱり（新生）UWFでデビューしたのは、（田村、冨宅、垣原の）3人しかおらんっていう自信もあるし、一から育ててもらったところで感謝してるし、誇りもあるんですけど、それはそれでもう終わったもんなんで、僕の中では完全に過去のものですね。

——それでも今回U—STYLEに上がろうと思ったのは、冨宅さんの「プロレスをやりたい」という気持ちと、「パンクラスMISSION」がリンクした感じですか？

冨宅　そうですね。ホンマにいい感じでいろんなことが重なった感じですね。僕自身、20歳ぐらいの時にこの話があったら絶対断ってると思うんですよ。でも、年齢的にも試合とかでもパンクラスの旗揚げメンバーっていう貯金もかなり少なくなってきましたからね。だからU—STYLEとMISSIONというのは、最後の最後まで取っておいた定期預金を下ろして討って出る感じですね。

——最後の賭けみたいな感じですか？

冨宅　そうですね。今回は初っぱなからメインで使ってもらえるわけですけど、これは「新生UWF出身」っていうのがあるから使ってくれるんであって、ホンマにパンクラスだけの選手だったら田村さんとメインでっていうふうにはならないというのはわかってるんで、これで使い物にならんようだったら後はないですからね。それこそもう引退ですよ。ピーズラボ大阪で毎日、会員さん相手にやるしかないと思ってますから。

——ダメだったら引退の覚悟ですか。逆に言うと今は凄くやる気になってるわけですから、まだそのつもりはないと言うことですよね？

冨宅　そうですね。もちろんパンクラスルールの試合もやりたいし、Uスタイルもやりたいし、マスク付けてのプロレスも、やれるんやったらやってみたいし。

プロレスに頼らずパンクラス一本で最後までやれる髙橋（義生）は凄く羨しい

ふけ・たかく■本名・冨宅裕介。S44年1月30日、大阪府堺市出身。H2年に新生UWFでデビュー後、藤原組、パンクラスと渡り歩き現在はパンクラスMISSION所属。第3回霞ヶ関決戦準優勝、ホリプロ・スカウトキャラバン準優勝の実績を誇る。主なスポーツ歴は、由美かおるのダイエット呼吸法…3日。得意技は青芝フックとハイヤー代水増し請求。また、エセ廣戸道場式整体の特技も持つ。好きな有名人は、桧の川のママとロンチャーズ。好きな食べ物は、ANA機内用スープ（スティックタイプ）。殺人フーリガン、浪速のモーツァルトの異名を欲しいままにし、パリス吉祥寺・上野毛店の閉店セールをライバル視する。なお、入場テーマ曲は堺すすむの「なんでかフラメンコ」（『紙プロHand』で配信予定ナシ）。以上、すべて『紙プロ』選手名鑑2003年度版を参照。

Takaku FUKE

——そっちまでですか（笑）。ヘンな話、パンクラスの所属選手としてプロレスをやることに、後ろめたさみたいなものはありませんか？

冨宅　うしろめたさっていうのはないですけど、旗揚げメンバーで例を出すならば髙橋（義生）選手を見てて羨ましいなっていうのはありますね。プロレスとか他のものに頼らずにパンクラス一本でやってるし、やっていけるじゃないですか。やっぱり本来のパンクラスっていうことに関して言えば、パンクラスで最後までやるっていうのが格好いいとは思うんですよ。でも、いまそれができてるのは國奥は若いから別として、高橋だけじゃないですか。だからそういう意味では凄い羨ましいですね。

——だから、最初の「後輩に負けはじめる先駆者」じゃないですけど、冨宅さんには、改めてプロレスの道があったり、U—STYLEっていう道があったりっていう生き方の指針みたいなものを示してほしい気がしますね。

冨宅　確かにそういう道があることには僕個人としては助かりますし、なかったら辞めてるところですからね。やりたいって言ってももう無理やろってなるやろうし。だから今回田村さんとの試合は、メインということもあるし、責任重大ですね。いまはそれしか思いつかないです。

——いま「UWFとはどういうものか？」っていうのを本質的な部分で知ってる人って随分少なくなってきてると思うんですよ。

冨宅　ああ、僕もそれは感じましたね。道

PANCRASE TOPICS

6.13 新日本プロレス／日本武道館

鈴木みのるが新日本に帰ってきたぜぇ～! 元リングス・成瀬を秒殺!!

13日、鈴木みのるが14年ぶりの新日マット登場を果たした。最初、成瀬にロープに振られそうになった時はロープを掴んで拒否した鈴木だったが、終盤には自らロープに飛んでのドロップキックを披露!! 最後は成瀬のクレイジー・サイクロンをかわして組み付くと、スリーパーのから腰投げで成瀬の脳天をマットに突き刺し、そのまま絞め続けて完勝。試合後は「新日本!! 潰せるもんなら潰してみろ!!」とマイク!!　金本が登場してもの凄い形相でにらみ合いが繰り広げられた。

「帰ってきたぜ～!」とは言わなかったが、やっぱりみのるマイク最高!

6.7 パンクラス／ディファ有明

シュートボクセの刺客 元KOP山宮に完勝!! 8.31両国に新日参戦内定

K-1のリングで子安慎悟を破った実績を持つシュートボクセの刺客ニルソン・デ・カストロがパンクラス初登場。鋭く力強い打撃でKEI山宮をわずか4分で下した!!　カストロは試合後、菊田早苗、近藤有己との対戦を表明。ライトヘビー王座獲りに名乗りを上げた。また、第一試合から熱心に試合を観戦していた上井新日本取締役が、8・31パンクラス両国大会に新日から選手を派遣することを明言!　菊田vsヒート（田中稔）、菊田vs天山など、本誌発・因縁の対決が行われるのか!?　注目!

ショッカーの如く刺客を送り込むシュートボクセ。カストロも強敵だ!

場に会員の人がビデオ持ってきてくれて旗揚げと第2戦を見たんですけど、批判とかやなくて僕が素直に思ったのは、なんか無理にプロレスをやろうやろうとしてる、UWFをやろうやろうとしてるんですよね。だからなんか打撃も軽かったりするんで、見ていて重みっていうのが全然ないなって。それがあったのって、僕が見た限り田村選手と三島選手の試合だけでしたからね。だからそういう〝プロレスをやろうやろうとしてるUWF〟やなくて、プロレスの〝闘いとしてのUWF〟を見せたいと思うし、見せなアカンなと思いますね。

——いまはまだファンじゃなくて、プレイヤー側が〝UWFのプロレス〟のというものを、わかってない気はしますよね。

冨宅　それこそ昔の旧UWFからおる前田さんとか他の人も含めて、UWFっていうのができてかなり歴史はありますから、最後の1年半おっただけの僕なんかがUWFがどうのこうのと喋るのはおこがましい気持ちもあるるんですけど。1年半でもおったっていうのを凄い僕は誇りに思ってるし、その誇りを全面に出して「本来のUWFっていうのはこういう闘いや」っていうのを見せるのは、僕と田村さんがやらんと誰がやるんやって思いますから。

——文字通り最後のUWF、UWFの生き残りですもんね。

冨宅　だから今回はUWF入門以来、自分が学んできたことをすべてぶつけるつもりで目いっぱいやりますよ。せっかく「パンクラスMISSION」という機会を与えてもらって、U—STYLEのメインという舞台を用意してもらったわけですから。僕はパンクラス旗揚げで、一瞬ど真ん中に行きかけましたけど、またずっと隅っこにおって、知る人ぞ知るというか、ここ数年はずっと「誰?」みたいな存在だったんで。田村さんとメインイベントっていうのは、僕の中で久しぶりにど真ん中ですから。ちょっと〝ど真ん中〟ブームは過ぎましたけど(笑)。

——じゃあ、ちょっと遅れてきたど真ん中という感じで(笑)。

冨宅　そうですね。このままずっとど真ん中で行けたらいいですけどね。

——じゃあ、5年ぶりの『紙プロ』登場ということで、前回は「テレビ神奈川宣言」でしたけど、今回は「ちょっと遅れたど真ん中宣言」でいきましょうか(笑)。

冨宅　いや、「ど真ん中」って見出しで出るのはなんかちょっとアレなんで、文章の中でさりげなく紛れ込ませてもらえますか?(笑)。

——ガハハハハ! ちょっとしたズレを微弱な電波でアピールするのが冨宅飛駈流なわけですね(笑)。では、6月29日U—STYLEでは冨宅さん一世一代の〝ど真ん中〟を期待してます!

【03年6月9日/水道橋『ファイティングカフェ・コロッセオ』にて収録】

2003.5.25/横浜赤レンガ倉庫

GCM THE CONTENDERS

宇野薫と三島がタッグで激突!
新星・中原太陽はイリホリと真っ向勝負!

組技限定で夢の対決が見られる舞台として、すっかり定着した『コンテンダーズ』が約1年ぶり8度目の大会を開催した。今回の目玉はズバリ、宇野薫と三島ド根性ノ助の初対決。修斗のリングでも実現しなかった、この日本人中量級屈指の好カードがダブルス(タッグマッチ)とは言え、ごく自然に実現してしまうのがコンテンダーズ魅力だ。三島は植松を宇野は山本KID欠場で急遽出場となった雷暗暴をパートナーに闘ったこの一戦は、個々の積極性で三島組。タッチワークを駆使した試合全体では宇野組優勢という展開。ごく自然に、次はやはり一騎打ちが見たくなる魅力的な攻防だった。

久々の開催となった『コンテンダーズ』だが、今回も実にバラエティに富んだメンバーが揃った。組技限定であるが故に、いろんな選手が参加しやすいのが魅力だ。

DEMOLITION
6月29日(日)東京FMホール
開場/16:30　試合開始/17:30
★チケット情報
全席指定　¥5,500

DEMOLITION atom
7月9日(水)渋谷 club atom
開場/18:00　試合開始/19:00
★チケット情報
前売り¥3500　当日¥4000

※「DEMOLITION　atom」は「メジャー格闘家育成工場」をコンセプトとする新イベント。全5試合を予定している。

予想上の熱戦となったメインの宇野&雷暗暴vs三島&植松のダブルス(タッグマッチ)。15分3本勝負で行われたが、お互い譲らず、アッという間にタイムアップとなった。

修斗のリングでも実現しなかった、宇野vs三島という夢のカードがコンテンダーズで実現! 極めを狙いまくる三島をタッチワークでいなす宇野。実に緊張感のある攻防だった。

柔道着着用の小室宏二は、アブダビ帰りの実力者トイカツ(戸井田カツヤ)から袖車絞めで一本勝ち。試合後、オリンピックを目指し柔道に専念することを宣言した。

慧舟會の新星として期待される中原太陽は、チーム・イリホリと対戦。ヤノタクからヒールを取りかけるなど、噂通りの非凡な才能が垣間見られた。この選手には今後も注目だ!

THE BATTLE FIELD ZST・3
6.1 Zepp Tokyo

構成／堀江ガンツ　撮影／乾晋也
designed by matsu (Two three)

軽量級の“ミルコ”現る!!

童顔の暗殺者 モリカビチュスを見よ!!

いま格闘技界にはミルコ・クロコップ旋風が吹き荒れているが、ここ『ZST』にも、“軽量級のミルコ”と呼ばれる男がいる。それがリングス・リトアニアの小型爆撃機レミギウス・モリカビチュスだ。モリカの闘いぶりは、まさに小さなミルコそのもの。相手の組技を確実にサバいて、強烈無比な打撃でKOする。この日も、足関節狙いの所に対して、グラウンド状態でボディにもの凄いヒジ打ちとパンチを振り下ろして戦意を喪失させて、スタンドでトドメを刺す完璧な仕事ぶり。毎試合、急激に成長するその姿もまさに“ミルコ”。この男の闘いぶりは一見の価値ありだ!

“小さなV・ハン”所英男が開始早々足関を狙うが、モリカは落ち着いて対処。寝技技術も着実に上がってきている。

フィニッシュは首相撲からの強烈な膝蹴り。所はこれで失神KO。意識を取り戻した後、試合が終わったことが分からないほどだった。

初の兄弟タッグ結成で、リッチ・クレメンティ＆ジェフ・カランという強敵を破り、これ以上ない勝利を挙げた小谷ブラザース。

見てみ、この笑顔!　メインを見事締めたご褒美で（?）ZSTガールに囲まれご満悦の今成。彼女達がいる限り、今成は勝ち続ける!

今成の相手ダニー・バッテンは、リー・ハスデル主宰のリングスUK所属。イギリスではリングスを「新戦術」と呼ばせているそうだ。

今成は足関だけじゃない!　得意の三角絞めを餌にして見事な腕十字を極め46秒で一本勝ち!　次はいよいよ三島戦だ。

試合はまず兄・ヒロキが柔術の実力者カランをアキレス腱固めで下し、続いて弟・直之がUFCにも出場しているクレメンティをヒールホールドに極めた。念願のUFC出場に一歩近づいたか?

第1試合は史上初の格闘技6人タッグ。ヤノタクは予想通り仕事を最小限にとどめ、代わりに“エセ・ヤノタク”梅木の活躍が目立つことになった。

9.7 ZST・4 一部カード発表

“エース”小谷大勝負!! あのマット・セラと激突!!

小谷直之［ロデオスタイル］ vs マット・セラ［ヘンゾ・グレイシー柔術］

レミギウス・モリカビチュス［リングス・リトアニア］ vs 坪井淳浩［フリー］

9月7日に開催される次回大会『ZST4』の目玉カードが早くも発表になった!　UFC出場を狙う“エース”小谷直之vsマット・セラが実現!　セラはヘンゾ道場に所属し、UFCやアブダビで実績もある中量級の世界的強豪。小谷デビュー以来、最大の一戦だ!　このチャンスをものにしろ!

THE BATTLE FIELD　ZST4

9月7日（日）Zepp Tokyo 開場 16:30 ／ 開始 17:30
※16:40よりジェネシスバウトを開始予定
【入場料金】VIP（最前列／1ドリンク付）15,000円、
SRS（2列目）8,000円、S席 6,000円、A席4,000円
※当日購入は、一律1000円増し。
【お問い合わせ】ZST事務局03-5321-9595

7月5日（土）午前10時より発売!!

THE BATTLE FIELD ZST

CONTENTS

紙のプロレス RADICAL

2003 NO.63

Main-Event

高田劇場爆発！ 吉田秀彦がまさかの参戦!!

8・10『PRIDE』ミドル級GPに大熱風!!

OH Gun & ZERO-ONE

MMA

Pro-Wrestling

WWE

BRAZIL

Special Gest

Bout Review

Radical Special

Columns

Another

『PRIDE.26』に大熱風!! 7月『OH砲祭り』にも吹き荒れる予感!!

呼べよ風! 吹けよ嵐!

バカの壁をブチ壊せや!!

ドラゴン『PRIDE』初登場!!
イズマイウまたもや自費来日!!
リング外も爆発ダーツ!!

『PRIDE』ミドル級GPに火を付けた
「お前は男だ!」
髙田劇場

月刊Y²談 VOL.06

構成/ジャン斎藤

designed by matsu(Two three)

山口　いやぁ、6・8の『PRIDE.26』は情熱は感じられたし熱風は吹いたしで、まさに『情熱☆熱風◇せれなーで』って感じでバツグンに面白かったね、豪ちゃん！

吉田　元ネタは近藤真彦ですね（笑）。

山口　話題にマッチするだろ（笑）。

吉田　（無視して）確かに試合はもちろん、試合前も休憩中も試合後もあそこまで楽しめた興行なんてホント珍しいですよ！

山口　ああ、休憩明けにやった髙田劇場なんか最高だったよ！　まさか髙田延彦の引退試合のマイク、「お前、男だ！」が、あれだけフィーチ……。

吉田　（思いきり遮って）いや、そっちの髙田劇場は休憩明けじゃないですか。ボクが言いたいのはロシア版『ジャパネットたかた』劇場。つまりヒョードルの『エメねっとTVショッピング』のことなんですけど。

山口　……は？　何それ？

吉田　ほら、日本一プロレス会場で目撃される芸能人として知られる斉藤清六が、あのヒョードルと絡んだじゃないですか。

山口　おっしゃる意味が全然わかりません！　教えてよ。

吉田　休憩中に『PRIDE』携帯サイトのCMがビジョンで流れてたの、見てないんですか？　なぜかあのヒョードルがウサン臭いフォーマルウェアで「なんと！　月々300円！」とか説明したり、一人二役のヒョードルが仕込みのおばちゃんに混じって「安い〜ィ!!」とかリアクションしたりで、冷酷さ以外にキャラが付いてないヒョードルに無理矢理親しみやすいキャラ付けを始めたように思えてバツグンに面白かったですよ。深夜に放送されてるガイジンの口パク通販を元ネタにした方がハマるはずなのに、敢えてお茶の間感を出そうとしたんだとは思いますけど。

山口　確かにヒョードルにはコールマンみたいにバナナ大使になったり、ヒゲ剃りのCMキャラに選ばれたりするような親しみやすさはないよね（笑）。そこが、冷たいというより、ヒンヤリとした涼しい感じがして俺は好きだけど。で、豪ちゃんは試合前も面白かったって言ってたけど、試合前にも何かあったの？　今回は恒例の太鼓もなかっ……。

吉田　（大袈裟に驚いて）えっ、もしかしてそれも見てないんですか⁉　あの日は関係者入り口前で会長（山口日昇のアダ名）とバッタリ会ったのに⁉

山口　いや、だから、おっしゃる意味が全然わからないって言ってるじゃん！　教えてよ。

吉田　あのときボクが関係者入り口に行ったら、なぜか見慣れたガイジンがDSE関係者と揉めてたんですよね。

山口　見慣れたガイジン？　誰？　まさかケント・フリック？

吉田　それはウチの会社がある千駄ヶ谷周辺でよく見掛けるモノマネ芸人！　この場合はイズマイウに決まってるじゃないですか（笑）。

山口　あ、イズね！　そういえば、また来てたなあ。

吉田　どうやら今回も自費来日だったらしくて、受付で止められるなり「俺はフリーパスだ！　ミスター・イノキを呼べ！」ってゴネまくって、会場に入ろうとしてたんですよ（笑）。しょうがないから記者用のパスを渡したら、今度は「リングサイドに行かせろ！」ってゴネまくったらしいですよ。だから、関係者が「これだけ評判のいい大会だったのに、試合が全然観れなかった」ってボヤいてましたね（笑）。

山口　ガハハハ。そういえば、ヒョードルのセコンドにも付いてたでしょ？

月刊Y^2談

吉田　え？　そうなんですか？

山口　（大袈裟に驚いて）もしかして知らないの？……って、今回初めて来日したロシアン・トップチームのボクシング・コーチがイズマイウにそっくりだったっていうだけの話なんだけどね（P19の写真参照）。ガハハハハ！

吉田　（無視して）イズマイウは、試合後の「ダーッ！」のときも確実にカメラに映り込む猪木さんの真横をしっかりキープしてましたね。なぜか呼ばれもないのに出てきたドラゴン（藤波社長）と2人で猪木さんの両脇を固めて（笑）。

山口　うん、ドラゴンがいたのにはビックリした！（笑）。藤波社長はバックステージで、猪木事務所のIさんのことを指して「なんでIがいるの？」って言ってたらしいんだよ。そりゃIさんは藤田のマネージャーなんだから、いるのは当たり前だろって（笑）。

吉田　そもそも、あの日は新日本の鳥取大会があったんだから、ドラゴンこそ「なんでいるの？」って言われるべきなんですけどね（笑）。

山口　突然見に来て、なんでリングにまで上がってるんだって（笑）。そんなドラゴンまで「ダーッ！」をやってるのに、ヒョードルとミーシャだけ無表情で突っ立ってたのも面白かった。あのパコージン（RTT総監督）でさえ喜んでやってるのに（笑）。ホント、そういう意味で『PRIDE.26』は始まる前から終わった後まで面白かった！　ごちそうさま！……って、まだリング外の話しかしてないよ！

吉田　いい加減、脱線してないで本題に入りましょうよ！

山口　それはこっちのセリフだろ（笑）。

Y^2談出席者

●山口日昇
「ささきぃ、灰皿取って」と頼むところを「見出し取って」とトンチンカンに言うほど、なぜか疲れ切っている本誌・鬼畜編集長。しかし、携帯サイト不定期連載コラム「山口日昇の鬼畜日記」が、79日間（6月18日現在）も更新されてないのは疲労が理由ではない。♪なんでだろ〜。不定期って都合の良い言葉ですね。

●吉田豪
プロフィール欄の文字を埋めるために近況を聞こうとするも、徹夜続きで熟睡中（6月18日早朝）の本誌・金髪鬼スーパーバイザー。なので、『ゴン格』から引用。「BURST」「BURRN!」「relax」「TVブロス」「朝日新聞」などで、細々と活躍を続けるビンテージ・ブック・サーファー（古本愛好家）な御方です。

吉田　そういうわけで、まずミルコはK―1から離れたって噂が流れてますね。

山口　お前、また脱線してるよ！　それはミルコの代理人がK―1から離れた離れないっていう話が、関係者の中で絶賛話題沸騰中っていうだけだよ。

吉田　それって大会名も決定したという、噂の総合新組織と関係してるわけですよね？

山口　その新組織の話は、まだまだ設計図ができてない段階でしょ。でも、確かにいろんな動きはあるし、K―1や『PRIDE』を含めて、かなり慌ただしくなりそうな気配はあるよね。

吉田　『PRIDE.26』ではバックステージに、いままでドカッと座ってた関係者が姿を消していたりもしたわけですけど、マット界はまさに〝REBORN〟って感じで再編に向けて動いてますよね。

山口　いま水面下で動き始めてる話がすべて現実化すれば総合格闘技も乱立の時代を迎えるだろうね。猪木さんも『猪木ボンバイエ』を定期的やりたいとか言ってるらしいし、『アルティメット・クラッシュ』を独立させてやっていくという話も当然出てる（笑）。

吉田　さらに猪木さんはアマゾン川での『ジャングルファイト』も毎年やるつもり

みたいですね（笑）。

山口　そのアマゾン決戦は入場料を取らないで協賛金を出さないと観れないらしいけど、「個人が100万円。法人一般協賛は200万円から。冠協賛は2億円」という協賛金の設定からして尋常じゃないよ（笑）。

吉田　ロフトプラスワンのイベントに新聞さんが来たとき、なぜか猪木さんの弟である啓介さんを連れて来てアマゾンの話ばかりしてたんですけど、それがここに繋がるとは夢にも思いませんでしたね。まさか猪木＆新間コンビがアマゾンで完全復活とは（笑）。

山口　面白さと怖さが同居してるよね、猪木さんや新間さんの世代は。正義と悪が同居してるともいえるけど（笑）。そういう総合方面の乱立あるいは胎動の中でK—1は、中西vsTOAみたいに〝異種格闘技的K—1〟を売りにし始めたね。

吉田　「K—1のKは〝キング・オブ・スポーツ〟のK」ってことなんでしょうね（笑）。正直言ってTOAには何の魅力も感じないですけど、中西がこれに勝てばサップと対戦するという流れ自体は面白いと思いますよ。

山口　そのカードにしても、TOAの会見での消化器乱闘事件にしても、角田師範の「ボクはアングルっていう言葉が大っ嫌いなんですよ！」っていう言葉にしても、最近のK—1は異種格闘技チックな方向に針を振ってるよね。というより、K—1がインディーチックにすら見えるときがある（笑）。

吉田　ちなみに消化器乱闘事件のときは、司会者のテーブルが倒れて進行台本が散乱したままになってたんですけど、そこに「ここでTOA暴れる」「角田困ってコメント」とか書かれてたらしいですよ（笑）。まあ、角田師範の怒りに関してはシュート・アングルだと思いますけど。

山口　まぁ、会見だから台本があっていいけどね。試合にあったら困るけど。フランス大会終了後の閉会式ではバンナとアビディの大乱闘もあったよね。フジテレビじゃ放送されなかったけどさ。

ミルコのキャラは完璧。素でああいう行動ができるのは貴重な存在［吉田］

吉田　そうやってK—1がエンターテインメント色を強めつつあるのは、『PRIDE』から姿を消した関係者がK—1方面に拠点を移したからと考えていいんですか？

山口　俺は知らない（キッパリ）。でも、その流れでK—1そのものの軸足が見えにくくなってるよね。今度のK—1ジャパンの中西vsTOAとか武蔵vsアマゾンの大巨人（モンターニャ・シウバ）なんて、良くも悪くもユセフ・トルコがやってた〝柔拳〟の世界を思わせるもん（笑）。

吉田　戦後間もない頃に流行った、柔道家とインチキボクサー（拳闘家）を闘わせる興行ですね。素人の挑戦者をリングに上げてプロが受けて倒したりもしてたっていう。

山口　中西はアマレス上がりのプロレスラーだし、TOAはアマ相撲出身だし、アマゾンの大巨人にしてもバスケ出身だし、みんな打撃の素人だからね。

吉田　どうせなら、本当に素人の挑戦者をリングに上げちゃえばいいんですよね。それで石井館長が「殴られ屋」として登場したら盛り上がりますよ（笑）。

山口　それは夢としても壮大すぎる話だよ（笑）。確かにプロvs素人や、素人vs素人も含めた異種格闘技的な空間っていうのは面白いし、格闘技イベントにとっては必要な要素だよ。だけど、イレギュラーがレギュラーになってきちゃってるでしょ。やっぱりレギュラーあってのイレギュラーだからさ。逆にイレギュラー的空間よりもレギュラー的空間を強化して熱風を巻き起こしたのが『PRIDE．26』だけど、会場にあんなに熱があったのは何でだと思う？

吉田　やっぱり『PRIDE』が一連のゴタゴタでなくなってほしくないっていうファンの気持ちが強かったのもあるだろうけど、最後の最後でミルコを投入したりとかカードを出し惜しみしなかったのも大きいですよね。

山口　たしかにミルコの電撃参戦と、ミルコの異常なまでのモチベーションの高さはインパクトあったよなあ。

吉田　あと、『PRIDE』が仕掛けるアングルってハズすことが多かったじゃないですか。誰かをスターにしようとしたときも、リベンジマッチを組んだときもことごとく失敗してたし。それが、今回はいちいち思惑通りにハマったんだから盛り上がるのも当然ですよ。

山口　アングルというか試合に付随するストーリー展開が、どストレートにハマったよね。今回のカードも、いわゆる「『PRIDE』のド真ん中カード」だったけど、俺らはド真ん中って嫌いでしょ、基本的には（笑）。

吉田　それって、会長がWJを嫌いだってことですか？

山口　そのド真ん中じゃないよ！　むしろ俺はWJが「大好きッ！」だもん（笑）。

吉田　（無視して）まぁ、ボクらはイレギュラーな部分が好きだってことですよね。

山口　つまり、興行や試合にも「ひずみ」とか「ゆがみ」とか「ほつれ」を求めるわけだよね。で、俺らの趣味趣向からすれば、絶対にド真ん中は合わないはずなのに、こんなに面白く感じられるのはなぜなんだろう？ってことなのよ。

吉田 プロレスと違ってガチンコの場合、ヘタにひねったら裏目に出るだけだと思うんですよね。田村vsボブ・サップとか小川vsマット・ガファリとか、これまでに行われてきた会長の喜びそうなひねりの効いたカードは、ファンがまったく喜ばなかったわけだし。

山口 なんで、この話の流れで俺の批判が出てくる！ ひねらない方がいいなら、アメリカのPPVで最も注目されていたマーク（・コールマン）vsドン・フライはなんでああなったの？

吉田 そんなの簡単なことですよ。ガチンコの旬は短いですからね。因縁を寝かせすぎて腐りかけてたことも含めて、失敗の原因は「寝過ぎ」だと思いますよ。

山口 寝過ぎ？ マークは寝坊でもしちゃったわけ？

吉田 いや、試合の前々日に5発、前日に3発ヤッたって噂を小耳に挟んだだけの話なんですけど（笑）。

山口 ガハハハ！ 男だね、マークは……って、何を言い出すんだ（笑）。

吉田 とにかく、それだけヤッてたら試合でスタミナが切れて攻めあぐねるのもしょうがないってことですよ。さすがはバナナ大使というか、マーキング好きというか（笑）。

山口 男の鑑だな、マークは。勝った後だし、そういうエピソードは豪快でいいよ。ホントかウソか知らないけどさ（笑）。だけどマークは、試合が終わったあと、『PRIDE』関係者に「今回はしょっぱい試合してホントに申し訳なかった」と謝ったらしいんだよね。

吉田 なんだか平田淳嗣みたいですね（笑）。

山口 「ドンとの殴り合いを期待されていたのは十分わかってる。ただ、判定でもいいから今回だけはどうしても勝ちたかったんだ。なぜなら『PRIDE』は今回で俺を切るつもりだったんだろう？」って言ったんだって。

吉田 つまり、中年ファイターがリストラされないために結果を出したってことなんですか。切実な話だなあ（笑）。

山口 関係者は「そんなことはない、マーク！ 君の功績は認めているし、今回が最後なんて考えてはいない。今回負けても、また次も上がってほしかったよ」って言ったんだけど、コールマンは「……いや、それは今回、俺が勝ったから言ってるだけだ！」って。生き残るには勝つしかないっていうモチベーションは、試合内容はともかく、なきゃいけないことだと思うしね。

パコージンが言うには「ヒョードルはまだまだREBORNする」［山口］

月刊Y²談

吉田 だけど、ヤーブローに勝った高瀬が再び『PRIDE』に出るまで5年かかったみたいに、勝ったところであの内容じゃ逆に次がなくなると思いますよ。

山口 まあ、「PRIDE男塾、お前にこれができるのか？」って高山vsフライ戦の映像を流されてさんざん煽られた上で、男気の見えにくい試合しちゃったからなあ……。

吉田 その代わり、リング外では男気を発揮しまくってたってことで良しとしますか（笑）。

山口 いいのか（笑）。ただ、試合後に内容が不甲斐なかったことに対して頭を下げた思いも含めて、いまの『PRIDE』のレベルの高さを考えると、シンドイ闘いを受諾してリングに上がってきただけでも凄いと思うよ。甘い？（笑）。

吉田 「マーク、お前も男だよ！」ってことですか？

山口 それは藤田にもミルコにも感じたことだけどね。でも、一歩踏み出す勇気を見せてくれたという点では、髙田延彦統括本部長もグーでしょ！

吉田 前回はあれだけガチガチに緊張してたのに、ちゃんと盛り上げましたからね。スムーズに持ちネタを披露して……。

山口 最後に「サク、やっぱりお前は男の中の男だ！」って言って、サムアップしたときの本部長のあのポーズ！ 目に焼き付いたし、耳に残ったねぇ。

吉田 あれを見てつくづく痛感したのは、髙田ってホントにドラマを演じるのが上手いというか、神輿に乗るのが上手いですよね。

山口 いい意味でね。テーマを与えられて咀嚼したときの本部長は強いよ（笑）。

吉田 アドリブ性を求められる世界だと実力は発揮できないですけど、あの〝髙田劇場〟ではスーツの着こなしも含めて、Uインター全盛期を彷彿とさせましたよ！

山口 そうだね。髙田劇場は、GPへの幕開け感みたいなものが明確にわかりやすく届いて、期待感に繋がったと思う。たとえ作られたドラマの中でも、本部長の訴えたいことや感情のリアルさが見れればいいと思うんだよ。

吉田 桜庭のことを「男の中の男だ！」と髙田が思ってるのは真実だろうし、桜庭がマスクを外さないで「恥ずかしいのでこのまま失礼します」ってコメントしたのもやけに生々しかったですからね。

山口 入り口がドラマからだろうがシュートからだろうが、一周して重なりあえば、それは面白くないわけがないよ。ドラマからリアリティが見えたり、リアルなものからドラマが見えたり、重なる一瞬が一番面白いんだから。

吉田 同感です！ ところで、いま敢えてミドル級トーナメントの煽りとして「お前、男だ」って台詞をセルフパロディにしてみせたのは、最初にその言葉を与えられた田村をトーナメントに引っ張り出すための伏

線だったりするんですか?
山口 それは考え過ぎかなあ。現時点では主催者側と田村サイドで深い話し合いは持たれてないみたいだしね。主催者側は田村に出てきてほしいだろうね。ファンからの出場要望もベラボウに高いし。吉田秀彦がミドル級GPに電撃エントリーしてきたのは驚きだし、それで十分すぎるほど十分だけど、これで田村が出てくれれば、その先に吉田vs田村、サクvs吉田、そしてサクvs田村と夢が広がるでしょ。ガイジン勢は超強豪揃いだから日本勢は全滅する可能性も大きいけど、そのピリピリ感と、もうひとつ重層的な夢が田村参戦によって膨らんでくるのは確かだよね。
吉田 吉田といえば、この前の『いいとも!』で衝撃発言をブチかましてましたね。なんとカラオケ屋でコスプレして松浦亜弥を歌ってるっていう（笑）。しかも振り付けまで完全にマスターしてるっていうから、これは最強ですよ!
山口 「吉田秀彦、おまえも男だ!」って感じだね（笑）。そういうパーソナルな部分がどんどん見えてきたら、このGPでスーパースターになりえると思うよ。ファンとしてはまだとっつきにくいけど、なにせ性能はバツグンなんだから。
吉田 それで髙田劇場に話を戻すと、新間さんは思いっきりダメ出ししてたんですよ。
山口 へぇ~。猪木劇場とは毛色が違うからね。やっぱり、新間さんにしてみたら猪木が一番だろうし、ハプニング的な要素がないとダメってことなんじゃないの?
吉田 シウバが「おまえは」って言われたのを「こんばんわ」と聞き間違えちゃったりの小さなハプニングはあったんですけどね（笑）。まあ、猪木さんの謎だらけなマイクと比べたら、ダメ出ししたくなる気持ちもわかりますよ。
山口 「人生は……嘘と真（まこと）の……きびだんご!」だもんなあ（笑）。
吉田 あれ、会長はどういう意味だと思いました?
山口 単純に考えると、人生は嘘と真が色違いで、だんごみたいに串に重なっていくっていう意味なのかなぁって思ったけど、違うの?
吉田 ボクの推理だと、『グレート・アントニオ』店長の井上きびだんご君が大会2日前に猪木さんと会ったらしいんですけど、きびの奥さんがいま妊娠してるじゃないですか? だから、「きびだんご」→「産まれる」→「REBORN」ってことなのかと思ったんですけど（笑）。
山口 ただ、それだと「嘘と真」の部分は関係ないでしょ。
吉田 それで新間さんに真意を聞いたら、「リングに藤波辰爾がいたんだから、わかるだろ?」ってことで。つまり、新日本の役員会で大ナタが振るわれることに起因してるみたいなんですよ。
山口 ああ、ドラゴンが取締役を降りて、執行役員になるっていう話だよね。

REBORNに炸裂した「お前は男だ!」髙田劇場!! きたるミドル級GPの期待を煽ることに加えて、髙田延彦という"ヒト"の魅力を再確認した瞬間であった。髙田劇場は今号で全文掲載しているが、ぜひ映像でも確認していただきたい

吉田 その辺の人事の話が表に出てることについては、猪木さんも激怒してましたね。要は『週プロ』の『ヤスカクの私的な事件簿』に対する怒りなんですけど（笑）。
山口 ガハハハ。またあの人か! 俺らより全然問題児じゃん。無自覚なんだろうけど（笑）。
吉田 で、新間さんは「藤波は猪木のゴキゲン取りに『PRIDE』の会場に現れて『社長のままでいさせてください』と擦り寄ってきてるけど、その裏では猪木のことを悪く言ってる。そんな嘘と真の男が『猪木さん、ボクにもきびだんごをください』とやってきたわけだよ!」って話でしたね（笑）。
山口 猪木さんも新間さんも深過ぎて、俺にはもう真意がわからない（笑）。
吉田 なんであの場で新日内部の謎かけをしてるんだって話なんですけど、妙に説得力があるんですよね（笑）。
山口 その説が嘘か真かはわからないけど、猪木さんの表現力にはド肝を抜かれるよな。「きびだんご」なんて、ああいう場じゃ出てこないよ、普通（笑）。もっとカッコつけるでしょ、みんな。
吉田 休憩明けといえばアントニオ猪木だったはずの空間を髙田劇場が陣地取りして、猪木さんがどう切り返すのかと思ったら、あのマイクですからね（笑）。
山口 でも、俺の聞いたところによると、きびだんごの「きび」は、人生の「機微」にかけてるらしいよ（笑）。
吉田 じゃあ、だんごは輪島功一にでもかかってるんですかね?
山口 （無視して）試合はもちろん、そういう部分も含めて、本当にいいイベントだったよ。『PRIDE.26』は。特にセミとメインは結果こそ順当だったけど、試合内容はこっちの想像を遥かに超えてたからね。
吉田 ちなみに、ターザンはミルコもヒョードルも負けると予想してたから、「予想がハズれて面白くなってきたよぉ!」と興奮してましたよ（笑）。
山口 もはや凄絶なるボケ老人だな、あのオヤジ（笑）。ターザンの戯言はともかく、藤田が、あのヒョードルをパンチでグラつかせたのには驚いた!
吉田 もはやプロレスも含めて、藤田のベストバウトじゃないですか?
山口 うん。試合後、ロシアン・トップチーム総監督のパコージンに話を聞いたら、「フジタ戦の前は、ノゲイラ戦の練習量と比べたら何分の1だった」っていうから、ヒョードルは明らかに藤田をナメてたみたいだね。
吉田 だから、ノーガードで両手ぶらり戦法をやったわけですか。試合後のコメントにしても「中西戦から比べたら強くなっていた」って、えらい呑気さでしたからね（笑）。
山口 そういう意味では、藤田の作戦は成功したんだよ。5・2の中西戦で手の内を見せなかったことや、ヒョードルとの握手を拒否したり、プロとしての心理戦が効いてたともいえるから。
吉田 バーリ・トゥード初心者の中西相手にタックルにも行かず、あえて不甲斐ないと思える試合をすることで相手を油断させた、と。ただ、藤田に流血させられてからのヒョードルのスイッチの入り方には恐怖を感じましたよ!
山口 あれは凄かった! チョークを極めたときも、あの藤田の身体を亀の状態から簡単にひっくり返すし。戦慄にもホドがある（笑）。
吉田 タックルで片足取られて頭を抱えら

いままでの関係者が姿を消していたり、まさに再編に向けて動いている［吉田］

れても、なぜか全くバランスを崩さないし（笑）。

山口　現時点でも十分とんでもないのに、パコージンは「フジタのパンチはヒョードルにとっていい薬になった。これでヒョードルはもう一度生まれ変わって最強の男になれる」って言ってるんだよ。まだまだ〝REBORN〟するつもりだから、ロシア勢は（笑）。

吉田　これ以上強くなっちゃったら対戦相手がいなくなりますよ（笑）。おそらく、次からはウサギみたいな相手でも全力で潰しに行くはずだろうし。

山口　ヒョードルvs中西も見たいなあ……。

吉田　そういう余計な「ひねり」はいいですよ、もう（笑）。しかしミルコにしてもそうですけど、もはやレベルが違い過ぎて誰がやっても勝てる気がしないんですよね。

山口　ミルコも強い！　恐怖と畏怖と尊敬の念を素直に抱きました。タックルのさばき方にしても尋常じゃない。

吉田　そういえば、クロアチアで放送された『PRIDE．26』の視聴率が70％を超えたらしいですね。

山口　スイスでの（アンディ・）フグの試合と同じ現象だね。実は、ミルコは主催者サイドと試合直前までクロアチアでの放映権の契約問題で揉めてたんだよ。ビジネスでもリング上と同様に厳しいんだよ、攻めが（笑）。一度は荷物をまとめて帰ろうとしたらしいからね。

吉田　いちいち期待通りですね！　そのドス黒さ、まさに黒コップですよ（笑）。

山口　つまりミルコはビジネスマンとしてもリングの中と同じで、高田本部長が言うところの「ミルコ型」の戦略がキッチリとあるわけ。純粋な男気をストレートに見せる選手も素晴らしいけど、ミルコみたいな冷たい斬れ味がないと勝てないんだよ、試合もビジネスも。人が嫌がることを平気でやるぐらいのハートの強さがないとさ（笑）。

吉田　今回、来日したときに記者が「調子はどうですか？」って聞いたら「オマエらはいつも同じ質問ばっかしやがる！」って大激怒したっていう話にしても、完璧じゃないですか（笑）。

「人生は……嘘と真のきびだんご！」大会を締めたのはアントン総帥だ!!　アマゾン『ジャングルファイト』の開催、大幅な人事刷新がなされると噂の新日本株主総会など、アントン発の動きには、マイク共々に目が離せない！

山口　すべてにおいて強烈なリアリティがある。ヒース戦を「戦争だ！」って言ったのも説得力あったでしょ。

吉田　そういう発言にリアリティを出せるのは、ヴォルク・ハンやブランコ・シカティックみたいな人を殺せる目をしている選手ぐらいですからね。サップみたいにキャラを演じているわけでもなく、素でそういう行動ができるのは貴重な存在だと思いますよ。

山口　つまり、ミルコはリアリティと自己演出が一周グルリと回って一緒になっている最上級の〝プロレスラー〟だよね。自分で思い描くハードルの高さに、現実を追いつかせてる。日本の格闘家には薄い、「とにかく強い奴とやってやる！」というモチベーションも紛れもない本物だしさ。ヒョードルとやったらもの凄いことになるだろうね。

吉田　ちなみにターザンも『SRS・DX』の表紙で「ヒョードルvsミルコ、もうやるしかない」って書いてたんですけど、本人に聞いたら「ホントはやらないほうがいいんだよぉ。読者のニーズを考えてそう書いただけですよぉぉ！」ってことでした（笑）。

山口　やっぱりスカラー波で頭をやられてるな、あのオヤジ（笑）。しかし、つい最近まで格闘技はターザンは「マット界は凪の時代」って言ってたけど、あの日の横浜アリーナには熱風が吹いてたよ！　高瀬にしても素晴らしい一本勝ちだったしさ。

吉田　強いガイジンから一本取るなんて、『PRIDE』では相当久し振りですよね。

山口　高瀬は入場のセルフプロデュースをやめれば、もっと良くなると思うな（笑）。どうしてもああいうところにセミプロ感やアマチュア臭さを感じちゃうんだよね。

吉田　松浦亜弥で入場するのは吉田秀彦仕込みの可能性が高いんですけど（笑）。

山口　そういうレベルじゃなくて、もっと御輿に乗りきっちゃう度量を身に付ければ高瀬はもっと良くなるよ。そこで話を核心に移すと、養老孟司さんの『バカの壁』っていう本が今回の話の重要なキーワードになるんだけど、あれ読んだ？

吉田　（あきれたように）……ああ、また養老さんの話ですか？　『文藝春秋』掲載の「バカの壁とタマちゃんと白装束」って養老さんの原稿は読みましたけど。

山口　これ、メチャメチャ面白い本なんだよ！　タイトルからして抜群にいい。いまのマット界に送りたい言葉だね。だって、「バカの壁」を常々感じることが多いもんねぇ（笑）。

吉田　剛竜馬とかに対してですか？

山口　それは「バカ」違い！　実は俺もまだ全部読んでなくて、さっきスモーノブ（編集部から一度脱走し、今年始めに電気部に電撃復帰した本誌編集力士）から聞いたんだけど……。

吉田　（遮って）なんで、まだ読んでない本を重要なキーワードにしてるんですか！

山口　（無視して）とりあえず、ノブに説明させようか？　ノブ！　出てこいや!!

ノブ　どすこ〜い。なんでごわすか。

山口　スモーキャラはいいから、ちょっとこの『バカの壁』の話を豪ちゃんにしてよ。

ノブ　な、なんですか、いきなり。

山口　まず情報は変化しないけど、人間は変化するっていう章の説明をして。そんな話が載ってたんでしょ？

ノブ　えーっと、さっき気付いたんですけど………説明できない自分がバカだってことに気付きましたね。

月刊Y^2談

「人間」のモチベーションが変化しているからこそ、あれだけ熱の質量を生んだ［山口］

山口　ガハハハ！　バカの壁は己の中にあり！

ノブ　いや、だから、一般的には人間は変化しないで、情報は変化するって思われてるわけですよね。（編集部のテレビを指差し）たとえば、「このテレビは古い」という情報は変わらないですよね。

吉田　そう？「このテレビは新しい」だったら、古くなれば変化するじゃん。

ノブ　むむ！　ぐぐっ……。

山口　いまの突っ込みでよけいに説明できなくなるぞ、このバカ（笑）。

ノブ　いやいや、「２００３年6月のテレビは新しい」ってことは変わらないですよね。だから……。

山口　（遮って）ああ、もう面倒くさい！もうあっち行って。あとで読んで読者の皆様にわかるように書き加えるから、キミは帰っていいよ！

吉田　あとから会長が頭の良さげなことを言ってるように構成するんですか（笑）。

山口　俺は最初から頭がいいもん！（子どものように）

吉田　もはや中卒とは思えないぐらいですよね（笑）。

山口　（無視して）で、この本の話に戻るとね、さっきチラッと読んだら、要はこういうことだと思うんだ。普通、「情報」は日々変わっていって、それを受け止める側の「人間」は変わらないと思われてるよね。

吉田　はいはい（興味なさそうに）。

山口　でも、養老さんは、それが実はあべこべの話だと言ってるわけ。人間は寝ている間も含めて成長なり老化なり、日々変化している。昨日の寝る前の「私」と今日起きたときの「私」では明らかに別人だと。去年と今年でも全然違う。毎朝、生まれ変わったという実感がないから、変化していると思わないだけでね。で、日本なんか特に「変わらないことが美徳」みたいなところがあるでしょ。

吉田　はいはい（退屈そうに『週プロ』をめくり始める）。

山口　で、日々変化していると思われてる情報こそが、実は一番変わらないと。例えば「万物は流転する」という言葉は大昔からギリシャ語として一字一句変わらないまま残ってる。でも、俺たちはいま言ってることと1年後に言ってることは微妙に変化していったりするでしょ。だから、実は生き物である「人間」が常に変化していって、モノである「情報」は固定されている。一般の考え方とまったく逆だと養老さんは言うわけよ！

吉田　それと『ＰＲＩＤＥ』に何の関係があるんですか？

山口　つまり、その「人間」が変化していくっていうところに『ＰＲＩＤＥ』の重要なテーマがあるんだよね。たとえば、3月の『ＰＲＩＤＥ.25』での髙田本部長は、タイトルマッチの認定証を読み上げるときに「ドリームステージエンターテイメント」と言うべきところを「ドリームステージエンタープライズ」って言っちゃったほど緊張してた（笑）。

吉田　どんな統括本部長だよって感じでしたよね（笑）。

山口　でも、今回の髙田劇場ではあそこまでやった。3ヶ月で変化したわけだよね。藤田にしても、中西戦から1ヶ月であれだけ変わった。

吉田　……あれ？　さっき中西戦は弱く見せるための作戦だって言ってましたよね？

山口　（ムキになって）あれから打撃が上達したんだよ！　だから、実は『ＰＲＩＤＥ』という舞台やバーリ・トゥードという状況、つまり「情報」そのものは永遠に変わらない。でも、『ＰＲＩＤＥ』のスタッフや関係者、選手、それを見ているファンたちを含めた「人間」のモチベーションが変化しているからこそ、あれだけ熱の質量が多くなったと思うんだ。やっぱり表向きだけ変えても、関わってる人間が変化していかないと舞台も変わらないからね。『ＰＲＩＤＥ』は「バカの壁」を突破しつつあるよ！

吉田　……なんか強引な気がしますけど、軽くフォローすると髙田にしろ藤田にしろ、大舞台での敗戦なりで恥をかいたのをリカバリーしたのも大きいんでしょうね。髙田も『週プロ』で「公の前で、触られたくないところを触られるような恥をかくってことがどれだけ大事なことか」って言ってたじゃないですか。

山口　「橋本には、ホントに人間の根っ子の部分で恥をかくことができちゃった強さがある」って絶賛してたんだよね。俺も髙田本部長から直接聞いたけど、破壊王は〝1・4事変〟と言われた小川直也戦でとんでもない仕打ちを受けたでしょ。

吉田　ガチンコ暴走で潰され、さらには「負けたら即引退マッチ」でも負けて。

山口　髙田本部長は「彼はノーアングルで受けた」って表現をして、「それまで橋本に抱いてたみんなの想いと対極にある姿を見せてしまった。誰も予測しない、本人も予測しない姿をいきなり公衆の、大衆の面前でさらけ出すことになった。普通だったら潰れてるよ。１００％潰れる。でも、そこから彼が歯を食いしばって立ち上がった。いろんなことがあったと思うよ。でも、『なにクソッ』と立ち上がっていまがあるというのは、恥をエネルギーに転換した証であると思うんだ。逆に言うと、それを経験できたというのが、もの凄く大きいことだよ。だって、いまノーアングルで恥を掻けるレスラーなんて、ひとりもいないだろ」って言ってたね。

吉田　ローアングルでパンチラを撮って恥を掻いたのは田代まさしでしたけどね（笑）。

山口　（無視して）「全てのものを彼（橋本）は飲み込んで消化して立ち上がった。さらに、次の手、また次の手に打って出る。そういう意味では、カッコイイところばっかり見せてるヤツが橋本にかなうわけがない」とまで言ってたよ。「根っ子の大もとのところを叩かれても、潰れちゃいけないんだ」ともね。

吉田　さんざん恥を掻き、そして叩かれてきた男が言うと説得力が違いますねえ。

山口　そこだよ！「恥を掻いたその瞬間から違う風景が見えてくる。見えなかったものが見えてくる。風景が変わればそこで目を閉じてもおかしくはない。でも、そこで立ち上がらなければ〝ＲＥＢＯＲＮ〟し

「イズマイウを探せ!」……と言うまでもなく、アントン総帥にピッタリ寄り添い目立ちまくりのイズ。本文中にも触れられているが、ロシアン・トップチームのコーチは、とにかくイズにそっくりだ! そして、ドラゴンが純白の『PRIDE』のリングに初登場!! 閉会式では、『PRIDE』、K-1、新日本など、ジャンルを超えたメンバーが集結したのだ

たとは言えない。違う風景が見えた瞬間に自分が生まれ変わり、なおかつトライしようとすることが"REBORNする"ってことだよ」って言ってたね。破壊王の話を導入にして"REBORN"の定義をわかりやすく語ってくれたんだけど、ヒクソン戦を通過した髙田本部長だからこそ実に説得力があるんだよね。

吉田　敗北をプラスにしたってことですよね。そういう意味で破壊王は、まさに「負け太り」って感じだと思いますけど（笑）。

山口　破壊王は、常に"REBORN"してるよね。プロレスの世界で。『OH祭り』も開催されることが正式に決定したし、オーちゃんにもぜひ弾けてほしいなあ。いまのオーちゃんが悪いっていうんじゃなくて、プロレスだろうがバーリ・トゥードだろうが、一段高いレベルを求められるのは仕方ないことなんだから。

吉田　小川がイマイチ弾けられないのは、まだ恥を掻いてないからじゃないんですか？　結局、恥を掻かせられるだけの相手がいないのが小川にとって最大の欠点だと思うんですよ。

山口　だから、タマが揃ってる総合格闘技の方面にニーズが行くんだろうね。いまのプロレス界には小川に恥を掻かせるだけのタマが磨かれてないから。

吉田　前に猪木さんは「かいてかいて恥かいて、裸になって見えてきた、本当の自分の姿」ってメッセージを破壊王に送ってましたけど、小川はまだ本当の自分の姿を見せられないでいるというか。

山口　それに比べたら、猪木さんは人一倍恥を掻いてきてるからね（笑）。マスコミを集めたのに動かなかった永久電機の会見にしてもさ。猪木さんの恥を掻くレベルは髙田本部長や破壊王とは周波数が違うよ！（笑）。

吉田　つい最近も、新間さんには「あと三日待ってくれ！　三日で電機が動くから！」って電話掛けてきたらしいですよ（笑）。

山口　ガハハハ。ただ、問題は破壊王だよ。これから7・6両国、『OH祭り』と大一番が控えてるときに右ヒザをやっちゃったからね。ヘタしたらノーアングルで当分出れないみたいなんだよ。

吉田　そんな状態でも破壊王は相変わらず元気らしいですよね（笑）。

山口　そう！　ZERO－ONEにとっては切実な状況なんだけど、いつもの調子で松葉杖を壊しかけたり、車椅子を破壊したり、スチュワーデスをからかったりしてるんだから恐れ入るよ。この先どうなるか現時点ではわからないけど、絶対に潰れない、ヘコたれないように自分を変化させていく破壊王は凄いね。

吉田　思わずサムアップしたくなりますね（笑）。

山口　（会心の笑みで親指を立てて）破壊王、やっぱりお前は男の中の男だ！

吉田　たとえ右ヒザを負傷したって、マークみたいな方面でも男気を発揮しそうだから期待できますよね。前にサスケ社長が膝を怪我したとき、アオ●しようとして地面のコンクリに膝を強く打って洒落にならないことになったような感じで（笑）。

山口　お前も、最後まで余計なネタを引っ張り出してくるね（笑）。まあ、サスケ社長も今回の騒動でいい恥を掻いただろうし、恥を掻けばそれが成功に繋がるはずだから。

吉田　会長が中卒という恥をプラスにしたようなものですね（笑）。

山口　そうそう……って、うるさいよ！

【03年6月某日／編集部にて収録】

成田会見＆永久電機を追いかける不定期連載

ANTON談

アマゾン『ジャングルファイト』決戦敢行！　雲行き怪しい新日株主総会！　そして、永久電機も始動間近！……ということで、アントン総帥周辺の動きが慌ただしい！　「いつものこと」だと聞き流さず、夢と浪漫の心を持って、アントン言霊を聞け!!　（ジャン斉藤）

アマゾン決戦正式決定!! 永久電機もいよいよ発進!!

中西、K―1参戦

ハッキリ言えば、10年早く目を覚ませばアイツ（中西）の天下だったな、と。でも、こないだの5・2（藤田戦）から始まって、勝ち負けよりもファンの心というか、それが（中西には）わかる。レスラーというのはお客さんの心を掴むとか、「何を求められてるのか？」というのに敏感に反応できないとプロとはいえない。プロという名前はいっぱいあるけど、プロ中のプロはホントにいないですから。（TOA戦の）結果はともかく、次のプロレスのリングに活きてくるんだろうと思いますよ。そういう体験が厳しい闘いであればあるほどね。今回、彼が思いきって決断したということを評価しますよ。ある意味で彼はレスラー仲間から「馬鹿」にされていた部分があって、英語で言う「チキン」というか、心の小さい部分を言われていたわけですけど、そんな奴が乗り出して行くんですから面白いですよね。

G1クライマックス猪木推薦枠

ズバリ言って知らねえですね。俺の名前を新日本が散々疎かにしてきて、いまになって使うというのは、正直言って迷惑な話でね。盛り上がっているところに水を差す話で申し訳ないんだけど、俺も60（歳）超えたら少しはワガママをね。自分の心地よい世界で生きたいなと思うんで。まぁ、（俺の名前を）好きなように上手く使えとしかメッセージを送れませんね。正直なところで言えば、俺がワクワクするような話をもってきてくれよと。

挨拶できねえ奴はクビだコノヤロー!!

要するに時代がこれだけ変化してるのに（新日本は）あまりにも鈍感というか。俺が敢えて一歩引いたような態度を取ってきた責任もあるんですけど。今回は「怒る」「怒らない」と言うより、30年という歴史を積み重ねてきて、次の15年、30年に向けて意識改革をどれだけ成されてるのかと。5・2でも格闘技系からプロレス系から賛否両論言われてるわけだけど、それも結局新日本の姿勢をハッキリ打ち出せないところに問題があったと思うんだよね。その姿勢を打ち出さなければ、いまの現行体制や、新しい体制をつくるにしても、エネルギーや元気が沸いてこなければ（できない）。いまいろんなところでイベントをやらせてもらってますけど、俺が顔を出すと、挨拶一つとっても凄く気持ちいいというか。かつて俺のスポンサーであった佐川急便も挨拶が徹底してましたけど、元気がある会社はそういうもんです。でも、新日本は（会社の）ドアを開けても挨拶がねえですから！　そんなバカヤローどもは叩っ斬れって!!（怒）。今次、帰ってきたときに挨拶できねえ奴は叩っ斬れるゾ、コノヤロー!!　「大きな声を出せ！」というのは、何年も前からのテーマで言ってきたんです。それすらやってない。なぜ俺が「気合いを入れてください！」と皆さんに期待されてるかというと、要するに脳の活性化の問題なんです。「気合いを入れてください！」と一歩踏み出してきた時点で脳が活性化されて、そこで「バチーン！」って一発喰らった達成感というか、怖さにチャレンジにした刺激が全身に渡って元気が出るんですよね。結局、俺が言いたいのは、元気＝いまの会社のあり方というか。その辺が社長といえどもできないようだと叩き斬るぞと。こないだぁ、蝶野に怒鳴りあげてやったよ、俺はもう！　隠す必要もねえけど、「バカヤロー！　コンヤロー!!」って!!　要するに人を引っ張っていくのに、よっぽどの理由がない限り、約束事の時間を守らないのは、仕事ができるできない以前の問題ですよ（※編集部注・アントン総帥出席の役員会議に遅刻した人物がいた模様。あの武藤に「アイツとは待ち合わせしない！」と言い切られるほどの遅刻魔と知られる蝶野と推測される）。

株主総会の情報を流したのは誰だ、オイ!!（怒）。

（人事刷新の関しては）俺もいまさら怨念は買いたくないんでね。俺が陣頭指揮を振るってるのであれば、風当たりもあっていいけど、人事に関しては俺は触らないようにしてます。株主総会の多少の情報は知ってますけど、いまここで皆さんにいう話じゃないと思いますんで、正式に新日本からの発表を待ってください。ただね、企業の情報がズルズル流れる会社がどこにあるんだよ!?（※編集部注・新日本社内システムの刷新情報が某誌で掲載。許してちょんまげ！）。我々は皆さんに情報を流して支えられてきたわけですけど、核心の情報が事前に流れたら情報じゃなくなってしまう。そういう情報を垂れ流しになってるシステムも含めて、皆さんに申し上げることはできない。正式に新日本から発表があるまで待ってください。まぁ改革に関しては、俺は〝ある人〟に任せました。良い方向に進むと思いますよ。

『猪木祭り』inアマゾン決定!!

アマゾンのイベントが正式に決まりました。アマゾン川の上でイカダを組んでリングをセットするわけですけど、観客は2、300人が限度なんですよね。日本からも「ぜひ見たい！」という人も出てきてるん

ですけど、限定されたイベントになりますね。向こう（ブラジル）ではプロモーションのＤＶＤもできたみたいで。これですね、『ジャングルファイト』（と、タイトルが付けられたＤＶＤケースをカバンから出す）。入場料は関係ないです。ブラジルのテレビ局や州がスポンサーになってくれるんで。あと俺がスポンサーになればいいかな。最近、小金持ちなんでね、俺も。ダーッハッハッハッ！

アマゾン決戦のテーマとは？

いままで俺の興行は社会問題、あるいは平和問題、環境問題などと関わってきましたけど、今回はアマゾンの環境問題を世界に発信するのがテーマになります。我々は環境問題に取り組んできた長い歴史がありますけど、やはりここで意表を突くというか。あと柔術系ファイターの犯罪が結構、関係者の間で問題になってるですよね。夢を売る選手が（犯罪に）手を染めないための、ある意味でのキャンペーンだったり。イベントには俺が関わってる『ＰＲＩＤＥ』、Ｋ－１、新日本の力を借りられればいいかな。まぁ力を借りられなくれも、「出たい！出たい！」というロス道場の選手がたくさんいますんでね。前日にマナオスの大きな会場で前夜祭をやるかもしれない。「見たい」「やりたい」というのはいっぱいるわけですからね。またイズマイウがブラジルに行ってるんでね。俺が次に帰国するときには正式にいろいろ発表できると思います。ンムフフフ！

アマゾン決戦は環境問題がテーマ 中国からもイベントの依頼がきている

世界戦略は続くよどこまでも

こないだグアムに行ったとき、ショッピングセンターのエスカレーターで大人２人と子供が転倒していてね。興奮して立ち上がろうとするから、またゴローンっと倒れちゃって子供が下敷きなってるんですよ。俺が駆け上がって助けたら、それがグアムの知事の奥さんらしくて、あとから知事にお礼を言われて「グアムにも元気を持ってきてください」と。それで今度の７月３日、グアムのお祭りに呼ばれています。あと具体的な場所は言えませけど、ＳＡＲＳ問題の中国からも依頼があるんですよね。「元気を与えてください」ってね。とにかく何だか知らないけど、元気が一人歩きしてます。元気でメシを喰わせてもらってますよ。ダーッハッハッハッ！

●

いよいよ「永久電機」完成間近

俺も狼少年になってますけど、今度帰ってくるときは右手を挙げて帰ってくると思います！ そんときは楽しみにしていてください。ンムフフフ！

●

アントン総帥の次回帰国は６月25日を予定している。はたしてアントン総帥は「ダーッ！」と右手を突き挙げて、永久電機完成を報告できるのか!?

人生は嘘と真のキビダンゴ！ ンムフフフ！

●

『ジャングルファイト』プロモーションDVDジャケットも公開！ アマゾン決戦実現の興奮のあまり、ピンボケしてしまうほどの会見になったのだ！（言い訳）。

そして、衝撃のアントン会見の２日後の６月13日、“昭和の仕掛け人”新間寿氏が『ジャングルファイト』開催を正式発表ッ‼ ホ、ホントにやるんだ……。

日時は９月14日、アマゾン州統領エドワルド・ブラガに所在するホテル「アリアウ・ジャングルタワー」前の入り江で行われる。当地には原生林が生い茂っており、まさしく、ジャングルファイト‼ ホ、ホントにジャングルでやるんだ……。

観客はアントン総帥のコメント通り、２００人限定。入場料は取られないが、観戦者は協賛金の提供が条件付けられることになる。ビックリ仰天することに、その協賛金は個人が１００万円！ 法人協賛は倍の２００万円‼ 同冠協賛する場合は倍の倍をはるかに飛び越えて、２億円を支払うんだって！！……これ、尋常じゃないですね。浅草キッドの開運ワイドショー『ド・ナイト』で紹介されてもなんらおかしくない高額商品！ アマゾン決戦は骨の髄までブッ飛んだイベントになるのだ！

新間氏によると、「協賛は『東京スポーツ』さん、『週プロ』さん、『ゴング』さんにお願いしたい」と、一部媒体の名前を協賛候補に推挙。マスコミの場合は、いかほどの協賛金になるのだろうか？ アマゾン決戦を契機に再浮上した『世界格闘技連盟』設立を含めて、数々のアントン・ドリームプロジェクトを追い続けてきた本誌の名前が挙がらなかったのは残念な話だが、到底支払える金額ではなさそうなので、この場を借りて勝手に辞退させていただく。

この協賛金の使途方法はというと、環境問題がテーマなだけあって、アマゾンの原生林を購入。その土地は一切の伐採せず環境破壊から保護することになり、協賛金提供者の記念樹を植えるプランとなっている。

「記念樹はともかく、試合は見たい！ でも、１００万円も払えない！」という、ボクを含めたチンケな小市民の方々には、ＰＰＶでその模様が伝えられる予定だ。ＰＰＶ受信料が目ン玉が飛び出る金額になる恐れもあるが、ＰＰＶ放映に関する詳細をドキドキしながら待とうではないか！

気になる参戦選手だが、新間氏が、新日本の上井取締役、パンクラス尾崎社長から参戦の約束を取り付けた模様。『ジャングルファイト』だけあって、獣の神であるライガーや、虎殺しがライフワークの髙橋義生が登場するのだろうか？ そもそもアマゾンに虎っているのか？ とりあえず、イベント成功に向けて、現地で奔走しているイズマイウが出場するのは濃厚だろう！ おめでとう、イズ！

会見の最後に新間氏は、「歴史をわからず、（ＩＷＧＰ）ベルト争奪戦に参加しているのは、勉強不足」と、ＩＷＧＰ封印問題を再炎上‼

どうにもこうにも止まらない、アントン総帥＆新間氏、最強ダーッ！

●マット界の1ヶ月丸わかり●

紙の新聞

5/22→6/18

編集長／スモーノブ
文／ささきぃ

唐突に肉体改造を始めたかと思えば、ロッテのキャンプに災いをもたらしたり、タクシーに追突されたりと今年のドラゴンは発言よりも、行動が抜群に面白い！「藤波ワールド」構想は社長のくせに決定権は持たされておらず、家庭の主導権はかおり夫人に奪われた中年男が最後に駆け込んだ「俺の城」ということなのだろう。今年の株主総会で新日執行部の大刷新が噂される中、ドラゴンは社長の座を死守出来るか!? そんなわけで今月も行ってみよう!!

5/31

【WJ】

永島事務員が電流爆破戦でレフェリー!?

この日のWJ広島大会で長州は大森に敗れ、永島事務員は大仁田に敗れた!? 6/29札幌大会で組まれた長州&越中vs天龍&大仁田の電流爆破マッチを不服とし、「あらゆる反則OK。レフェリーは永島事務員」などと書かれた公約状にサインをしなければ札幌大会出場は白紙にするとの邪道要求を受けていた永島専務。大仁田の試合後、永島専務はこれに渋々サイン。大仁田が引き上げると「ド素人がレフェリーできるかって!!」と、やるって節でマジ怒り。長州も「大仁田とは札幌で最後。コメント出すことでもないけど、ケジメとしてやるだけ」と素っ気ない。WJから邪道劇場が消える!? んなわきゃない!!

5/26

【新日本プロレス】

サスケ議員、中学校でUFOのススメ!!

教育問題を公約に掲げる岩手県覆面議員、ザ・グレート・サスケが26日、グランドに芝生を取り入れた横浜市の中学校を視察に訪れた。芝生に座って生徒たちと話し「芝生が、子供たちにいい影響を与えている」と感動したサスケは「岩手でも、ぜひ導入していきたい」と、元さわやか新党・高田延彦ばりに意欲的に語った。明日から修学旅行に出かける生徒たちには「皆さんが行かれる岩手県衣川村は、日本一星がきれいな所です。もしかしたら、UFOも見られるかもしれません。私も一度見たことがある」と、サスケらしく挨拶。衝撃事実に、生徒たちからはどよめきが起きていた。

6/2

【WWE】

"銀髪鬼"逝く……ブラッシー氏が死去

2日(現地時間)、"銀髪鬼"として日本中を恐怖のドン底に叩き落した伝説の名レスラー、フレッド・ブラッシー氏がニューヨーク市近郊の病院で死去した。享年85歳。力道山のライバルとして名勝負を繰り広げたことで、日本でもよく知られていたブラッシー氏。試合前にヤスリで歯を研いで相手に噛み付くブラッシー氏というショッキングな映像がお茶の間に流れ、お年寄りがショック死するという事件も起こり、一大センセーションを巻き起こした。近年もWWEにたびたび登場しており、『LISTEN YOU PENCIL NECK GEEKS』という自伝を出版したばかりだった。ご冥福をお祈りいたします。

5/27

【全日本プロレス】

馬場さん復活で元子さん大フィーバー!?

ジャイアント馬場さんをキャラクター起用したパチンコ機『ジャイアント馬場のCRアッポー!』の発表会「ジャイアント馬場復活祭」が都内で行われた。復活祭では、川田利明、渕正信、小島聡が除幕式を行い、パチンコ台の完成を披露。元子さんが壇上から「馬場さんも、とっても喜んでると思います」と笑顔で語った後、全日本の株を譲渡したことを発表した。「馬場さんの全日本は、30周年のときで私の中ではもう終わったと思ってます。新しい全日本を、自分たちの全日本をやっていけばいい。今の私は、新しい普通の生活をしています」。元子さんはコメント後、舞台上で試打を行い、大当たりが出ると笑顔でガッツポーズ、フィーバーを連発していた。アッポー!!

5/24

【アルシオン】

サンボ女王フジメグプロレスデビュー!

ディファ有明大会でサンボ全日本王者"フジメグ"こと藤井恵が吉田万里子相手にプロレスデビューを果たした。フジメグが指導するAACCに吉田が練習に通いだしたのがきっかけで実現したこの一戦は予想を遥かに上回る好勝負に。5分3Rという以外は3カウント、エスケープ有りのプロレスルールで行われたが、一進一退の攻防の連続に会場は大興奮!! 最後は3R3分30秒、吉田がクルリと丸め込み3カウント奪取!! 試合後、マイクを握った吉田は「藤井選手、今日はありがとう! 次はタッグを組みましょう」とフジメグとガッチリ握手し、近い将来のタッグ結成を約束した。

5/22

【WJ】

ボウリング・フォー・ど真ん中を宣言!

ヴァーッ!! この日の後楽園大会で健想から「テメエ、長州のイエスマンじゃねえかよ!? 」「この小長州!」と客前でボロクソに批判されてしまった我らが健介。控室に戻った健介は、「健想の気持ちは買いましたよ」と語った後、謎の理論を披露した!「WJも『ド真ん中』って走ってきたけどね、真っ直ぐだけじゃストライクは取れない。思いっきりスピンかけて、全部ぶっ倒してやる!! これは例えてるけどね。いいじゃないの、健想みたいなガータがいても。それがWJのカラーだから」と"ボウリング・フォー・ド真ん中"な持論を展開。きっとマイケル・ムーアよろしく「恥を知れ、長州」と噛みつくはずだ!!

6/13

【新日本プロレス】

高山、"超新星"中邑を返り討ち!!

全8面ある客席のうち、3面が黒幕に覆われた武道館大会で5度目のNWF王座防衛戦に臨んだ高山は、開始早々中邑の飛びつき三角絞めでダウン!! ここで高山の巨体を踏みつけフォールするなどふてぶてしい態度を見せた中邑だったが、タックルに入ったところに強烈なカウンターのヒザ蹴りがモロにHITしてダウン!! ここからは高山の猛攻がスタートして最後は怒涛のニー4連発からエベレスト・ジャーマンで完勝した。高山は7/4の後楽園大会では初のプロデュースを手掛けて、魔界相手に1vs4の猪木を上回るハンデ戦を行うことが決定!! 高山包囲網はさらにせばまった!!

6/8

【全日本プロレス】

武藤&嵐コンビが世界タッグ王者に!

全日本プロレスの横浜文化体育館大会で行われた「世界タッグ王者決定トーナメント」は、武藤敬司&嵐組が優勝!! 1日2試合の過酷なワンナイト・トーナメントだったが、武藤&嵐は一回戦でギガンテス&ザ・グラジエーター、決勝戦では小島聡&ジミー・ヤンを制して第48代世界タッグ王者となった。あまり嬉しそうな写真には見えないが、武藤はゴキゲンで「嵐とベルトが取れて感無量だよ。ベルトは全部、嵐に巻いてくれ」と指示。両肩と両足にベルトを巻いて、やたら貫禄の出た嵐も「このベルトを持ってアメリカやヨーロッパで防衛したい」と壮大な野望を語れば、「いい欲だ! アメリカといったら俺しかいないだろう」と武藤もノリノリ。三冠ばかりが注目を集める現在、世界タッグは輝きを取り戻すか!?

6/6

【NOAH】

永田、田上に激勝! だが新日本では……

超満員の日本武道館大会で眠れる"休火山"が大噴火!! シリーズ開幕戦に「突然ですが……」と乱入してきた永田と田上が激突した。田上は試合序盤からいきなり大爆発!! リング内外でノド輪落しが炸裂して、永田は大ピンチに追い込まれた。しかし、永田も田上の腕にターゲットを絞り、最後は雪崩式エクスプロイダー、バックドロップ2連発と畳み掛けてナガタロックIIIでギブアップを奪った。観客も大盛り上がりだったが、その1週間後の新日本武道館大会では柴田勝頼を相手にリングアウト負け。あまりに対照的な内容から浮き彫りになった新日での居場所のなさに同情したくなった。

6/3

【LLPW】

風間、神取に現ナマ500万円叩きつける

不景気と言われて久しい女子プロレス界だが、そんな沈滞ムードをぶっ飛ばす記者会見が行われた。千代田区の東條会館でLLPWが記者会見を行い、この席で6/26国立代々木競技場第二体育館大会のカードが発表されたのだが、事件はその会見後に発生した。7/13横浜文体大会を発表する神取社長に風間が詰め寄ると、城南電機の故・宮路社長ばりにアタッシュケースから現ナマ500万円を取り出して、神取の前に叩きつける!! 「これで、横浜大会の興行権をよこせ!!」呆気に取られて絶句していた神取も「500万円出すって言うんじゃ、しょうがねえなぁ」と渋々ながら了承。"女子プロレス界最高の男"神取も現ナマには弱かった!? というわけで、風間率いるブラックジョーカー(という軍団がLLPWにある)が横浜大会をジャック!! 果たして500万円で買って赤字は出ないのか? そこにも注目したい!!

6/18

「藤波ワールド」独自に新日支援

新日本プロレスの藤波辰爾社長(49)=写真=が17日、新機軸のプロレス興行「藤波ワールド」(仮題)の構想を練っていることを明らかにした。「総合格闘技路線が活発化する新日本で、本来あるべきプロレスの姿をファンに分かってもらうのが狙い。独自路線で新日本をサポートしたい」と説明し、9月にも東京・後楽園ホールなどの会場で開催する意向を示した。1月4日の東京ドーム大会を最後に戦列を離れ、肉体改造に着手。一時中断している選手業について「新日本のシリーズに戻る気はない。9月の藤波ワールドで復帰して独自路線を歩んでいきたい」と話した。1

【新日本プロレス】

ドラゴンの仰天計画 藤波ワールド発進!?

ドラゴンフリークに朗報! ここ最近、不気味な沈黙を続けてきたドラゴンが、とんでもないプランを引っ提げて帰ってきた。18日付けのスポーツ報知によると、ドラゴンは「新機軸のプロレス興行『藤波ワールド』(仮題)の構想を練っている」というではないか!? これは「総合格闘技路線が活発化する新日本で、本来あるべきプロレスの姿をファンに分かってもらうのが狙い」と、まるで無我のようなコンセプト。ドラゴン・ボンバーズ、無我と続いた尻切れトンボ興行シリーズの延長線上か? 「新日本をサポートしたい」と言いながら、「新日本のシリーズには出ない」という矛盾した発言も相変わらず。今から9月予定の旗揚げ戦が待ちきれない!! "猪木ワールド"ことアマゾン興行との興行戦争にも期待!

6/10

【新日本プロレス】

天山、弱気発言連発「もう俺はダメだ」

焼肉を食って増量して9年ぶりとなるIWGP王座に挑んだ天山。いいところまで攻め込みはしたが、最後は高山のエベレスト・ジャーマンの軍門に下った。試合後の天山は「もう俺の存在もこれで終わりかもしれない。終わることばかりで、もうダメだ! もうダメだ!」と意気消沈。さらに3日後の武道館大会では蝶野と長らく保持してきたIWGPタッグ王座からも転落! 「何もかも終わり。もう、この先わからん。どうなってもええ」と素の関西弁丸出しでコメント。人(牛?)の良さは人一倍の天山だが、果たしてこのまま沈んでいってしまうのか? やはり牛が牛を食べたのがマズかった!?

6/8

【全日本プロレス】

大仁田、付き人として全日本登場!

ガケから転落して同日のWJ浜松大会に出られなくなってしまった大仁田は、邪龍同盟改め全日本同盟を結成した天龍とともに全日本の横浜文体に出場した。試合前には天龍のシューズを履かせ、試合後にはタオルで汗を拭き取り真面目に付き人業務に取り組んだ大仁田は、天龍のセコンドに付いても大きなアクションはなし。これじゃ同盟というより単なる先輩・後輩のつながりのようにしか見えないのだが……。大昔の全日本ジャージがやたらと似合うが、この日と13日の愛知大会を最後に天龍は全日本から離脱。だが、最後の愛知大会で天龍が鼻骨を骨折して、翌14日のWJを欠場してしまった。全日本同盟、ボロボロだ!

6/4

【大仁田事務所】

大仁田ガケから転落 42針の重傷を負う!!

衝撃! 大仁田厚、ガケから転落!! 都内某所で行われた会見に、頭に包帯を巻いた痛々しい姿で登場した大仁田。報道陣に1枚の診断書を見せると「月曜、山へ視察に出かけていて、ガケですべって木にぶつかり、右耳にケガをしてしまった」と、神妙に語った。大仁田は、学校をつくるための視察として千葉県の山中を訪れ、子供にとって危険な場所をさがしつつ「少年時代を思い出して、山で遊んでいたところ」すべって木に激突。全治3週間のケガを負ってしまった。「WJには申し訳ないが、6月8日の浜松大会については出場できない」とコメント。参議院議員になっても生傷の絶えない大仁田だった。

プロレスマスコミの哲人
元・週刊ファイト編集長
井上義啓氏
（通称＝Ｉ編集長）
狂乱のマット界時評連載

喫茶店トーク
noue mode

—さて、井上さん。今月はまず新日本の中西学が、6・29『K-1ビースト』に出場してK-1ルールでTOAと闘うことについて、井上さんの率直な感想をお聞きしたいんですけど。

井上　まぁ、中西が行くと行ったのか、行けと言われたのかはわからんけれどもね、どちらにしてもああいったムチャなスケジュールを組んだらダメなんですよ。プロレスじゃないんだから！

—プロレスじゃないんだから（笑）。

井上　そうですよ。プロレスだったら、昨日やって明日もやるということも簡単にできるけれどもね、バードは違うんだから！　しかもK-1だろう？　バードマッチで寝転がってやるんなら、中西でもいくぶん様になるかもわからんけどね。5・2を見てもパンチだけじゃ様になってませんよ。それをロス道場で必死になって練習してるんでしょうけど、1ヶ月やそこらじゃ身に付くわけないんだよな。

—まぁ、中西選手はゴッチ道場一日入門でジャーマンをマスターした実績はありますけどね（笑）。

井上　そういったことを考えるとやね、6・29っていうのは5・2と同じ鉄を踏むことになりますよ。その5・2っていうのは俺なんかも初めてのバードマッチということで甘い点を付けたけれども、やはり第2戦も同じことをやっとったら「なんだ」って言われるからね。もう少し様になるのを待ってから、9月のアマゾン決戦に出てくるのがドンピシャリじゃないかと思いますよ。

—アマゾン決戦！　猪木さんが推し進めている9・14『ジャングル・ファイト』ですね。そこで中西を復活させると。

井上　ただ、それは日本向きの話であってね、アマゾン決戦のターゲットである、青い目のファンは中西なんてどうでもいいわけですよ。

—えっ……アマゾン決戦って、青い目のファンがターゲットなんですか？

井上　そりゃそうですよ、アンタ！　アマゾンなんだから！　青い目のファンや、ブラジルの肌の黒い人、それからPPVを見るアメリカ人がターゲットになりますよ。だから、アマゾン決戦と中西とは全く切り離して考えないといけない。青い目のファンにとったら、こんなもん真壁も中邑もへったくれもないし、吉田（秀彦）を出したところで何にもないからね。

—では、どんなメンバーになるわけですか？

井上　やっぱりドン・フライとかケン・シャムロックとか、向こうで銭の取れる連中を押し出すべきでしょう。やっぱりあの二人はそれほどビッグスターじゃないけど、やっぱりアメリカでワンマッチのPPVをやるぐらいだからね。僕らが思ってる以上に認知されてるんですよ。だからサップなんかは逆に難しい。

—アメリカでは知名度ないですもんね。

井上　そうなんだよな。いくらNFLかなんかやっとったのかも知らんけど、大スターじゃないんだから知られてませんよ。WCWでやってましたって、そんなもん誰も知らないしね。だからサップを使うとしたら、俺だったらゴジラのぬいぐるみかなんか着させますよ。

—ゴ、ゴジラのぬいぐるみぃ⁉

井上　やっぱりサップよりゴジラは知られてるからね。

—そりゃそうでしょうけど……。

井上　ふざけてるように聞こえるかもわからんけどね、いくらぬいぐるみを着てたって試合を真剣にやったらいいんですよ。これは初代タイガーマスクと一緒でね、タイガーマスクにしたって、新間（寿）が「井上さん、タイガーマスクをデビューさせます」っていう話を最初してきたときは、「やめときなさい、そんなもん！　新日本プロレスともあろうもんが！」って俺も言ったんだよな。それがタイガーマスクの第一戦を見てコロっと宗旨替えしたからね。これはもう凄いと。アニメだろうが何であろうが、中が凄かったらいいんだと。あの時に勉強させてもらいましたよ。だからサップもぬいぐるみを着て、ゴジラのテーマに乗ってジャカジャンジャカジャンって渡って行ったらいいんですよ、アマゾン川を！

—ゴジラのぬいぐるみで水面を渡りますか！（笑）。

井上　おう！　それでガーっとそのまま川の中で闘ってもいいしね。そうしたら、もの凄い盛り上がりになりますよ。だからここで大切なのはアマゾン決戦を見せ物にしたたらいけないということ。見せ物になるような要素は全部捨てると。

—ぬいぐるみが川を渡るのは、十分見せ物だと思いますけど（笑）。

井上　入場は多少見せ物的な感じでもいいんですよ。ただ、試合はガチガチのバードマッチでもの凄い試

今月のお題

中西のK-1参戦は是か非か そして、アマゾン決戦とは何か？

遂にアントン総帥の口から正式発表された、9・14『ジャングル・ファイト』。この非常識なスーパーイベントが動き出したことで、I編集長の妄想パワーも巨大化が止まらず大変なことになっている！　今月も熱いです！

聞き手／堀江ガンツ

合をやります、と。そうしたら入場でわーわーキャーキャー言ってたのが、試合になったら「これは凄い」となりますよ。だからそのためには、同じ力量の者を闘わせないこと。

――同じ力量ではなんでダメなんですか？

井上　同じ力量だったら強さが目立たないでしょうが。この前の6・8が「凄かった」っていうのはなぜかって言ったら強さを目立たせたからなんですよ。

――あ～、なるほどなるほど。

井上　ヒョードルにしろミルコにしろ、割かし強い相手ではあったけれども、圧倒的に強い勝ち方をしたでしょ。だから「凄い！」って言われるわけですよ。それが対等な闘い方をして2R、3Rまでもつれていって、判定ということになってみぃ！　中身は凄かったとしても、これだけの評価は得ませんよ。

――それは言えてますね。

井上　だから強い奴には弱い奴を当てろと。サップにはハッキリ言って、もの凄い弱いアルバイト学生を当ててもいいんですよ。

――ぬいぐるみを着てても勝てるくらいの（笑）。

井上　中西にしたって中西の力を100%発揮できる弱い素人を当てればいいんだよ。背中に担ぎ上げてガーっとやるっていうのも素人だったら簡単にできるからね。

――バーリ・トゥードでアルゼンチンができるぐらいの相手ですか（笑）。

井上　どうせ青い目のファンは中西のことも相手の素人のことも知らないんだから、担ぎ上げてそっからダーンとアマゾン川に放り込むんですよ。そういうことをやると「オー、ナカニシ、グッド！」ってなことになる！

――ま、相手は素人ですけどね（笑）。

井上　それが日本だったら「何だあれは」ってことになってくるけども、アマゾン決戦なんだから、日本のファンがどう騒ごうが、こんなもんは放っときなさいよ。日本のファンのためにやるのとは違うからね、これは。日本でもいい評価を得ようなんてそんな一石二鳥みたいな甘い考えを持っとったら絶対にアカン。日本なんか捨ててまえ！

――日本は捨てろ！（笑）。

井上　こんなもん日本で地上波で流すか流さんかなんかどうでもいいんですよ。見たかったらPPVで見ればいいんだから！　そんなもんテレ朝が必死になって3日後に地上波でって、そんなこと考える必要ないんだよ！　そんなもん3日後にやって誰が見るかって！

――リアルタイムじゃないと意味がないと。

井上　そりゃそうですよ！　K-1なんて3時間遅れてもみんなブーブー言ってるんだから。そんなもん3時間も1週間も10日も待って見る人はよっぽどおめでたい人間ですよ。

――じゃあ、新日本やノアの中継なんか問題外と（笑）。

井上　そりゃ視聴率だって下がりますよ！　だから日本のファンのことなんか考えるなと。要するに頭を切り替えろと、猪木が言ってるのはそういうことですよ。みんな「昨日までこうだった、今日はこうだった、だから明日もこうだ」と思ってる。プロレス団体の社員も「明日のチケットはどうなんだろうか？」「明日の会場はどうなんだろうか？」それぐらいのことしか考えてない。猪木が怒ってるのはそこなんですよ。「お前ら何をやってんだ」と。「昨日、今日、明日」とね、そういうくだらんコラムもあったけど。

――某『週刊ファイト』で連載されていた名物コラムですね（笑）。

井上　だから「昨日、今日、明日」っていうのは10年も20年も前の話であってね、今は昨日、今日、明日の考え方ではダメですよと。ハッキリ言って、大阪におる妄想屋が10年15年先を読むけどやね、それと同じスピードで行きなさいよというのが猪木の言い分ですよ。

――猪木さんと大阪の妄想家は、

言うちゃ悪いけど今日の結論

中西にとっての本番はアマゾン決戦！ “猪木的発想”でしか、もう生き残れない!!

いつも同じことを考えてますもんね（笑）。

井上　言うちゃ悪いけどね、同じ事を考えてますよ。だからアマゾン決戦というのは、そういった古い考えから頭を切り替える転機になるんじゃないかと思う。やっぱりいつまでも同じことをやっとったらダメですよ。そういった意味で相撲なんかも、いつまで経ってもいまの土俵のままでやるから人気がどんどん落ちていく。

——えっ！　相撲も土俵をなくした方がいいということですか？

井上　おう！　土俵が狭いから面白くないんだから。そんなもん広い土俵にして、真ん中に線だけ引いといてどっから仕切ってもいいと。そうなったら徳俵のところで仕切る奴もおるだろうしね、そこで仕切って、「のこった！」ってなったらドワーって走って行ってドーンとぶつかると！

——ガハハハ！　ボブ・サップみたいに（笑）。

井上　そういったことをやったら大相撲なんていっぺんに人気を挽回しますよ。

——相撲革命ですね（笑）。

井上　ただ格があって、昔からの伝統がこうで、そんなことをしたら日本の国技がとかね、そんな事を言うてるんだったらハッキリ言って潰しなさいと！

——大相撲まで潰しますか！

井上　そんなもん、どっちみち潰れるんだから！　こんな事を言ったらＮＨＫも相撲協会も怒ってくるけども、ハッキリ言って潰れかけてるからね。かつてのボーリングと一緒ですよ。プロレスだってそうや。どっちみち潰れるんやったら今のうちに潰しなさいと。

——潰して新しいものを作れということですか？

井上　そういうことですよ。ボーリングだってあれだけ人気があったのに、いまではほとんどなくなってるじゃないか。俺なんかも一時、プロレスからちょっと離れてボーリング場の支配人をやっとったこともあるのよ。

——あ、そうなんですか（笑）。

井上　ウチの親戚がやっとったんだから。義理の兄が社長で俺が専務ですよ。それで「お前も新聞社なんか辞めてこっちに来てくれ」って。だから『週刊ファイト』の編集長じゃなかった時期があるんですよ。

——へ～、それは初耳です。

井上　それで当時、関西ボーリングマネージャーの会合があって、落ち目になってきたときは毎日のように会合をやってるわけですよ。

——打開策を練るわけですね。もちろん井上さんも意見出したりしてたわけですか？

井上　そんなもんね、「風俗営業にしろ！」って言ってやりましたよ。

——ガハハハ！

井上　風俗営業にしてこうすれば金が儲かると。要はパチンコと一緒ですよ。いいスコアを出したらトロフィーがもらえると、そしてそのトロフィーを裏に持って行ったら一万円になるわけですよ。

——ボーリング場の裏に換金小窓を作りますか（笑）。

井上　それから7投目に7ピンを倒したら少なくともセブンスターが貰えると。子供にはウルトラセブンの人形とかね。それでもしパーフェクトを出したら1000万円ですよ！

——1000万円！　それはメチャクチャ燃えますね（笑）。

井上　そんなこと言ったのは俺だけだけどね。

——でしょうね（笑）。

井上　「あそこの支配人はアホか」って言われたよ。でも、手をこまねいてるだけで何もせんかったから、結局ずるずる落ちて行ってみんな潰れたんですよ。その原因は結局、仕切ってる人間の頭が悪いってことなんだよな！　相撲でもそうだし、プロレスもそうだ。K-1がなぜ成功したかって言ったら石井館長がおったからですよ。豊臣秀吉でもそうだ、何にしたってずる賢い奴が成功するんだよ。

——ビジネスの世界はそうでしょうね。

井上　何でもそうよ。だからこれからは、猪木式の考え方ができなかったらダメですよ。これは非常に奇抜でみんなから見たら妄想だ、キ●ガイだって言われるけどね、こうでないと今の世の中は生き残っていけませんよ。同じようにプロレスの興行をやってね、ラリアートでタイトルが移動したとか、そんなことをいつまでもやっていて、赤字で潰れないのが不思議だわ。ホントはもう潰れる状態なんですよ。

——地方興行はやればやるほど赤字って言いますもんね。

井上　赤字は赤字なんだけどまだ何とか持ちこたえてるのが俺に言わせたら不思議ですよ。だから、猪木式の考えでやらなきゃならんと言うとるんだよ！（ドンッ）

——現状を打破するには、常識にとらわれない発想が大事ということですね。

井上　そう！　だから中西にしたって、K-1もいいけど、ワニのうじゃうじゃいるアマゾン川で、背筋の凍るようなバードをやってもらいたいですよ！

——わかりました！　また、来月もよろしくお願いします！

長きに渡り非常識な発想で世界中をビックリさせてきたアントン。アマゾンから「電機」までそのアイデアは尽きることがない。

いのうえ・よしひろ■1934年岡山県出身。「週刊ファイト」の編集長を長く務めた。「活字プロレス」と呼ばれるジャンルの創始者。プロレスマスコミでI編集長に影響を受けた人間は数知れない。『紙プロHand』でコラムを絶賛連載中!!

6.29

破壊王とできたんだから、どうせやったら闘魂三銃士制覇したいッスね!!

今後の目標?

金村キンタロー［後編］

with伊藤 豪

前編では破壊王との電流爆破マッチを中心に語った金村インタビュー。金村は、その後ZERO-ONEで破壊王とタッグを結成。試合後「お前がボスにならないでどうするんだ！　頑張れよ」と、破壊王から冬木弘道亡き後のWEW勢のボスとして指名を受けた。7月には久々の冬木軍興行も決まった金村に再び波瀾万丈のレスラー生活を振り返ってもらった。

聞き手／イナズマ★K
チョロ
撮影／乾晋也（5･29試合撮影）
designed by matsu(Two three)

——金村さんと言えば、W★ING の時、小田原でやったファイヤーデスマッチが印象深いんですけど、あれはホント凄まじかったですね。

金村　（人ごとのように）あれは凄かったですよねぇ（苦笑）。

——あの時は間近で火傷の具合を見てたんですけど、肉が焼ける匂いがしてましたからね。

金村　（火傷の跡をさすって）まだ残ってますよ。その上に刺青入れちゃいましたけど（苦笑）。

——あっそうなんですか（笑）。

豪　あれ、火傷で入院して退院してFMWに来たんだっけ？

金村　いや、退院したら会社が潰れてたんで（苦笑）。で、IWAに行って、それからですね。でも稼がせて貰いましたよ、FMWでは……（しみじみと）。まあ最初だけですけど（苦笑）。

——あ、最初だけでしたか（笑）。

金村　2年ぐらいですね。

——短かったんですね（笑）。FMWに行く前、IWAでやってましたけど、そのままIWAで続けようとは思わなかったんですか？

金村　いや、最後の方は、もう苦痛でしたから、IWAは（苦笑）。

——そうだったんですか（笑）。

金村　あの頃、浅野社長から「絶対メインには出さない」って言われて。（浅野社長口調で）「メインは荒谷よッ！」って感じで（笑）。

——アハハハハ！

金村　荒谷（信孝）とは仲は良かったんですけど、俺がセミでやったらセミだけ盛り上がるじゃないですか？（再び浅野社長口調で）「アンタがセミに出ちゃうと余韻が残っちゃうのよッ！　それじゃメインがダメだから」って（笑）。

——アハハハハ！

金村　「アンタは悪いけど休憩前！テーマ曲もなしよッ!!」って（笑）。

——アハハハハ！　それも凄い話ですねぇ（笑）。もう、ここで続けてもダメだなって感じで？

金村　そうッスね。でも最初FMWから話が来た時も丁重に断りに品川プリンスホテルまで行ってますから。

——最初は断ったんですか？

金村　荒井社長が契約の話出してきて、話を聞いたんですけど「ボクは契約しませんから。みんなと一緒にやりたいんで」って断って帰ってきたら、その日のうちに話が漏れてたんですよ、IWAで。

——そんなことがありましたか。

金村　そんで「金村はギャラをつり上げるために嘘ついてる」って言われてたんで「じゃあ行こう」と思って（苦笑）。それでモメて3年ぐらい裁判しましたからね。そこら辺から、みんなIWA辞めてきましたからねぇ。

——やっぱりIWAは、浅野社長とうまくいかないと難しいもんなんですか？（笑）。

金村　どうなんでしょうね。（大きな声で）答えませんッ！（笑）。

——わ、わかりました（笑）。

金村　それからFMWに行ったんですけど、FMWの中でW★ING作ったら大仁田に消され、ブリーフブラザーズでブレイクしても大仁田に消され……（苦笑）。

——そうなんですか（笑）。ZENとかもありましたけど？

金村　（とぼけて）なんですか、それ？（苦笑）。

——思い出したくもないと（笑）。ブリーフブラザーズと言えば、『ホワイトクリーム』ってエロ本のインタビューで答えてましたけど、金村さんはブリーフ・ブラザーズ結成前から、ずっと白ブリーフを履いてたんですよね（笑）。

金村　ちっちゃい頃から白ブリーフでしたから。解散してボクサーパンツに替えましたけど（笑）。

——たしか、解散が決まって他のメンバーと一緒にブリーフをどっかの湖に流したんですよね（笑）。

金村　そうなんですよ。大仁田に負けて解散することになって北海道のなんとか湖に向かってみんなで投げたんですけど、何度やっても波で戻ってきちゃって（苦笑）。

——アハハハ！　そんなオチがついてましたか（笑）。

金村　外道さんのパンツにはウ●コがついてましたけどね（苦笑）。

——アハハハハ！

豪　あれは強制解散ですからね。国会議員のせいで（笑）。

——国会議員のせいで解散（笑）。

金村　アイツはホント出る杭を消しましたから。どんな手を使っても。

——大仁田さんに対してはホントいろいろとあるみたいですね（笑）。で、パンツの話に戻りますけど、かれこれ20年以上もずっと白ブリーフだったってことは相当こだわりがあったわけですね？

金村　ありましたありました。靴下も全部白でしたから（笑）。

伊藤　ネタ抜きで、いつも白ブリーフに白靴下でしたからね（笑）。

——ブランドとかにはこだわりはあったんですか？

金村　ずっとグンゼでしたね！

——あ、グンゼでしたか（笑）。

金村　やっぱBVDは新日本のイメージが強いんで履かないと（笑）。「誰がBVDなんて履くかコノヤロー！　男は黙ってグンゼだろ」って（笑）。

——素晴らしいですね（笑）。

金村　それにボク、こう見えても凄い神経質で潔癖性なんですよ（笑）。あの頃は大きいバッグ2つ持ってて、パンツも靴下も7～8枚入れてて。それで、ブリーフブラザーズのネタやるってなった時、人数分ブリーフがなかったんですよ。

——それはそうでしょうね（笑）。

金村　そんで「オレ持ってますよ」って言ったら、「お前の履いたヤツはいらねえよ」って言われたんだけど、ボクのパンツはピカピカでキレイだったんで、「まあいいか」ってなって（笑）。ボクはコインランドリーがなくても絶対洗濯しますから。

ブリーフは、ずっとグンゼでしたね。BVDは新日本のイメージが強いんで履かない（笑）

前号のインタビューで語っていたスケジュール帳を広げる金村。黒田のスケジュールも管理しているという金村の手帳には2人の試合予定がビッシリ。手帳を付ける前はダブルブッキングも多かったというが、これさえあれば、もう大丈夫。

Kintaro KANEMURA

5・29後楽園で金村は破壊王と初タッグを結成。金村がプレデターを机に寝かせコーナーダイブを狙うと破壊王は「押さえろ!」と絶叫。慌ててセコンド陣が机を押さえダイブを成功させるなど連係プレーも見られたが、最後はプレデターのダイビングニーで金村が撃沈。試合後、金村は「ボスが口で言わなかったことを橋本さんから教わりたい」とアピール。すかさず破壊王は「俺はボスなんかじゃねえぞ。お前がボスになれ」と愛のエールを送った。

——全員、金村さんの自前のブリーフでスタートしたと？（笑）。

金村　とりあえず最初はみんなボクのブリーフから（笑）。それで邪道さんが東急ハンズに行ってバスローブを買ってきて。非道はしょっぱいからってことで「とりあえず、お前はホテルの浴衣だ！」って（笑）。

——アハハハハ！

金村　でもね、ボクよくコスチュームとか忘れるんですよ。巡業行くのにコスチューム一式忘れてったりしますからね（苦笑）。一回、ECWに田中と一緒に行った時なんか、近くで売ってた「ダブルトラブル」って書いてある、チ●ポ出す穴が2つ開いてて龍の絵が書いてるパンツで試合しましたもん（笑）。

——アハハハ！　でも海外行くのにコスチューム忘れていくって凄いですよね（笑）。

金村　忘れるんですよ（苦笑）。あと冬木さんとタイトルマッチやった時、チャンピオンベルト忘れて行ったこともありますね。

——アハハハ！

金村　試合の時に荒井社長が「ベルトはどうしたんでしょうか？」って聞くんで「どうせ俺らが勝つんで、ベルトは持ってこんでもええんや！」って、わけわからんこと言ってましたけど（笑）。

——ちゃんとネタで返したわけですね（笑）。

豪　でもブリーフ・ブラザーズは早すぎたエンターテイメントでしたねぇ……（しみじみと）。

金村　あんなくだらないもんに大仁田も妬くなっちゅうんですよね（苦笑）。人気出てくる人間が嫌いですから、ホント潰されましたよ。でもなかなか死なないですね、あの人も。まさにチープなアントニオ猪木って感じですよね（笑）。

——チープなアントンですか（笑）。でもFMWに行ったばっかりの頃は大仁田さんともうまくいってたんじゃないですか？

金村　最初は神様みたいな存在でしたからね。で、途中で神様に思えてた人がだんだん「鬱陶しいなぁ」とか「勝手だなぁ」って思うようになって。テレビ見てて、出てきたらチャンネル変えますもん。気持ち悪いから（苦笑）。

——それはいまでもですか？

金村　いまでもですね（笑）。一回、立候補する前にどっかで会った時に「大仁田さんに一票あげたいんですけど、いかんせん外人やから選挙権ないんですよ」ってネタで言ったら「オイ、ホントか!?」って言ってましたからね（苦笑）。

——アハハハハ！

金村　これから議員になろうとしてる人間がそんなこと知らんのかい？って思いましたけどね（笑）。

——大仁田さんの話はそれくらいにして（笑）、FMW時代で一番印象に残ってる試合っていうのは誰との試合になるんですか？

金村　印象に残ってるのは、四日市でやったブリーフブラザーズ時代、ボクと雁之助と兄邪で6人タッグのベルトを獲った時ですね。

——あぁ、ありましたね。

金村　試合終わって、みんなでブリーフ一丁になって（笑）。ベルト全部TNRで獲って、あの試合は面白かったですねぇ。

豪　あの頃は内部的には全部ガチンコですからね（笑）。

——そうだったんですか（笑）。

豪　「大仁田さんが何を言おうが、江崎さんが何をやろうが関係ねえや！」って感じで（笑）。

金村　それで当時、結構ブリーフブラザーズに深夜番組からオファーが来てた……らしいんですよ。

——らしいというと？

金村　全部荒井が断ってたみたい

で。俺らは話も聞いてなくて。なんかあった時に聞いたら「ハヤブサを出したい」って、そればっかり言うもんで、何個か……まあエロ番組なんですけど（苦笑）、断ってたみたいですね。「ハヤブサだけじゃなくて俺らも見ろよ！」って思いましたけどね（笑）。まあでも、ボクはそんなハヤブサとも手が合った方じゃなかったんで。

——それはリング上でもプライベートでも？

金村 そうですね。アイツがケガする前に一回だけ2人で飲み行きましたけどね。

——その時はハヤブサさんとは、どんな会話をかわしたんですか？

金村 印象残ってないからつまらなかったんじゃないですか（笑）。

——そうですか（笑）。でも荒井社長の本とか見てもFMWの人間関係って複雑だなぁって思いましたよ。

豪 でも基本的には大仁田さんと荒井さんの問題だけだったんですよ。

——その2人の間の歪みがどんどん大きくなっていったと。

豪 結局、大仁田さんに持っていかれる分を荒井さんが食い止められないから、自分で借金して返そうとしただけの話で。それって別に出さなくてもいいお金じゃないですか、簡単に言っちゃえば（笑）。

——まあ、そうですよね（笑）。

金村 （急に思い出して）そうですよ！　伊藤さんが一回契約の前に「絶対ギャラ上げろって言うなよ」って言ったじゃないですか？　「なんで？」って言ったら「何年か後にバーッて上げるように俺が持ってくから」って。で、俺は一切「上げろ」って言わなかったんですよ。そしたら途中で伊藤さん辞めちゃって（笑）。

——アハハハ！　抑えられたままだったんですね（笑）。

豪 そんなこともあったね（笑）。

——金村さんと伊藤さんの関係っていうのは、現在に至るまで悪くなったことってないんですか？

金村 それはないッスね。

01年2月のW★ING同窓会発表会見には、一時期、リングネームに使用するほどW★INGにこだわりを持っていた金村をはじめW★ING勢が終結。現在メジャーで活躍中の選手も何人かいるが、金村は変わらずインディーで活躍中だ

豪 来る前は悪い噂があったんで、ボクも外人バスだったんですけど、「今日からバスの雰囲気も悪くなるのかぁ」って思ってバスで待ってたんですよ。そしたら馴れ馴れしく「タバコ持ってますぅ？」って。「なんだコイツ」って思って（笑）。

金村 もう2日目ぐらいで飲みに行ってましたね（笑）。

豪 あの当時は毎晩のようにキャバクラ行ってたからね（笑）。

金村 行ったねぇ。北海道に試合で行って何日間かいただけで2人で60万とか使いましたもん（笑）。

——それは凄いですね（笑）。

豪 全国制覇しましたから（笑）。

——その頃はリング上ではいろいろ不満があったとはいえ、金銭的には恵まれていたんですね。

金村 リングでいろいろあったって言っても、伊藤さんはボクたち下の人間には余計なこと言わなかったんで。それにボクらはバカなんで普通に楽しいことしてましたね（笑）。まあ大仁田との試合だけは楽しめなかったですけど。

豪 冬木さんが来てから「関係ねぇや」ってなったけどね（笑）。

金村 そうッスね。

豪 それまで大仁田さんに対する壁がなかったんですけど、冬木さんが来てから「もう関係ないからやっちゃっていいよ」って（笑）。

——ある意味、冬木さんが来たのは金村さんたちにとっては良かったって感じなんでしょうね。

金村 そうッスね。ボスも最初は人見知りで怖い人だなぁって思ってたんですけど、しばらく経って「この人はからかってもオッケーだな」ってわかって。それから調子に乗りだしましたね（笑）。

豪 あの当時の控室はプロレス界の荒くれ者ばっかり集まってましたからね。なぜか問題児ばっかり冬木さんの周りに集まるんですよ（笑）。

金村 （冬木口調で）「なんで俺の周りにはバカしか集まらないんじゃ！」って言ってましたよ（笑）。

——アハハハハ！

豪 あの頃のリング上って結構、半分ぐらいはホントですよ（笑）。私生活そのままっていうか。そういう嘘かホントかわかんないとこが面白かったんですけど、それが段々嘘っぽくなっちゃってね。

金村 伊藤さんが辞めた後、なんかいつもハヤブサとかとやって、あの頃、吉田専務とかわっけわからん人間が最後締めるんですよ。

——あぁ、やってましたね。

金村 ムカついて、マイク取り上げて、そいつらに「最後はレスラーに締めさせて帰ったりしてましたね。だからFMWから伊藤さんがいなくなってから、やろうとしてたエンターテイメントっていうのは、金村、邪道、外道は一切関わってないですからね。あと田中と保坂も。

——自分たちで考えたエンターテイメントしかやらなかったと？

金村 まあ、そうですね。ちょうどFMWが潰れる前年にボクが大日本とか行って「FMWで試合やるより、こっちの方が充実感がある」ってマイクで言ったんですよ。

——言ってましたよね（笑）。

金村 呼び出されましたよ（苦笑）。「なんで会社批判するんだ」って。「つまらないから」って正直に言いましたけど（笑）。

——それでも居続けたっていうのは何が大きかったんですか？

金村 いろいろありましたけど、冬木さんと話し合って一緒にやってくってことで残ったんですよ。

——冬木さんには、この人に付いていこうって思わせる何かがあったんでしょうね。

金村 そうですね。まあ何を話したかっていうのは心の中にしまっておきますけど。

——結局、金村さんはFMWの最後までいたわけですよね。

金村 最後までっていうか、最後の一年は契約してないですから。契約書もないから勝手に他団体上がった

6.29

りしてましたけど（苦笑）。
――大日本やDDTとか、いろいろと上がってましたからね。
金村　DDTはね、前から上がりたいと思ってたんですよ。DDTは凄いエンターテイメントプロレスやってたじゃないですか？　映像とかも金もかけずにオモロイの作ってたし。
――そうですよね。
金村　一回、「DDT見ろ！」ってFMWのスタッフとかに言ったことあって、gosakuとかも行ったんですけど、「FMWでやってるエンターテイメントが恥ずかしい」って言ってましたよ（苦笑）。で一緒に行ったスタッフはなんて言ってたと思います？
――「ウチの方が勝ってる」とか言ってたんですか？（笑）。
金村　ホントそうなんですよ！「DDTって、たいしたことないですね」って（笑）。「ダメだこりゃ」って思いましたね（苦笑）。上の人間がこれじゃFMWはダメだと思って、その時点でFMWはボクの中で終わってましたから。
――一足先に終わってたと（笑）。
金村　マンモス（佐々木）ともよく話してたんですけど、FMWっていう団体には愛着持ってなかったですね。
豪　あそこは会社に愛着が持てないんですよ。選手には持てたけど。
――確かに初期はFMWファンっていましたけど、後期はFMWファンっていうより誰々が好きっていう感じでしたからね。
金村　ホントそうでしたよね。
――FMWが倒産してWEWが出来てからは、冬木さんとのつながりでそのまま？っていう感じで？
金村　いや、WEWでも、いろいろ凄い裏切りとかありましたよ。
――言える範囲で聞かせてもらえれば（笑）。
金村　最初は道場にみんな集まって、「とりあえず5月5日までやるから途中で抜けて欲しくないんで、やるヤツはいまここで手を挙げてくれ」言ったら、まず雁之助が「出ない」って言いだして。その時は冬木さんの本に出てくるYっていたじゃないですか？
――あぁ、いましたね。
金村　あれ、みんな吉田専務って思ってますけど、山●っていうのがいたんですよ。結局、冬木さんもみんな騙されてね。
――そうだったんですか!?
金村　なんか団体やるとか、オイシイ話があるって言ってたらしいんですよ。名前は出せないんですけど、そいつが向こうでいろいろ言われたら、凄い額を提示したみたいで。「出すわけねえだろ！」って額を（笑）。それで1人辞め2人辞めて、最終的にあのメンバーになったんですよ。
――へぇ〜、裏側ではいろいろとあったわけですね。
金村　ありましたねぇ。で、そん中で黒田とかには「普通やったらオマエは向こうの方行くやろ。なんでい

メジャーとインディーの差？　全然ありますよ。ダメなヤツもいるけど（苦笑）

破壊王からインディー、女子プロまで日本一の幅広さで活躍中の金村。冬木のセコンドとしてNOAHに行けば三沢の強烈なエルボーで吹っ飛ばされ、ベイダーとのシングルでは、これまた首が吹っ飛びそうなベイダーパンチを食らいまくった金村。かつての同士でメジャーへジャンプしていったレスラーも数多くいるが、金村の評価が一番高いのが田中将斗だ！

るの？」って聞いたら「冬木さんはFMWのケツを拭っていろいろやってくれたから」って。「オイオイ、もっとそれせなアカン人間いっぱいおるんちゃうんか？」って（苦笑）。

——でも黒田さんぐらいですよね、両団体に出てるのは。

金村 中川浩二とかは、一回後楽園で荒井の追悼やった時も、ちょっと行けないんでって連絡があったんですけど……まあいろいろとあって、その後、ボスが「残ったのは俺らだけか……またどうにかなるから、よろしく頼むな」って。

——残った人間で頑張ってやっていこうと？

金村 とか言いながらNOSAWAはいなくなりましたけど（笑）。

——そういえばそうですよね（笑）。NOSAWAさんは何でいなくなっちゃったんですか？

金村 知りません！（苦笑）。メキシコ行って連絡ないですから。

——でもWEWは旗揚げ当初は客入りも悪かったみたいですし、かなり苦労されたんじゃないですか？

金村 でも、三四郎とか仲間たちが支えてくれましたからね。で、ボスが退院して、誕生日を家族と選手でやったんですけど、その時はマンモスも来てくれましたし。

——分裂したとはいえ、選手同士でのつながりはあったんですね。

金村 そうですね。絶対許せない人間もいますけど（苦笑）。

——ちなみに、それは？（笑）。

金村 これ以上は言いたくありません！（笑）。

——わ、わかりました（笑）。では、ここ最近の話をうかがいますが、金村さんはZERO—ONEに出るようになって、また一段とレスラーとしての評価が高まったと思うんですよ。

金村 いままでプロレスっていうのをやってきて、お客さんのことを考えてたんですよ。お客さんを喜ばせたいとか。それがZERO—ONEで破壊王とやったりして、それ以外の、プロレスラーの強さとか、そんなのも必要だなっていうのがわかってきましたね。学ぶことも多いですよ、いまだに。

——そうなんですか。

金村 そういえば、ちょっと前の『紙プロ』で、ZERO—ONEはインディーの選手の使い方がうまいって書いてあったの読んだんですけど、うまいんじゃなくて、あそこは、なんでも自由にさせてくれるんですよ。

——あぁ、それは感じますね。

金村 誰がプロデュースするとかじゃなくて、もちろん中村（渉外部長）さんのプロレス頭とかもありますけど、ホントに自由にやらせてくれるんですよ。

大日本へは数年前から上がり続けている金村。現在は大日本の至宝・BJWデスマッチ・ヘビー級王座を保持し、インディー版の高山とも言える働きぶりを見せている

——逆に他の団体とかは自由にできない場合も多いんですか？

金村 昔、全日本がそうでしたね。東京ドームに上がった時とか。

——ちょっと前の全日本はいろいろと制約が多そうですね（笑）。

金村 試合前に場外乱闘もダメ、凶器も一切ダメって言われて（苦笑）。そんで、ダブルで攻撃してカバーにいったら「2人での攻撃はカウントできないよ」って試合中に言われましたからね（笑）。

——全日本らしいというか（笑）。でも最近はメジャーとインディーの差がなくなってきたってよく言われますけど、インディーのトップ選手の金村さん的にはどう思います？

金村 いや、全然ありますよ（あっさりと）。

——ありますか（笑）。そう感じるようになったのは、やっぱり破壊王とやったりしてからですか？

金村 いや、その前から大谷、田中、高岩、小島とかとやって、あと大ちゃん（池田大輔）だって昔の大ちゃんと全然違いますから。

——FMWで、バトラーツ時代の池田選手とはやってましたからね。やっぱり違いは感じますか？

金村 違いますね。田中じゃないですか、その典型は。インディーからメジャーにジャンプしたヤツいっぱいいますけど、その中でも田中がダントツだと思いますね。あと、新日本の田中（稔）選手も凄いッスよ。いろいろ自分で研究してますからね。だから最近テレビとかで見て面白いのが田中稔、まあヒートですか（笑）。あと日高（郁人）、ディック東郷、田中将斗の試合ですね。

——いま挙げた選手の試合はハズレがないですよね。

金村 でもねぇ、ダメなヤツもいっぱいいますよ、メジャーにも（苦笑）。

——まあそうでしょうね。具体的に言うと、どの辺のレスラーがダメなんでしょうか？（笑）。

金村 ……やめましょう！（笑）。

豪 『紙プロ』的には、「ここでテープを止めて」って感じですよね（笑）。

金村 ボクの口からは、これ以上言えません！（笑）。

——そうですか（笑）。でもホント、メジャーと言われる選手が金村さんと対戦すると、当たった選手の方も新たな扉を開けちゃうような感じがするんですよね。

金村 禁断の果実ですか？ ホモじゃないんですから（笑）。

——失礼しました（笑）。でも、この選手の違う面を引き出してやろうとか思ってたりするんじゃないですか？

金村 そういうのはないですねぇ。がっちりプロレスして、お客さんを喜ばせたいってだけですね。でもやっぱりデカイっすよね、メジャーの選手は。体重では負けないッスけど（笑）。

——そうでしょうね（笑）。いまはどれぐらいあるんですか？

金村 いま127～8キロぐらいじゃないですか？

——立派なヘビー級ですね（笑）。でも冬木さんも言ってましたけど、「同じ体重でもインディーの選手と違って三沢のエルボースイシーダはキツイ」って。

金村 言ってましたね。いや、ボクも三沢さんのエルボー食らって、キッツイなぁって思いましたから。それにボク、結構、三沢さんの試合は好きで見てるんですよ。でもボスと三沢さんがメチャクチャ仲いいっていうのは、この一年ぐらいで初めて知りましたね（苦笑）。

——あまり2人の関係は表に出てなかったですからね（笑）。

金村 いや、三沢さんとボスは秘密でっていうか隠れて会ってたような感じで。まあ密会ですよ（笑）。

——金村さんは三沢さんと直接話したりっていうのはあるんですか？

金村 いや、ボスが引退した後、新日本の東京ドームとかで会って話したり、あとボスが亡くなった時も「しっかりしろよ」って言葉をいただきましたね。

——一緒に飲んだりっていうのはまだないですか？

金村 ないですね。よく錦糸町で見かけたりするんですけど（笑）。

——アハハハ！ 錦糸町でよく飲んでるらしいですからね（笑）。

金村 ボクも一時期よく行ってたんですけど、もう錦糸町では遊ばないですね。いまは向島が多いんで（笑）。そんで、三四郎と一宮さんと会う時はいつも池袋ですね。

——金村さんはこれまでメジャーからインディー、女子プロまで様々な選手と闘ってきてますけど、これからやってみたい選手っていうと誰かいますか？

金村 そうですねぇ、これまでベイダー、大谷、小島とかとやってきて、破壊王とも二回やったじゃないですか。どうせやったら闘魂三銃士制覇したいですねぇ（笑）。

——闘魂三銃士制覇！ それは是非実現して欲しいですね。

豪 田中って三銃士制覇したのかな？

金村 いや、まだ蝶野さんとやってないでしょ。

豪 でも四天王は制覇してるよね。

——あぁ、そうか。全日系は制覇してますよね。金村さんは武藤さんと

はやってないんでしたっけ？

金村 会ったこともないですね。……あ、新日本の道場でパイオニアの時に会ってますよ（笑）。

――パイオニア時代まで遡りますか（笑）。

金村 会話とかはしてないッスけどね。それにまだ、あの頃は髪の毛ありましたもん（笑）。

――アハハハ！　機会があれば、また海外マットで闘いたいっていう願望はあるんですか？

金村 海外でもやりたいッスね。でも、みんないまWWE好きって言いますけど、ボクはどっちかって言ったら80年代のロックンロール・エキスプレスとか、あとエリック・ブラザーズとか、あれぐらいの時が好きですから。

――世界のプロレスみたいな感じの（笑）。

金村 そうッスね。あとはマグナム・テリー・アレンとか。タリー・ブランチャードとかも好きでしたねぇ……（しみじみと）。

――これまで交流があった外国人レスラーの中で一番印象深いレスラーっていうと誰になりますか？

金村 まあ、凄いって言ったらグラジエーターですね。一番凄いんじゃないですか。それ以外では、やっぱりディック・マードックとテリー・ファンクですね。

――金村さんはテリーとは直接闘ってましたっけ？

金村 してますしてます。抗争もしてましたし。

豪 アメリカで防衛戦やりましたよね。テリーの家に10時間監禁されたこともあるし（笑）。

金村 ありましたねぇ（苦笑）。その時にテリーが「オマエ、どこか行きたいとこあるか？」って聞いてきて、オレと伊藤さんで「デパートに行きたい。オモチャ買いたいから」って。そしたら、テリーは次の日、自分の付き人みたいな人を寄こしてくれましたから。テリーはいいヤツだなぁって（笑）。

豪 その時、冬木さんも一緒にいたんですけど、そこで抗争が生まれたんですよ。だから、あそこがスタートですね。

金村 そうですね。

豪 でもホント、冬木さんに会って人生変わったよね（笑）。

金村 ホント変わりましたねぇ。

豪 その時ってTAKA（みちのく）も来たんだよね？

金村 TAKAもメキシコから会いに来てくれたんですよ。アイツ、その時、セックスに飢えてたんですよ（笑）。「誰でもいいから女紹介してぇ」って。

――アハハハ！　誰か紹介してあげたんですか？

金村 ちょうど、その時、シャーク土屋がいたんですよ（笑）。

――よりによってシャーク土屋さんですか？（笑）。

金村 そしたら「シャーク土屋はダメ」って言って（笑）。

豪 あの時ホテルの部屋がツインで、イタズラで冬木さんと新崎人生を同じ部屋にしたんですよ（笑）。

――凄い組み合わせですね（笑）。

豪 冬木さん、その時、人生さんのことを知らなかったらしいんですよ。「夜な夜な、お経唱えますよ」ってからかって（笑）。

金村 （冬木口調で）「そんなことされたらたまんねえよ！」って言ってましたけど（笑）。

豪 そしたら人生が勝手にフロントで部屋取っちゃったんですよ。

――それは残念でしたね（笑）。

豪 冬木さんはビビリながら、ずっと待ってたらしいですよ（笑）。「いつ来るんだ。いつ来るんだ」って（笑）。

――アハハハハ！

豪 「何でそんなヤツと一緒なんだよ！」って聞かれて「いや、ホテルがツインしかなくて」って嘘ついて（笑）。

金村 「ちょっと他の部屋に変えてもらうよ」って言ってたけど、「他の部屋は満室で」って（笑）。

豪 あそこで打ち解けたよね。「この人は大丈夫だ」って（笑）。

――そこで確認が出来たと（笑）。

豪 ホント、テリーの家で監禁されてからですね。

金村 そうですよねぇ……（しみじみと）。その時も言ってましたよ「なんで俺の周りにはバカしか来ねえんだよ！」って（笑）。

――アハハハハ！

豪 でも、あの時は縦社会じゃなかったですから。

金村 冬木弘道と愉快な仲間たちって感じでしたよね（笑）。

豪 そうそう。冬木さんも「ヤダヤダ」と言いつつ「俺はいつブリーフ履けばいいんだ？」って言ってましたからね（笑）。

金村 それが、こんな早く亡くなるとは思いませんでしたからね。

――ホントそうですよねぇ。そういえば、金村さんは（ミスター・）ヒトさんとは接点あるんですか？

金村 ありますよ。よく店に飲み行ったりしてましたから（笑）。

――あ、そうなんですか（笑）。ヒトさんは金村さんをレスラーとして凄く評価してるんですよね。「アイツはWWEに行っても通用する」って。

金村 あぁ、そうみたいですね（苦笑）。「でもな、アイツの欠点はなぁ、身体がしょっぱいことだ」って言われますけど（笑）。

――アハハハハ！

金村 あと「アイツは顔がブサイクなんや」って（笑）。

豪 ボロクソ言いますもんね、安達さんは（笑）。

――一部レスラーに対しては、かなり言ってますからね（笑）。

金村 安達さんは大阪でFMWやったら絶対来てたんですけど、黒田を見て「お前、デカくなったなぁ」って言って、黒田が「ありがとうございます！」って言ったら「態度がな」って（笑）。

――カナディアンジョークですか（笑）。ヒトさんに「身体がしょっぱい」って言われるという金村さんですが、トレーニングって、どんな感じでやってるんですか？　あまりウエイトとかはやってないのかなって思うんですけど（笑）。

金村 いや、ボクも一時期、田中とか黒田がいた時は反強制的にウエイトやらされてましたよ（苦笑）。でも「普段、何してんの？」ってよく聞かれるんですけど、ほとんど試合してますからね。

――試合が練習というか（笑）。

金村 そうッスね。でも、試合前に全部ガッチリやりますから。まあロープワークと受け身の練習やってればいいんですよ（笑）。

――やっぱり、食事とかに気をつかったりとかって……。

金村 （即座に）つかうわけないじゃないですか！（笑）。

――し、失礼しました（笑）。

金村 食事に気をつかったことなんて一度もないッスね！（キッパリ）。もう朝からステーキ、朝からカツ丼とか食いますから（笑）。

――さすがです！（笑）。お酒とかも毎日のようにですか？

金村 毎日が暴飲暴食です！（笑）。

豪 不摂生がポリシーだからね（笑）。

金村 いやポリシーってほどでもないんですけどね（苦笑）。

豪 でも逆三角形になっても似合わないですもんね（笑）。

――アハハハ！　でも一時期、邪道、外道さんとかも凄いシェイプし

ヒトさんには「アイツの欠点は体がしょっぱいこと。あと顔がブサイクなんや」って言われてます（笑）

てましたけど、金村さんだけはそのままでしたよね（笑）。

金村　ボクは逆にドンドン太ってましたから（笑）。

豪　でも一時100キロぐらいになってたよね？

金村　一回ダイエットして93キロまで落としたんですよ。

——おぉ～、それは凄い！（笑）。

金村　でも、痩せたら試合きつかったんでやめました（苦笑）。

——いまぐらいのウェイトが一番動きやすいんでしょうね。

金村　いや、さすがにいまはちょっと重すぎると思いますけど（苦笑）。だから最近またダイエットしようと思ったんですよ。そしたら、アイアンマッチで60分やれたんで、まだまだやれると（苦笑）。

豪　ホント、昔ながらのプロレスラーって感じですよね（笑）。

金村　ウェイトしまくってる人間、千人並ばしても「こん中にレスラーが1人います」って言ったら、千人中9割がボクがレスラーって言いますよ。そういう雰囲気は出すようにしてますから。

——意識的に、そういうオーラを出すようにしていると？（笑）。

金村　ただ普通にしてるだけなんですけどね（笑）。

——アハハハ！　話は変わりますけど、この間のドームで新日本がバーリ・トゥードを始めたわけですが、金村さんは以前『週プロ』で桜庭さんとの対談をお願いしたりと、総合格闘技も好きで見てるんですよね。

金村　最近忙しくてあまり見れてないですけど、でも家にいればペイパービューは必ず見ますね。で、見れない時は誰かしらに「リアルタイムで結果教えてくれ」って絶対言ってますから。

今後のWEWですか？冬木さんの言葉で「どうにかなるさ」って感じで（笑）

Kintaro KANEMURA

——そこまでしてますか（笑）。

金村　まさかノゲイラが負けるとは思わなかったですね。エンヤーコーリャでしたっけ？（笑）。

——まあ近いですけどね（笑）。あと総合ネタで言うと、金村さんは前にパンクラスで練習してたって聞いたことあるんですけど？

金村　いや、それは話が違うんですよ。パンクラスに金宗王って出てたじゃないですか？

——はい、出てましたね。

金村　彼をパンクラスに上げる時にルール説明があって、ボクは通訳で行っただけなんですよ（笑）。

——あっそうなんですか!?（笑）。

金村　彼は韓国で試合があった時とか、いろいろと世話してくれたし、一緒に飲んだりしてたんで。ボクね、読み書きは100％できるんですよ。で、その時は鈴木みのるさんがルール説明してくれたんですけど「4点ポイントでは攻撃しちゃダメ」とか。で、最終的に鈴木さんから「これ言ってあげて」って言われて。「なんですか？」って聞いたら「ルールなんて、あってないようなもんだから」って（笑）。

——アハハハ！　ホントになんでもありだったんですね（笑）。

金村　「エ～ッ!?」って思いましたもん（笑）。散々時間掛けて説明してくれてたんですけど、最後の最後に「これは重要だから言ってあげて。ルールはあってないようなもんだから」でしたから（笑）。

——やっぱり鈴木さんも凄いですね（笑）。で、読み書きは100％できるってことですが、金村さんは二世とかになるんですか？

金村　いや、ボクは日本で産まれたんで四世か五世ッスよ。曾おじいちゃんぐらいか、それぐらいで日本に来てるんで。

——そうなんですか。『週プロ』の選手名鑑とかでは最近はネタで釜山出身にしてますよね（笑）。

金村　ネタなんですけど、最近できた友達はホントに釜山で産まれたと思ってますからね（笑）。

——たしか、珩浩（こうひろ）っていうのが本名になるんですよね。

金村　そうです。金村珩浩です。ゆきひろっていうのは、ややこしいからパイオニアの時、剛さんか誰かが決めたんですよ。

——剛さんが名付け親でしたか（笑）。

金村　珩浩の「珩」って字は当て字でホントはないですからね。

——ハングルとかは小さい頃から話したりしてたんですか？

金村　お母さん方のお婆ちゃんがガキの頃に教えてくれたらしくて喋れましたね。でも、いまはほとんどしゃべる機会はないッスね。韓国行った時ぐらいです。あと、たまに韓国と貿易の仕事やってる人とかに、「この日本語を韓国語に直してくれ」とか言われてやったりはしますけど。

——本格的な通訳もやってるわけですね（笑）。

金村　ただ、さすがにニュース番組とか見てて同時通訳はできないですね（笑）。やっぱりゆっくり喋ってもらわないと。

——金村さんは、韓国の教えというか儒教的なものは影響されたりしてるんですか？

金村　全然全くないです！　一応、心は日本人ですから（笑）。

豪　都合のいい時だけ韓国人になるんだよね？（笑）。

金村　そうッスね（笑）。

——そうなんですか（笑）。では、今後のWEWの活動はどういった感じで考えてるんですか？　話せる範囲で構いませんので。

金村　今後のことはもうちょっと待ってください。

豪　まあ「なるようになる」ということで（笑）。

金村　冬木さんの言葉で「どうにかなるさ」って感じで（笑）。

——わかりました（笑）。今後の変わらぬ活躍を期待してます！

［5月13日／横浜『フジビューホテル』にて収録］

6.29 K-1 BEAST Ⅱ 2003

谷川マジック大爆発!!

勇気ある挑戦か？無謀な“馬鹿”か！

中西、K-1ルールでTOAと激突！勝者が“野獣”ボブ・サップに挑戦!!

5·2東京ドームで、藤田和之相手に初VTを敢行し、一敗地にまみれた中西。どのような形で再起を図るか注目されていたが、まさかまさかのK−1初出場が決定した！　“謎の男”TOAとの未知数過ぎる激突！　何が起こるかその目で確認するしかない！

6·29「K-1 BEASTⅡ」で
新日本プロレス・中西学と激突!!

「マオリ族最強の戦士」「世界相撲選手権2位」「WWEにもいたらしい」等、
いまだ断片的にしか情報がないTOA。記者会見のために来日して以来、若干"一杯食わせ者"感も
漂い始めている気もするが、まだまだ幻想もたっぷり。この男、ホントはいったいどうなのさ!?

サモアン・ウォリアー
トーア

TOA

SAMOAN WARRIOR

聞き手／堀江ガンツ　撮影／松本崇
designed by hisa (Two Three)

謎と神秘のベールに包まれた
〝マオリ族最強の戦士〟
とは一体何者なのか!?

「今、お前に
テレパシーを送った。
それですべてを
感じ取れ!」

〝サモアン・ビースト軍の首領〟TOAが日本再上陸！

6・29『K―1BEASTⅡ2003』において、遂にそのベールを脱ぐこととなった謎の男TOA。しかし、それに先がけて6月4日に行われた記者会見に姿を現したTOAは、「俺はサップの手下じゃねぇ」とばかりに突如サップに対して消化器噴射！　まさかの造反劇で過激な宣戦布告を行った。本誌はその会見直後に宿泊先のホテルでTOAをキャッチ。乱闘をおこした真意と、〝マオリ族最強の戦士〟の素顔に迫った！

――さきほどの記者会見では、凄い暴れっぷりでしたけど、何があなたをそうさせたんですか？　サップへの怒りですか？　それともあなたの中にあるエンターテインメント性ですか？

TOA　決してエンターテインメントなんかではない！　とにかくボブ・サップ、あいつが大嫌いなだけだ！

――大嫌いですか！　じゃあ〝第2のボブ・サップ〟と呼ばれることにはどう感じていますか？

TOA　そんな呼び方はまっぴらゴメンだ！　俺は「第2のボブ」なんかではないし、俺の辞書に「ボブ・サップ」という文字はない！　これだけは言っておく、勝手にビースト軍の一員にされてしまったが、俺は決してサップの下じゃないんだ！

――ボブ・サップのどこがそんなに嫌いなんですか？

TOA　すべてだな。ボブは戦士にあるまじき男だ。あんな芸能人が俺たちのボスみたいな面をしてるのが我慢できない！

――そうは言っても、ボブ・サップは日本で成功を収めて、日本では知らない人がいないくらい有名人です。彼のようになりたいとは思いませんか？

TOA　ふん、日本で成功したいとは思うが、ボブみたいにはなりたくないね！　ボブは日本に「エンターテインメント」というモノを持ち込んでいるだけだが、俺はエンターテインメントではなく、戦士の魂を持ってきている。だから俺とボブの中に共通する点はまったくないし、ボブのようにエンターテインメントで馬鹿なことをやって目立とうとなんか思わない！

――でも、先ほどの消化器噴射は、かなりのエンターテインメントだと思いますけど（笑）。

TOA　だから、あれはエンターテインメントじゃねぇって言ってるだろ！　お前さんにもブチまけてやろうか！

――し、失礼しました！

TOA　今日の記者会見で見たらわかるように、俺はやりたくて消化器をブチまけたわけではなく、ボブの顔を見たら頭に来てやってしまっただけだ。それを勘違いしてもらっちゃ困る。

――TOAさんもホントは「アングルという言葉が大嫌い」なんですね（笑）。では、本来のTOAとはどんな選手なんですか？

TOA　まぁ、俺のことを一言で言うなら、戦士の魂というものを重要視している大きなハートを持ったファイターだな。

――こちらでいただいている資料としては、ニュージーランドの先住民族である「マオリ族最強の戦士」ということなんですが、「マオリ族」とはどんな種族なんですか？

TOA　マオリ族は戦士の部族だ。生まれた時から戦士として生まれ戦士として育ち、子孫を戦士として育て続ける。そして、いま俺も彼らから受け継いだ文化を大

6.4　K-1BEASTⅡカード発表会見

TOA、ボブ・サップに反逆!!
消火器噴射で宣戦布告!!

ビースト軍大将として、必要以上に大はしゃぎしながらTOAを紹介したサップ。しかし、仏頂面で登場したTOAは、「(3・30) ミルコ戦でのお前のあの闘いぶりはなんだ!?」と、突然サップに対してなじり始めた！

サップ、TOA2大怪獣大乱闘後の見るも無惨な会見場。それにしても、取り残されたジャパン軍の立場って一体……。

口だけじゃ収まらないTOAはなんと、会場隅にあった消化器を手に取り、サップに向かってブチまけた！　会見場は大混乱！

6.6　TOA、公開スパーリング

TOA、打撃テクニックを披露
そしてなぜか敵将・角田に弟子入り!

見てみ、このふくらはぎ！　重いローキックを叩き込みTOAの足を見ただけで、その破壊力は容易に想像できるだろう。

「5・2ラスベガスでの闘いぶりに感銘を受けた」というTOAは、「アングルという言葉が大嫌い」な、ジャパン軍総帥・角田信朗師範に軍団の枠を超えて弟子入り。角田師範もTOAを「勘のいい選手」と高く評価。

パワーだけじゃない！　なんと走り込んでのジャンピングニーをヒットさせるTOA。しかも首を抱えるだけにより強烈だ！

K-1はついこの間まで相撲と同じようなものだと思ってたよ

TOA

事にしているんだ。

――……彼ら？　TOAさん自身がマオリ族なのではないんですか？

TOA　日本人がサムライの子孫であるのと同様に、俺はマオリ族の末裔として、彼らの文化である戦士の魂を受け継いでいるということだ。だから、俺はマオリ族の人間を代表してマオリ族の文化をアピールしている。俺が見せたいのはハリウッドではなく、闘いの魂だ。そして、それがマオリ族の文化そのものなんだ。

ジョーンズ（TOAのトレーナー兼マネージャー）　ひとつ付け加えさせてください。TOAがなぜ日本で試合をするのかと言うと、マオリ族の闘いの魂を日本人が目の当たりにすることによって、日本人が持っている戦士の魂を呼び起こしてほしいのです。いまの日本人は、だんだんアメリカの文化に毒されてきてしまっていて、日本人がかつて持っていた文化が失われてきているように思います。日本人がK―1でなかなか勝てなくなっているのも、武士道や侍の魂というものを失いつつあることが原因なのでしょう。このままいったら日本は悲劇的な運命を辿ってしまいます。我々は、本当に手遅れになる前に日本独自の文化を取り戻すべきだと思います。

TOA　マオリ族の闘いの魂というのは、日本の武士道と非常に共通点が多い。だから俺はボブなんかより、日本人に近いと思う。

――ほぉ、だからこそサップではなく、〝敵将〟である角田師範を尊敬している、と。

TOA　そうだ。ラスベガス（5・2K―1WGP）で見せた角田の闘いこそ、サムライの姿だ。それに引き替え、3月の試合（vsミルコ戦）でのボブの闘いぶりはなんだ!?　戦士の風上にも置けないヤツだ！

――〝TOA〟とはマオリ族の言葉で〝戦士〟を意味するらしいですけど、これはいつごろから呼ばれ始めたんですか？

TOA　だいたい6年前ぐらいだな。

――それはなんらかの実績を挙げたからそう呼ばれ始めたんですよね？

TOA　マオリ族の代表であるという自覚を持ち、いろいろなことを達成したから呼ばれ始めたんだろう。マオリ族は何かを達成するたびに顔の刺青を増やしていったんだ。そしていま俺の顔に描かれているデザインは、1350年ぐらいにマオリ族の祖先がニュージーランドにカヌーで移り住んでから1860年代ぐらいまで、彼らが戦士としてやってきたことの表れであり、何も描かれていない顔の左半分はそれらを達成できない現代を表しているんだ。

ジョーンズ　日本にもマオリ族と同じように刺青を入れる先住民族がいるのはご存じですか？

――ああ、確かアイヌの人たちの習慣ですね。

ジョーンズ　そうです。マオリとアイヌは習慣や言語が似ているんですよ。

――へ～、そうなんですか。ちなみにTOAさんの左半分に描かれているのは、本物の刺青なんですか？

TOA　……………。

――ど、どうしたんですか？

TOA　（ひたすら聞き手の目を見つめて）……………。

――いや……あの～、そんなに見つめられても……（苦笑）。

TOA　いま、お前さんにテレパシーで伝えたから、それですべてを感じろ！

――えぇぇ～～ッ！　テ、テレパシーって言われても、ボクそんな能力ないし……。

TOA　……………。

――次の質問に行かせていただきます（苦笑）。TOAさんはやはり、幼少の頃から格闘技の経験があるんですか？

TOA　まぁ、いろんなことをちょこちょこやっていたよ。常に俺の側にはスポーツがあった感じだな。

――最初の格闘技経験はなんだったんですか？

TOA　……………。

――テレパシーで感じさせていただきます

（笑）。相撲を始めるきっかけというのはなんだったんですか？

TOA　きっかけというのは知り合いに「やってみろよ」と言われたんで、チャレンジしてみたんだ。そのときちょうど相撲の世界選手権があって、2位になったよ。

――日本の大相撲に対する知識はどのくらいあるんですか？

TOA　今回のK―1と同じで知識はまったくない！（キッパリ）

――まったくないんですか!?　じゃあ、例えばマオリ族と同じポリネシア系の小錦とかも知らないんですか？

TOA　コニシキは知ってる。あとは、アケボノ……。

――曙ですね。武蔵丸は？

TOA　ムサシマル？　知らない。

――あ、知らない（笑）。さきほど、「K―1と同じで知識はない」と言ってましたけど、K―1についても全然知らないんですか？

TOA　まったく知らない。この間までK―1の意味は、1度K（Knock Down）したら勝ち。相撲と同じように先に倒れた方が負けという意味だと思っていたくらいだ。

――そ……それ、いくらなんでも知らなすぎじゃないですか？（笑）。

TOA　まぁ、相撲だってルールもロクに知らずに2位になったぐらいだから大丈夫だろう。リングでぶん殴って勝てばいいだけだ。

――まぁ、そうですけど……（笑）。94年の世界相撲選手権2位以来、プロフィールに空白が多いんですけど、今日までどんな生活をしていたんですか？

TOA　いろいろやっていたよ。ストロングマンコンテストに出たり、ラグビーをやったりしていた。それからカリフォルニアであったウェイトリフティングの大会ではデッドリフトで新記録を出したんだ。

中西戦に備えて秘密特訓を積んでいるんだ。卓球のね。

TOA

――プロレス界にも一時いたと聞きましたが？

TOA　WWFのトレーニング・キャンプに1年半の間いたよ。同じ時期にはジョン・シナという男がいて、彼はいまWWEで活躍しているよ。

――TOAさんにとって、プロレス界というのは魅力的ではありませんでしたか？

TOA　プロレスに限らず、俺は基本的にコンタクトスポーツは好きなんだ。それが格闘技でもラグビーでもね。

――いまはWWEマットに上がりたいという気持ちはないんですか？

TOA　まだ、自分がWWEに参戦しているという可能性は見えてこないが、いま参戦のオファーを受けているのはK―1なので、これから格闘技の世界で突き進んで行く中で、WWEに入るという可能性もなきにしもあらずだが、いま現在はK―1の闘いに集中したいと思う。

――今度のK―1では、新日本プロレスの中西学選手との対戦が取りざたされていますけど（現在は正式決定）、中西選手については何か知っていることはありますか？

TOA　ナカニシ？　誰だそりゃ!?

――あ、これも知らない（笑）。

TOA　今回の試合について俺がひとつだけ知っていることは、俺との対戦が決まってから毎日怖くて眠れない日本人がいるらしいということだけだが、その弱虫がおそらくナカニシとかいう奴なんだろうよ。

――そんなインサイダー情報が入ってますか（笑）。K―1の練習はいま誰とどんな

TOA（トーア）本名・非公開。1973年12月24日、ニュージーランド出身。94年世界アマチュア相撲選手権で2位に輝いていることは判明しているが、その他経歴は謎に包まれている。6・29さいたまでその全貌は見られるか!?　192cm、131kg。

練習をしているんですか？

TOA　俺の秘密特訓を知りたいのか？

——はい、ゼヒ！

TOA　よぉし、特別に教えてやろう。いま俺が行っている特訓は……卓球だ！

——た、卓球!?

TOA　そうだ、卓球だ。ナカニシとかいう奴を倒すには最適な練習法だろう。

——それはマオリ族伝統の特訓なんですか？（笑）。

TOA　マオリ族の伝統ではないが、手の動きは早くなるだろうから、ナカニシは俺のパンチが見えないだろう（笑）。

——そうですか（笑）。卓球の重要性はよくわかりましたが、その他に何か練習はしていないんですか？

TOA　当たり前だ。卓球だけなはずがないだろう。俺をバカにするんじゃねぇ！

——ＴＯＡさんが自分で言ったんじゃないですか！（笑）。具体的にはどんな練習をしてるんですか？

TOA　例えば散歩だな。

——今度は散歩！（笑）。

TOA　そう、散歩だ！　スタミナをつけるにはもっとも適したトレーニングだよ。おっと、気がつけばもう散歩トレーニングの時間じゃねぇか。というわけで、俺は散歩に出かけるのでインタビューはお終いだ。

——えぇ～～！　そ、そんなぁ～～。

TOA　続きはテレパシーで送っといてやるから、お前さんで勝手に感じとりな。（そういってホントに部屋から出ていってしまう）

——あ、ちょっと、ＴＯＡさん待って！　ＴＯＡさぁ～～ん！

【03年6月4日／都内・某ホテルにて収録】

「K-1ビースト」に乗れない貴方に贈る、見どころ解説

ペイント力士vsプロレスラー 両者の馬鹿力ぶりを見よ!

文／中村カタブツ君

「新日本プロレスはお前に任せた」

どういうつもりか中西学にこんな大事なことを言ってしまった猪木さん。だが、現社長・ドラゴン藤波が呼ばれてもいないのに『PRIDE26』のリングにノコノコ上がってしまったことなどを考えれば、どうやら、新日の責任者とは〝馬鹿になれ〟ではなく、〝馬鹿がなれ〟ということらしい。

そうである以上、K—1のリングに自他共に認める馬鹿力の持ち主、あの中西学が、新日代表として乗り込むことは大正解だと断言したい。

ゾクゾクするだろう。バルセロナ五輪アマレス日本代表選手が無茶を承知で挑む打撃の試合なのだ。まさに馬鹿、まさに新日男塾！

そんな日本の誇る野人・中西の相手を務めるのがTOAだ。ニュージーランドの先住民族マオリ族の大酋長の末裔という経歴だけでなく身長192センチ、体重131キロの体躯はK—1側が第2のボブ・サップと目するだけのことはある。

しかも、あの顔の入れ墨だ。「マオリでは戦士でなければあとは奴隷なのです」と『週プロ』のインタビューで豪語するだけのことはある、イカした未開人だろう。

ところがだ。一番の売りである入れ墨なのに、同じく『週プロ』のインタビューで「ペイントです」とあっさりと暴露。にわかに食わせ者感が漂うわけだが、同時に中西とぶつける相手としてはなんとも言えないイイ匂いがしてくるのも確か。

そもそもTOAの格闘技歴は94年世界相撲選手権で準優勝のみ。あとはタフマンコンテストに出場＆パワーリフティングで優勝と、確かに剛の者だが、肝心要の打撃の経験はゼロ。極真空手の流れを汲む士道館のトレーナー、ジョーンズ氏がついているので空手の素養はあるようだが、それにしてもというところはある。

その上、「TOAは今、ニュージーランドのジムで練習しています。そこは納屋を改造したもので壁際には藁が積んであります。やはり、自分たちがそういうところで練習してきたことを振り返るのはいいことです。なにせ、一週間前にキックミットが手に入ったばかりですからね（笑）」とざっくばらんに話すジョーンズ氏。これは6月4日の話なので、TOA陣営がキックミットを入手したのはなんと5月の末頃ということになるわけだ。

こんな状態であるのに中西は『SRS・DX』96号のインタビューでこういうことを言ってるわけである。

「やっぱ怖いですよ。両手両足に爆弾を持ってるような……爆弾っていうかミサイルかなんかつけてる奴と闘うようなもんですよ」

これに対して聞き手は、TOAもほとんど打撃の経験はないと教えるのだが、「でも、立場としてはかけ離れていると思うよ。だって、彼はずっとその練習をしてるわけじゃない？　全然違うよ」とまさに馬鹿の一つ覚えの返答。だから、練習してないんだよ！

K—1挑戦に必死で相手のことを一切見ない素敵な中西。その一方、TOAはTOAで、やっとキックミットが手に入ったことを喜んでいたりしたのだから、もの凄いぞ、こいつら！

見るべきはこの二人の馬鹿力ぶりに尽きると今から断言しておきたい。

K—1イベントプロデューサー谷川貞治氏は「K—1ビーストはサーカスなんですよぉ（笑）」と語っていたが、遂に本物が登場してきたと言っていい感じだろう。

実のところ、TOAは唯一の格闘技歴である相撲すら習ったことはないのだ。なんと、世界相撲選手権にはたまたま「出てみろ」と言われたから出てみただけで、それなのに準優勝してしまったという、ナチュラルな力の持ち主。

入れ墨はペイントだったものの、マオリの血筋を非常に大事にしているのも確かで、来日中も食事の前は必ずお祈りし、中華料理も手で食べてK—1関係者を「さすが！」と唸らせてもいる。

なんか、男として気持ちがいいのだ。

ロクにプロとしての経験がないのに、来日直後に消火器でサップを襲わさせられ、角田統括プロデューサーに叱られたり、そのズンドコぶりはたまらく可愛いの一言。

中西にしたって今回のK—1挑戦を、「レスラー仲間からチキンと馬鹿にされていた中西の思い切った決断は評価している」と猪木さんから微妙な誉められ方をされている。

ホントにいいな、中西＆TOA！

改めて考えれば、この両者の試合は、プロレスラーとペイント相撲レスラーがK—1ルールで闘うという、驚愕のマッチメイク。昔、アジャ・コングらを使って全女がやっていたデタラメな異種格闘技戦風味の甘露な舌触りだろう。

そんな試合を元バルセロナ五輪アマレス代表選手を使って全国ネットで流すというゴージャスな味付けが素晴らしいのだ。実際の話、こういう試合を組んでくれた、格闘技界のキング・プロデューサー谷川貞治氏には、「この〝キング〟貞治、ビッグ1！」と心の底から言いたい気持ちで一杯。

6月29日、馬鹿力ががっぷり4つでぶつかり合う未曾有の試合が楽しみでならないのである。

K-1WORLDMAX2003
世界一決定トーナメント

［優勝1000万／2位200万／3位75万／KO賞35万］

ブロック	選手
A	魔裟斗［日本／シルバーウルフ］
A	マイク・ザンビディス［ギリシャ／メガジム］
A	サムゴー・ギャットモンテープ［タイ］
A	マルシオ・カノレッティ［ブラジル／シッタマスターロニー］
B	武田幸三［日本／治政館］
B	ドゥエイン・ラドウィック［アメリカ／3-Dマーシャルアーツ］
B	アルバート・クラウス［オランダ／ブーリーズジム］
B	アンディ・サワー［オランダ／リンホージム］

K-1 WORLD MAX2003
～世界一決定トーナメント～
7月5日（土）さいたまスーパーアリーナ
OPEN15:00　START16:00

［入場料］
SRS席20,000円／スタンドS席16,000円／スタンドA席6,000円

［チケットに関する問い合わせ］キョードー東京　03-3498-999
［大会に関する問い合わせ］K-1事務局　03-3796-2977

7.5 K-1WORLDMAX
さいたまスーパーアリーナ［16:00］

史上最高のメンバー！ これぞK-1の“MAX”だ!!

K—1WORLDMAXが、まさに“MAX”の名に相応しい、とんでもない超豪華メンバーを集結させた！　まず、K—1MAXの“主役”である魔裟斗は、いきなり前回覇者クラウスをKOし、衝撃日本デビューを飾ったザンビディスと対戦。もう一方の雄、武田幸三もUFCで須藤元気を下したラドウィックと当たり、それを超えれば、次は事実上の決勝戦の声も高いクラウスvs“S—cup王者”サワーの勝者と対戦。魔裟斗のブロックにもムエタイ王者サムゴーがいるというとんでもない組み合わせだ。すべてが夢の対決。7月興行戦争の本命はK—1MAXだ！

〝中量級格闘技界のパ・リーグ〟S—cup覇者であるサワーも殴り込み！　シュートボクシングを背負ってK—1と真っ向勝負する。

DEEP大阪初進出！主役はこの3人だ!!

この夏、大阪が熱い!!　好カードをズラリと並べ『DEEP』が大阪初進出!　メインには三島☆ド根性ノ助、セミには須田匡昇、セミ前には辻結花と、地元・関西出身の選手を多数集結させ勝負に出た佐伯代表。長南の復帰戦や3人のXなど見所満載の今大会だが、やはり注目は上の3試合だろう。果たして、主役の座をかっさらうのは3人の中の誰だ!?

撮影／堀江ガンツ

designed by matsu（Two three）

今成正和と"足関十段"決定戦実現!!

01 三島☆ド根性ノ助

（総合格闘技道場コブラ会）

総合史上初!?　三冠王にリーチ!!

02 須田匡昇

（CLUB・J）

ブラジリアン柔術の超強豪と激突!!

03 辻 結花

（総合格闘技・闇愚羅）

7.13DEEP11th IMPACT in OSAKA

グランキューブ大阪（START/16:00）

第8試合／69kg以下契約

三島☆ド根性ノ助（総合格闘技道場コブラ会）
vs **今成正和**（Team ROKEN）

第7試合／グラップリングタッグマッチ

須田匡昇（CLUB・J）& **X** vs **門馬秀貴**（A-3）& **X**

第6試合／55kg以下契約　※マウントパンチ有り

辻結花（総合格闘技・闇愚羅）
vs **アンナ・ミッシェル・ダンテス**（ノヴァ・ウニオン）

第5試合／82kg以下契約

長南亮（U-FILE CAMP.com）vs **久松勇二**（TIGER PLACE）

第4試合／78kg以下契約

光岡映二（RJW/central）vs **X**

第3試合／76kg以下契約

池本誠知（ライルーツコナン）vs **佐々木恭介**（U-FILE CAMP.com）

第2試合／90kg以下契約

伊藤博之（フリー）vs **奥山峰司**（CMA京都成蹊館）

第1試合／68kg以下契約

亀田雅史（総合格闘技道場コブラ会）vs **深見智之**（CMA京都成蹊館）

MISHIMA☆DOKONJONOSUKE

01

三島☆ド根性ノ助

『DEEP』、U-STYLEと大活躍の男が次なる目標を激白!!

「やっぱりベルトが欲しい！　そうや、天下一Jr.王座を狙ってみます!!」

（天下一：ZERO-ONE）

6・29U-STYLEそして7・13『DEEP』、両大会とも初の大阪大会、どちらにも出場するのが地元出身の三島☆ド根性ノ助。4月はU-STYLEで田村戦、5月にはコンテンダーズで宇野薫とタッグ対決と様々なリングで輝きを放っている三島。メインを務める『DEEP』7月大会では“足関十段”今成と激突する三島の次なる目標とは？

聞き手&撮影／堀江ガンツ　構成／ジャン斉藤　designed by matsu（Two three）

――三島さんは今回、6・29『U―STYLE』、7・13『DEEP』と、地元・大阪で連戦となりますよね。

三島　今年の3月から月一回は試合をしてるんで、あんまり忙しさは感じてないですけどね。

――これくらいオファーが殺到した方がやりがいがあるんですか？

三島　そうですね。オファーがくるのもいまだけですから（笑）。

――そんなことはないでしょう（笑）。今成選手とメインイベントを張る『DEEP』にしても、佐伯さんいわく「成功したら定期的に大阪でやる」らしいですから、三島さんがキーマンになっていきますよ！

三島　それはプレッシャーやな（笑）。ま、『DEEP』はU―STYLEが終わってから考えます。

――そのU―STYLEは二度目の登場になりますけど、初体験となった前回は、田村選手と対戦できることが一番の参戦動機だったんですか？　それともUスタイルやプロレスがやってみたいということが大きかったんでしょうか？

三島　いや、純粋にUスタイルでやりたかったんです。ほんで経験を積んでって、いつかは田村さんとやるっていうのが理想だったんですけどね。

――最終目標が初戦で実現しちゃったわけですか（笑）。

三島　はい（笑）。断るのも失礼な話なんでやったんですけど、次に再戦をやらせていただけるなら、もっと経験を積んでからやりたいですね。いますぐって言われても、前回とあんまかわらんことしか、まだまだできそうにないですからね。

――やっぱり実際にやってみると、それまで頭で描いていたU―STYLEと違った部分もあったんですか？

三島　ああ、それはありますね。ボクも力を抜いて楽にやるつもりだったんですけど、総合のクセが抜けなくて力が入り過ぎました。ほんま難しかったですね。はい（笑）。

――Uスタイルは実際にやったら「こんなに大変なんだ」って感じですか？

三島　そうですね。とにかくあんなにスタミナ配分が難しいとは思わなかったですね。もう8分過ぎてから息が上がってしまって。それなのに、逆に田村さんは全然ヘッチャラでしたから、あの辺はちょっと勉強せなアカンなって思いましたね。

――田村さんはUスタイルの闘い方を熟知してますからね。

三島　それに田村さんは身体がムキムキやし、総合では力強い試合をするのに、U―STYLEでは柔らかい感じやったんですよね。こっちが「いける！　いける！」と思っても、知らない間に返してくるし、そういう意味ではやってて凄く楽しかったですよ。

――それは総合格闘技の試合とは違う「楽しさ」になるんですか？

三島　そうですね。総合とはシステムが違うし、試合を組み立てたりしてゲーム感覚で闘うから、違った楽しさになりますね。

――ファンの歓声にしても、総合とは種類が違いますよね。

三島　格闘技とは盛り上がり方が全然違いますよねぇ。どう違うんやろ？　楽しみ方を知ってるというのかな。もちろん技術の攻防とかも見てくれたと思いますけど、雰囲気を楽しんでるのがヒシヒシ伝わってくるんですよね。だからやってるこっちも楽しいし、メッチャいい雰囲気でしたよ。それに試合前に田村さんの正面に立ったとき、震えはしませんでしたけど感動しました（笑）。

――あの田村潔司と対峙している、と（笑）。

三島　不遜な言い方ですけど、昔から見てましたから（笑）。終わったあとも実感がなくてね。雑誌に載ってようやく「やったんだなぁ」って実感が沸いたみたいな（笑）。ホントはドロップキックとかやるつもりだったんですけど、ゴングが鳴った瞬間、頭から吹っ飛んでしまいましたね（苦笑）。

――次回の佐々木恭介戦で期待してます（笑）。

三島　次は何分やってもスタミナが切れないように試合を組み立てたいですね。自分のことだけじゃなくて、相手のことを考えないといけないんでね。

――2回目ですから、前回以上の動きなんかも期待されるでしょうからね。

三島　そうですね。だから、総合の良いところを出しながら、Uスタイルに対応できたらいいですね。ボクのメイ

足関でもボクは負けないと思う。逆にこっちも狙います!

ンは総合なんですけど、時期が合えばドンドンやって経験を積みたいですよ。

——でも、総合と並行して続けるのはかなり大変な作業になりますよね。

三島　いろいろ体験して見極めていこうかなって思ってるですよね。いままでは年に3試合ぐらい修斗でやるぐらいでしたから、自分の可能性をいじれて楽しいですしね。

——三島さんがUスタイルのプロレスと総合格闘技を毎月交互にやるなんて、1年前では、誰も考えてなかったでしょうからね（笑）。

三島　そうですね。修斗のチャンピオンを諦めた瞬間、道がヴァーと開けましたから（笑）。いままでは修斗のチャンピオンしか目に入らなくて視界が狭まっていたのが、なくなった瞬間にドン！　と見えたんですよ（笑）。ホンマ去年の今頃は夢にも思わなかったですけど、いまはやりたければ何でもできるんやなって思いますね。デスマッチとかも一回ぐらいやってもいいです（笑）。

——他のプロレスにも興味があるんですか？

三島　それはありますよ！　とりあえず、飛んでみたいですね（笑）。

——三島さんは総合でも試合後にムーンサルトプレスとか披露してますもんね（笑）。

三島　飛ぶのが昔からの夢だったんでね（笑）。それと、いずれは何でもいいからチャンピオンベルトを巻きたいですね。今日、須田さんが2本も持ってきたじゃないですか？　かなり羨ましかったんですよ（笑）。

——そんなジェラシーを抱いてたんですか（笑）。

三島　ベルトをたくさん取って身体に巻き付けたいですね（笑）。そのためにはプロレスでも総合でもドンドン勝って名前を上げたいですね。それがベルトへの近道やと思いますから。

——となると、『DEEP』の今成戦も落とせない一戦になりますよね。

三島　そうですね。今成選手はキャラクターがある選手やから、面白い試合になるとは思いますね。

——今成選手は際だったパフォーマンスはしませんけど、異様な雰囲気がありますよね。

三島　羨ましいですよね。ボクにはあんなオーラがないんで（笑）。

——いや、キャラ的に陽と陰の違いがあるだけで、三島さんもオーラはありますよ（笑）。

三島　そうですかね（笑）。まぁ今成選手のことは雑誌で読んだだけで、試合は見たことないんですよ。これからビデオで研究します！

——じゃあ、今成選手のイメージはあまり沸かないですか？

三島　う～ん、見たことないけど、足関が凄いイメージはありますね。

——"足関十段"っていうくらいですからね（笑）。三島選手も足関は得意ですけど、テーマ的に足関勝負になりますか？

三島　いけそうやったら（笑）。足関でも負けないと思うんですけどね。

——どうぞ足関を狙ってください、と。

三島　そうですね。逆にこっちも狙いますから！

——ちなみに三島選手がいままで肌を合わせた選手で、一番足関が凄かったのは誰ですか？

三島　マッハ選手ですかね。彼はアキレスでもヒールでも凄いですよ。マッハぐらいですね、足を取られたのは。ボクは佐藤（ルミナ）氏にも極められなかったから大丈夫だと思うんですけどね。一応マッサージして足関を柔らかくしときます（笑）。

——念には念を入れて（笑）。

三島　あとは注意することは……今成選手は矢野（卓見）選手と仲がいいでしょ。自分、矢野選手に私生活の弱みを握られてるんで今成選手に教えてるとヤバイですね。試合中に「アレ暴露していいんか⁉」と言われたら困りますよ！

——ガハハハ！　矢野さんは業界のゴシップ収集が趣味ですからね（笑）。

三島　矢野さんは会うといらんことばっか言うんですよ。こっちは無視してるんですけどね（笑）。

——こっちも話を戻します（笑）。今成戦は69キロ契約ですけど、三島さん的には一階級下になりますよね。逆に今成選手は一回り大きい三島さんを相手にするわけだし、互いに体重が不安材料になると思うんですけど。

三島　いや、自分はいま77キロ強ですけど、いつも80から70まで落としてやってるんですよ。

——あ、そこまで落としてますか！

三島　ボクのベストは68キロなんですね。身体もきれるし、スタミナもあるしで。それに減量はライフワークで得意なんで問題ないです（笑）。

——特別な減量メニューがあったりするんですか？

三島　いや、炭酸化物を取らないだけですね。ペプシをダイエットペプシにするぐらいです。

——それで落とせるもんなんですか（笑）。

三島　それだけでだいぶ違う……と、思うんですけど（笑）。

——気の持ちようなんですかね（笑）。もしかして、普段は異常なほど炭酸飲料を飲んだりしてます？

三島　飲んでるみたいですね、周りが言うには。普通スポーツ選手は飲まないんでみんな驚きますけど（笑）。昔は1ヶ月前からジュース禁止でしたけど、コーラ以外にもダイエットスプライトも出てるし、一時期ダイエットカルピスソーダもありましたからね。いまは良い時代になってね、だいぶ助かってますよ（笑）。

——普通ダイエットする人はカルピスは飲まないんですけどね（笑）。じゃあ、今成戦に向けて、ダイエットペプシ生活に入ってるんですか？

三島　もちろんですよ。昨日も5本買ってきて、家に転がってます（笑）。

——ガハハハ！　最後に今後の抱負をお願いします！

三島　やっぱり、U—STYLEに出る限りは、田村さんに一回は勝ちたいですよね。それからやっぱりベルトが欲しいですね。

——じゃあ、次のU—STYLEで坂田さんに挑戦したらいいんじゃないですか？　それで勝ったら、天下一Jr.王座挑戦をアピールする、と（笑）。

三島　ああ、ほんまですね。ZERO—ONEだったら飛べそうだし、今度はそっちのほうでもやりたいなぁ。まぁ、期待していてください！（笑）。

ダブルス（タッグマッチ）ながら緊張感溢れる攻防となった三島vs宇野の初対決。宇野に対して積極的に足関節技を仕掛けていった三島。"足関十段"今成に三島の足関が爆発し、新"足関十段"の称号を手にできるか？　注目だ!!

"足関十段"今成正和 三島戦を語る!!

今回ばかりは"塩試合"になってもいいから勝てたら嬉しいなと（笑）。

（三島戦は）とってもおいしい相手だな、と。名前が凄くあってメチャメチャ強いんで、挑戦しがいのある相手でよかったなと。これで弱かったらもっと良かったんですけど（笑）。

（三島のイメージは）馬鹿力っぽいかなって感じですけど、そんな凄い差がある気はしないんですよね。体格差は通常体重で10キロ以上あるみたいですけど、そんなのはどうでもいいかなって。（DEEPルールについて）ルール的には僕向きじゃないですけど、基本的にスタンドで殴って極めるだけなんで変わんないかなと。向こうも足関には自信持ってるみたいですけど、僕はお客さんの期待を裏切って足関に全くいかないとかも考えてるんで（笑）。（勝算は？）五分五分ぐらいですね。なんとなくイケそうな気もするんですけど、大きいこと言うと、また「2ちゃんねる」とかで叩かれるんで（笑）。でも、これで勝ったら文句もないだろうから、そうなるよう頑張ります。今回ばかりは"塩試合"になってもいいから勝てたら嬉しいな、と（笑）。

SUDA MASANORI

02

須田匡昇

修斗ライトヘビー級＆スーパーブロウル世界王者の夢は?

「ボクはプロレスが大好きなんでプロレスラーのように三冠王を目指します!!」

修斗ライトヘビー級王者・須田は5月9日にハワイでイーゲン井上が保持するスーパーブロウル世界王座とダブルタイトルマッチを行い1R、27秒KO勝ちで見事二冠王に！ 9月に上山が持つ『DEEP』ミドル級王座への挑戦が内定している須田は、総合では、おそらく初となる三冠王へリーチ!! そんな須田がさらなる願望を激白!!

聞き手／松澤チョロ　撮影／堀江ガンツ　designed by matsu（Two three）

——今日はベルトを二本持ってきてもらったんですが、その必要以上に大きなベルトはハワイでイーゲン（井上）選手から奪取したんですよね（笑）。

須田　そうです。でも行く前はダブルタイトルマッチだって知らなくて。向こう行ってから記者会見があって、そこで初めて聞かされたんです（苦笑）。

——そんなことがあるんですか（笑）。

須田　あったんですよ（笑）。でも、勝ったらおいしいなぁって思って。もらえるモノはもらっておこうと。

——ということは、やる前から、かなり自信があったんですね。

須田　なんか自信はありましたね。

——結果だけ見ると秒殺ですからね。

須田　でも、勝つには勝ったんですけど、なんかパンチでダウンした時、ダウンカウントを取らなかったってことで、イーゲンが「無効試合じゃないか」ってクレームを付けたらしいんですよ。でも自分の中では勝ったと思ってるし、どっちでもいいなって（笑）。ただ、ベルトは欲しかったんですよ。

——5月9日に試合をして、実際にベルトが届いたのは最近みたいですね。

須田　2週間前にようやく届きました（笑）。ボクはハワイのプロモーターに「ベルトを送ってくれなかったら試合にはもう出ない」って、ずっとメール打ってましたからね（笑）。

——メール攻撃でベルトを手に入れたと（笑）。でもハワイはイーゲン選手の地元なんで、周りも当然イーゲンの応援ばっかりだったんですよね（笑）。

須田　やっぱりイーゲンは向こうでは英雄みたいな感じだし、ボクは思いっきりヒールでしたね。でもボクはヒールが好きなんで全然問題なく（笑）。

——それはなによりです（笑）。で、須田さんは9月には上山選手が持つ『DEEP』ミドル級への挑戦が内定してますが、それに勝てば三冠王になる可能性が出てきましたよね。

須田　そうなんですよ。それが、いまの一番の目標ですね。目指せ三冠王って感じで（笑）。

——目指せ三冠王ですか（笑）。で、その前に『DEEP』大阪大会があるわけですけど、須田さんは淡路島出身ってことで、正確には大阪が地元ってことではないんですよね。

須田　でも地元みたいなもんですよ。大阪でやるっていったら淡路島からもみんな見に来ますからね。東京だったらみんな行けないじゃないですか？

——まあそうでしょうね（笑）。

須田　それにボク、なにげに大阪で負けたことないんですよ（笑）。

——縁起がいい場所だと（笑）。やっぱり東京での試合は移動もあるし、かなりツライって言いますよね。

須田　そうですね。それに、やっぱり仕事をやって、それから試合っていうのはキツイですよ（苦笑）。

——須田さんは、今度『DEEP』に出る辻さんも以前やられていた老人介護の仕事をしてるんですよね。

須田　一緒です一緒です。でも会社には一応内緒なんですけど（笑）。

——なんで内緒なんですか？

須田　バイト禁止なんで、バレるとクビになるんですよ（苦笑）。

——そうなんですか（笑）。じゃあ、試合の時とかはどうしてるんですか？

須田　いや、ちょっと旅行に行くとか言って（笑）。

——それは無理があると思いますけど（笑）。ヘタに知名度が上がって有名になったら問題になるかもしれないと？

須田　かなり問題になるでしょうね（苦笑）。でも知名度が上がって格闘技だけで食っていければいいですけど、いまは食っていけないですから。

——そうですか。ちなみに勤務時間は何時から何時までなんですか？

須田　4月までは不規則やったんですよ。夜勤とか早出とか遅出とかあってかなり不規則でしたからね（苦笑）。でも4月からは部署が変わったんで、普通に8時半から5時半までです。

——やっと規則正しい生活ができるようになったんですね（笑）。

須田　前までは夜勤やって試合とかありましたからね（笑）。

——夜勤明けで試合！（笑）。で、須田さんは『DEEP』初参戦の前に、修斗では負けたら試合が組まれないんで勝ちに徹してきたけど『DEEP』に上がったら派手な試合、面白い試合を見せるって言ってましたよね？

須田　そう言ったんですけど、でもやっぱりチャンピオンなんで負けられないっていうのもあって（苦笑）。

——正直言って『DEEP』一発目

もし総合で三冠王になったら、プロレスもやってみたい！

の長南戦は勝ちはしましたけど、派手な試合とは言えなかったですよね。

須田　そうですね。ただ自分の中で凄い葛藤があるというか、逆にチャンピオンっていうのが重荷になってるかなって（苦笑）。

——いまはベルトが2本も持ってるわけだし、余計重荷に感じてるんじゃないですか（笑）。

須田　いや、いまは変わったんで（笑）。やっぱり自分より実績のある人とか……この間のイーゲン戦とかはそうでしたけど、そういう人とやる時は逆に開き直って思いっきりいけるんですよ。でも自分より格下とやると、相手は一発狙いでくるでしょ。食ったろうって。

——まあ、そうですよね。

須田　勝って当然だと思われるし、そういうのを考えたら勝たなあかんなって気持ちが先走ってしまって（苦笑）。ボクの中ではインパクトのある試合をやりたいと思ってるし、お客さんが喜んでくれる試合をやりたいんですよね。

——いまはベルトを二本持ってるとはいえ、9月の『DEEP』は上山選手の持つミドル級王座へ挑戦するわけですから、失うものはないし面白い試合を見せてくれるんですね？

須田　それは約束します！　でもボクのベルトが賭かってなくても二冠王者って見られることは間違いないんで、ベルトが賭かってても賭かってなくても一緒ですね。もちろんベルトを巻いて入場するつもりだし。まあ修斗の関係者は嫌がるでしょうけど（苦笑）。

——そうでしょうね（笑）。でもやっぱり、自分をアピールするためにはベルトは必要ですよね。

須田　もちろん！　で、上山戦が終わったらプロレスラーみたいにベルトを3本巻いて花道を歩きたくて（笑）。

——プロレスの世界では八冠王もいましたからね（笑）。まあ総合の世界では不可能だと思いますけど。

須田　総合では無理でしょうね（笑）。でも、いまの総合で二冠王ってボクぐらいしかいないじゃないですか？

——ちょっと前までパンクラスの國奥選手が二本持ってましたけど、いまは須田さんぐらいですからね。

須田　でも、國奥選手は、どっちも自分の団体のもので他団体のベルトじゃないじゃないですか。ボクはスーパーブロウルと修斗のベルトを獲って、今度『DEEP』のベルトを獲ったら全部違う団体ですからね！

——それが実現したら凄いことですよ。リアル三冠王というか（笑）。

須田　リーチかかってますからね（笑）。

——でも、さすがに三冠王になったら知名度も上がるでしょうから、仕事先にもバレちゃいますよ（笑）。

須田　どうなんですかねぇ（苦笑）。でも『DEEP』のベルトを獲るのが一番難しいと思うんですよ。だって、判定じゃ移動しないですからね。プロレスみたいなもんで（笑）。

——あぁ、そうなんですよね。

須田　だから、キツイですよねぇ。KOかギブアップ取るしかないんで。マッハも極められなかったぐらいだし。だから思い切っていくしかないッスよね。どうせ、判定勝ちしてもベルト獲れないんだったら負けと一緒ですから。ボクはチャンピオンベルトが欲しいから思い切って行きますよ！　……それまでに拳の怪我治さなきゃいけないんですけど（笑）。

——そうですね（笑）。もし夢の三冠王に輝いたら、その勢いでプロレスに挑戦するとかは考えませんか？（笑）。

須田　いや、全然考えてますよ！（笑）。

——全然考えてますか（笑）。まあ、修斗的には難しいんでしょうけど。

須田　それもありますからね（苦笑）。もし三冠王になったら、周りの人は「次は『PRIDE』とかUFCでしょ」って言うと思うんですけど、ボクは逆に三冠獲ったらプロレスに出たいなっていうのが強いんですけどね。

——あ、本気なんですか（笑）。格闘技界で実績を残して、逆にプロレス団体とかで興味を持ってくれるところがあったら喜んで出たいと？

須田　はい！　それがベストですね。

——やれる自信もあるんですか？

須田　ありますねぇ（微笑）。

——自信満々なんですね（笑）。

須田　自信があるっていうか、ボクは、ちっちゃい頃から、プロレスが好きで、ずっと観てるし、流れとかもわかってるんで。もちろん、そのためにはちゃんとプロレスの練習をキッチリしなきゃいけないですけどね。ボクはプロレスをナメてるわけでもないし、自分の中でプロレスラーって、もの凄くリスペクトしてるんで。

——プロレスをやるとしたら、どんなスタイルをやってみたいんですか？

須田　格闘家がプロレスに転向するとレガース付けてU系のスタイルでやってる人が多いですけど、ああいうのはやりたくないんですよ。やるんだったらボクは純プロレスがやりたいんで。でもこういうこと言うと、修斗の人がなんて言うかわからないですけど、実際ボクは契約選手でもないし、かといって保証されてるわけでもないし、次の試合も言われてるわけでもないし。このままだったら干されてばっかりで何もできなくなるんで。

——それだったら、自分のやりたいことをやっていこうと？

須田　そうですね。でも、その前に5月の試合もあるし、三冠王にもならなきゃいけないんですけどね（笑）。

——やらなきゃいけないことがたくさんありすぎるんですね（笑）。

須田　そうなんですよ（苦笑）。でもボクはマジメな気持ちでプロレスもやりたいっていうことを書いてもらったら嬉しいですね（笑）。

——どこかの団体の人が読んで興味を持ってもらえれば幸いと？（笑）。

須田　幸いです！（笑）。でも、そういうこと言ってたら、修斗の上の人がよく思わないでしょうけどね（苦笑）。

——「プロレスやりたいんだったら修斗のベルトは返上しろ」とか言われたらどうします？（笑）。

須田　いや、三冠王になるまでベルトは返さないです（笑）。「返してくれ」って言われても返さない！（笑）。

——『DEEP』の大阪大会の前にはU－STYLEも大阪でやりますけど、須田さんは観に行くんですか？

須田　行きたいんですけど、その日は闘龍門のビッグマッチがあるんで、どっち観に行こうか迷ってて（苦笑）。

——バッグンです！（笑）。

昨年12月の長南亮戦での須田は右足靭帯を負傷していた長南相手に手堅い戦法で勝利。所属ジムの代表からは「グラウンドパンチが全然ダメだ」と指摘され、現在は空手流の打撃を取り入れたNEW須田スタイルの確立を目指している。ちなみに取材時での完成度は60％！

【須田匡昇　全戦績】

日付	大会	結果	対戦相手	時間	決まり手
96'01/20	修斗	○	vs芳賀元太	1R1'02'	腕ひしぎ十字固め
96'03/05	修斗	○	vs大杉　勇	2R2'57'	腕ひしぎ十字固め
96'03/30	TOJ	○	vs大塚裕一	1R1'20'	腕ひしぎ十字固め
96'03/30	TOJ	○	vs立石祐三	1R1'51'	腕ひしぎ十字固め
96'03/30	TOJ	○	vs村上一成	2R1'46'	腕ひしぎ十字固め
96'03/30	TOJ	●	vs菊田早苗	1R1'15'	ヒールホールド
96'07/28	修斗	●	vs郷野聡寛	4R0'33'	裸絞め
96'10/04	修斗	●	vs藤原正人	1R2'15'	腕ひしぎ三角固め
97'07/27	TOJ	○	vs桜井隆多	1R4'25'	腕ひしぎ十字固め
97'07/27	TOJ	○	vs辻　嘉一	1R0'21'	ヒールホールド
97'07/27	TOJ	●	vs菊田早苗	1R3'59'	腕ひしぎ十字固め
97'08/27	修斗	○	vs草柳和宏	3R	判定3-0
98'01/17	修斗	○	vsレイ・クーパー	1R1'55'	腕ひしぎ十字固め
98'03/01	修斗	○	vs川口健次	3R1'28'	腕ひしぎ十字固め
98'03/28	フランス	○	vsオヘリアン・デュアルテ	2R	飛びつき腕十字
98'08/29	修斗	●	vsエリック・パーソン	3R4'46'	TKO
98'10/25	VTJ	●	vsブランドン・リー・ヒンクル	1R5'26'	TKO
99'10/29	修斗	○	vsマルタイン・デ・ヨング	2R4'44'	TKO
00'04/02	修斗	○	vs佐々木有生	3R	判定3-0
00'07/16	修斗	●	vsランス・ギブソン	3R	判定0-3
00'11/12	修斗	●	vs郷野聡寛	3R	判定0-3
01'08/26	修斗	△	vsラリー・パパドポロス	3R	判定1-0
02'01/12	修斗	○	vsランス・ギブソン	3R	判定3-0
02'06/29	修斗	○	vsロナルド・ジューン	3R	判定3-0
02'12/08	DEEP	○	vs長南　亮	3R	判定2-1
03'05/09	SUPER BRAWL	○	vsイーゲン井上	1R0'27'	KO

※2002年1月12日　第3代修斗ライトヘビー級チャンピオン
※2003年5月10日　スーパーブロウル世界チャンピオン

なんと須田のデビュー戦の相手はバトラーツ伝説の男・芳賀元太！　他にも現・魔界の村上和成や、菊田、郷野といったグラバカ勢と対戦している

辻 結花

過去最大の強敵を前に辻ちゃん弱気発言!?

「いまは勝つイメージが沸かない。……当日までになんとかします!」

総合デビュー以来負けナシの連勝を続けてきた辻結花が『DEEP』へ初登場！　しかも、辻がかねてから熱望していた地元大阪での開催というから言うことなし。ただし、辻の対戦相手のアンナ・ミッシェル・ダンテスは半端な相手ではない。ブラジル生まれのアンナは柔術茶帯の超強豪。果たして、辻はこの強敵にどう立ち向かうのか？

聞き手／松澤チョロ　撮影／堀江ガンツ　designed by matsu（Two three）

ーー初『DEEP』の対戦相手が決まったわけですけど、辻さん、対戦相手の名前は言えますか？（笑）。

辻　ま、またバカにしてぇ（笑）。ちゃんと言えますよ！　アンナちゃん。

ーーアンナちゃんって、もしかして友達なんですか？（笑）。

辻　いやぁ～、ブラジルには友達はいないなぁ（笑）。

ーーフルネームって分かります？

辻　ア、アンナ～？　ほにゃらら（笑）。

ーー正解はアンナ・ミッシェル・ダンテスっていうんですけど、なんか聞くからに強そうな名前ですよね。

辻　そうかもしれん（笑）。

ーーすでにいろんな情報が入ってると思いますけど、ズバリ勝算はどれぐらいありますか？

辻　フッフッフッ（突然、笑い出す辻ちゃん）。なんか、いろいろ聞けば聞くほど難しくなってきた（苦笑）。

ーー正直、ヤバイと？

辻　う～ん、まだでも1ヶ月あるから（ちなみに取材日は6／4）、それまでにもうちょっと……できたらなぁと。

ーーで、今回はグラウンドでの顔面パンチ有りのルールになりましたけど、これは辻さんの要望なんですよね？

辻　はい。

ーーやっぱり『DEEP』だからなんですか？　それともアンナ選手をブン殴ってやりたかったとか？（笑）。

辻　それはないない（笑）。まあ、前からマウントパンチの練習はしてきたんで。あと柔術の選手相手に自分のパウンドがどこまで通じるかなって。

ーーボクは柔術のこと詳しくないんですけど、女子で茶帯の選手って、あんまり聞いたことないし、アンナ選手は間違いなく強いんでしょうね。

辻　そりゃ強いですよ！

ーー総合の練習もしてるみたいですが、やっぱり柔術家ってことで打撃で攻めようとか考えてるんですか？

辻　だけど、アンナちゃんのジム自体、総合系で強いから穴はないんじゃないですか。穴どころか打撃は得意分野かもしれんし。

ーーそうだよなぁ。アンナ選手の所属するノヴァ・ウニオンって、『DEEP』にも出てるジョン・ホーキとか総合で活躍してる人も多いですからね。

辻　それに、アンナちゃんの写真もまだ見てないんでよくわかんないんで。……でも間違いなく強い！（笑）。

ーー顔もわからないんですか（笑）。

辻　そうそうそう（笑）。

闇愚羅・西川会長　ノヴァ・ウニオンって聞いて、茶帯って聞いて、総合の練習もしてるって聞いて、柔術のチャンピオンにもなったことあるって聞いて、「こりゃアカンやろ」って（笑）。

辻　はぁ～……（深いタメ息）。

ーー佐伯さんもエライ選手を連れて来ちゃいましたねぇ（笑）。でも、初の女子総合の試合がセミ前ってことは、『DEEP』としても、かなり期待してるんだと思いますよ。

辻　みんなに言われるけど、考えたら怖くなるんで、もういままでどおりに考えずにやって、その結果、お客さんに喜んでもらえればいいなぁって。

ーースマックの5月大会でのマイクアピールでは「スマックに男子の総合ファンを引っ張ってこれるように頑張ります」って言ってましたけど、そういう気持ちはあるんですよね。

辻　ありま……したけど、相手が決まったら、それどころじゃないかなって（苦笑）。「あらっ」みたいな（笑）。まあでも相手は強いけど、「なんだ、女の試合はつまんない」とか思われたくないんで頑張りますよ。

ーーでも、ぶっちゃけ、そう思わせない自信はあるんですよね？（笑）。

辻　うん（と、勢いでうなずく）。（ジッとにらんで）……またそうやってプレッシャーかける！（笑）。

ーーそんなつもりはないですけど、しっかり「うん」ってうなずいてたんで自信はあるんでしょうね（笑）。

辻　えっ？……もちろん（笑）。

ーーさすがです！（笑）。で、今日は無理矢理スパーリングをやってもらったんですけど、あのグラウンドパンチはホント、女の子とは思えないほどの迫力とスピードでしたよ！

辻　あ、ホンマですか（ニッコリ）。

ーーでも、「軽くでいい」って言ってるのに思いっきり顔面に入れてるし、かなり怖かったですね（笑）。

辻　ハッハッハッ。試合の時も練習のようにノビノビできたら、いい試合になる……かなぁ？　いや、したい！　させたい！　なってほしい！（笑）。

いい試合にしたい!　させたい!　なってほしい!（笑）

―アハハハ！　で、今回は地元大阪大会ということで、知っている選手もたくさん出てるみたいですけど、やっぱり他の選手の試合も意識しますか？

辻　っていうか、須田さんは私のライバルやから。私からマウント取られてるし（笑）。

―二冠王者からマウント取っちゃってましたか（笑）。

辻　だからベルトひとつもらっちゃおうかなって思って（笑）。

―もし、アンナ選手に勝ったら、次の試合の須田さんに挑戦表明しますか？　それもタイトルマッチで（笑）。

辻　それもええな（笑）。でも『紙プロ』のインタビューで今成選手が言ってた伏せ字とかも気になったし、メインは見たいなぁ。

―伏せ字ぐらい、あとでいくらでも教えてあげますよ（笑）。

会長　でも、結花が試合後、三島さんの試合を見れるような状態になってるかどうかが問題やな。号泣してるかもわからんし（笑）。

辻　でも勝っても負けても泣くんちゃうんかな？　なんか、すっごい興奮しそうな気がする。

―この間、ウィンディ選手に勝った後は「めっちゃ嬉しい」って喜んでましたけど、試合後は、よく泣いたりするんですか？

辻　……泣いてないなぁ（笑）。

―どっちなんですか？（笑）。

辻　いや、今日は大丈夫やったけど、マウントパンチの練習したあとって、すっごい興奮して感情の持っていくところがないんで「うぁ～」って泣いてしまうんですよ（笑）。

―へぇ～、そういうもんですか。

辻　でも今日は殴り続けられたから発散できたけど（笑）、これが殴られて、殴りもしたら、きっとすんごい興奮すると思う。きっと泣く（笑）。

―思う存分泣いてください（笑）。でも練習では顔面パンチは本気で殴れないってよく言いますけど、辻さんはそんなことないですか？

辻　（即座に）そんなことない（微笑）。

―やっぱり（笑）。今日のスパーとか見てわかったんですけど、性格的に、かなり凶暴なんじゃないですか？

辻　う～ん、そう言われるとそうかもしれん（笑）。でもどうなんやろ？

会長　練習する前は「殴るのは嫌い」って言ってて、終わったあと「殴るの面白い」って言ってるよな？

辻「サッパリしたぁ」って（笑）。

―アハハハ！　ウィンディ選手とかは性格的にもファイトスタイル的にも顔面踏みつけとかも平気でやりますけど、辻さんはパッと見、そんなに気性が激しそうには見えないですが、実際は、かなり暴れん坊なんですね（笑）。

辻　うん。最近ちょっと発見した（笑）。

会長　さっきの殴ってたとこ見たらわかるでしょ？　容赦ないですからね。

―ホントにキレたら怖いんだろうなって思いましたよ。怒らせないように気をつけないと（笑）。

辻　ハッハッハッハッ！

会長　たしかに、その言葉どおり、キレるんですよ（笑）。キレたら強いですから。キレないと全然ダメですけど。

―キレないとダメ（笑）。いままでの試合でキレた試合っていうと？

辻　……（小声で）割とほとんど。

―じゃあ、ナナチャンチン戦も？

辻　あの時は大丈夫でした（笑）。

会長　でもね、キレてない時は言うこと聞かないんですよ。逆にキレてる時ほど言うこと聞きますけど。

―へぇ～、そんなもんなんですか。

会長　キレてない時は「前に行け！」って言っても殴られるのが嫌だから後ろに下がるんですよ。

―じゃあ、どんどんキレてもらった方がいいんですね（笑）。

会長　その方がセコンドはやりやすい。言うたとおり動いてくれるんで。

―でも、自由自在にキレることはできないでしょうけどね（笑）。

辻　でも最近、キレ方がわかってきた。

―ホントですか？（笑）。

会長　もうキレた時は平気で相手の顔面にヒザとか入れますからね。

―ヒェ～。今度のアンナ戦は壮絶なシーンが見られるかもしれませんね。

辻　だって、殴らんと殴られるんやろうし、私は殴られんの嫌やから殴る！

―グラウンドパンチ有りだったら、パンチで勝ちたいとかってあります？

辻　う～ん……なんで勝ちたいとかっていうより、とりあえず強い相手なのは間違いないんで。……でも勝ちたいけど勝つイメージが沸かない（笑）。

―あらら（笑）。試合まであと1ヶ月ちょっとあるんで、勝つイメージが持てるように頑張ってください！

辻　そういうイメージが沸くよう頑張ります（笑）。まあ頑張らんと、お金払って観に来てくれる人に失礼やし。

―そうですね。ボクの周りでも辻さんの試合を見に東京から行くって言ってる人も結構いますから。

辻　スッゴイありがたいです！　……でも嬉しいんやけど、やっぱプレッシャーやなぁ。フゥ～（再びタメ息）。

―アハハハ！

辻　チョロさんは『DEEP』の日は大阪まで取材しに来るんですか？

―いままで辻さんの総合の試合は全部観てるんで、行きたいんですけど、まだ誰が行くか決まってないんですよ。最悪行けなかったらペイパービューで我慢します。

辻　え？　ペイパービューって何？

―アハハハハ！　有料の衛星放送のことですよ。お金を払えば、『DEEP』の試合が生で観れますから。

辻　そうなんや。知らんかった（苦笑）。チョロさんは毎回、ワザと難しい質問してくるからなぁ（笑）。

―いやいや、ペイパービューぐらい知ってましょうよ！（笑）。でも以前から大阪でやりたいって言ってたし、地元のファンのためにも、いいところを見せたいところですよね。

辻　ですよね。でも、いいところ見せられるような相手なのかなぁ（苦笑）。

―現時点では悪いところを見せちゃいそうだと？（笑）。

辻　そうかもしれん（笑）。なんかエライことになりそうやな。

―ちょっと気の早い話なんですけど、アンナ戦後のことは何か考えてることはあるんですか？

辻　その後に闇愚羅の夏合宿があるんですけど、それが楽しみ！

会長　合宿って言っても海に泳ぎに行くだけですけどね（笑）。

―それまでは練習漬けの苦しい1ヶ月が続くわけですね。

辻　はい！　まあ頑張らんと。

―今度の大阪大会は試合はもちろん楽しみですけど、入場の方も楽しみにしてていいんですよね？

辻　また、プレッシャーを！（笑）。試合も入場も頑張りますんで楽しみにしててください！

衝撃!!

辻ちゃんのグラウンドパンチで病院送り続出!?

島田裕二主宰のBCGジムで、噂の辻ちゃんのグラウンドパンチを拝見！　闇愚羅関係者を相手にスパーを始めた辻ちゃんは最初こそ笑顔を見せながらパンチを振り下ろしていたが、エンジンが掛かると女の子とは思えぬ強烈＆的確なパウンドテクを披露！　マ、マジでヤバイです！

これが柔術茶帯世界大会王者

アンナ・ミッシェル・ダンテスだ!!

1978年12月5日、ブラジル・ナタウ出身の24歳。158cm／55kg。柔術茶帯のアンナは日本でもおなじみアンドレ・ペデネイラスとジョン・ルイスが主宰し、ジョン・ホーキ、ヴィトー“シャオリン”ヒベイロ、BJ・ペンらが所属するノヴァ・ウニオンで練習を積み、今回がVTデビュー。

アブダビコンバット2003　ニュースター発見リポート

ブッカーK-FILE

2年ぶりの開催となったことで、とにかく若いニュースターが続々誕生した今回の『アブダビ・コンバット』。日本でもお馴染みのビッグネームたちを次々と下した、この無名の新星たちはいったいどんな選手なのか？　前号の速報に続き、今回もブッカーKこと川崎浩市氏がこの目で見た『ADCC2003』での闘いぶりをリポートしてもらおう。

こんにちは。〝ブッカーK〟こと川崎浩市です。今日は前号に引き続き、5月17、18日にブラジル・サンパウロで開催された『アブダビ・コンバット（ADCC）』の模様を『紙プロ』読者の皆さんにお伝えしたいと思います。

『アブダビ』は、01年に行われた前回大会で、主催者であるアブダビのシェイク・タハヌーン王子が「顔ぶれが固定化してきたので、新しい血を導入するために、これからは2年に一度の大会にしたい」という意向を表明したため、今年2年ぶりの開催となりました。

大会開催前は「このままなくなる」とか「テロの影響でやらない」とか、勝手なことを書いていたライターもいたようですけど、もちろんそんなことはなく、王子の思惑どおり、多数のニュースターが誕生したことは、ご存じの方も多いと思います。

残念ながら今回、王子は来場することはできませんでしたが、この結果には王子の秘書や、ADCC関係者も大変喜んでいました。というわけで、ここでは、そんな中から特に目に付いたいい選手をみなさんに紹介していきたいと思います。

まず、日本のファンが一番興味がある思うヘビー級で目に付いたのは、なんといっても**ファブリシオ・ワルダム**です。彼はリコ・ロドリゲス欠場のため急遽出場した選手なのですが、とにかく一本を取りにいく姿勢がすばらしく、腕関節技が上手い選手でした。残念ながら、99キロ超級の決勝でマーシオ・ペジパーノに負けてしまいましたが、印象に残ったのはファブリシオの方というくらいでしたから。僕は大袈裟でなく寝技ではノゲイラより、いい選手だと思います。バーリ・トゥードも3試合ぐらいやってるらしいので、ゼヒ日本に呼びたいですね。

あとは、北欧のまだ見ぬ大器、**ジョン・ユラフ・エイネモ**も前回ベスト4、そして今回は98・9キロ以下級優勝と期待通りの結果を残してくれました。彼は佐藤ルミナ選手を倒したことで有名になったヨアキム・ハンセンが所属するチーム・スカンジナビアの選手で、2メートル級の体格なのにバックを取るのが巧い選手。これまでは日本に呼びたくても、知名度が足りずに呼びにくかったですけど、アブダビに優勝したということで、この選手もゼヒ呼んでみたいですね。

あとエイネモには負けてしまいましたけど、マリオ・スペーヒーに寝技で完璧に勝った**ホジャー・グレイシー**も凄くいい選手です。彼はお母さんが、グレイシー・バッハ・アカデミーの先生であるカーロス・グレイシーJr.の女兄弟で、母方でグレイシーの血を引いた選手ですね。今年、黒帯を取ったばかりです。4月のパンクラスにアルメイダのセコンドとして来日していて、日本でも試合をさせたいんですけど、ヘンゾが「バーリ・トゥードに出すには、あと1、2年かかる」と言ってるので、それまでのお楽しみですね。ヘンゾはよく「グレイシーはワインを熟成させるように時間がかかる」と言いますけど、その言葉通り時間はかかっても、ホドリゴやダニエルのように、VTデビューしたらいきなり活躍してくれるんじゃないかと期待しています。

それから同じ階級では、僕が大好きな**アレシャンドリ・カカレコ**も大活躍でした。彼はリングスで2戦2敗だったことが信じられないくらいいい選手です。足でも首でも一度掴んだら決して放さずに極めてしまうという強さが凄くいいですね。軽量級のペケーニョ（小ノゲイラ）がギロチン・チョークを放さないことで有名ですけど、その重量級版というか、全盛期のイリューヒン・ミーシャみたいな感じです。だから、『PRIDE・26』でミーシャvsクイントンがありましたけど、僕はミーシャvsカカレコが見たかった。凄くマニアックなカードですけどね（笑）。カカレコはKOKには向いてなかったのかもしれないけど、純粋なバーリ・トゥードの試合を日本で見てみたいですね。

カカレコに準決勝で負けた、サウロ・ヒベイロの弟、**アレシャンドリ・ヒベイロ**もいい選手でした。彼はアメリカで開催された柔術の大会でホリオン・グレイシーの息子に勝ったりしている選手で、若くて体が大きくてバーリ・トゥードをやる気もあるらしいので、これからが楽しみです。

弟とは対照的に、兄サウロ・ヒベイロの闘いぶりは正直言って不評でしたね。優勝したことはもちろん凄いですけど、大会終了後に主催者が「サウロの試合だけ面白くなかった」と言ってたくらいですから。彼は昔、重量級にも関わらずホイラー・グレイシーのような技を使うテクニカルな選手ということで、もの凄く印象が良かったんですけど、すっかりポイントを稼ぐだけのポジショニングの選手になってしまっていて、個人的にも残念に思っています。

それから無差別級で優勝した**ディーン・リスター**。彼は去年一度、僕がパンクラスにブッキングしたことがある選手なんですけど、まぁ何というか「上手いこと勝ったなぁ」という感じですね（笑）。周りの選手や関係者もみんな意外だったと思います。階級別ではヒベイロに負けて入賞してないわけですからね。でも、トータル的にバランスがいい選手だと思います。彼は以前パンクラスにもう1回ブッキングしようとしたら、実際には1試合も戦ってないのにマネージャーが高いこと言ってきたから「バイバイ」って言っちゃったんですけどね。本人は良い奴なんですけど。

ヒカルド・アルメイダはディーン・リスターをグラップリングの試合で2度極めてるんですけど、楽しみにしていた無差別級トーナメントには出られず、しかもそのリスターが優勝したってことで、余計ショックを受けてました（笑）。

アルメイダに勝って準優勝の**ホナウド・ジャカレ**は、レスリングの強い選手でした。極めはないけど、リーチが長くて懐が深いので相手はやりにくいと思いますね。ハイアン・グレイシーがこの選手に1回戦で負けてるんですけど、ハイアンは今回出るつもりじゃなかったのにヘンゾに「出ろ」って言われてしょうがなく出たみたいな感じだったから、「ケッ！　負けだよ。やっぱり練習しなきゃダメだな」って、ふてくされながら、当たり前の事を言ってましたね（笑）。

軽い方の階級に目を移すと、76・9キロ以下級で優勝したマルセロ・ガルシアがやっぱり印象に残りました。彼はデニス・ホールマンの代わりに補欠で出場してきた選手なんで

ADCC 2003で輝いた超新星

ブッカーKのオススメは

エイネモ、カカレコ、ファブリシオだ!!

99kg超級準優勝

ファブリシオ・ワルダム

ブッカーKイチオシ! 補欠から決勝まで勝ち上がったワルダム。一回戦はTKと白熱の攻防を展開し、その後は一本勝ちの山。近い将来の来日にゼヒ期待しよう。

-87.9kg級準優勝

ホナウド・ジャカレ

ポルトガル語で「ワニ」を意味する「ジャカレ」の名を持ち、勝利のアリゲーターパフォーマンスを披露したジャカレ。ハイアン、そしてアルメイダをも破る実力派本物だ。

-76.9kg級優勝

マルセロ・ガルシア

今大会"最速"のファイター。あのヘンゾにポイントで大差をつけて判定勝ち、そしてシャオリンからは一本勝ちを奪い、会場人気も抜群だったという。その目にもとまらぬ寝技を日本でも見たい!

-65.9kg級ベスト4進出

エディー・ブラボー

ホイラー・グレイシーから三角絞めで一本勝ちを奪い、今大会最大のサプライズを起こしたブラボー。その後はアッサリ敗れたため一発屋っぽいが、修斗、DEEP参戦を熱望しているという。

無差別級優勝

ディーン・リスター

昨年パンクラスに来日しながら、対戦相手の石井大輔欠場で試合に出られなかったリスター。アブダビ無差別級王者となった今、パンクラスのリングで菊田早苗との対戦が見たいものだ。

-98.9kg級準優勝

アレシャンドリ・カカレコ

リングスでは金原、ヘイズマンに一本負けと、本領を発揮できなかったが、アブダビでは大活躍のカカレコ。極めが強くて、気性が激しいプロ向きのファイターだ。

-98.9kg級優勝

ジョン・ユラフ・エイネモ

いまマニアから熱い注目を浴びつつある、北欧格闘技界の総大将的存在のエイネモ。欧州では闘える相手すらいないと言われるこの男を『PRIDE』マットで見たい!

-98.9kg級3位

ホジャー・グレイシー

1回戦で"ミスターADCC"とも言うべきマリオ・スペーヒーを下し、2回戦ではヒーガン・マチャドまで倒したグレイシーの新星。近い将来必ずVTトップ戦線に食い込んでくるだろう。

すけど、とにかく動きが早くて、ヘンゾ以外にはすべて一本勝ち。その一本勝ちの中でもシャオリン(ヴィトー・ヒベイロ)に勝ったのは大きいと思います。やっぱりシャオリンは柔術のビッグネームだし、バーリ・トゥードの実績もある。その選手に勝ったんだから、修斗とかに出たら凄く面白いと思います。

今回の『アブダビ』全体を見て改めて感じたのは、やはりブラジルの層の厚さです。補欠で急遽出場したマルセロ・ガルシアやファブリシオが決勝まで行ってしまうんですから、それはおわかりいただけると思います。それに、実際にはブラジルの予選は予選大会の主催者によるポリティクスがあり、柔術の黒帯の良い選手とかでも出れなかったらしいんです。もっと選手がいるのかなあ? それから、これは『アブダビ』とは関係ないですけど、ブラジルには身長2メートル20、体重180キロで筋骨隆々、軽々ドロップキックもやってしまう**「マウンテン」**というプロレスラーがいるんですよ。彼はK―1に出場する話があるみたいだから、こちらも楽しみですよね。

僕も今回の『アブダビ』で、バーリ・トゥードに出したい選手だけでなく、ZERO―ONEの「オーバー300」に出したくなるような選手も見つけたんで、これからも格闘技、プロレス問わず、どんどんいい選手を日本に紹介していきたいと思ってますから、みなさんゼヒ期待して下さい!　(ブッカーK)

仁義なきWJ

MAGMA

FIGHTING OF WORLD-JAPAN PRO-WRESTLING

ド真ん中でおなじみＷＪに大事件発生！　時は５・２２後楽園、犯人は試合途中、若手の高智相手に突如、リングに寝転びフォールを奪わせた鈴木健想だった。試合後、勢いづいた健想の口撃は健介から長州、さらにはＷＪの試合スタイルにまで及んだ。それを合図にＷＪマットでは空前の仁義なき闘いがボッ発！

構成＆撮影／スモーノブ＆松澤チョロ
試合撮影／田中花海
designed by さおとめの事務所

すべては、ここから始まった

健想、突然の試合放棄!!

仁義なきWJ、それは鈴木健想の造反劇によって幕を開けた。

WJの永島事務員こと永島専務が「健想が何やら不穏な動きを画策しているようです」と予告した5月22日の後楽園大会。第二試合で意図的にリングに寝転び高智に3カウントを奪わせた健想は、佐々木健介に向かって「お前、長州のことが大好きなくせに臭せえ芝居してんじゃねえ!（新聞紙上などでの長州批判のこと）この小長州!」と、誰もが感じていながら口にはしなかったことをズバリと言ってのけた。

さらに控室では「ストロングスタイルっていうのは昭和が作った宗教なんだよ！　くだらねえ!」と思いっきり団体のスタイルを批判！

後日、7月の両国大会でのド真ん中最強トーナメントの記者会見では「越中優勝」とやる気のない予想をくわえタバコで披露。福田社長を「ガマガエル」呼ばわりして、長州力を「ツチノコ」とまで言い切った。このあたりのツッコミには健想の非凡なセンスを感じさせる。大森のことは「挙動不審、キショい」とナメくさっており、これも見たまんま。目に入ったものには片っ端から噛み付く狂犬のよう。そこには仁義のかけらも感じさせない健想のギラギラした欲が剥きだしになっている。

そうかと思えば、ラグビーのトークイベントに呼ばれるとニコニコの笑顔を振りまいて登場する元・ラグビー日本代表の健想。しかし、出てくる言葉は相変わらず。「プロレスの練習はいまだにスクワット何百回の世界。だから合同練習は控えさせてもらって、個人トレーナーをつけて練習してます」などと遠慮なく言ってのける。〝プロレスLOVE〟を微塵も感じさせない姿勢は、逆に嘘がなくて気持ちいい。

「そこまで言うんだったら、なぜWJにいるんだ?」という話になるんだが、無軌道な暴挙の数々で渦を起こそうという健想の思惑は感じ取れる。

まだ旗揚げして半年も経たないWJには長州という強烈な親分の下で一枚岩の印象が強い。もともと長州という強烈な親分さんが、子分たちを引き連れて独立した団体と言えなくもないので、怖い世界の団体組織ならともかく、興行団体組織としては面白味に欠ける。そんな統制の中から生まれた健想のフラストレーションが、WJに混乱を産み落としたのだ。ただ、ズバリ言って健想が何をしたいのかが行動だけではハッキリ見えてこない。言葉の面白さばかりがひとり歩きしていた頃の健介のようなキャラにもなりかねない。すでに「明るい未来が見えませ～ん!!」というプロレス史に残る名言を残している健想だけに、その危険性は十二分に孕んでいる。

しかしながら、次のページから始まる健想のインタビューを読んでもらえれば、最近の過激発言の裏に隠された健想の真意が少しは伝わるはず。飛び出してくるのは、プロレスファンでもなかったキャリア3年の男にしか言えない発言の数々！　ページの隅々に〝若さ〟が炸裂している。

前号で『紙プロ』初登場となった佐々木健介インタビューは賛否両論だったが、健介の笑顔の素晴らしさに心を奪われた人も多く、読者アンケートでも「面白かった記事」で堂々の1位を獲得している。ならば、というわけで今号では明日なき暴走を繰り広げる健想の無軌道すぎる発言も『紙プロ』読者にお届けしたいと思う。

（文・スモーノブ）

旗揚げ当時からＷＪを引っかき回し続けているのが大仁田厚。6・29札幌きたえ～る大会ではタッグ対決ながらも再び長州との電流爆破マッチまで漕ぎ着けた大仁田。しかし、長州は「わざわざコメントすることもないけど、大仁田とは札幌が最後です」と、素っ気ないコメント。

WJの親分といえば、やはり長州。5・31広島大会では大森に敗れはしたが、試合後はサッパリした表情で「もったいぶるわけじゃないけど、近々、誰もが『嘘だろ!?』っていう企画を出していきますよ。同時中継で出しますから。それがヒントです（ニヤリ）」と謎かけ発言。

ある意味、ＷＪを象徴するのが永島専務の存在。今回、健想の不穏な動きもいち早くキャッチ、事前にマスコミに情報を公開するなど親切な一面も。大仁田からは事務員扱いされ、顔を合わせる度にレフェリーを要求されている

『紙プロ』には新日時代から
出たいと思ってたんですよ！

“明るい未来が見えません！”再び!?

元ラグビー日本代表が見た
プロレス界の現実!!

[緊急速報]
ラグビー社会人
全国大会決勝
大学選手権決勝
「激突」。
'97~'98 Rugby climax

[日本選手権2強徹底チェック]
東芝府中「快速バックス」vs.サントリー「重戦車FW」
[大学・社会人全国大会クローズアップ]
真冬を熱くした男たち。
マコーミック(東芝府中)、永友洋司(サントリー)
仙波優(トヨタ自動車)、薮木宏之(神戸製鋼)
大畑大介(京産大)、斉藤祐也(明治大)ほか
[連続インタビュー]
「ジャパンの司令塔は俺だ」。
岩渕健輔(青学大)、赤羽俊孝(伊勢丹)
信野将人(リコー)、廣瀬佳司(トヨタ)
[スペシャル対談]
J.カーワン×吉田義人
「理想のラグビーを語ろう」。
[密着レポート]
オールブラックス
独走する最強軍団。
[ナンバー・ノンフィクション]
早稲田&明治、賭けの帰趨。
[特別レポート]
神戸製鋼、翳りゆくV7の栄光。
[NBA最新レポート]
シャック・イズ・バック!
[天皇杯詳報]
鹿島アントラーズ
強さの秘密。
Sports Graphic Number 436

上は健想自ら「これをインタビューページにでっかく使ってください」と持参した、明大ラグビー部当時、健想が『Number』の表紙を飾ったときの中吊り広告。正直、スゴイ!

WJの問題児が本音を語った!

「小長州!」「黒パンは一生履かない!」「女だったらWJの選手とは付き合いたいとは思わない」——。5・22後楽園大会から始まった一人革命後、ナイスコメントを連発している健想。「明るい未来が見えませ~ん」との名言を残し新日本を退団した健想はWWE行きを熱望したものの、その後の長州、健介らの説得でWJに入団。果たして健想はWJで何をやろうとしているのか? 本音を探ってみた!

前編

鈴木健想

——今日はよろしくお願いします!

健想 あ、お願いします! でも嬉しいなぁ(ニッコリ)。

——と、突然どうしたんですか?

健想 『紙プロ』ってふざけてますよね。僕、大好きなんですよ(笑)。「出たいなぁ」とずっと思ってましたから。

——ありがとうございます! もしかして新日時代からですか? (笑)。

健想 はい。なにげに、プロレスのこと一番しっかり考えてますよね。

——そうなんですかね(笑)。でもボクらも健想さんには是非ともお会いしたかったんですよ! ウチは新日本は取材はできなかったんで、そんなに健想さんの試合は観てないんですけど、新日時代から健想さんのプライベートでの伝説的な話はいろいろ耳に入ってきて幻想が高まってましたから(笑)。

健想 たいしたことないッスよ(笑)。

——勢い余って、こないだ健想さんが出演したラグビーのイベントを見させて頂いたんですけど「ラグビーは自分にとってスピリチュアルな部分」ということをおっしゃってましたよね?

健想 そうですね。たぶん、ラグビーがなかったら何もない人生を送ってたと思うから。

——それこそ全盛期の明治で学生日本一にもなってるし、超一流ラガーマンだったわけじゃないですか? しかも東海テレビでサラリーマンまでやってた人がなぜプロレス界に入って、いまはWJでやってるのか。単純に「なぜ?」と思ってしまったんですけど。

健想 大学を卒業した時に、この先ラグビーを続けるっていうことは考えられなかったんですよ。世界で通用するポテンシャルは僕にはないと思ってたし。で、プロレスってものを考えた時に、たしかにスポーツではあるんだけど、いろんな側面があるよなぁと思ったんですよね。

——中にはガチガチなスポーツや格闘技だと思って入ってくる人も結構いますけど。

健想 でも、それは試合を見てたら感じるでしょ?

——健想さんがプロレスにのめり込んでたわけじゃなくて、斜めの目線から見てたっていう部分もありますよね。

健想 そうですね。全然プロレスファンじゃなかったし、完全に外の立場から見てたんで。

——でもいま、プロレス業界の中にいながら、外の視点を持ち続けるのって難しくないですか?

健想 いや、サラリーマン時代に付き合った友達には商社のヤツもいるし、電通で働いてるヤツもいるし、朝日新聞で働いてるヤツもいる。彼らは今でも僕の財産になってますよね。ハッキリ言って彼らはプロレスなんてカスだと思ってるし、死んだ商売だと思って

6月7日、青山ベルコモンズで行なわれた「どうなる!? ラグビー日本代表」というトークイベントに出演した健想はリング上とは打って変わって「ラグビーの仕事が出来て嬉しい」と終始笑顔。「ラグビーは自分の中のスピリチュアルな部分」と熱く語り、今年W杯に出場する日本代表のサポートを誓った。

るから、僕にもいろんなことをケチョンケチョンに言ってくれるんですよ。
――「そんな仕事は辞めちまえ」ぐらいのことを言われるんですか？
健想　平気で言いますよ。「プロレスを見に行くなんて恥ずかしくて他人に言えないよ」って。でもそんなレベルですからね、世間から見たプロレスって。それが僕にとっては凄く財産になってますよ。だから、僕はプロレスラーとは一切付き合わないし。
――そういう人たちとの付き合いの中で、世間の中でのプロレスの位置を確認してるわけですね。
健想　位置確認は毎回させてもらってますよ。俺なんて年収3000万円いくかいかないかぐらいですけど、俺と同期で会社興したヤツなんかもっと凄いギャラもらってますからね。
――さ、3000万!?　収入とか出しちゃっても大丈夫なんですか？
健想　（真顔で）なんで？　そんな飾ってもしょうがないと思うんだけど。
――でもレスラーで、それだけ稼げてる人はほんの一握りだと思いますよ。
健想　俺の先輩の野尻さんって人、知ってます？『マネーの虎』に出てる人なんですけど、年商20億円ぐらいの会社を作ってるんですよ。そういう人の話を聞くと「俺、何やってるんだろう？」って思いますね。
――最近の健想さんの言動を見てると、WJを含めたプロレス界を変えて行こうという強い意思を感じますよ。
健想　ああいうふうにやったことによっていろいろ言われてますけど、真実は一つですから。僕のやってることを信じて、それを訴えていきますよ。
――「ストロングスタイルは昭和が作った宗教なんだよ」って発言はショッキングでしたね。
健想　まあ、あれは興奮して出ちゃった言葉ですけど。結局、僕自体がプロレスを見てなかったですからねぇ。一度だけ、招待券をもらって見に行っただけで。プロレスのマットなんて柔らかいもので全然痛くないんだろうと思ってたんですけど、ちゃんと固いんでビックリしましたね。
――この業界に入る前は、それぐらいの認識だったんですね（笑）。
健想　ええ。でも、なぜか長州力って名前だけは知ってましたね。これは長州さんにも直接言いましたけど、長州さんの試合を初めて見たのが長州vs大仁田の電流爆破だったんですよ。凄いオーラを感じましたね。あれはビックリした！　長州さんが入場してくる時の威圧感で倒れそうになりましたもん。「消臭力」のCMを見るたびに長州力の偉大さを感じますよ（笑）。それぐらいインパクトありましたね。
――どんなインパクトですか（笑）。まあ、ストロングスタイルを否定する健想さんの発言って、長州力のプロレスを否定するというよりは、長州力を模倣してるWJの選手を否定するような意味合いがあるのかなって？
健想　ド真ん中と模倣とは違いますからね。だから、若手にもそのことは言ってますからね。「お前、そんな練習するんだったら映画の一本でも見た方がいいよ」って。「自分をプロモートするっていう意識を持たなきゃダメだよ」って話はみんなにしてますよ。結局、個人商売じゃないですか。
――レスラーはそうですよね。
健想　でも、実際に彼らは長州力を目の前にすると「ハイ」としか言いようがないでしょうけど。でも、長州さんはちゃんと話をすれば答えてくれますよ。その点、僕はガチガチの体育会系出身だからストレートに言っちゃうんですよ。ただ、彼の場合は「白と黒」しかないから。グレーの部分がないんで、そこは問題かなと思います。俺はグレーの部分は必要だと思うし。
――団体をやっていく以上はいろんなカラーが必要になってきますからね。
健想　ド真ん中って言葉に縛られる必要はないけど、各自がド真ん中を行かなきゃいけないと思うし。各自が出来る表現の中のド真ん中をね。だから、長州さんに気を使う必要もないし。そういう意味では、長州さんが言ってるド真ん中って意味を僕は一番理解してると思いますよ。
――そうなんですか。表現といえば、いま健想さんは知り合いの俳優とかから表現方法を学んでるんですよね？
健想　そうです。まあ、簡単に言えば立ち方とか姿勢ですよ。NYにいると、「この人は日本人観光客だな」「あ、この人はアメリカン・ジャパニーズだな」とか、すぐ分かるんですよ。今度、見てみてくださいよ!?
――ボクらはそんなにNYに行く機会はないんですけどね（笑）。
健想　何が違うのかなぁと思って見てたら、姿勢が違うんですよ。ここ（と言って胸のあたりを指す）が立ってる、その違いに気付いたんですよね。自分の知ってる俳優さんとかにそのことを聞いてみたら、「そうなんだよ、姿勢の違いなんだよ」って。リングの上でも姿勢は大事だなって思いましたね。
――たしかに。5月22日の後楽園大会でも、健想さんの過激な発言と一緒に、リング上での胸を張った威圧的な姿勢は印象に残ってますからね。
健想　そうですか？
――健想さんの表現ってことで言えば、「黒タイツは二度と履かない」っていうこだわり発言もありましたけど、それも表現の一環ですよね？
健想　でも、自分の身体をキレイに表現するためには、いまみたいなロングタイツじゃなきゃいけなかったんですよ。足が長く見えるじゃないですか？　だから、僕は二度と黒パンツは履かない！（キッパリ）。
――やっぱり、コスチュームとかには相当こだわりがあるんですね。
健想　どちらかといえばコスチュームよりブーツの方にこだわってるんですよ。NYにいるデザイナーにやってもらってるんですけど。
――WJ旗揚げ戦の時に着てたガウンもかなりインパクトありましたね。

初公開！　健想のラガーマン時代

上は日本代表に選出されたこともある健想のラグビー時代のもの。高校時代よりラグビーを始めた健想は卒業後、帝京大学に入学、途中イギリスのクラブチーム・バースでラグビー留学を経験、帰国後は明大ラグビー部の大型ロックとして活躍。95＆96年には2年連続で大学日本一に！

マドンナは好きですねぇ。最近の僕の発言も彼女の影響が大きいです

健想 あの時に着てたガウンはね、実はマドンナがモチーフなんですよ。

——マドンナ!?（笑）。

健想 そうですよ。マドンナが『ホリデイ』の頃に来てたコートと同じように作ってもらって。ゴルチェ風です。

——健介さんは旗揚げ戦のコスチュームは『仮面ライダー1』の絵本を持っていってデザイナーさんに作ってもらったそうですけど、健想さんはマドンナでしたか（笑）。

健想 マドンナは凄いですよ！ 好きですねぇ。あの立ち振る舞いといい、発言も頭がいいし、メッセージ性もあるし、挑発的だし、表現に関するすべてがありますからね。ホント、勉強になりますよ。最近の僕の発言とかもマドンナの影響が大きいですから。

——たしかに超一流のアーティストだし参考にはなると思いますけど、健想さんのイメージとあまりにかけ離れてるんでビックリしました（笑）。

健想 彼女はメチャクチャ頭いいですよ。教育テレビでやってるハリウッドの人たちが演技を語る番組って知ってますか？

——ああ、知ってますよ。

健想 あれに出てる時のマドンナに凄い感動して、TVを見ながら泣いちゃいましたから。あと、他人を批判する時も直接的に相手を落とすような言い方じゃなくて、遠回しに批判するんですよね。「私にはそんなこと、とても出来ない」とか言って（笑）。ああいうのは頭いいなぁと思いますね。

——健想さんって、やっぱり他のレスラーと目線が違うよなぁ。

健想 そうですか？ 多分、もともとプロレスファンじゃないからでしょうね。僕自身も「プロレスを見に行く」って友達に言えなかったもんなぁ、恥ずかしくて。

——じゃあ、いま「プロレスやってる」って胸を張って言えますか？

健想 う〜ん……。まだ言えない（キッパリ）。

——まだ言えませんか（笑）。これからなんでしょうね。前から言ってるWWE入りっていうのは、この先の大きな目標としてあるんでしょうけど。

健想 僕の最終到達地点ですよね。ラグビー時代も無名の高校から大学日本一になってサクセスストーリーみたいに言われてたんですけど、いまはそんな気持ちですよ、毎日新鮮で。絶対にそれは成し遂げたい。強烈な人生を過ごしたいと思ってますから。

——健想さんの場合は、プロレスでの目標を成し遂げたら別のステップに行っちゃいそうなんだよなぁ。これは勝手な想像ですけどね。

健想 いまの僕にそこまでの想像力はないですよ。でも、凄いチキンだから。

——あ、そうなんですか？

健想 家ではいつも悩んでるし。「こんなこと言ってもいいのかなぁ」っていつも思ってるし。でも、自分で思ったことはすぐにやっちゃうから、その後2〜3日は眠れないし、会社には行きづらいし（苦笑）。

——でも、健想さんがドギツいことを言ったおかげで、いろんなことが動いてますよね？ 普段、WJのことを注意して見てない人も注目したはずですから。結果オーライだと思いますよ。

健想 でも、僕は確実に弱ってる。変なことばっかり考えちゃって、タバコの量は増えるし。相当しんどいなって思うときが多いですよ。凄いチキンだから、24時間プロレスのことを考えちゃうし。今まではそんなことなかったから、いいのかもしれないけど。小さい男だなぁと思いますね、我ながら。

——そうですか？ 考え方とか発言とかスケールでかいなぁと思いますよ。

健想 （うつむき加減で）いやいや、チキンですから。

——新日本という大きな組織にいれば、ある程度安心は出来るじゃないですか？ WJに来て、そういう危機感が出てくるというのは正常な感覚だと思いますけどね。

健想 （さらにうつむき加減で）いままでの僕は、たとえば勉強がつまんないと思ったら勉強しなかったし。ラグビーで高校日本代表にならなかったら高校も留年だったし。だって、赤点が8個もあったんだもん。でも、日本代表の遠征があるからってことで……。

——チャラになったんですか？（笑）。

健想 なぜか学校賞までもらっちゃって（笑）。凄いチキンだからビビりまくってたんだけど。そうやってツッパってアウトローを気取ってたんですけど、他のヤツは一生懸命、勉強してたんですよね。大学受験なんて出題の範囲もなくて、いままでのすべての勉強から出されるわけでしょ？ それに対して毎日何時間も勉強してるヤツらって、ホントに勇気があるんだなぁと思いますよ。僕は逃げてばっかりだから。

——でも、そのおかげで誰にも真似で

WJに入団して良かったと思ってるけど、WWEには絶対行きたい！

きない人生を歩んでますよね。

健想 （極端なうつむき加減で）でも、あのラグビーのイベントでも言いましたけど、ラグビー日本代表に選ばれたものの日本代表としての試合には出場してないんですよ。その時は何とも思わなかったんですけど、今思えばキャップ（代表としての試合出場した選手にカウントされる）をもらいたかったなぁ……（しみじみ）。まあ変な人生を歩んでますよ（苦笑）。

――まだ人生を振り返るには早いじゃないですか（笑）。

健想 でも、いままでの人生で得た自分の財産は友達ですよ。ホントにボロクソに言われますから。ある友達なんか、「日本にプロレスラーは3人しかいないじゃないか」って言ったんですよ。「こいつ、何言ってんだ。何百人もいるじゃねえか」と思ったんですけど、「馬場と猪木と長州力だけだろ。あとは大仁田かな」って。世間のレベルって、そんなもんなんですよ。

――そのへんの友達関係には『PRIDE』とか、総合格闘技も届いてないんですかね？

健想 ハッキリ言って、興味を持ってないです。

――健想さんの中では、プロレスと格闘技は全く別物なんですよね？

健想 別ですよ（キッパリ）。それはヒロ斉藤さんの影響かな。入門当時はプロレスをガチガチに考えてたし、格闘技と一緒だと思ってたんだけど、ヒロさんにプロレスの奥深さ、意味、メッセージ、そういういろんなことを教えてもらった時に、自分の中でプロレスと格闘技はハッキリ別だと思ったし。それまでは格闘技に対しても興味はあったんですけど、そこで興味はなくなりましたね。「なぜ、プロレスは成り立つのか？」っていうところから教えてもらってましたから！

――ヒロさんの影響が大きかったと？

健想 この人はホントに凄いと思いましたね。それからはヒロさんに毎試合、「すいません！　僕の試合を見てください」ってお願いして、いろいろ教えてもらってましたね。

――健想さんの「明るい未来が見えません」って発言も、格闘技を取り入れようとする新日本の流れに対しての素の感情だったんじゃないですか？

健想 （身を乗り出して）だってね、あの時、「なぜ、みんな猪木さんの喜ぶようなことを言わなきゃいけないのかなぁ」っていうのを感じたんですよ。中西さん、永田さんが言って、俺の番で何か面白いことを言いたいなぁと思って、「明るい未来が見えませ～ん！」って言ったら会場がサーっと引いたから「やったぜ！」と思いましたね（笑）。

――アハハハハ！　あの時はすべてアドリブだったわけですよね？

健想 みんなアドリブですよ！　でも、あの時、蝶野さんは凄いなと思いましたよ。あのマイクの後、蝶野さんがススーっと近寄ってきて、「健想、ナイス・コメント」って一言だけ言ったんですよ（笑）。「あっ、この人は分かってる」と思いましたね。

――蝶野さんは分かってる（笑）。

健想 あの時、僕は冷笑されて、控室でも冷笑されましたよ。

――蝶野さんとは感性が近かったということでしょうね。

健想 いや、蝶野さんと比べたら僕なんか赤ちゃんですよ。足元にも及ばないです。その時は蝶野さんの凄さを感じましたね。

――猪木さんは健想さんに「見つけろ、テメエで！」って投げやりなメッセージを送りましたけど、その後、明るい未来は見つかりましたか？

健想 見つけてる真っ最中ですね。でも、「自分にプロレスは向いてるのか、向いてないのか？」っていろいろ考えた時期もあるんですけど、絶対僕には向いてると信じてやってます。

――いま、新日本は「プロレス＝格闘技」というアプローチをしてますけど、健想さんは入門前の段階から、そういう考え方はしていなかったと？

健想 そんなこと、一般常識としてみんな知ってることでしょ？　ただ、プロレスに入ってから感じたのは、中身の作り方に関してはシュートだなって思いましたね。お客さんとの勝負にしてもそうだし。日本の場合はプロレスだけが進化しちゃったのかなって気がするんですよね。逆にWWEなんか見てるとプロレスもストーリーもクラシカルなことをやってますけど、それ以外のイメージ作りだとか演出に関しては凄い進化してて、どっちかといえば僕はいまマネージメントとかビジネスの方に興味があるし、共感出来ますね。逆に日本のプロレスは凄く難しいし、客の目も肥えてるから日本では成り立たないのかもしれないですけど。

――ちなみにWWEはいつ頃からご覧になってたんですか？

健想 入門して合宿所のテレビでWCWを見た時に「うわぁ、面白いなぁ」と思ったのが最初ですね。あと、僕は新日本に来る外人レスラーと仲良くなる機会が多かったんです。この世界では、絶対に英語は必要だと思ってたから、自分から話しかけて、なるべくコミュニケーションを取るようにはしてるんですよ。その中でGOKU－DO（＝パトリック田中）と仲良くさせてもらって、彼は日本語も英語も話せるんでいい勉強をさせてもらって。彼は

明るい未来をつかむため、健想WJへ

02年2月札幌での「猪木vs蝶野劇場」。リング上では様々な名言が飛び出したが、なんと言ってもインパクトがあったのが健想の「明るい未来が見えません！」発言。観客だけでなく控室でも冷笑されたという健想だが、現在はバードを導入した新日本を飛び出しプロレス道を邁進中！

WWEに上がってた頃とか、そこから転落した頃の話とか、人生のことをいろいろ話してくれたんです。「この仕事っていうのは、どれだけいい契約をするかってことより、どれだけお金を残すかってことが大事なんだ」って教えてくれて、その時に自分の中で「WWEでやってみたい」って気持ちが芽生えましたね！

――じゃあ、WWEの映像を見て興味を持ったというより、パット田中さんとのやりとりの中で、そういう気持ちが芽生えたんですかね？

健想　そうですね。

――新日本を辞めるにあたって、当初は「WWEに行きたい」ってことで海外修行に行くという話でしたよね。

健想　修行というか、向こうに住むつもりだったんですよ。マンハッタンにアパートも借りる手配してたし、行くつもりでいましたから。最終的に新日本を辞めることになって、それから長州さんや健介の話を聞いてWJ入りを決めたんですけど。健介は嘘をつかない男ですから。まあ、リングの上は別ですけど（笑）。

――健介さんの豪邸に何泊もするほど仲がいいんですよね？

健想　北斗さんもそうだけど、プライベートでもよく会ってたし、ホントにナイスガイですからね（笑）。

――それは、あの笑顔を見ればわかりますね（笑）。

健想　でも、あの発言以降は気まずいから、会ってないですね。まあ、ああいう小芝居は短絡的過ぎて。こんな厳しい時なのに……。

――厳しさは実感してますか、やはり。

健想　実感してますよ。どこの団体も厳しいでしょう。だから、リングに上がれて試合出来ることが幸せなんですよ。WJに入団して良かったと思ってますけど、ただアメリカには行きたいし、WWEには絶対に行きたいんで、そういう契約にはなってますけどね。僕は年2～3回はNYに行ってるんですけど、女の子に囲まれて「レスラーでしょ？」って聞かれたこともあるし。

――マジですか!?（笑）

健想　ホントに。「WWEと契約したんでしょ？」って。「いや、俺はニュージャパンだよ」って言うと、「それ、どこ？」って言われますけどね（笑）。「いや、テレビであなたの顔を見たことがある」って言われたこともあるし。アメリカで試合は出てないっつうのに（笑）。だから、アメリカで受ける顔なのかなぁっていう根拠のない自信もあったりして。

――でも、そういうダイレクトな反応は面白いですねぇ（笑）。

健想　そうでしょ？　1度だけじゃなくて、2～3度そういうことがありましたから。今度、アメリカに行って試合するんですけど、アメリカ人を相手にどれだけピントを合わせられるかなっていう勉強ですね。

――新日本時代と比べて試合数が減ってる部分に対して焦りとかあります？

健想　別に焦りはないんですよ。今までと違うのは、1試合ごとで試合に対する入り込み方が違うってことですよ。リングに立つことが幸せに思えるんですよ。今までもそういう気持ちがなかったわけじゃないけど、それ以上のものがありますよ。決して新日本の頃に手を抜いてたわけじゃないけど、今の入り込み方と比べると赤ちゃんみたいなもんでしたね。プロ意識が芽生えたのかなぁ？

【6月10日／WJ事務所にて収録】

ここ最近、過激発言ばかりがクローズアップされる健想の本音トークはいかがでしたか？　次号では日本代表にまで登りつめた健想のラガーマン時代の秘話から、ビッグ・サカ、長州、破壊王との不思議な関係、そして驚ガクの保育園設立構想、さらには念願のアメリカ遠征話まで、たっぷりお届け！

PROFILE

【すずき・けんぞう】
S49年7月25日、愛知県碧南市出身。
明治大学から東海テレビへ就職。
その後、99年4月に新日本へ入団。
翌年1月の東京ドーム大会での中西学戦で
華々しくデビュー。
00年にはヤングライオン杯、
02年にはアントニオ猪木杯優勝。
新日本の未来のエース候補として
期待されていたが、
03年、WWEマットへの参戦を熱望し
新日本を退団。
その後、急転直下でWJ入り。
このガウンはマドンナを意識してのもの

優勝は越中!?　7・20WJ両国大会でWMG（ワールド・マグマ・ザ・グレーテスト）王者が決まる！

7・20両国で開催されるWJ最強者決定戦のトーナメント表に自らの予想を書き込み、ご満悦の健想。健想の予想によると決勝は越中vs健想で、勝者は、なんと越中詩郎。栄えある初代WMG王座は越中が自慢のケツでゲッツするか!?

いつだってド真ん中！　WJ大会スケジュール

6・29（日）　北海道●札幌きたえ～る（PM2:00）
7・1（火）　北海道●札幌テイセンホール（PM6:30）
「MAGMA02」シリーズ
7・3（木）　北海道●旭川大成市民センター体育館（PM6:30）
7・4（金）　青森●八戸市体育館（PM6:30）
7・5（土）　青森●青森県武道館（PM6:30）
7・7（月）　宮城●石巻市総合体育館（PM6:30）
7・8（火）　岩手●岩手県営体育館（PM6:30）
7・9（水）　山形●山形総合スポーツセンター（PM6:30）
7・11（金）　新潟●新潟市体育館（PM6:30）
「MAGMA03」
7・20（日）　東京●両国国技館（PM6:30）

【問い合わせ】WJプロレス
TEL.03-5458-5915

未だ見ぬ強豪、来襲!!

SMACKDOWN! PRESENTS UNLEASHED IN THE EAST

いよいよ目前に迫ったWWEの日本ツアー
『SMACKDOWN! presents UNLEASHED IN THE EAST』。
来日メンバーも段階的に発表されており、6月16日の時点でカート・アングル、ブロック・レズナー、
アンダーテイカーら『SMACKDOWN!』主力選手の来日は確定している。
中でも注目したいのは五輪金メダリスト、カート・アングルの初来日だ。
そんな大会の見どころやネタバレ情報など満載で『紙プロ』なりの楽しみ方をお届けします!

カート、復活!! 横浜&神戸を「YOU SUCK!!」コールで埋め尽くせ!!

構成／スモーノブ
designed by matsu(Two three)

祝カート初来日!! されど来年引退!?

蛇丸 まず、お知らせです。僕らは今月から「2P警告隊」改め「3P警告隊」となります！

老爺 本家の3分警告隊にあやかって？

蛇丸 ここ最近、ずっと3ページでやってましたから。

利己 本家と同じくメンバーも3人になったことだしね。

老爺 ただ、残念なことに本家のジャマールがWWEを解雇されちゃったんですよ。

蛇丸 うそぉ!?

老爺 マジです。原因は分からないんですけど。

蛇丸 うわぁ、なんだか自分のことのようにショックですよ、それ。

老爺 そんな落ち込まないでくださいよ（笑）。WWE日本大会も目前に迫ってることだし。

利己 チケットは45分で完売よ！ ちなみに、全席の7〜8割はファンクラブ向けの先行発売で売れちゃってるらしいのよね。次回大会からは、そのことも頭に入れておいた方がいいと思うわよ。それと前号のこのページで言ってた追加公演も決まったわね！

蛇丸 利己の予言が的中ですよ！ さすが！

利己 ふん、おだてても何も出ないわよ。

老爺 来日メンバーが発表されましたけど、今回はメンバーが凄いです！ まずブロック・レズナー、アンダーテイカー、レイ・ミステリオ、トーリー・ウィルソン、タジリの来日はすでに発表されてましたよね。追加公演の発表と同時に、カート・アングルの来日も発表されました！

蛇丸 これはマジで楽しみ！

老爺 すでにアメリカのハウスショーで復帰してるんですよ。首のケガで手術してたんですけど、それがうまくいったみたいですね。

老爺&蛇丸&利己の3P警告隊Presents
ネタバレ通信 Vol.5

まずはじめに、このページはネタバレ情報が満載であることを宣言します！ 現地の最新情報から、眉唾モンの噂話まで幅広く取り扱っているので、今月も必読！ 老爺、蛇丸&利己の「3P警告隊」が今月も極上の裏ネタを密売します！

3P警告隊（さんぺーじけいこくたい）とは？■WWE『RAW』の用心棒タッグ"3分警告隊"（ロージー、ジャマール&リコ）にあやかり命名。あらゆる手段でWWE情報を漁る「老爺」（ろうじい）とプロレス業界の末端に潜伏する「蛇丸」（じゃまーる）と裏方さんとして暗躍する「利己」（りこ）の情報密売シンジケートだ！

利己 現地ではどんなリアクションだったのかしら？

老爺 熱狂的に迎えられてるみたいですね。いつもの入場時の「YOU SUCK!!」よりも、普通に大歓声だったらしいんですよ。そしたらカートはマイクで「YOU SUCK!!」コールを要求して、もう一度入場をやり直したらしいですよ（笑）。「声が小さ〜い!! もう一度!!」って。

蛇丸 いかりや長介だ！（笑）。それはいい話だなぁ。

老爺 大「YOU SUCK!!」コールだったという話です。

利己 それじゃあ、日本でも大「YOU SUCK!!」コールで迎えないとね。

老爺 ホント、日本でカートの試合を見られるのは、これが最後かもしれないですからね。アメリカのサイトでは来年の『レッスルマニア20』で引退するんじゃないかって、まことしやかに囁かれてますから。

蛇丸 それがホントなら寂しい限りですよ。

老爺 すでに引退までの青写真も出来上がってるみたいで7月に行なわれる『SMACKDOWN!』特番ではカート・アングル vs ブロック・レズナーのリマッチが行なわれるようです。その後、アングルはベビーフェイスに転身するんじゃないかという噂で……。

利己 あんなに愛されてるヒールもいないと思うわ。いいんじゃない？

老爺 アングルはブロック・レズナーとチームを結成して、クリス・ベノワとライノがヒールになって抗争を開始するんじゃないかと言われていますね。そして来年の『レッスルマニア20』直前にアングルとレズナーが仲間割れして、『レッスルマニア20』で再戦するんじゃないかというところまで話は進んでるみたいです。

蛇丸 かなり先まで決まってるんですね。その試合のフィニッシュは、レズナーが今年は失敗しちゃったシューティングスター・プレスをキッチリ決めて勝つっていうところまで決まってそう（笑）。

噂の来日メンバーの未発表枠を大胆予想!!

蛇丸 アングル以外の来日メンバーも発表されてますよね？

利己 セイブル、ジョン・シナ、リキシ、マット・ハーディーが発表になってるわ。

蛇丸 あれ？ 「残念ながら、セイブルの来日は見送られそう」って『ファイト』には書いてあったんだけどなぁ……。

利己 あら、ホント!? ビキニ・コンテストをやることが決まってるわよ。

老爺 うひょ〜！ それは楽しみだなぁ。それにしても、最近の『ファイト』はWWEの記事が多いですよね。

蛇丸 『ファイト』的には扱いやすい団体でしょうね。未確認の噂が続々と出て来ますから。そんなわけで、僕らも『ファイト』ばりに来日メンバーを予想してみたいと思うんですが、ぶっちゃけた話、誰を見たいですか？

老爺 まだ発表されていない中だったら、FBIが見たいですね。こないだ放送されたプロモが相当かっこ良かったんで。

蛇丸 思いっきりマフィアみたいなことをやってる映像ですよね？（笑）。あれはシビレたなぁ。

老爺 あとはこのコーナーでも再三取り上げてるネイサン・ジョーンズと、ブライアン・ケンドリック改めスパンキーですね。

蛇丸 でも、ネイサン・ジョーンズは脱走したとかいう噂も一時はあったでしょ？

老爺 ああ、ありましたね（笑）。思いっきり信じちゃいましたよ。いまテイカーがケガで欠場中なんで、パートナーのネイサンもあおりを受けて欠場してるんですよ。さすがに、まだひとり立ち出来るほどではないんで、テイカー復帰までは練習してろってことになったらしいんですよね。噂だと、そこでジョニー・エースと口論になって飛び出して、そのままオーストラリアに帰国したってことだったんですけど……。

蛇丸 ボゴ・ロードに帰っちゃったんですか？（笑）。

老爺 実際には練習中に自分もケガをしちゃっただけという話でしたけどね。

蛇丸 相変わらずいいネタを提供

してくれるなぁ、ネイサンは。是非、日本に凱旋して欲しいですけどね。

利己　私はスパンキーが見たいわ。あの子、ホントにかわいいわよねぇ（うっとり）。

老爺　試合もムチャクチャ出来ますよね。もうTVマッチにもガンガン出てるし、ネイサンとは大違いです。

蛇丸　僕はMr.アメリカが見たいですねぇ。

老爺　そうなると当然、ビンスにも来て欲しいなぁ。今回はマクマホン家からは誰か来るんですかね？　まあ、普通に考えれば『SMACKDOWN!』GMのステファニーが来るんでしょうけど。

利己　まだ誰が来るかは決まっていないみたいよ。

「『スマックダウン』のことを想う会」再び！

蛇丸　Mr.アメリカと一緒に〝テネイシャスZ〟ことザック・ゴーウェンも見たいです！

老爺　ロディ・パイパーがザックの義足を取っちゃうシーンは、現地の会場もメチャクチャ引いてましたけどね。ちなみにJスカイスポーツの放送では、あの義足シーンはブツ切りでカットされてたし、フジテレビの放送ではモザイクがかかってました。

蛇丸　でも、この先、ザックは思いっきりストーリーに絡んできそうじゃないですか？　もちろん放送コードの問題もあるんでしょうけど、不自然に映像を削れば削るほど、片足を失ったことばかりがクローズアップされそうな気がするんですけどね。それは本人にとってもWWEにとっても不本意だろうし。

老爺　フジテレビの収録を見に行った人の話だと、現場ではモザイクかかってなかったそうですよ。つまり、WWEから提供されてる映像にはモザイクはかかってないということですよね。

蛇丸　ということは自主規制ですか？　インターネット上でザックのインディー時代の試合映像が見られるんですけど、もの凄いラ・ケブラーダをやってますよ！　ここ数年で見た中でも最高の空中技でしたからね。マジで、そこらのケブラーダの比じゃなかった。いずれWWEでも披露するでしょうけど、あの素晴らしい技をやってるところにモザイクなんかかけてほしくないなぁ。

老爺　誰とは言いませんけどディーバの人口巨乳はOKで、病気で片足を失ったプロレスラーの義足にモザイクをかけるっていう、その基準がよく分からないです。

蛇丸　あれじゃ視聴率を取れるものは放送して、抗議の来そうなものはモザイクかけますと言ってるようなもんですよね？　それでWWEの本質を伝えられるのかなぁ。言い過ぎですかね？

利己　それでも視聴率はどんどん上がってるみたいなのよ。ただ、フナキとドーン・マリーがゲスト出演した回だけ、やけに視聴率が低かったのね。その前の週は3・4％もあったのに、その週だけ0・9％まで落ち込んだんだから！

6月の「BAD BLOOD」のセミでフレアーとHBKが激突!　フレアーは引退説を吹き飛ばすファイトを繰り広げた。相変わらずデッドリー・ドライブでの見事な投げられっぷりは健在!
photo/George Napolitano

蛇丸　ええ〜っ!?　マジですか？

老爺　あの時間帯の視聴者には、ドーン・マリーよりもチモミンA（千野アナがセクシーに解説するコーナー）の方が受けるのか（笑）。

蛇丸　ホント、読めない番組ですねぇ。

利己　その翌週には2・7％まで盛り返してるのに、その週だけ落ち込んでるんだから不思議よね。サッカー日本代表の試合でもあったのかしら？　その翌週には視聴率2・8％で時間帯のチャンネル占有率はトップだったらしいわよ。

蛇丸　すごいなぁ。ここ最近はトリーとセイブルのビキニ・コンテストの模様ばかりを流してますけど、あれは受けてるんですか？

老爺　ビキニもいいんですけど、ディーバの存在って箸休め的なものじゃないですか？　それが放送のメインになってるのは、果たしてどうなんだろうって感じですよね。それならもっと試合とかストーリー展開を説明すべきだと思うんですよ。

蛇丸　それが一見さんを取り込むってことなんでしょうけどね。『ファイト』に載ってた番組プロデューサーのインタビューだと、ゴールデン進出を目指してるみたいですけど。

老爺　僕も読みましたけど、今後はストーリー重視の番組作りになるんですよね。それはいいことだと思うんですけど、スタッフのほとんどがボランティアっていう発言に引っかかってる人もいるみたいですね。「俺、ボランティアだったのか

WWEファンクラブが『RAW MAGAZINE』第3号を遂に発行！5名様にプレゼント！

WWEファンクラブはいつだって特典が満載！　チケットの最優先受付、スーパースターズの情報、インタビュー満載の『Raw Magazine日本語版』（ALLカラー64ページ）を隔月発行、スーパースターズ参加のファンクラブイベントに参加できるなど、WWEファンには嬉しい限り！　そんなわけでWWEファンクラブは入会募集中しています!!

6月に発行される『Raw Magazine Vol.003』を5名様にプレゼント！　同誌に掲載される「〝ザ・ゲーム〟を上回る者はいない」から記事の一部を抜粋してお届け！

●

「残念なことなんだが…」この一言で口を開いたトリプルHは続けてくれた。「ファン達は雑誌に書かれた記事を事実だと鵜呑みにしている。そして嘆かわしいことに、そのような記事の多くは事実とは程遠い内容なんだよ。」

［その他の記事も紹介！］

■**Fantasy Warfare**
クリス・ジェリコとリッキー〝ザ・ドラゴン〟スティムボートが繰り広げる「ハイ・フライング・ファンタジー」！

■**Raw interview**
〝ビッグ・パパ・パンプ〟ことスコット・スタイナーがすべてを語る！

■**Inside the Hermit Kingdom**
1995年の北朝鮮訪問……WWEスーパースター達が現実とかけ離れた世界を回想する！

■**Super Seven**
クリス・ベノワが厳選したフェイバリット・マッチ、名勝負7選！

「RAW MAGAZINE」（日本語版）はWWEファンクラブの会報として配布されているもので、一般発売はされていない。FC入会方法はhttp://www.wwefanclub.ne.jpにアクセスするか、WWEファンクラブ事務局（TEL．03-5738-5722）まで。

※プレゼント応募方法はP159参照!!

よ?」って（笑）。

蛇丸　なにも紙面を通じてアピールしなくてもいいのにね（笑）。

老爺　でも、ゴールデン進出をすると過激なシーンやビキニのシーンは、今以上にカットせざるを得ないでしょうね。どんな番組になっちゃうんですか?

利己　いいじゃない！　私は女の裸よりも、男の裸の方が断然見たいわよ！（怒）。

ゴーバーに危機到来！ヒットマンの二の舞か？

蛇丸　先月は、なぜかリック・フレアーの引退説が一斉に流れましたよね?

老爺　5月19日の『RAW』がフレアーの地元で行なわれたんですけど、放送終了後のボーナス・トラックで何の説明もなくセレモニーが行なわれたんですよ。それが「引退式か?」ってことになったんですね。だって、ビンスまで来ちゃったんですから！

利己　それはただごとじゃないわね！

蛇丸　でも、実際には引退じゃなかったんでしょ?

老爺　フレアーのいままでの功績を称えるっていうセレモニーだったらしいです。6月のPPV『BAD BLOOD』ではショーン・マイケルズと試合してますし。

「BAD BLLOD」は『RAW』ブランドの選手のみで開催された初めてのPPV大会。ジェリコは因縁のゴーバーと激突、スピアーからのジャックハマーで敗れた。メインは地獄の金網戦 “HELL IN A CELL”、死闘を制したのはナッシュを血の海に沈めたトリプルH!
Photo/George Napolitano

蛇丸　『BAD BLOOD』ではゴールドバーグvsジェリコの因縁の試合もあったんですよね?

老爺　でも、ゴーバーはホント評判悪くて、遂にリンダ・マクマホンまでダメ出ししてますよ。

蛇丸　CEO直々にダメ出し（笑）。

老爺　それがシャレにならないレベルなんですよ。WWEの株主総会で、リンダ・マクマホンが「ゴールドバーグのパフォーマンスには失望している」とまで言ったらしいですから（笑）。

利己　だってお給料も超高いんでしょ?　それでブーイングを浴びるような試合しか出来ないなら、言われても当然よね。

老爺　契約内容はリンダが明らかにしてましたけど、1年間で150万ドル、1ヶ月に6日だけ試合をする言う内容なんですって。

老爺　ということは、72試合で1億8000万円!?　1試合で250万円ですか……。

老爺　シャレにならないですよね（笑）。しかも、イギリス限定PPV大会も不参加ってことになって、それでもかなりWWE側と揉めてるって話ですから。

蛇丸　ネイサンとどっちが先に首を切られるかって状況になってるんですね（笑）。

老爺　でも、1年契約を結んでるから下手に解雇も出来ないらしくて、ここだけの話ですけど怖ろしい計画が浮上してるみたいなんですよね！

利己　何なのよ、それ!?

老爺　ゴーバーは『SUMMER SLAM』でトリプルHと試合をする予定になっているんですけど、そこでゴーバーを「負けさせて」契約を破棄させてしまおうという噂があるんですよ！　ヒットマンvsHBKのモントリオール事件の再現を狙ってるって、もっぱらの噂ですから。

蛇丸　うわぁ、えげつない（笑）。

利己　二度もそういうことが出来るって、ビンスはホントに神経が図太いわよね！

老爺　僕はそれを聞いて、『SUMMER SLAM』に行く決意を固めましたよ！

蛇丸　じゃあ、また現地の模様をレポートお願いしますね！

老爺　果たしてゴーバーがビンスに唾を吐くのか、しっかり見てきますから（笑）。

【6月某日、都内某所にて収録】

来月の日本大会では、WWEファンクラブ「WWE SMACKDOWN!　UNLEASHED IN THE EAST観戦用会場直行・弾丸バスツアー　～BETWEEN横浜AND神戸～」が決行される！　大阪発横浜大会観戦ツアーと横浜（&東京）発神戸大会観戦ツアーが用意されている。特に横浜発の弾丸ツアーは18日の大会終了後、そのままバスに乗って神戸へ移動となる。

★大阪発着・横浜大会観戦コース
旅行代金／18800円（FC会員1名）、19800円（一般1名）
旅行期間／平成15年7月18日（金）AM7：00～19日（土）AM6：00
募集人員／100名
最小催行人員／30名（添乗員同行）

★横浜アリーナ（または東京）発・神戸大会観戦コース
旅行代金／24800円（FC会員1名）、25800円（一般1名）
旅行期間／平成15年7月18日（金）PM10：00～20日（日）AM6：30
募集人員／200名
最小催行人員／30名（添乗員同行）
※東京駅発の集合時間はPM9：00
※両ツアーとも時間は目安です。

企画：WWEファンクラブ　旅行主催：近畿日本ツーリスト（株）新宿法人旅行支店
問：近畿日本ツーリスト新宿法人旅行支店
TEL．03-3341-2411

ここだけの噂話、満載!!

老爺レポート

ブリティッシュ・ブルドッグの遺体からステロイドとモルヒネが検出された模様。

アンダーテイカー、参戦か!?　先日、UFCの会場にふらっと現れたアメリカン・バッド・アスがインタビューでUFCを語っている。「（もう少し若かったらUFCに挑戦してみたいか？）ああ。昔のUFCスタイルだったらやってみたい。いまだってやる気はあるのさ。俺はこういうのが大好きなんだ。パンチがくるのか、タックルされるのか、関節技がくるのか予測できない“究極の戦い”は最高だ。俺はUFCが大好きだ。（WWEとUFCが一緒に興行をする可能性は？）俺たちがやっていることは肉体的に激しいもの。UFCは新しいムーブメント。WWEが将来エンターテイメント性をなくし、闘いを中心に据えるとしたら、ありえるかもな」。

『RAW』のインターコンチネンタル王座復活に続き、『SMACKDOWN!』で封印されたWCW・USタイトルが復活。タイトルを初めに獲得するのはマット・ハーディか、復帰間近のビリー・ガンが濃厚となっている。そのビリー・ガンのマネージャーはトーリー・ウィルソンが担当する模様。

リンダ・マクマホンがインタビューに答えている。「来年、世界ツアーを31箇所で計画しています」「『WRESTLE MANIA20』の概要は7月23日の『RAW』MSG大会で発表します」「WWEの映画部門はストーンコールド主演の映画を計画しています」。

そのストーンコールドが交通事故!! 目の周りと身体にかなり大きなあざと切傷を負った。鼻も骨折。『RAW』のTV放映ではメイクアップでカバーして、カメラアングルも顔は左側のみで撮影したが、結局“シャワー室でこけた”というプロモを設定し、傷の理由付けをした模様。

PPV『BAD BLOOD』でリック・フレアーと試合をしたショーン・マイケルズが試合の持ち時間を20分弱しかもらえなかったことで「世界で最高のレスラーが2人もリングに上がっているのに、たった18分間だぜ？　くそくらえ!」と不満をぶちまけた。

『BAD BLOOD』で復活したミック・フォーリーが長期契約を結ぶ可能性大!

エッジが『WRESTLE MANIA20』で復帰の可能性大。ウィリアム・リーガルはストーンコールドとエリック・ビショフの部下となり、コミッショナーに就任するかもしれない。

スティングがNWA-TNAと契約。WWEとの破談の理由はサーキットに参加したくなかったとのこと。NWA-TNAとの契約も長期契約ではないので、まだまだWWE参戦の可能性はある。

遂にケインが人間に?　マスクを脱いで、キャラ変更の話が出ている。

『RAW』で行われているハイライトリールにロックがゲスト出演。現在映画の撮影中であるということで単発出演。あまり長期間、現場から離れてしまうとファンへの印象が薄くなるというWWE側の配慮から実現した。そのロック、現在撮影をしている映画の興行成績によって今後の活動を左右されてる。ハリウッドで今ひとつ人気がないことから、今回の映画が失敗すればレスリングへの本格的な復帰、盛り返せばハリウッドへ本格進出になる様子。

現在、WWEがディーバを一般公募中。

セイブルと夫であるマーク・メロの関係が終わったか？　マーク・メロはWWE所属時代彼女の「かませ犬」になったことに憤慨。二度と同じようなことを繰り返したくないと思い、破局を決断したらしい。

Total Sports Asia

日本のWWE仕掛け人『紙プロ』に再降臨！

本誌前号で衝撃の登場を果たしたWWEアジア地区総代理店トータル・スポーツ・アジアのリャン氏。前号ではWWEを広めるための戦略をうかがったわけだが、今号ではさらに突っ込んだ話をうかがってみた。日本大会も目前に迫る中、WWEの日本戦略に改めて舌を巻け！

【お詫びと訂正】前号でリャン氏のお名前の綴りが「Lyan Chung See」となっておりましたが、正しくは「Liang Chung See」です。お詫びして訂正いたします。（編集部）

聞き手／阿部タケシ

Liang Chung See

日本のビンス？　とんでもありません！ ビンスに怒られます（笑）。

――フジテレビでWWEの放送が始まったのは、リャンさんが働きかけたからなんですか？

リャン　そうです。はい。

――この放送は現時点で賛否両論ありますけど、今後はどういう放送内容になったらいいと思いますか？

リャン　いろんなご指摘はありますけど、「もう少し、試合数を増やして欲しい」という希望は多いですよね。ただ、これは地上波で放送する以上、放送枠というものがありますから。1時間という限られた時間の中でCMも流さなきゃいけないから、実質的に45分ぐらいしかないんですよ。その中でいかにWWEを面白く見せるかっていうのが、意外と難しいんですよねぇ（しみじみ）。

――じゃあ、45分という限られた枠の中で試合だけを見せていくんじゃ伝わりにくいから、放送の中で吉本興業のタレントさんを使ってるということなんですかね？

リャン　そうですね。『スマックダウン』はもともと2時間の番組なので、2時間分の映像を45分にしながらも、『スマックダウン』の面白さを引き出さないといけないのは大変な作業です。また、フジテレビは地上波放送なのでWWEのコアファンだけでなく、今までプロレスと無縁の方も見ているわけですから、入り口を広くしないといけないですね。これは言葉で言うのは簡単なことですが、大変難しい仕事なので、常に視聴者の声を聞いて、WWEに協力してもらいながら番組を益々良くしていこうというスタンスです。

――今後は『RAW』の放送も検討されてたりするんですか？

リャン　放送に関してはいろんな権利関係がありますので出来ること、出来ないことがありますからね。いま地上波放送で出来ないことでも、いずれはどこかでやりたいなと思ってますよ。

――WWEの番組がテレビ東京からフジテレビに移ったのも、「入り口を広くする」という戦略の一環なんですか？

リャン　いろんな事情が絡んでいて一言では言えないですが、結果的にはそうですね。

――普通、こうやってプロレスの番組がTV局を移るってことは滅多にないんですけどねぇ。さすが、WWEだよなぁ。さしずめリャンさんは日本のビンス・マクマホンみたいな存在ですよね。

リャン　いやいや、とんでもありません。そんなこと言ったらビンスに怒られます（笑）。

――じゃあ、日本の仕掛け人という感じならいいですか？（笑）。

リャン　ビジネスの面ではそうかもしれませんね。基本的にはWWEを日本に広めるのが僕の仕事なんで、TV、雑誌、書籍、モバイルも含めて、もっと身近な存在にしていきたいと思ってるんですね。今まではwwe.comを見て、辞書を引きながら仕入れてた情報を日本

語でも情報が入手できるような環境を作ってます。ファンの気持ちを大切にしていきたいんで、TV放送を拡大したり、興行回数を増やしたり、選手と触れ合うチャンスを作ったり、日々の生活の中でWWEグッズに囲まれるような環境を作っていきたいですね。

――WWEグッズに囲まれちゃいますか（笑）。これは個人的な希望でもあるんですけど、アメリカでやってるような、選手と触れ合うファンイベントも日本で開催されないかなぁと思うんですが、いかがですか？

リャン　WWEは海外戦略の中で日本のマーケットを重要視してますので、今後は日本に来る回数や交流会の回数も徐々に増やしていきます。それはファンクラブを設立した目的でもありますから。

――なるほど。ファンクラブに入ることで、スーパースターズとの距離が縮んできてるのは間違いないですよね。もちろん、それはファンクラブ特典のひとつでもあるんですが、いろんな事情でファンクラブに入れない人でも気軽に触れ合うチャンスも出来ればと思うんですよ。

リャン　そうですね。それは今後の課題として、いろいろ考えてみたいと思います。

――『レッスルマニア』の前に開催されてるスーパースターズ全員参加の大規模なファン感謝イベントみたいな形が日本でもあればいいんですけどねぇ。リャンさんは個人的に好きなスーパースターっているんですか？

リャン　いますよ。僕はカート・アングルが好きです。

――じゃあ、ディーバだと誰が好きなんですか？

リャン　ほとんどの日本の男性と同じくトーリー・ウィルソンですかねぇ（笑）。じつは去年の『SMACKDOWN!ツアー』の記者会見をやった際に、トーリーさんとタジリさんとクリス・ベノワさんと5日間ぐらい、ずっと一緒だったんですよ。（テレコに向かって）皆さん、羨ましいでしょ？（笑）。

WWEは日本を重要視してるので今後は日本に来る回数や交流会の回数も徐々に増やしていきます！

――そりゃ読者は羨ましいでしょう。そんなスーパースター3人と5日間も一緒にいれるんですから！（笑）。

リャン　まあ、それはこの仕事の特権ですからね（笑）。

――去年の『SMACKDOWN!ツアー』は横浜以外、マレーシアとシンガポールでしたよね？

リャン　そうです。

――プロモーションでマレーシアとシンガポールにも行ったんですか？

リャン　そうなんですよ。日本で記者会見をやった後に、シンガポールに移動して、最後にマレーシアに行ったんですね。

――マレーシアとシンガポールで記者会見以外、何かプロモーション活動をしましたか？

リャン　ええ、実はイベントの告知を兼ねて、マレーシアもシンガポールも市内の大型ショッピングコンプレックスでサイン会をやりました。そうすると、凄いことになったんですよ。

――えっ？　凄いことって？

リャン　実は両方のサイン会とも急遽決まったことなので、あまり事前に告知することができませんでした。「人が集まるかな？」とか、正直って心配でしたよ。で、サイン会が始まる前にホテルで待機しているときに、イベント会場から連絡が入り、「どう？　ファンの集まりは」と聞いたら、「もう人たくさん来てますよ」と返事が返ってきたんですね。

――実際にファンがたくさん集まったんですか？

リャン　そうです。会場に到着したらもうビックリですよ！　特にシンガポールの場合、会場に入るのも苦労したし、出るときはもっと凄かったんですね。

――何かあったんですか？

リャン　簡単に言うと、ファンたちが帰らせてくれなかったんですね。

――ええ？

リャン　ボディーガード10人ぐらいを用意して、導線を確保する予定でしたが、もの凄い数のファンに囲まれて、待機していた車までなかなかたどり着かなかったです。車に乗ってから、今度は車がファンに囲まれてしまい、出発までかなり時間がかかりましたね。

――さすがにアジアでのWWE人気は凄いですねぇ。

リャン　まさに文字通りのスーパースターです。

――スーパースターが来日した時は、毎回リャンさんが付いてるんですか？

リャン　そうですね。担当者である以上、いろんな形で関わります。だから7月も忙しいと思いますよ。

――じゃあ、今度あらためてスーパースターのステキな裏話を聞かせてください！　では、これで最後の質問になりますが、『紙プロ』読者に向けてメッセージなどありましたらお願いします！

リャン　今度の日本大会では、まだ日本に来たことがない選手もたくさん来ますから、新鮮なカードが組まれると思いますよ。日本大会を楽しみにしていてください！

【5月12日、渋谷区トータルスポーツ・アジア日本オフィスにて収録】

唯一のWWE公式モバイルサイトである「WWEモバイル」では、7月17日・18日（@横浜アリーナ）、19日（@神戸ワールド記念ホール）に開催されるWWE来日興行の試合内容と結果を現場からの速報でお届けします!!　i-mode、J-sky、EZwebで配信中！

ディーバ炸裂！SCSA復活！新作DVDを各1名に読プレ！

昨年、発売と同時に爆発的な大ヒットを記録したWWEディーバのDVDが今年も発売される！『ディーバ　デザート・ヒート』にはステーシー、トリッシュ、トーリー、モーリー、ドーン・マリー、ビクトリアらが限界ショットに挑戦したディーバ誌の撮影シーンを追った映像とインタビューが収録されている。DVDには初回限定としてディーバ・ミニ写真集が封入されている。さらに、今年2月のPPVを収録した『ノー・ウェイ・アウト』ではストーンコールドの劇的な復活やロックvsホーガンの再戦もガッツリ収録！　両DVDとも初回生産分に7月のWWE日本大会チケットプレゼント（50組100名）の応募券つき！

【提供■ユークス】

『ディーバ　デザート・ヒート』
DVD：¥3800／VHS：¥5800
本編61分＋DVDのみ特典映像93分

『ノー・ウェイ・アウト2003』
DVD：¥3800／VHS：¥5800
本編155分＋DVDのみ特典映像43分

※プレゼント応募方法はP159参照!!

Please, don't try this at home.

決してマネしないように

「地上最高と言われる男たちが宙を舞い、能力の限界を超え、大きなリスクを背負う。
夢を与えてくれる世界の現実は苦痛の連続。全身打撲…首の骨折、常に引退と隣り合わせ。
Please,don't try this at home.（決してマネしないように）」〈WWEメッセージCMより〉

文／スモーノブ

プロの世界とは厳しいもので常にリスクがついてまわる。WWEが展開している「Please,don't try this at home」キャンペーンのCMはケガの痛みに悶絶するスーパースターズの映像を流して、マネしようとする子供たちに向けてやめるようにというメッセージを発している。このCMは、プロレスが大きなケガと隣り合わせの危険なスポーツであるということをアピールしているわけだが、本誌はもっと危険なものを発見してしまった!　それが、本誌前号に登場したスーパースターならぬスーパーライター・山口敏太郎氏（通称・妖怪王）の著書『アメリカン・プロレス中級バイブル　日米格闘史編』である。妖怪王も、能力の限界を超え、大きなリスクを背負ってまでアメリカン・プロレスの単行本を出したのだが、まだ読んでいない方が大半だと思うので、いまのうちに本誌は警鐘を鳴らしておきたい。「Please,don't try this at home.（決してマネしないように）」と！

あの妖怪王が今度はWWE本を発売!! 決してマネできないハイレベルな一冊!!

この本の表紙はストーンコールドとザ・ロック。おそらくオフィシャルの宣材写真であろう。だが、クレジットが見当たらない。WWEオフィシャル写真を借りる場合は必ず入れなければならないはずなのだが……。パンダマークの環境団体「WWF」との訴訟もあり、「WWE」のオフィシャルな単行本を出版する場合、通常は古い写真の中にある「F」マークですら一つ残らず消すようにという契約が結ばれる。この本は、アンオフィシャルだから関係ないのだろうが、"F"時代のロゴを堂々と表紙に使用している点も見逃せない。WWEに喧嘩を売ってるのだろうか？『RAW IS WAR』という以前の番組ロゴが使われていることや「PRO WREST（プロ レスト）」という暗号めいた表記も謎だ。本誌の連載「書評の星座」で気分を害した山口氏は、たまに凄い剣幕で「訴えるぞ!」と編集部に電話をかけてくるが、裁判上等なハードコア・アティテュードだからこそ出来た奇跡的な表紙だと言えるだろう。

約5000万ドルの損失を出したといわれるWWE改称問題に一石を投じる挑発的表紙!!

ソラキチ・マツダのことを知りたい中級アメプロファンには最適の内容!!

表紙に驚いているようでは甘い。この本はプロローグと第1～3章で構成されているが、現在のWWEに触れているのはプロローグの一部のみ。目次や各章の扉などを除いた本文161ページのうち、約15ページで最近のWWEのさわりに触れている程度だ。最近のWWEの話が全体の1割にも満たないのに、本文中では各章の扉にマット・ハーディー、ケイン、RVDの写真が掲載されている。たとえば「第1章　日本のレスリング黎明期～主役は力士」といったタイトルの下に、なぜかマットの写真がレイアウトされているといった具合だ。どうせならリキシの写真を使えばいいのにとも思うが、さすがは妖怪王。内容的にはプロレス黎明期の話が大半で、フランク・ゴッチ時代からエリオ・グレイシーの時代までを網羅している上、日本のプロレス黎明期のことがアメプロの歴史以上に書かれており、ソラキチ・マツダのことを知りたい中級アメプロファンにはうってつけの内容となっている。

スーパースターズの命を削る激闘とは別のベクトルで一般人には超危険!!

プロローグの最後にこんな一文がある。「日本とアメリカは"プロレスと格闘技"というキーワードをめぐって実は100以上も戦ってきたという歴史があるのだ」100以上って何だ?　「100年」と言いたかったらしいのだが、あいにく文字が抜けている。表紙でフェイントかけておいて、この本の本当の主旨を説明すべき肝心なところで見事な抜けっぷり。さすが「中級バイブル」と銘打っているだけあって、ありがたみに欠ける原稿である。きっと親しみやすさを狙ったのだろう。中級アメプロファンには優しい作りとなっている。っていうか、そんなファンいるのか?　誤字・脱字の多い『紙プロ』もこればっかりはマネをしたくない。これが『日米格闘史編』ということは、今後もこの続編が出てくるというのだろう。WWEのライターを目指す人や、WWE本を編集しようと志す人に、改めて言いたい。「Please,don't try this at home」（決してマネしないように）。

コスミックインターナショナルより発売中。¥1300（税別）

必読!! 寺門ジモン最強説が白日のもとにさらされる!!

芸能界イチ川田利明を知る男たち

ヤーッと登場!!

ダチョウ倶楽部

寺門ジモン×上島竜平×肥後克広

聞き手／吉田豪
構成／ジャン斉藤
撮影／丸山剛史
衣装協力／G.R・Q
(TEL.03-5317-5833)
designed by matsu(Two three)

芸能界イチの川田番がRADICAL初登場だ!! 本誌スーパーバイザー・吉田豪が、前号でほっぺをツネりたくなる笑顔を披露した健介に続いて、川田利明の魅力に迫ろうと、デンジャラスKを最も知る男・ダチョウ倶楽部を直撃! もちろん、彼らがレスラー・格闘家相手に身体を張り続けたエピソードも満載! 『紙プロ』読者でもある肥後が率いる最狂トリオは"プロレス・格闘技ネタの宝庫"だった!

Please.

――今日は川田さんや渕さんの飲み仲間であるダチョウ倶楽部の皆さんに、いろいろとお伺いしたいと思ってます！

寺門　あ、いろいろ探りにきたんでしょう（笑）。

――いや、皆さんはマット界とも接点が深いんで、他にも聞きたいことはいっぱいあるんですよ。先ほど事務所の方から聞いたんですけど、肥後さんは最近、ブラジルのブラジリアン・トップチームの道場に行かれたらしいですね。

肥後　まったく別の仕事でブラジルに行ったんですけどね。1日だけオフがあったんで寄ったら、マリオ（・スペーヒー）に「コンニチワ！」って歓迎されてすっかり観光客扱いでした（笑）。

――日本から訪れる人も珍しいんでしょうからね。

肥後　ノゲイラが汗だくになって稽古してましたよ。Tシャツにサイン貰ったんですけど、マリオがいろんな選手に次々とサインさせるんで、どれがノゲイラのかわかんなくなっちゃたんですけどね（笑）。

――知らない選手にまでバンバン書き込まれちゃって（笑）。

寺門　いや、強くなる選手がいるかもしんないよ。それは興味ある！

――寺門さんはプロレスより格闘技系が好きなんですよね。

寺門　俺はそればっか！　「どっちが強いか？」「どんなトレーニングしてるか？」「どんな生き方してるか？」しか興味ない！

上島　ボクはどっち（プロレス・格闘技）もそんなに好きじゃないんですよ。

「どっちが強い？」とか、俺はそれしか興味がない！（寺門）
ボクはプロレスでも格闘技でも、感情が入るのじゃないとダメなんですよ（肥後）
……ボクはどっちも好きじゃないんだよね（上島）

――あれ？　上島さんは全日本マニアで、奥さんと出会ったのも全日本の会場だったって聞きましたけど。

上島　そう報道されてましたけど前から知り合ってましたからね。プロレスも三沢さんがマスクを脱いだころとかはよく見てましたけど、いまはそうでもないんですよ。

――上島さんが冷めた理由には、ミスター高橋さんの本とかの影響もあったりしたんですか？

上島　いやいや、全然関係ないです。いまは団体が数え切れないほどあるし、日本人同士の闘いばっかになったからですよ。ボクは昭和のプロレスが好きなんです。

――つまり、強豪外人が次々と来日していたころのプロレスですね。

上島　だから、アメリカにも文句が言いたいですよ！　昔のアメリカって良かったじゃないですか。各地を転戦したり、世界を股にかけて暴れて。

――WWEはダメですか？　よくドリフと比較されたりで、お笑いの視点からも見れると思いますけど。

上島　見る分にはいいですよ、昔より華やかだし。でも、いまは筋肉マンばっかだからね。こないだ死にましたけどブラッシーとか、ああいうレスラーが好きなんですよ。

肥後　竜ちゃん、昔のプロレスラー名鑑みたいなのを見てるのが好きなんですよ。

上島　夢が膨らむからねぇ……（しみじみと）。

寺門　俺は思うに、いまはプロレスラーが格闘家に勝たないとプロレスは盛り上がっていかないでしょ。

肥後　そうかなぁ？

寺門　そうだよ！　ホントに強い奴が「ウワー！」ってやってるのが、プロレスの面白さなんだからさ。

上島　いや、『猪木祭り』で安田がバンナに勝っても、いまは魔界倶楽部なわけでしょ。仮に永田がミルコに勝っていたとしても、「ミルコは弱かっただけ」って言われてるだけだよ。

――格闘技で勝っても、プロレスに還元するのは難しいんですよね。

寺門　あと、勢いが違うこともあるんじゃない？　国立競技場で『Dynamite！』をやったときなんて、プロレスが届かないところにきたなと思ったよ。

上島　（『紙プロ』前号表紙のミルコとヒョードルを指差し）でも、地方シリーズをやることになったら客は入らないと思うよ。茨城辺りの駐車場でできないでしょ？

寺門　なんでヒョードルとミルコが駐車場でやるんだよ！

――ダハハハ！　しかし、3人の興味は本当にバラバラなんですね（笑）。

寺門　この2人はあんまり好きじゃないからね、『PRIDE』とか。

上島　『PRIDE』って全部面白いわけじゃないから。テレビで十分というのもあるんだよね。

肥後　俺もこの前の『PRIDE．26』だと見たいのは2試合だけなんだよ。プロレスや『PRIDE』でもなんでもいいけど、自分の感情が入るのじゃないとダメなんですよね。

上島　『猪木祭り』の安田とかでしょ？

肥後　あれは泣いた泣いた！　番組の作りも上手かったしね。こないだ新日本の『アルティメット・クラッシュ』にも行ったけど、興味あるのは数試合なんですよ。感情が持てない選手が総合やってもプロレスやっても、「はぁ……」って思っちゃうだけだし。

寺門　ああ、そう。俺はホントに強い者を追い求めるけどね。

――そんな寺門さんから見て、いま一番強いのは誰だと思います？

寺門　ミルコじゃない？　相手に試合をさせないところが凄いよね。

――ヒーリング戦も見事でしたよね。相手のタックルもすべて切って潰しまくって。

寺門　あれは当然なんだよね、戦争屋からすれば。だから、「相手がナイフを持ってたらどうすんの？」ってことだよ。どんなに強くても、組み付かれて刺されたら終わりでしょ？　ヒョードルも軍のやつ（コマンドサンボ）やってるから対処できんのかなと思っていたら、意外とそこまでいってないんだよね。ナイフでグサッと刺されちゃいますよ、ヒョードルは！

――今日は寺門さんのそういったサバイバル術の話も聞きたかったんですよ！

寺門　話してもいいよ。でも……引かないでね（笑）。

肥後&上島　……（「また始まった」とばかりに『紙プロ』を読み始める2人）。

――寺門さんはカール・ゴッチ式のトレーニングを30年続けて

“U”の真実に迫る第2弾! UWFはなぜ解散したのか……!?

U.W.F.スネークピットジャパン代表

たり、山籠もりもやったりしてるんですよね。

寺門 やってるやってる！ 自分の体重と重力を利用したプロテインとか薬物は一切使わないトレーニングをね。山籠もりは年に何回かね、クワガタ採取を兼ねながら信じられないくらいハードなトレーニングをしてるよ！ しかし、よく知ってるねえ、そんなこと。

——水道橋博士から全部聞きました（笑）。

寺門 ああ、浅草キッドにはいろいろ喋ってるからね。

——一番衝撃だったのは、寺門さんが「ヒクソンに勝てる！」と豪語してることなんですよ。

寺門 勝てるでしょ、俺は（キッパリ）。

——あ、やっぱり勝てちゃいますか！

寺門 当然でしょ（真顔で）。リングでやったら負けるけど、山の中だったら勝てますよ！ 俺は常に準備をしてるからね。モチベーションが違いますよ！

——山籠もりで培ったシミュレーションは完璧なわけですね！ ミルコなんかは山の中でも相当強そうですけど、勝てますか？

寺門 拳銃とナイフを持ったらわからないよ。……いや、俺の方が身体が小さいから有利だな。身体の面積が広いから、間違いなく刺せるでしょう（再び真顔で）。

——間違いないですか！ そもそも寺門さんはナイフだけじゃなくて、早撃ちの訓練もしてるんですよね。

寺門 マシンガンもやってるから銃撃戦でもいけますよ。自分のフィールドだったら倒せるでしょうね（キッパリ）。

——車の中に毒ガス用のマスクを装備してるぐらいだから、リング以外なら対処できそうですか。

寺門 だから、いつ何があってもいいように準備してるよ。（カメラマンを指差して）いまだってね、このカメラから銃が出てきたらどうしようかなってずっと考えてるよ！

——ダハハハ！ 完璧です（笑）。

寺門 道歩くときだって、鉄板とか文庫本を入れたポシェットで心臓を守りながら歩いてるからね。万が一、そこらを歩いている奥さんがナイフで襲ってきてもいいように備えてるしさ。こういうことを考えてる人っていないでしょ？

——おそらく寺門さんと黒崎健時先生ぐらいですよ（笑）。お二人は寺門さんのこういった考えをどう思ってるんですか？

上島 ……（無言）。

“サバイバル術”話を機関銃のように喋りまくるジモンを誰も止めることはできない。肥後＆上島の2人は、すっかり他人事モードで読書中なのだ

ダチョウ倶楽部

肥後 う〜〜ん。……いいっスよね（興味なさそうに）。ド真ん中走ってますよ！

——ダハハハ！ どこのド真ん中なのかはサッパリわからないんですけど（笑）。

寺門 ……でもね、こういうことばっか言ってると、怪しいことやってくるファンがいるんだよね。握手を求めながら左手をうしろに隠してたりしてさ、刺されるんじゃないかと思うよ（笑）。

——そんな常戦戦場の寺門さんが、プロレスに対してどういう思いを持ってるかも興味があるんですよ。

寺門 いや、凄いと思いますよ。一番トレーニングする時間が長いのはプロレスラーだと思うしね。ナイフでグッと刺しても筋肉で跳ね返しそうじゃない？

——実際、棚橋さんは筋肉で止めましたもんね（笑）。

寺門 プロレスラーと比べたら、俺らの骨格はゴミだね！

——でも、そういうプロレスラー相手でも山の中だったら勝てるわけですよね？

寺門 （すかさず）そんなの当たり前じゃない！ やっぱり山の中では大きい人は不利だよ。歩いただけでも常人より疲れるんだから！ だから米軍はベトナムで勝てなかったの。

——なるほど！ しかし、世間が抱いているダチョウ倶楽部のイメージとは明らかに異なりますけど、寺門さんのそういう部分をどんどん出していった方がいいと思いますよ（笑）。

寺門 いや、誤解されるから「そういう話はするな！」って言われてるんですけどね。大喜びするのは浅草キッドぐらいで、みんな大抵呆れるから（笑）。

——それは上島さんや肥後さんの態度で十分わかります（笑）。3人に共通してるのは、全日本系のレスラーと仲が良いことぐらいですか？ 皆さんでパーティーにも行かれたこともあったみたいですけど。

肥後 （ようやく本を読むのもやめて）ああ、あったね（笑）。

上島 あんときの川田さん、普段の態度と全然違うんだよね。挨拶しても「何しに来た！」とか怒鳴るんだけど、小声で「いや、キャラクターなんだよ」って囁くんですよ。

——ダハハハハ！ デンジャラスKのイメージを守っていたわけですね（笑）。そんな川田さんの素の顔を一番知ってるのがダチョウの皆さんだと思うんですよ。

寺門 リーダーや竜ちゃんは、川田さんとメシとか喰ってるもんね。

上島 昔はよく喰ってましたね。

——昔ですか（笑）。上島さんは川田さんがUインターに出たときのタイツを譲り受けて、『なんでも鑑定団』に出したりしてましたよね。

上島 そのときは宝物が他になかったんですよ（苦笑）。

肥後 いくらになったの、あれ？

上島 30万かな？

寺門 スゲエな！ 竜ちゃんは川田さんの鍋セットも持ってるよな？

上島 ああ、川田さんが押し掛けチャンコしたときの鍋ね。

寺門 材料と鍋まで持ってくるんだから奇跡に近いよ！ しかも夜中の3時だし（笑）。

——真夜中の押し掛けチャンコですか（笑）。

肥後 あの当時、川田さんはやたらチャンコに凝っていたんだよね。たしか竜ちゃんの引っ越し祝いで一回作って、みんなが「美味しい」って誉めたのがきっかけなんですけど。

上島 あのときは7、8人分の量を作ったんですけど4人しか来れなくて、「こんな量、喰えるかな」って思ったんですけど、ホントに美味しいから全部喰えましたね。でも、魚とかイチから捌くでしょ。白いマナ板が真っ赤になるから、普通の台所だといい迷惑なんですよ（笑）。

肥後 つみれも生のイワシを捌いて作りますからね。

上島 鍋にしても「普通の土鍋でやろう」と言ったら、川田さんが「それじゃ美味くない」ってわざわざデカイ鍋を買ってきたんですよ。

——すべてにおいて家庭料理の域を超越してるんですね（笑）。

上島 それで、ウチのマンションはオートロックだから、しばらく入り口に立ってたんですよ。川田さん、「ここのマンションの人は誰も表に出ないんだねぇ」って言ってたけど、そんな大男が立ってたらみんな怖がるよ（笑）。

——そういえば上島さんを志村けんさんに引き合わせたのも、実は川田さんなんですよね。

上島 三沢さんが全日本の社長だった頃にね。武道館大会を観に行く予定だったんだけど、仕事で遅れて行けなかったんですよ。それで近所の飲み屋で飲んでいたら、川田さんから「いま志村さんといるから一緒に飲もう！」っ

Please.

て電話で誘われたんです。

——川田さんと志村さんの関係も興味深いですよね(笑)。

上島　だけど、始めは「川田さんが猪木さんとメシ喰えますか？」って断ったんですよ。別に派閥があったわけじゃないけど、それまで志村さんとは仕事をしたことなかったから。

——志村さんはバラエティの大物ですからね。

上島　それでも何度も何度も電話を掛けてきたんで、会わせてもらうことになったんですよ。

寺門　それが、いまじゃ志村さんとは師弟関係までになってるんだもんな。

——川田さんとは一緒に『志村X』にも出たこともありましたけど、最近は「俺が引き合わせたのに俺だけ酒の席に呼ばれない」ってトークショーでボヤいてるみたいですよ(笑)。

上島　そんなの、フィールドが違うじゃないですか(笑)。

寺門　出たがりだからね、川田さんは。

——川田さんって寡黙なイメージですけど、話を聞く限りは面白い人だと思うんですよ。水道橋博士と飲んだときも「博士、靴下、はかせ〜!」ってギャグも連発してたみたいですし(笑)。

上島　川田さん、お笑いが好きなんですよね。

——でも、レスラー間での評判って悪いじゃないですか？　特に三沢さんとは高校からの付き合いなのに仲悪いみたいですけ・ど、全日本時代からギクシャクしてたんですか？

上島　いや、仲良かったですよ。(ノアと)分かれてから、2人とも立場があるから会わないようにしてるんでしょうけど。

肥後　仲は悪くないんだよね。全日時代、川田さんと飲んでるときに「三沢さんの家が近いから呼ぼう!」ってことになって、3人でカラオケに行ったこともあったし。

上島　川田さん、カラオケが好きなんですよ。

——たしかアニメソングが大好きなんですよね。

寺門　『新造人間キャシャーン』歌うんだっけ？

肥後　そう!　三沢さんと2人で歌ってましたよ(笑)。

——2人で「キャシャーン!!」と絶叫してたんですね(笑)。

肥後　でもね、三沢さんは普通に歌ってるんだけど、川田さんは自分のイメージを守るんですよ。店員さんが酒とか持って部屋に入ってくるじゃないですか？そうすると、いきなりマイクをボクに投げつけるんですよ。俺、「何かマズイことやったかな」と思ったら、「……俺がアニメを歌っていたら格好悪いじゃない」って言うんですよ(笑)。

——デンジャラスKのイメージが壊れるからマイクを投げ付けた、と(笑)。

上島　大体、ダチョウとカラオケ行ってる時点でイメージも何もないんだけど、川田さんはそういうところがカワイイんですよね。メシ喰いに行っても、そこのお店の人に「ファンです!」って言われたら、その店に通い詰める人ですから。

肥後　三沢さんも面白いですよ。一緒に飲んでるときにファンが駆け寄ってきて「三沢さん、技を掛けてください!」ってお決まりの要求してきてことがあったんですけど、三沢さんは「まぁまぁ」って軽くいなして、俺に「疲れるんだよね、ああいうの。『腕相撲して下さい』とかさ」ってボソボソ言うんですよね。でも、その直後にお姉ちゃんがいる店に行ったら、お姉ちゃん3人相手に張り切って腕相撲やってるんですから(笑)。

——ダハハハ!　「エロ社長!」と高山選手に言われるだけありますね(笑)。

寺門　でも、それはしょうがないよな(笑)。

上島　俺だって男に「ヤーッ!やって」「帽子投げてくれ」とか言われたらイヤだけど、お姉ちゃんには「そんなのできるか!」(帽子を投げ付けながら)ってやるからね(笑)。

三沢さんに「川田さんのこと嫌いなんですか？」って聞いたことがあったんですよ。川田さんにはやたらハードに攻めるじゃないですか(肥後)

仲は2人は良かったですよ　立場があるから会わないようにしてるんでしょうけど(上島)

——そんな三沢さんと川田さんの関係が壊れたのが不思議でしょうがないですよね。

寺門　川田さんと渕さんだけ(ノアに)呼ばれなかったんだもんな。

肥後　俺もね、三沢さんに「川田さんのこと嫌いなんですか？」って聞いたときあったんですよ。三沢さん、川田さんと試合するとやたらハードに攻めるじゃないですか？

——他のレスラーと比べて明らかに厳しいですよね。

肥後　でも、三沢さんに言わせると「川田は受けれるからやってる。認めてるんだよ」って言うんですよ。

——それがいまだと「小橋にはどんな技でも思い切りできるんだけど、川田は受けが上手い方じゃないから、打撃系の技が多くなっちゃう。俺が川田を信用していないから、そうなるんですよ」とか三沢さんは言うようになっちゃいましたからね(笑)。

肥後　だから三沢さんと川田さんは馬場と猪木じゃないけど、切っても切れない関係なんですよね。どちらかが引退するときは対戦するしかないですよ!　他に誰も思いつかないし。

——やっぱり三沢vs武藤とかよりも、いまこそ三沢vs川田の方が見たいですからね。

寺門　……あの2人、ホントは仲がいいんじゃないの？

——いつか試合するときのために盛り上げようとしてるってわけですか(笑)。

寺門　(肥後に向かって)ホントは知ってるんじゃないの？

肥後　何を知ってるんだよ(笑)。

——でも、川田さんって三沢さんに限らず、他の選手とも仲悪そうですよね。

上島　川田さん、志賀健太郎にアンキモだけでこんなドンブリ飯を喰わせてましたからね(両手いっぱい拡げて)。俺が志賀だったら評判良くないよなあ……。

——ダハハハ!　まあ、志賀さんは細かったですからね(笑)。

上島　あれじゃ身体が大きくなる前に糖尿になるだろうって思いましたよ(笑)。でも、プロレスラーってそういうもんだから

"U"の真実に迫る第2弾! UWFはなぜ解散したのか……!?

U.W.F.スネークピットジャパン代表

ね。力道山からの流れを組んでるというか、天龍さんの流れですからね。

—いっぱい酒を飲んで、激しい試合するという。

寺門 そういえば天龍さんと飲んだときも凄かったよな!

—あ、天龍さんとも飲んでるんですか?

寺門 飲んでる飲んでる! 何度もね。竜ちゃんなんか、天龍さんにお小遣い貰ったこともあったじゃない?

上島 ハダカになって歌ったら、天龍さんがスゲエ大喜びして10万くれたんですよ。

寺門 男気あるよなぁ。カッコイイよ。

上島 でも、裸だったからその10万円を誰かに預けたら紛失しちゃったんですよ。ベロンベロンだったから、誰に預けたか覚えてなくて(笑)。

—しかし、天龍さんの飲み会はやっぱり壮絶なんですね。

上島 いろんなお酒が注がれたアイスペールが回ってきますからね(笑)。

—伝説の天龍カクテルが!

肥後 天龍さん凄かったのはWARのパーティーなんですよ。ボクらは仕事で遅れて行ったんですけど、店に入ったら阿修羅さんが椅子を「オラーッ! オラーッ!」って天井にぶつけながら歌ってるんですよ(笑)。

—ダハハハ! それ、歌でもなんでもないですよ(笑)。

寺門 阿修羅さんが「♪俺は〜天龍が好きだぁ〜ッ! 男の〜♪」とか吠えてたんだよな! 店のボーイは「やめてください!」って止めてさ。やめるわけないんだけど(笑)。

肥後 それで若手のレスラーが「ダチョウさんが遅いから天龍さんが不機嫌なんです」って言うんで、天龍さんに「すいません。遅れました!」って謝りにいったら、背を向けて振り向いてくれないんですよ。

—それもまた怖いですね(笑)。

肥後 で、何回か「天龍さん、天龍さん……」って声を掛けたら、いきなりテーブルをドーンと叩いて、「グァーッ!!」って大声出しながら両手を突き出すんですよ(笑)。

—……なんですか、それ?

肥後 こっちもよくわからないから「すいません!すいません!」って頭を下げたら、天龍さんは「違うよぉ! お前ら、やってるだろ? グァーッ!!」って「グァー」「グァー」叫ぶんですけど、良く聞くと「ヤー!」って言ってるんですよ(笑)。

—ダハハハハ! 天龍さんの「ヤー!」だったんですか(笑)。

肥後 天龍さん、何を言ってるのかわからないときがあるじゃないですか。

—天龍さんの声は判別困難ですからね(笑)。

肥後 前にも「●*@&%?」って言われたけどよく聞き取れなくて、「ああ、そうですね。アッハッハー!」って適当に返してたら、「何を笑ってるんだぁ!? 『最近は忙しいのか?』って聞いてるんだ!」って怒られたりして(笑)。

寺門 言おうと思えば、ちゃんと言えるんだよ。あれ、酒で潰れてるんじゃないの?

上島 酒もあるけど、チョップ

ダチョウ倶楽部

Please.

でノドをやられてこともあるんでしょうね。

肥後 酒と言えば、馬場さんの伝説を見たときは感動しましたよ。

寺門 あ、馬場さんの一気飲みだ!

―馬場さんは滅多に飲まないけど、いざ飲むと異常に強いらしいですよね。

肥後 凄かったですねぇ(しみじみと)。あれはお正月だったんだけど、ボクの知り合いの人が「馬場さん、お正月だからお酒飲みましょうか?」って言ったら、馬場さんが「じゃあ、紹興酒を持ってこい」ってことになったんですよ。それで馬場さん、ボトルごとクイッと一気に飲んじゃいましたからね。

―コント赤信号の渡辺正行さんがコーラを早飲みするかのように(笑)。

肥後 ホントそんな感じでしたね(笑)。

―それだけ全日本関係のパーティーに昔から出入りしてたってことは、元子さんにも気に入られてたんですか?

肥後 元子さんがグッズ売り場にいたときに挨拶したら、オールジャパンって書いてある帽子を貰ったことがありましたけどね。そのことを知り合いに言ったら「あのケチな元子さんに物を貰えるのは凄い!」って驚いてたことはありましたけど(笑)。

寺門 きっとリーダーが認められたってことだよな(笑)。

肥後 何をだよ(笑)。

―そういう流れで、四天王が初めて素の顔を見せたと言われている全日本の特番に出ることになったわけですか?

天龍幻想が爆発するカラッと激しいエピソードの数々は、昭和のプロレス者ならずとも心をガッチリ掴んで離さない! グアーッ!

寺門 あったなぁ、そんなの。

肥後 あれ、全日本道場の広間でインタビューしたんだよね。

―全日本の道場がテレビで放送されること自体、久し振りでしたからね。

肥後 あのときは田上さんと川田さんがタッグを組んでて、2人は土足で広間に入ってきたんですよ。ボクらは「そういうもんなのか」って思ってたら実はそれがボケだったらしくて、川田さんに「ちゃんと突っ込んでくれよ!」って後から言われましたね(笑)。

寺門 わかるわけないよな(笑)。川田さん、デンジャラスな顔で不機嫌そうに来るしさ。

―あのとき上島さんは川田さんの蹴りをケツに喰らってましたよね(笑)。

寺門 ウンコちびったんだよな、あの蹴りで!

―そんなに強烈だったんですか(笑)。

上島 助走なしでいきなり蹴られたんだけど、メチャクチャ痛かったんですよ!

―ダチョウさんって昔からレスラー相手に身体を張ってきましたけど、一番効いた技ってどれになります?

寺門 俺が一番、痛かったのはベイダーの腕を振り下ろすやつだね。大して力入れてないんだけど、息が詰まりそうになったもん!

肥後 あれはお前がカンチョーするからだよ!

―ダハハ! それって台本通りだったんですか?

寺門 いや、アドリブ(笑)。凄い力で「エイ! エイ!」って入れたんだよね。

―だったら、いくら何でも怒りますよ(笑)。

寺門 あと昔の猪木さんのビンタはヤバイよな! 最近のビンタ見てると、力抜いてる気がするもん。

―昔はビンタというより掌底でしたからね(笑)。

上島 松村邦洋なんか、ヘタによけたら耳にバチーンって入っちゃって鼓膜破れてるから。

―うわ! ホントですか!?

上島 「あれ? 聞こえない!」って騒いで大変だったみたいですよ。あれはよけた松村が悪いんですけどね。

肥後 松村はライガーさんに顔面蹴られて右目塞がったこともあったよな。

寺門 松村はスタッフがライガーさんに「多少入れちゃってください」って頼んだら、怒ったらしいんですよね。

―プロレスをナメるな、と。

上島 それでホントに入れちゃったんですよ。そんなことがあってからはちゃんと打ち合わせするようになって、俺らのときは緩くなったけど。

肥後 ライガーさんのツノをカジったら、ちゃんと痛がってくれましたしね(笑)。

寺門 でも、そのあと猪木さんがキレたんだよな。

―なんですか、それ?

天龍さんは男気あるよなぁ。カッコイイよ!(寺門)
ハダカになって歌ったら10万円くれたときもあったよね(上島)
天龍さんが突然「ヤー!!」をやったのもビックリしたよ(笑)(肥後)

肥後 俺たちお笑いチームがライガーさんやいろんなレスラーに勝って、最後に猪木さんが登場するって流れだったんですけど…。なんだかえらく怒ってるんですよ、猪木さん(笑)。

―怒られる理由は何かあったんですか?

肥後 いまだにわかんない(笑)。猪木さん、冷たい笑顔のまま「コイツら、やっちゃうぞ、おい!?」ってマイクも通さないで小声で言ってるんですよ!

―ダハハハ! 猪木さんは笑いながら怒る人ですからね(笑)。

寺門 それで、ライガーさんは「ダメっスよ、猪木さん! ダメっスよ!」って必死に抑えてたんだよ! 「何だよ、この絡みは!?」と思ってさ、こっちは(笑)。

肥後 マイク持って「やっちゃうぞ!」っていう分にはパフォーマンスなんだけど、小声でやり取りしてるから怖くて怖くて(笑)。それで思い切り「バッチーン!」ってビンタ張られて、「人の痛みがわかる人間になれ!」ってマイクで言われたんですけど、お前が言うなって(笑)。

―猪木さんは素人相手だと平気で無茶しますよね(笑)。

寺門 タッキーとやったときもあったでしょ?

―ジャニーズにも本気で張りますからね(笑)。前にも猪木さんが大学生にバチバチ平手を喰らわせたとき、よく見たら耳から血が出てたこともあったし(笑)。

寺門 それ、鼓膜が破れてるよ!

―そこまでされて「ありがとうございました!」ってお礼言うんだから、どんなサービスだと思うよ

“U”の真実に迫る第2弾! UWFはなぜ解散したのか……!?

U.W.F.スネークピットジャパン代表

見比べれば見るほど、とにかく似ている上島の偽ジョー・サン!! 深夜放送の『W-1』で番組でヒトコマである。本家との共演もぜひ実現してほしい! ん〜ッ、Tバック!!

ダチョウ倶楽部

な（笑）。

肥後 俺は猪木信者だから嬉しかったですけどね。でも、あの一発だけでビンタは十分（笑）。

――上島さんはこの人の技を受けて嬉しかったことはあります？

上島 ……嬉しかったことはないね、俺には。

――できることなら受けたくない、と（笑）。

上島 イヤでイヤでしょうがないもん。俺らの場合は念密に打ち合わせてしてるけど、歳取ってきたから怖いですよ。

――上島さんは受けるのが上手そうなんですけどね。

上島 そんなことはない（笑）。

寺門 いや、テレビで「ビンタ味比べ」っていうやったんだけど、竜ちゃんはいろんな人のビンタを受けて「これは力也さん!」とか全部当てたからな。ビンタ職人だよ!（笑）。

――上島さんはプロレス技・喰わず嫌い王みたいな企画でも、いろんな技を受けてましたね（笑）。

上島 あ、中西選手にアルゼンチン・バックブリーカーをやられて勃起したやつね。

――なんで勃起しちゃったんですか？（笑）。

上島 わかんない。身の危険を感じたんじゃないの（笑）。

寺門 溺れると勃起するって言うじゃない。それと同じだよ（笑）。

――死ぬ直前に性欲が高まるっていいますもんね（笑）。

肥後 ボクは『お笑いウルトラクイズ』でブル中野と電流爆破マッチやったとき、チンポがムズムズってなりましたね（笑）。俺がロープに投げられたんだけど、なんかのミスで爆破しなかったんですよ。で、ブルさんが耳許で「あ、爆発しない。どうしよう!?」って色っぽい声を出すんですよ（笑）。

――電流爆破マッチまで経験してましたか（笑）。しかし、伝説の番組『お笑いウルトラクイズ』では様々な格闘家と闘ってきましたよね。

寺門 ウイリー（・ウイリアム）ともやったよなぁ。あれは嬉しかった。

――藤波さんとの試合も凄かったですよ!

寺門 藤波さんは上手かった! 闘ったというより、合わせてもらっただけだけどね。力抜いた方がいいよ、あの人に投げられるときは（笑）。あと、佐竹とド突き漫才をやったよな。

肥後 俺らがボケて、佐竹さんが突っ込むんだよね。「そんなわけないだろ!」って正拳で（笑）。それで1人づつ落ちていくんだけど。

――しかし、『お笑いウルトラクイズ』はいわゆるバラエティ番組でギリギリとされるレベルを2歩も3歩も飛び越えた番組でしたよね（笑）。

寺門 越えてるよなぁ……。タイ式キックの人が来たときなんかアバラ2本折られたもん、俺!

――それってアクシデントだったんですか？

寺門 いや、そのタイ人は当時のチャンピオンだったらしいけど、現場の状況が全然わかってないんですよ。「なんでこんなところで闘うんだ？」みたいな感じで（笑）。そんで俺がギャグで『あしたのジョー』の両手ぶらり戦法をやったら、怒ってミドルキックを「バチーン!」とやってきてさぁ!

――ジャングルでは強くても、リングの中じゃ勝ち目はないですからね（笑）。

寺門 勝てるわけないよ! だってローキックも関節とか腱を狙ってくるんだよ! 完全に足を折りに来てたよ、あれ!

肥後 完全に腱を切りにきてるんだよな（笑）。

寺門 そのときヤクザ先生もタイ人と闘ったんだけど、病院送りになったからね!

――佐藤忠志先生は予備校講師でありながらボクシング経験者でもあったから、「日本のボクサー」ってタイ人に伝えたって噂は聞いたことありますけど。

寺門 いや、「日本のマフィア」って教えたらしいよ。

――たしかにヤクザ=マフィアですけど（笑）。

寺門 タイにもマフィアがいるしくてさ、タイ人が「何ィ ジャパニーズ・マフィアめ!」って怒っちゃってボコボコされたんだよ（笑）。ピクピク痙攣しちゃってエビになってたもん!

上島 結局、プロデューサーからダメ出しが入って、「物真似ボクシング」に変更になったんですよ（笑）。

――ホントにギリギリの番組だったんですね（笑）。

寺門 あと『スーパーJOCKY』に出た沖縄の空手家も凄かったよな! 顔面殴られた奴、玉袋（筋太郎）だっけ？

肥後 誰だか忘れたけど、軍団さんがやられて。あれも可哀想だったねぇ……。

――やっぱり、加減がわかって

Please.

いる分だけプロレスラーのほうが絡みやすかったりします？

肥後　いや、プロレスラーにもヤバイのはいるよ。佐山さんとか（笑）。

――やっぱり！（笑）。

寺門　佐山さんには護身術みたいのをやられたんだよね。こっちも抵抗しないほうがいいと思って身体を預けたら、ホントに極めにきたからね！　無言で首を曲げるからリアクションの声も出せないんですよ（笑）。

――骨法の堀辺さんも怖かったという伝説はよく聞きますよね。『スーパーJOCKY』でたけしさんに技をかけたままずっと離さなかったとか（笑）。

寺門　いや、骨法は若い奴が怖いんだよな。やっぱ、相撲だって若手とやるときは上の人が「オイ！　素人に負けたら殺すぞ！」って脅してるからさ。

肥後　俺たちは、別に道場破りじゃないんだけどなぁ（笑）。

寺門　こっちはバラエティでいってるんだけど、それでも下の奴は負けることは許されないんだよな。怖い怖い！

――相手のプライドを保ちつつ、笑いを取るのは相当難しい作業ですよね。

肥後　でも、ブッチャーに地獄突きされたときは全然痛くなかったんですよ。やっぱりプロだなあと思って、調子に乗ってもう一回やってもらったら今度は痛かったけど（笑）。

上島　あるプロレスラーに聞いたんですけど、ブッチャーほどお約束がわかるレスラーはいないらしいですね。

――だからこそ、『W―1』でプロレス経験のない佐竹さんとも対戦できたわけでしょうね。

肥後　それはあるだろうね。

――『W―1』といえば、上島さんが偽ジョー・サンになったのが一部で評判でしたけど（笑）。

上島　あ、見た？　俺の汚いケツが出てたね（笑）。あんときもTAKAさんとやるのは怖かったですよ。

――いまだに身体を張ってますよねぇ……。上島さんといえば、やっぱり物真似してたこともあって大仁田さんの絡みが印象に残ってるんですけど。

上島　大仁田さんでもキツイのはけっこうありましたね。たとえばラジオ番組でパイルドライバーをかけられたりとか。

――ダハハハ！　ラジオじゃ何も伝わらないですよ（笑）。

上島　大仁田さんは見たまんまで、サービス精神が旺盛な人ですからねぇ（笑）。

寺門　でも、髪を掴むのが一番痛いんだよ（笑）。

上島　大仁田さんとはFMWを立ち上げた頃、よく飲みましたよ。大仁田さんってお酒飲めないからコーラを飲むんですけど、「オレたちはな……」ってマジメに語るからシーンとなっちゃうんですよ。そしたら「お前ら芸人なんだから、パーッと行こうよ、パーッと！　ナンパでもしてこい！」って言うんでお姉ちゃん呼んできたら、急に“男樹”の顔になって、お姉ちゃんに「キミたちいくつ？　もう家に帰った方がいいんじゃない？」って言い出すんですよ（笑）。

――自分で命令した癖に（笑）。

寺門　だって、「お前ら、ナンパしてる場合じゃないぞ！」まで言うんだよ（笑）。

上島　それでお姉ちゃんが帰ると、また「お前ら、ナンパしてこい！」って言うんだよねぇ。

――オーディエンスがいなくても大仁田劇場を続けてるんですね（笑）。

上島　でも、いま大仁田さんに殴られそうになったら「やめてください、先生！」って言えばやめるらしいですよ（笑）。

肥後　「先生」って言葉に弱いんだ（笑）。

寺門　しかし、くだらない話ばっかしてるなぁ（笑）。

――いや、こういう話が聞きたかったんですよ！　今日は3人がプロレス・格闘技好きという共通点がありながらも趣味思考がバラバラなのもよくわかりましたし（笑）。

寺門　こんなんで大丈夫なの？

――じゃあ、最後に「一番好きな選手」なんてベタな質問もしておきますけど、誰かいますか？

肥後　誰だろ？　猪木さん……って言ったら身の蓋もないしなぁ。

――「コイツら、やっちゃうぞ！」って脅されても、好きなんですね（笑）。

肥後　『Dynamite!』の空中ダイブも良かったですよねぇ（しみじみと）。

寺門　あんなのできないよな、普通！

――上島さんは誰がお気に入りですか？

上島　ボクは天龍さんですね。やっぱりプロレスラーが好きだから。

――天龍さんの生き方は破天荒な昔ながらの芸人さんに近いですよね。天龍さんは顔だけで合格って感じだし（笑）。

寺門　ホント怪物だよ！

――思えば昭和の全日本には馬場さん、鶴田さん、天龍さんがいて、加えてハンセン、ブロディなんかもいたんだから、上島さんがいまのプロレスに物足りなさを感じる気持ちもわかりますよ。

肥後　ジャンボは良かったよなぁ（思い出すように）。

寺門　ジャンボは力学的に凄いよ！

――あ、力学的に評価しますか（笑）。

寺門　だってさ、人間の限界を超えた試合をやってたじゃない。そこらの格闘家の試合より凄いですよ！

――でも、そんな怪物相手でも、やっぱり山の中だったら勝てるんですよね？（笑）。

寺門　当たり前じゃない！（キッパリ）。

――ダハハハ！　寺門さんとジャンボのジャングルファイトはぜひとも見たかったですね。

肥後　で、俺がいま一番好きなのはノゲイラかなぁ。サップ戦が凄かったから。あれは感情が持てるよね。

――ノゲイラは基本的に泣き顔だから、感情が伝わってくるんですよね。

肥後　（『紙プロ』表紙のミルコを指差し）この辺は好きじゃないんだよな。

寺門　（すかさず）いや、コイツは本気だよ！　敵を的確に殺しにいってるよ！

――そんなミルコとバラエティで絡んだら、大変なことになりそうですね（笑）。

上島　……もう考えたくもないね。ヤダヤダ！

寺門　間違いなく急所に入れてくるだろうね。俺にはよ〜くわかるよ！　なぜなら、ミルコと同じ考え方だからさ（キッパリ）。

肥後＆上島　……（無視して『紙プロ』を読み始める）。

――ダハハハ！　今日はどうもありがとうございました（笑）。

【03年6月10日／太田プロ事務所にて収録】

ダチョウ倶楽部

【てらかど・じもん】1962年兵庫県出身。趣味はガンプレイ、オオクワガタを収集・育てること。きたるべき有事に備え、志村けんの酒宴にも行かずに鍛錬に励む超人志願者。
【ひご・かつひろ】1963年沖縄県出身。普段はおっとりしているが酒を飲むと強気になる。志村けん、渕、川田にダメ出し説教をしてしまい相手を怒らせてしまう酒癖を持つ。
【うえしま・りゅうへい】1961年兵庫県出身。どんな技を受けても哀愁が漂わないプロレスラー張りのオーラを放つピンタ職人。川田との対談をぜひ実現させたいものである。

約束がわかるレスラーはいない
らしいですね。
――だからこそ、『W―1』でプ

ばラジオ番組でパイルドライバ
ーをかけられたりとか。
――ダハハハ! ラジオじゃ何

ね(笑)。
上島 でも、いま大仁田さんに
殴られそうになったら「やめてく

肥後 ジャンボは良かったよな
ぁ(思い出すように)。
ありがとうございました(笑)。
[03年6月10日/太田プロ事務所にて収録]

各方面で話題沸騰!! 〝藪下発言〟後のスマックガールは、どうよ!?

注目の藪下は元『生ゴン』ギャルを秒殺!!

『紙プロ』前号のインタビューで、各方面に波紋を呼んだ藪下めぐみが、元『生ゴン』ギャル坂本奈緒子と対戦!! プロレスでしか使ったことのない、ゴージャスなガウンに身を包んで登場した藪下は、ゴングと同時に坂本へ突進、ヒザ蹴りから腕ひしぎで23秒殺!! 圧倒的な力の差を見せつけた。試合後は「おっきい外人とやりたい」とコメント。「正直スマンかった」と不甲斐なさを詫びた坂本は、翌日から早速猛練習を開始!

ナナチャンチン、キャットファイターに敗れ、ついに引退!?

同性からの人気も高まりつつある渡邊久江が、ハワイからの刺客・ベッタ・ヨンを圧倒!! 試合後のコメントでは、涙ぐむお母さんを見てリング上でもらい泣き。5・22『Gals』でメインを務めた吉住絹代が、実兄である吉住武美とのエキシビジョンで登場。妹いわく「公開兄妹ゲンカ」。第2試合に登場した謎のマスクマン「15（いちご）」は、どこかで見たようなパンチラを披露。健闘するも、照井和瑛にシングル初勝利を捧げる結果となってしまった。う〜ん、いちご!!

先月、リング上からナナチャンチンを「なんとかチャンチン」呼ばわりしたことから因縁がボッ発、対戦が決定したグラビアアイドル兼キャットファイター羽柴まゆみ。ナナチャンチンが三角絞めを披露するもパワーボムで外され極めには至らず。珍しいストンピングでKOされ結果は秒殺！ 羽柴は「キャットファイターも強いってことをわかってほしい」とマイク。坂口一美が敵討ちに名乗りをあげ、勝ったらナナチャンチンの引退を撤回するよう申し出た。

ガッツに続き安岡力也も登場!!

初来日のスター・アームストロングと対戦する予定だったウィンディ智美。だが、相手のケガにより大会2日前にカード変更！ 急なオファーにもかかわらず参戦した峯心会の美形ホープ、真（まこと）を、キックの乱れ打ちで追い込み、最後は顔面にヒザを叩き込んで勝利!! 試合後は「相手はケガをしたということでしたけども、逃げたと思ってます!! 逃げた相手、待ってます!!」と堂々たるマイク。前回登場したガッツ石松に続き、今度は安岡力也が登場!! 「男の試合より面白かったよ」とスマックガールを絶賛！

雨にも負けず、これまでの記録を上回る797人の観客がつめかけた6・4スマックガール。初参戦の選手も多数参加した今大会は全試合一本&KOという結果に。

『紙プロ』前号でのインタビューで「みんなもっとプロ意識を持って欲しい」と、ゲキを飛ばし、大きな波紋を呼んだ藪下めぐみは、『紙プロ』にも登場した元『生ゴン』ギャル、坂本奈緒子と対戦。どういう試合を見せてくれるのか注目された藪下だったが、ゴングと同時にジャンピングキックをぶちかまし、そこから速攻で腕十字で極め、23秒殺！ 勝利後はしっかり所属している『SOD女子格闘技道場』の宣伝をしてリングを降りた（それもある意味、プロ意識？）。試合後は「つきあうつもりはあったんですけど、あんなにキレイに決まるとは思ってなくって」と、笑顔でコメント。当然、「あれだけ言ったんだから、もっと見せてくれるかと思った」との声もあちこちから聞こえてきたが、それだけ、実力とプロとしての意識の差が、いまの2人の間にはあったのだろう。その証拠に、敗れた坂本は何もできなかったショックと悔しさで、早速、試合翌日から次回大会へ向け練習を開始したという。藪下は前号でのインタビューで「『プロのリングってこんなもん』って思われたくない」と語っていたとおり、相手につきあって変な自信を持たせるより、一度谷底へと突き落とし、プロのリングは甘くないということを闘いを通じて伝えたのだと思う。

そういう意味ではメインのウィンディはプロとして最高！ 試合で見せ、マイクで見せ、最後は安岡力也まで見せてくれた。で、結局、今回のスマックもOK牧場!!

“藪下発言”を女子総合トップ選手はどう受けとめたのか？

クールファイター 久保田有希

プロ意識ですか？ 最近出てきたと思います（微笑）

プロ意識ですか？　最近出てきたと思います（微笑）。柔道時代っていうのは自己満足だけで、お客さんの目は全く意識しないですし、とにかく「優勝したい」とか、どんな勝ち方でも勝ちたいとか、結果とか順位が欲しいって感じで。でもプロのリングだったらそれだけじゃダメだと思うし。やっぱり、プロっていうのは変な言い方すると私たちっていうのは商品で、お客さんが、それを買ってくれて成り立つものだと思いますから。そうやって足を運んでくれるお客さんも、商品と一緒でモノが悪ければ買わなくなると思うし。そういうことも考えて試合をしていかなきゃなぁって。勝ちたいとか、いい成績を残したいだけだったらアマチュアでやっていけばいいと思います。私もデビューしたての頃っていうのは、感覚的にはアマチュアと全く一緒の考え方で、あの頃の試合を、いま見たら別にアマチュアでやっても変わらないなって。最近は勝ち負けっていうのも凄い重要なことだけれども、自分がお客さんに何かを伝えたり、お客さんが求めているモノをリングの上で出したりとか、そういうことも考えるようになりましたね。

あと、体重差って部分も、いろいろと問題になってるみたいですけど、人によって様々な考え方があると思うんですよ。ただ、いまの女子総合の現状で言ったら階級を気にしていたら、試合に出れる回数がそれだけ少なくなるって考え方もあるし、逆に、例えば打撃の世界チャンピオンで10キロも体重が上の選手と総合ルールで試合するって話があったら、やっぱり自分の選手生命を考えれば危ないって思うだろうし、難しいところですよね。ただ私は、体重差云々っていう問題は、自分で契約したなら、その後にいろいろ言うのはおかしいと思いますね。契約する前だったら、いくらモメてもいいと思うんですけど（笑）。

プロとして見習いたい選手ですか？　これまで隠していたんですけど（笑）、技術的な面ではノゲイラとか凄いと思うし好きですね。女子だったら、やっぱり藪下さんとかは、度胸って言ったら変だけど、グンダレンコとやったりとか、誰が相手でも立ち向かうっていう、そういうプロ意識は凄いなって。体重のことだけじゃなくて、そういうところは見習いたいなって思いますね。グンダレンコ戦とか見て凄い感動して、「自分には出来るのかなぁ」って思いましたから。私も、あいった試合が見せられるように頑張ります！

格闘ジャンヌダルク 渡邊久江

プロ意識ですか？ 自分なりに持ってるつもりです！

プロ意識ですか？　自分なりには持ってるつもりでいます。ただ、それは持ってても出し切れないこともあるし、これからドンドン出していきたいなって思ってます。私にとってプロっていうのは強いことはもちろんなんですけど、女子なんで、やっぱり男子と違う部分とかで見せれる試合が出来れるようになっていくのが一番だと思うんですよ。あと、いまはまだ親に仕送りをしてもらってるんで（苦笑）、もっとメディアに出ていって入場とかも工夫できていけたらいいのかなって。やっぱり、お金出して観に来てもらうものだから、払った分の価値を与えたいですね。知り合いとかだったら面白く見えるかもしれないけど、知らない人が見た時に「おぉ～」って思ってもらえたりとか、試合内容以外でも「アイツ、面白いな」とか印象に残るような選手になりたいです。あとは、やっぱり女なんで（笑）、人に見られるんだったら、可愛くとかキレイにとか、そういうふうに見せられるようになっていければいいなぁって思います（笑）。プロって意味で好きな選手は、全日本キックの大月選手とか須藤元気選手は見てて面白いし強いんで、凄いなぁって思いますね。私はまだまだですね（笑）。

女サップ 石原美和子

プロ意識ですか？ いや、ないです！（キッパリ）

プロ意識？　いや、ないです！（キッパリ）。あくまでも自分としてはアマチュアでやっていると思っているので。プロってどういう人がプロなんですかねぇ？（笑）。自分ではプロのレベルじゃないと思ってるし。自分もまだまだだと思います。自分としては空手を通じて青少年の健全育成や、武道の普及の方が主なので、試合で闘うっていうことが目的ではなくて、それは自分の力を確かめてみる場であるっていうか。お客さんの目も意識しないですね（微笑）。応援してもらいたいなぁとは思いますけど（笑）。お客さんが喜ぶような試合をしようとは思わないですね。ただ自分の試合を見てもらって、勇気とか希望を持ってもらいたいなとは思いますね。体重差？　私は気にしません！（笑）。

渦中の、しなしさとこは本誌チョロに逆ギレ!?

前号の『紙プロ』発売日から数日経って、ターザン山本さんから編集部に電話。「オイ、チョロ！　私は、しなしさんに代わって、お前を公開裁判する！」「どういうことですか？」「オレが作ってるジョシカク本で、しなしさんを取材したら言ってたよ。『私はチョロさんに嫌われてるのかなぁ？　いつも写真とかも小さいし』って。お前は、しなしさんが嫌いなんかぁ!?　あの娘は凄くいいコなのに。オレのお嫁さんになってもいいって言ってたんですよおおお！」と、ひとりで炎上！　別に嫌いじゃないけど、面白そうなので、某イベントで、しなしさとことガチンコでやるぞ!?（もちろん体重制限なしで）

（チョロ）

スマックガール代表

絶好調 篠泰樹が女子プロ界に提言!!

聞き手＆撮影／松澤チョロ　designed by gutty（Two Three）

女子プロレスラーの皆さん！ スマックを見て、目を覚まして下さい!!

——篠さん、スマックガールもヴェルファーレに移ってから大会的にも動員的にも回を増すごとに盛り上がってきてますね。

篠　プライベートでは女に捨てられて泣き崩れてたけど（笑）、我が子スマックガールはスクスクと育ってます。35歳バツナシ独身男性が手塩にかけて育ててますからね。とにかく絶好調ですよ！　いろんなヒットを出してきた人たちから「ブームが来る直前の傾向だ」ってよく言われるんだよね。

——その調子で突っ走ってください！　ところで、前回の『紙プロ』での藪下インタビューが選手や関係者を含めて話題になってますけど、3年目を迎えた女子総合において、藪下選手が言うところのプロ意識って部分を篠さんはどう感じてます？

篠　藪下は凄くいい選手だと思うし、見せるってことを意識してると思うし、それはプロレスラーの部分が凄く良く現れてると思うんだよね。でも、辻選手にしても、アスリートって一部には言われてるけど、それは全然違ってて、辻は辻で「次、どんなマスクがいいと思いますか？」って聞いてくるし、多くの選手の中に〝見せる〟って意識が芽生えてきてますよ。大会の演出に負けないように「今日はお客さん喜んでくれましたかね？」とか聞いてくるコも多いし。もちろん総合格闘技ってジャンルなんで、勝ち負けはみんな意識してますよ。でも、それを超越したところで、観客に楽しんでもらおうとかっていうのは、みんな考えてきてるんじゃないですか。

——そういった面でも初期のスマックと比べて、選手側の意識って部分は明らかに変わってきてますよね。

篠　そうだね。『紙プロ』にも出てた体重の問題とかギスギスする部分もあるけど、それは立ってる立ち位置によって異なるから、一概にボクからどうこう言うつもりもないんだけどね。個人的には藪下の意見に非常に近くて、ボクも無差別主義者なんで（笑）。やっぱり小さな人間が大きな人間に勝つっていうのがダイナミックな格闘技の醍醐味なんじゃないのかなって。あんまり体重のことを表舞台でツベコベ言うのは個人的には賛成しかねるかな？

——競技競技したくはないと？

篠　俺は競技だと思ってないから、極論言うと。競技やりたいなら女子もアマチュアの大会いっぱいやってるし。ウチもやってるし「どうぞ、そちらに」って感じですね（笑）。やっぱりプロだから、お客さんやスポンサーからお金をもらってやってる以上は見せてナンボだと思うんで。そこを意識できなければ自然に淘汰されて行くだけだと思うから、そういう選手についてはあまり気にしてないですよ。

——実際に試合レベルも上がってきてるし、それにレベル云々では語れない面白さが女子総合にはありますよね。

篠　一歩引いた目で見ても、男子の格闘技にも負けてないって言いきれますから。男子の興行は結構見てますけど、ウチの方が面白い自信があるし。技術の攻防とかが面白いのかって言ったら、それだけじゃなくて、魂と魂がぶつかるところに格闘技の面白さがあるわけで、そういう部分でいったら男子の格闘技に負けてないと思うしね。

——自信満々ですね（笑）。それはボクも同感ですよ。そういえば、この間の『PRIDE』で、なぜか、ミルコのスタッフとして来てましたよね？

篠　俺の大好きな兄ちゃんみたいな人がミルコの仕事をしていて、その人に呼んでもらったから金魚の糞みたいに付いて周って勉強してきました（笑）。

——『PRIDE』に行って勉強してると。篠さんは以前からプロレス＆格闘技ファンっていうより、一般層に対するアピールを重要視してますよね。

篠　ファンも大切だけどね。外に向かって露出しないと広がらないから。露出は凄く意識してるし、そういう意味での次なる目標は、やっぱり地上波のテレビ枠を獲得することだね。実際に、すでにいい感触を掴んでるし。

——そうみたいですね。でも「本当なの？」って声も正直ありますけど（笑）。

篠　やる前からやれないとか考えるバカがいるかーッ！って感じです（笑）。現実、今年に入ってから本格的にいろいろと話を進めてるんですけど、評判は、ぶっちゃけ著しく良いです。

——そういう意味では、スマック8月大会にはキーラ・グレイシーの参戦も決まったようですし、話題には事欠きませんね。

篠　やっぱり世間の目をこっちに向ける意味では男子の世界では使い古された感もあるけど、グレイシーっていうのは最大のカードの内のひとつだと思ってるから。それに8月は夏休みだから、多くの人に観てもらえるかなって思って。

——で、篠さん的には高田vsヒクソンじゃないですけど、キーラ・グレイシーの相手にはプロレスラーに出てきて欲しいんですよね。

篠　ウチの内部でもいろいろ言われてるんだけど、あえてボクの考え方で言うと、プロレスラーvs総合格闘家みたいな方が、わかりやすいかなって。

——その辺はベタにプロレスラーvsグレイシーっていうわかりやすいカードの方が一般層には届くんでしょうね。

篠　ホントに選手の名前でいっても世間的には、まだプロレスラーにしても総合格闘家にしても名前がある選手なんてスマックの中には、ひとりもいないんですよ。そしたら枠組みとしてプロレスラーvs格闘家とか柔道家vsキックボクサーとか、そういう枠で売るしかないから。そこはもう企画の勝負ですよ。常にどうしたら世間の人が観に来てくれるかなとか、どういう手法でお客さんの目をこっちに向けれるかな

って毎日考えてますからね。風呂に入ってる時もキャバクラ行ってる時も考えてますよ（笑）。

――キャバクラでも（笑）。高田vsヒクソンっていうカードをなぞったところもあると思うんでけど、いまでも女子プロレスラーっていうのは魅力的なソフトって考えてるんですか？

篠　っていうかね、まずひとつはボクはいまでもプロレス好きだし、愛してるんで、なんでスマックを有効利用しようとする選手が出てこないかっていうのは疑問でしょうがないんですよ。

――それは具体的に言うと？

篠　だって例えば男子の総合で言っても高山とか藤田とか、最近で言ったら中西とか、ここ1～2年の中で注目されてる選手ってプロレスと総合を行き来してる選手が多いじゃないですか？

――まあ、そうですね。

篠　だったら使えるものは使えよって思ってて。それは過去の関係云々別にしてね。今のままじゃ女子プロは沈むと思うんですよ。だって実際沈んでるし。右肩上がりはウチだけだし。女子プロもテレビとか会場でも見てますけど、面白いと思う団体は一個もないし、失礼だけど一個もないですよ！

――よく言われてますけど、いまの女子プロ界はガイアの1人勝ちって。

篠　ガイアも面白いとは思わないですね。現状維持がやっとでしょ。たしかにいい団体だと思うし、スタッフも凄い勉強されてると思うけどね。プロレスの場合って一歩一歩進むしかないんだけど、格闘技はいい勝ち方をすれば飛び級があるじゃないですか。

――先ほど言った高山さんや藤田さんは飛び級しましたからね。

篠　でしょ。そうしないと定年制度のなくなった今は次世代のヒロインは生まれないですよ。それだけじゃなくて、やっぱり世間から見た時にプロレスの存在意義とか、強さ弱さっていう部分でも批判されたりする中で、総合のリングに上がって来た方が絶対いいよ。これは別に挑発してるとかじゃなくて、みんな強いから言ってるだけでね。過去に団体持ってやってた人間からすると、その辺のアスリートに比べても全然引け目を持つことのないぐらい練習してるし、強いんだから、女子プロレスラーは。

――でも実際、男子の総合の世界と違って、現状ではギャラの面でスマックの舞台を利用してくれとは言えない状況ですよね？

篠　まだ、そこまでの保証はしてあげれないけど。でもね、見に来てもらえればわかることだと思うんだけど、確実に「これはくる」っていう実感を持ってもらえれると思うし、その波に乗ってもいいんじゃないかなと思うんですよ。現状で目先の現金が欲しいならプロレスなんか辞めた方がいいですよ。キャバクラで働いた方がいいですよ！（笑）。

――まあそうですよね（笑）。夢のない話になっちゃいますけど。

篠　でしょ？　キミたちプロレスに未来を感じるからやってるんじゃないの？って。ウチに来れば確実に未来が感じられるからね。でも、こっから先にいけるかどうかっていうのは、もちろんボクらだけの力じゃ無理だと思うし、逆に言うとそういう人たちの力が必要なんですよ。

――それはネームバリューっていう意味でですか？

篠　たしかに神取選手とか飛鳥さん、堀田さんみたいな先人にも機会があればと思うけど、それよりは名前はなくてもホントにこれからの女子プロ界を背負うって意気込んでる選手たちには出て欲しいし、勝っても負けても輝けると思うしね。

――これまでスマックに上がったレスラーって、ホントに勝っても負けても、みんな輝いてますからね。

篠　っていうか負けないでしょ、女子プロレスラーが出てきたら。たとえ負けたって、次へのテーマが掴めればいいわけだし、そういう意味では例えば全女の中西とかは出て欲しいよね。

――過去にやったバーリトゥードの藪下戦も好勝負でしたし、パレストラの若林さんも絶賛してましたからね。

篠　高山選手のように総合とプロレスを行ったり来たりしてもいいんじゃないかなって思うし。いまの全女で中西とか、浜田文子とか極端だけど能見（佳容）や阿部（幸江）ちゃんなんかがスマック出ればいいのにって毎日考えてるんだけど。

――中西さんと言えば、『週刊プレイボーイ』で衝撃のセクシーショットを披露してましたけどね（笑）。

篠　そっちじゃないと思うんだよなぁ。尻出さずに露出するす方法あるでしょ。中西vsキーラ・グレイシーとかやったら世間の人は絶対注目するわけですよ。こうやって勝手なこと言うとまた怒られるかもしれないけど、別に全女辞めてウチに来いとかじゃなくてね、全女の中西百重として来ればいいと思うし、オイシイと思うけど。

――男の中西も動きましたし、ゼヒ、女中西にも動いて欲しいですね（笑）。

篠　中西、出て来～い！　お前は、やれんのかーッ！って感じだよね（笑）。

――リアクションを期待しましょう。

篠　中西だけじゃなく、出て欲しいプロレスラーっていっぱいいるけどね。

――以前、篠さんは女子プロの代表やレスラーにスマックを見てもらって、つまらないと感じたらチケット代返すぐらいのこと言ってましたよね（笑）。

篠　それぐらいの自信はありますね。本当にチケット代いらないから見に来てよ。それで見に来て面白いとか、何か感じるモノがあったら出てよって。

――それこそ全女のコミッショナーの志生野さんとか、JWPをやってたヤマモさんとかも口を揃えて「スマックは面白い」って言ってますからね。

篠　みんな言ってますよ。百歩譲った言い方して、ウチに出なくてもいいよ。でも観に来た方がいい。ここに何か今の女子プロレス界が忘れてるものがあると思うんだよ。それを拾いに来た方がいいよ。たぶんね、観に来たら「ちょっとヤバイな」って、感じると思うんだよね。あ、それからこの夏に俺は選手の気持ちを理解する行動をしますよ。

――は!?　どういう意味ですか？

篠　最近、あいつは総合の選手の気持ちがわかんないから勝手なことを言うんだよって言われるから、腹立つんで俺も試合する。8月31日『トライアル』って大会に出ますから。

――バーリ・トゥードにですか？

篠　なんでも有りでいいよ。プロレスは10試合以上したからね。次は何でもあり。藪下じゃないけど体重も無差別でいいし。いつ何時、誰の挑戦でも受けるぞーッ！（笑）。

男の中西はK-1参戦を決めたが、果たして女の方の中西は何かリアクションを起こすのか？　過去に中西はスマックでも活躍する藪下と総合ルールで好勝負を展開しているが。そうこうしているうちに『週刊プレイボーイ』で衝撃のセミヌードを披露した中西。どうなんでしょ？

早く、その実物を見てみたい、美しすぎるキーラ・グレイシー（17歳）。キーラはスマック8月大会参戦が正式に決定した。篠氏は対戦相手として「女子プロレスラーに出てきて欲しい」と言っているが……。誰か、やれんのかーッ!?

時代を迷走するどインディー秘宝館!!

あなたの知らない世界

報道されないプロレスの彼方へ

今回はバトルスフィア東京から『FUCK！ 無頼怒1』をお届け。バトルスフィアはヘンピな所にあるがリングが常設されているので、どインディ団体にとっては便利な会場。今月は『週プロ』の選手名鑑に載ってない人ばかり。いいのかなぁ？

文／田中ダイス　撮影／松澤チョロ

⬇今月の潜入先⬇

6.7　バトルスフィア東京

FUCK! 無頼怒1

ついに来た。有料入場者数36人！　こういうイベントを紹介するために、このページは存在するのだ。武道館1万5千人とか、横浜アリーナ1万8千人とかいう興行は体に良くないと思っている36人の表情は「選ばれし者の恍惚と不安、我にあり」ってカンジ。こんなモン見て恍惚としているようでは、そりゃ色んな意味で不安なのは当然であるが。

もっともバトルスフィアという会場は、近所の方に無料パスを発行しているし、他にも顔パスで入っている高木三四郎とかもいたりするので、実際は倍ぐらい入っているけど。でもいくら無料とは言え、女子小学生3人連れなんてものを見ると不安が高まるが。

「FUCK」という団体名はFighting Ultimate Crazy Kingsの略らしいけど、絶対後付けなんで、覚える必要はありません。内外（どこの？）の強豪をかき集めてごった煮にした後、煮こごりになった部分を取り出したイベントに「無頼怒」と名付ける主催者は、本当にいい性格をしていると思う。

なんのアナウンスもないまま、当たり前のように18時30分の試合開始から15分ほど遅れて？　あれ、会場の時計をよく見ると17時45分だぞ。どうやら時計が遅れているらしい。まあ、インディは試合開始が遅れて当然なんで、会場が気を回してくれているのかもしれない。

とにかく第0試合が始まった。リング上は「リングで試合をするのは初めて」のグレート・サンダーとマスクド・インベーダー。「リングは初めて」というのは、普段はブルーシートを敷いた上でやっているという意味で、デビュー戦というわけではない。ところでインベーダーが上半身さらしてるのはレアだなあと思ったら、前日の国際でもそうだったらしい。国際にインベーダーなんて選手は出てないけど、わかる人だけわかればよし！　メインイベントと1日2試合は大変だなあと思っていたら、顔面キックというか、顔面こすりでインベーダーが29秒で圧勝。「えー！」という驚嘆の声が36人の口から一斉にほとばしる。よくもまあ、これだけタチの良くない客筋を揃えたものだ。会場の空気は実にいい湯加減である。

第1試合はなんとUWFルール。スペース・キラース対パラパラくまさん。くまさんはその名のとおり、くまの着ぐるみでパラパラを踊りながら入場する。付近の客と「くまさんもリング初めて？」「CMAで上がってるらしいよ」と、暗号のような会話を交わす。そして本日の主役、キラースが入場。亀とおたふくを足して2で割ったようなマスクと、幼児体形としか呼べない、貧弱という言葉すら生ぬるいボディ。これまで関西を中心に活躍（闘魂ショップ店内で乱闘とか）してきたキラースが、埼玉プロレスやCROWNなど、東京のどインディ団体を荒らしているという噂を聞いて、一度は見たいと思っていた。しかもUWFルールでくまさんとの一騎討ち。試合前から観客のテンションは明後日の方向に盛り上がりまくりだ。リングアナが「エスケープとダウンでロストポイントが……」とルール説明をしている。それを適当に聞き流すとゴングが鳴った。

着ぐるみだから当然だが、笑顔で間合いを詰めるくまさん。その風体からは想像もできない鋭いキックを繰り出す。眼前の光景のシュールさに悪いクスリでも打ったようなトリップをする観客。くまさんは、Uっぽく、観客の顔色をうかがうことなしに、キラースを転がすとフォールの体勢に……って、UWFルールじゃねえのかよ！　しかも、ルールを理解していないレフェリーのマイティがいきなりカウントを叩く。再び「えー！」のどよめきが。観客が理解しているルールをレフェリーが理解していないという、あまりにも狂ったシチュエーション。凄いぞマイティ、やはり天然は違う。試合は羽根折り固めで、くまさんがキラースを54秒でしとめた。だが、短時間決着に納得行かない両者は、なんの必然性も無く延長戦に突入。体格もナニだが技術もそれに見合ったレベルのキラースが腰の入ってないキックなどでヤケ気味に攻め込む。だが、くまさんも

これがインディーの聖地（？）と呼ばれているバトルスフィア東京だ。この会場のウリは常設リングだけではなく、常設花道まであること（4メートルぐらいしかないが）。

着ぐるみのパラパラくまさんがUWFルールで試合!?

これが噂（どこで？）のパラパラくまさん。もちろんリング上ではパラパラを披露。しかし、いざ試合になると、そのルックスとは裏腹にキレのいい打撃や三角絞めなどの関節技も器用に繰り出した。最後は勝利を目前にして酸欠で敗戦（笑）。

会場にはDDTの高木三四郎らレスラーの姿もチラホラ。第3試合前にリングアナから「お車の移動をお願いします」とアナウンスされ、恥ずかしそう立ち上がり移動へ向かったのは三四郎だった。

どインディーにもド真ん中！ パワーホールで泉州力登場!!

見てみ、この長州っぷり！　J2Kという大阪の団体から登場した泉州力。技だけでなく、たたずまいから、髪をかきあげる仕草までド真ん中コピー。試合後はWJのTシャツ着用する心酔ぶり。

ビッグ・スカ＆ジャイアント・ラーの白装束タッグ。もっとも見た目は電波ビリビリじゃなくパン工場職員という感じ。コーナーにアンテナを立て電波を受信しながら闘ってました。

容赦なく反撃。両者ダウンとエスケープを奪い合う熱戦。赤いパンツの頑固者にもこの死闘を見せたいなあとか、あらぬことを考えていたら、くまさんが突然ダウン。どことなく表情も虚ろなくまさん。なんと「酸欠」で立ち上がれなくなってしまったのだ。リアルに考えれば、こんなもん被って試合していれば当然の結末だが、「中の人などいない！」と思って見ていた観客にとっては衝撃のアクシデント。ファンタジーとリアルが見事に融合した結末に、観客はニヤニヤとした表情で敬意を表したのあった。

その後、エイリアン・ガッツ対ダダ2000の宇宙人対決。たたずまいはそっくりだけど、本家より足が長くてかっこいい泉州力対邪道・吹本賢児のど真ん中対決。カポエラ使いのペドロ高石＆酔拳の達人、紹興酒を飲みながら闘う男ジャッキー・リン対ビッグ・スカ＆ジャイアント・ラーの、6月末にこれを読む読者の皆さんごめんなさいな時事ネタタッグによる電波マッチを経て、いよいよメインイベントを迎えた。

黒田哲広＆佐野直＆バンジー高田の個人的には月イチ以上の頻度で見ているレスラーたちに対するのは、名古屋からやってきた円谷プロ公認プロレスラー・ウルトラマンロビンと加藤拳、奥村健人のSGP（Specialist Grobal Pro-Wrestling）チーム。例によって理解できない固有名詞だらけだと思うが、このへんは『週プロ』選手名鑑にも載っているので各自調査。だが、そこに第1試合で観客のハートをがっちりつかんだキラースが、紙切り芸で切り抜いたロビンを挑戦状がわりに持って表れた。さらに客席のGENTAROにも対戦要求をする。GENTAROは気合入れの張り手でそれに応える。後は見てるだけのGENTAROは、それで済ませて笑っていればいいが、相手をしなければいけないロビンはやる気なさそうに売店にいた若手2人に「1人入れ」と指示をする。2人でジャンケンをして負けた方が、イヤそうにリングイン。白いマスクをかぶっているので、ホワイトマスクという名前だそうな。もう少し頭を使ってもバチは当たらないと思うがどうか。ともあれ、うやむやのうちに8人タッグとして試合はスタートした。

なぜか妙にガチっぽいアクシデントをレポートしている当連載だが、今回はキラースの身にプロレスの枠をはみ出した自体が起こった。試合中に対戦相手から「お前本当にプロか！」というガチアピールを受けてしまったのだ。まあ、会場の誰もが同じことを言いたがっていたような気もするが、なんの練習もしてないと思われる体で、みみず腫れで真っ赤になるまでチョップを受けるのは、花道からタイガースープレックスを受けるぐらいの根性が必要だと思うし、客は生温かい目で見守ってるのでノー問題。しかも、全女の100本投げのごとくボディスラムを受け続けるキラースを、黒田たちが観客と同じ目線で見守っている。能力的にはとてつもなく問題があるけど、それゆえに観客を魅了しているキラースは立派なレスラーだ。この場の36人以外には通じない価値観だけど。

ところで、なぜかこの連載に連続出場している黒田だが、ZERO-ONEからUNWまで、ありとあらゆるところで見ている自分から見ても、こんなに楽しそうな顔で試合をしている黒田は初めてだ。おなじみの鉄柱を使っての「もう一丁！」も途中からキラースにやらせ、他の観客と同様に、必死に黒田の真似をするキラースの姿を他人事のように見ている。しかも第3試合開始前に、車の移動をするようにアナウンスされた高木三四郎は、ただのインディヲタと化して「もういっちょ、もういっちょ」と一緒になってやっている。レスラーが一観客と同じように、ここまで楽しめるプロレスが他にあるだろうか。ていうか、そこまで楽しんでるならチケットを買ってあげよう。

試合は黒田がラリアットで奥村を下したが、そんなことは瑣末なこと。脳のシワがひとつひとつほどけていくような、どインディの魅力を堪能した壮絶な興行だった。

壊滅的な入りにも負けず、8月に大阪で予定されている「無頼怒2」では、リングとブルーシートの2面構成を企画しているらしいので、関西在住の心の広いプロレスファンはだまされたと思って行ってみよう。もっとも「だまされたと思って」ってのは、だますときに使う言葉なんだけどね。ノーリングプロレスをまだ取り上げていないことだし、俺も編集部をだまして、大阪までの交通費をゲットしたいなあ。

またしても黒田哲広登場!! いいんですか？ いいんです！（たぶん）

写真右がウルトラマンロビンに対戦表明をするキラース。あまりにも、か細い声のマイクアピールに、いてもたってもいられず佐野直が近づき「もっとカツゼツよく大きな声で！」と忠告。かまわずリング上でハサミを取り出し何やら始めたキラース。完成した切り絵を広げると、くまさんやロビンの姿が。しょうがなく試合を了承したロビン。どーですか、お客さん!?

どんな因縁があるのかはさっぱりわからないが、なにやらシュートな関係と思われる佐野直とウルトラマンロビン。両者が向かい合うと、それまでの試合と空気感が一変。グラウンドでロビンを攻めまくった佐野直。

けっして意図的ではないのだが、この連載で連続登場記録を伸ばしているのが黒田哲広。黒田の試合はWEWからZERO-ONE、この間のUNWと、これまで様々なリングで見ているが、この日ほど楽しそうな顔で闘う黒田の顔は初めてだった。見方を変えれば呆れ笑いのようにも感じたのだが（笑）。

走ってやる!!

『紙プロ』電気部&編集部が送る"ユーザーとプロレスする携帯サイト"『紙のプロレスHand』が、いよいよJ－PHONEでもスタート&ez－web版リニューアル！　毎日更新のコラム、ニュース、メルマガ、会見や大会詳報・地方大会の結果もその日のうちに知ることが出来る!!　待画・着メロも毎月更新!!「『紙プロ』によく出てくる団体の情報・ニュースをまとめて知りたい」という人にはもってこい!!　もちろん、ただ単に辻ちゃんの待画が欲しいという男子も大歓迎!!　もちろん、すべての内容を『紙プロ』テイストでしっかり味付けしてお手元の携帯までお送りします!!　まずは、スポーツ新聞を3紙買ったと思って（缶ジュース3本でも可）加入してみたらどうですか、お客さーんッ!!

－PHONE配信開始!!

紙のプロレス

KING of MAGAZINE
KAMINO PRO-WRESTLING

Hand

0・本日更新記事
メルマガ登録・変更
1・メインニュース
2・試合結果速報
3・団体別トピックス
4・紙プロコラム
5・仰天ふろく
6・おすすめ団体ミニサイト
7・試合スケジュール
8・あんたが便りコーナー
9・紙プロ最新号情報

5 仰天ふろく

その名の通り仰天の待画&着メロ&アプリ形式のパズルコーナー!!

見てみぃこの待画!!

他サイトを大きく引き離すクオリティ!!
中川画伯のイラスト待画も手に入る!!

WATANABE HISAE TEAM LIMIT

他では手に入らないこのスバラシイ着メロの数々!!

（着メロは月2曲までダウンロード可能!!）

★『紙プロ』厳選の着信メロディ全10曲（6月現在）

「炎のファイター（オーケストラバージョン）」藤田和之
「PERRRY MASON」アレキサンダー・カレリン
「COME OUT AND PLAY」金村キンタロー
「破壊王・ビッグマッチ用テーマ」橋本真也
「SEPARADOS」ウルティモ・ドラゴン
「J」ジャンボ鶴田
「スカイハイ」マスカラスブラザーズ&ドス・カラスJr.
「A FATHER'S NIGHTMARE（DRAGON THEME）」金原弘光（&ウルティモも使用）
「トレーニング・モンタージュ」高田延彦
「ダース・ベイダーのテーマ」マット・ガファリ
「SECOND RENDEZ VOUS」ヴォルグ・ハンのテーマ
「CAPUTURED」前田日明のテーマ
「サーベル・タイガー」タイガー・ジェット・シンのテーマ
「UWFメインテーマ」UWFのテーマ
「SPEED TK CLUB MIX」桜庭和志のテーマ
「FLAME OF MIND」田村潔司のテーマ
「爆勝宣言」橋本真也
「GALAXY ESPRESS」小川直也のテーマ
「Know Your Role」ザ・ロックのテーマ
「Lowkiのテーマ」Lowki

……もう1曲は入会した人だけのお楽しみ!! ドラゴンの"あの名曲"が携帯で蘇る!!

掲載写真は元写真です。実際の待画とはイメージが異なる場合があります。

さぁて、7月更新の3曲は～

エメリヤーエンコ・ヒョードルのテーマ「Enae Volare Mezzo」
TAJIRIのテーマ「IMPERIAL CITY」
田中将斗のテーマ「弾丸－D・A・N・G・U・N－」

待画&着メロは毎月1日更新!!

待画 着メロ

おすすめ団体

3 団体別トピックス

『紙プロ』認定要注目団体の細かな情報を随時アップ!! 気になる団体のみチェックOKなので、パケット代も節約できる!
「PRIDE」「総合格闘技系」「K-1他立ち技系」「全日&WRESTLE-1」「新日・NOAH」「ZERO-ONE」「闘龍門」「WJ」「女子格闘技&プロレス」「アナザー」

6 おすすめ団体ミニサイト

「ZERO-ONE」「闘龍門」「スマックガール」の特設ミニサイト!! 選手紹介、待画etcのお土産の他、スケジュール、情報もいち早く更新!!

本誌連動企画

7 試合スケジュール

各団体の試合スケジュール&『紙プロ』おすすめ大会もチェックできる!

8 あんたが便りコーナー

・「好きなレスラー・嫌いなレスラー」投票の他、「『PRIDE.26』の感想は?」などのアンケートも実施。アンケートに答えると抽選で『紙プロ』特製Tシャツが当たってしまう!!
・『紙プロ』読者ページ、『紙プロ元気大学』への投稿もココから出来る!! 新鮮なネタを即時投稿せよ!!

9 紙プロ最新号情報

毎月、『紙プロ』発売日前に予告を掲載。『紙プロHand』会員じゃなくても、次号の表紙画像・内容をチェックできる!

携帯サイト業界のど真ん中を突っ走

「紙のプロレスHand」

ez-web&J-

ez-web料金変更のお知らせ

ｅｚ-ｗｅｂ版『紙のプロレスHand』は、7月1日より大きくリニューアルして生まれ変わり、現在の200円から315円に料金変更させていただくことになりました。

いままでｅｚ-webユーザーの皆様にはごらんいただけなかった、i編集長こと井上義啓氏・吉田豪・山口日昇らの豪華コラムが読めるようになる他、現在は1枚あたり35円の課金がされていた待画は料金内で取り放題、着メロは月2曲までダウンロード可能になります！

6月中
これまでのメニュー（コラムなし）
月額 **200円**

7月中は ▶ サービス&お試し期間!
リニューアルメニュー（コラムあり）
月額 **200円**

8月1日から ▶
リニューアルメニュー（コラムあり）
月額 **300円**

7月中はサービス&お試し期間として、現状の200円でお楽しみいただくことが出来ます。8月1日からは、315円（税込み）の課金になりますので、残念ながらご退会されるという方は忘れずに7月中に以下の「退会する」の所からお手続きをお済ませください。

アクセス方法

DoCoMo	ｅｚ-ｗｅｂ	J-PHONE
i Menu	トップメニュー	メニュー
▼	▼	▼
メニューリスト	遊ぶ・楽しむ or インターネット	Jスカイメイン
▼	▼	▼
スポーツ	スポーツ	スポーツ・レジャー
▼	▼	▼
格闘技／大相撲	格闘技	その他スポーツ
▼	▼	▼
紙のプロレス Hand	紙のプロレス Hand	紙のプロレス Hand

ニュース・メルマガ・結果

0 本日更新記事
クリック当日&前日の更新記事が一覧となって出てくる!! 見逃し防止&結果の気になる大会当日のチェックに超便利!!

− メルマガ配信
ビッグニュース更新、大事件ボッ発時にいち早くお知らせ。ニュースチェックだけでなく、友人との会話がとぎれた時などに役立ちます!!「うわ!!　藤田のパンチでヒョードルが流血だってよ!!」「マ、マジで!?」

1 メインニュース
毎日の事件、ニュース、大会詳報をどの携帯サイトよりも詳しく面白く親切に、かつ迅速にアップ（いや、これホント）!!

2 試合結果速報
マット界要注目のビッグマッチ、注目団体の大会結果をここからチェック!!

コラム

4 紙プロコラム
ボリュームたっぷり!!　読み応えバツグンの毎日更新コラム!!

★日曜日:『紙プロ』特選・今週の見所ガイド
毎週行われる大会の注目ポイントを、わかりやすく紹介!!

★月曜日:i編集長（井上義啓）の喫茶店トーク格闘デジバード（仮）
喫茶店トークは携帯サイトでも絶賛営業中!!
携帯で井上節を感じろ!!
最新コラム:「たとえG1はビリか下から2番目でも……中邑真輔時代目前!! (6/16up)」

★火曜日:今週のステキな1枚
会見・試合写真、本誌のプチ予告、毎週写真つきニュースを公開!!
最新:「美濃輪育久、『PRIDE.26』を観戦!（6/10up）」
「金村、パーマで鶴見五郎に変身!?（6/17up）」

★水曜日:『紙プロ』いいとも!
レスラー間で繋がる友達の輪、1カ月交代のレスラーコラム! 葛西純、大谷晋二郎、小島聡と続いて、第4回ゲストは先月&今月号のインタビューも大好評の金村キンタロー!　はたしてお友達は誰だ!?
最新:「金村キンタロー第4回!「大親友は桜庭和志」の巻（6/18up）」

★木曜日:吉田豪の「入院させてよ!」
おなじみ『紙プロ』スーパーバイザー、吉田豪がマット界の1週間をブッた斬る!!　妖怪王&タダシ☆タナカに対するツッコミは、ここでも冴えまくり!!
最新:「ケロちゃんのハートに火をつけて【前後編】(6/19up)」

★金曜日:小路晃の「壁に耳あり、小路に目あり」
大活躍の小路晃コラム!!　小路のアブダビ・コンバット出場をどこよりも早くお伝えしたのは、なんとこのコラムだったんじゃ〜ッ!!　残念ながら最終回。次回格闘家は誰か!?
最新:「最終回だからお願い!　神様!『PRIDE』GPに出場さてよ!!（6/20up）」

★土曜日:どすこい『紙プロ』部屋
紙プロ電気部、ささきぃ&スモーノブ・紙プロ編集部、松澤チョロ・堀江ガンツ・ジャン斉藤が週代わりで送るコラム。取材・インタビュー裏話満載!!
「DEEP佐伯代表がファスティングで新記録達成!?（6/14byガンツ）」

★不定期更新:山口日昇の鬼畜日記
いまのところ更新は3回!　ただいま最終更新から3カ月経過中!!　次回更新はいつになるのか!?
最新:「プロレスとドクター中松氏のUFOっぷりの相関関係（3/30up）」

本誌 Back Number

no.08 '94.01

特集 **さらば新日本プロレス**

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが『紙プロ』初登場！　20ページにも及ぶ大特集！

700yen⇒350yen 50%OFF

no.16 '96.06

特集 **新日本凸凹大学校**

『紙プロ』的・昭和新日本プロレス大検証！　マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！　糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！

780yen⇒390yen 50%OFF

'00.04

情念～夢一途なり～石川雄規

『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！　情念とは何かがわかる一冊である。

2100yen（送料込み）

no.13 '95.03

特集 **道場破りとは何か？**

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！　山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／『平成ファミコン・プロレス』馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

780yen⇒390yen 50%OFF

no.17 '95.07

特集 **実況パワフル北朝鮮**

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！　アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄視・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

780yen⇒390yen 50%OFF

極真魂溢れる16人を直撃！　完売間近

極真とは何か？

松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／廬山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

1530yen⇒800yen 50%OFF

no.14 '95.04

特集 **神秘とは何か？**

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

no.19 '95.09

特集 **さようなら紙のプロレス**

『紙プロ』を偲んで…　ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

780yen⇒390yen 50%OFF

みんなで遊べる付録付き!!　'01.04

さくぼん

サクのすべてがよくわかる桜庭和志発のインタビュー集！　花くま先生の「サクラバの汁」、特製シールやサクマシン立体紙お面など付録がこれでもか！　とばかりに付いています！

総238ページ

1500yen（送料込み）

no.15 '95.05

特集 **インディペンデントの逆襲**

あんた誰？　山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／K－とは何か？　石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのK－1三兄弟（当時）インタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

インタビューという名の鉄拳史

紙の前田日明

『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！　引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！

2000yen（税金・送料込み）

パンクラス公式読本　完売間近

［矛］・［盾］

97年当時のパンクラシストが勢揃い!!　ゴッチさん、佐山聡、なぜか馬場さんも登場するパンクラス公式読本二部作!!　ターザンも炎上してますよぉぉ!!

各1260yen⇒630yen 50%OFF

---

no.47 表紙 ビンス・マクマホン '02.02/880yen

WWE日本侵攻5秒前!

●“天才”武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場！
●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る！
●第一次リングス閉幕特集
●プロレススーパースター列伝・ストロング金剛よ!!

no.48 表紙 桜庭和志 '02.03/880yen

見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!

●奇跡のメガトン対談！　小川直也vsノゲイラ＆スペーヒー
●和田最強伝説が遂に現実に！　語り部・金原弘光
●伝説の男が笑撃の登場！　ジョー・サン
●WWEを知る男　ウォーリー山口

no.49 表紙 ミルコ＆ヒクソン＆小川＆桜庭 '02.04/880yen

究極の格闘技大戦争勃発!!　マット界灼熱の噂!

●和田さん快勝記念対談！　高山＆金原＆和田
●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
●破壊王も火のヤリ特訓！　小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行！

no.50 表紙 桜庭和志 '02.05/880yen

サクが笑えば、世界が笑う!!

●「地方初世界」開始！　小川直也＆橋本真也
●リングスロシア軍団の軌跡
●パンクラス取材解禁！　菊田、“尾崎の野郎”が登場！
●ギョ!?　I編集長が新日本に三くだり半！

no.51 表紙 橋本真也 '02.06/880yen

ZERO-ONEに願いを!

●両国国技館だよ、全員集合！　橋本真也
●『PRIDE』の魅力をマン開！　小池栄子
●天才が悩みに答える！　武藤敬司人生相談
●新・超獣　ザ・プレデター

no.52 表紙 小川直也 '02.08/880yen

見えない鎖を引きちぎれ!　小川直也VT出陣!!

●全身プロレスラー・高山善廣
●「トゥーッ！」の素顔を暴露！　Ｍｒ.フレッド
●ＵＳＡの渡世人　ドン・フライ
●『PRIDE』侵攻開始!!　ロシアン・トップチーム

no.53 表紙 桜庭和志 '02.08/880yen

世紀のビックイベント『Dynamite!』を直前大解剖!!

●ノーフィアー×無謀　高山善廣×美濃輪育久
●独占肉弾スクープ！ マット・ガファリ
●爆裂!!　川村龍夫UFO社長語録
●偽造王の知られざる半生!!　一宮章一

no.54 表紙 ノゲイラ '02.08/880yen

不平等の時代を克服した英雄ノゲイラ!!

●“首の皮一枚”　ホイス＆エリオグレイシー
●“青い目のケンシロウ”　ジョシュ・バーネット
●純プロ頂上対談！　武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン

no.55 表紙 高田延彦×田村潔司 '02.09/880yen　完売間近

高田×田村!!　夢幻大の真剣勝負が実現!!

●「真剣勝負」発言から7年!!　田村潔司
●メガトン級の強さと面白さ!!　ボブ・サップ
●靖国神社で興行開催!!　佐山聡
●コピィロフおじさん、『PRIDE』デビュー!!

no.56 表紙 Uインター '02.10/880yen

愛すべき若気の至り!!　受け継げ、Uインターの蒼き魂!!

●田村戦直前!!　高田の覚悟を読み解け！　高田延彦
●蘇れ！Uインター伝説!!　安生＆金原＆高山
●高田×田村、観る側の覚悟!!　浅草キッド

no.57 表紙 高山善廣 '02.11/880yen

一瞬の11・24!!　高田延彦引退試合を大総括!!

●サップと地峡規模のタイマン勝負!!　高山善廣
●新たなる“U”が始動!!　田村潔司
●悪魔の書、再び！　ミスター高橋×大槻ケンヂ
●“北尾戦・セメントマッチの真実”　ジョン・テンタ

no.59 表紙 ヒョードル '03.02/880yen

吹けよ!　呼べよ嵐!!　マット界新風景が見えてきた!!

●いざノゲイラ戦!!　E・ヒョードル
●アメリカン・ドリーム　ダスティ・ローデス
●爆発!!　WJマグマ語録
●吉田道場の秘密兵器　中村和裕

no.60 表紙 ヒョードル '03.03/880yen

英雄、変貌好む!!『PRIDE』RE・BORN!!

●ノゲイラ撃破!!　E・ヒョードル
●驚愕の格闘芸術対談!!　武藤敬司×須藤元気
●あのマーシーがすべてを告白!!　田代まさし
●全日本中継の真実!!　倉持隆夫

no.61 表紙 OH砲 '03.04/880yen

5・2仁義ある闘い!!　やっちゃうぞバカヤロー!!

●裏番組をブッ飛ばせ！　橋本真也×小川直也
●1年間の沈黙を破った!!　ヴォルク・ハン
●プロレス・格闘技クロスオーバー対談　エンセン井上×金原弘光
●リングス・リトアニア特集

no.62 表紙 ミルコ '03.05/880yen

誰でもいいからミルコのクビをカッ斬ってみろ!!

●ヴァーと笑顔で初登場!!　佐々木健介
●現役復帰間近!?　船木誠勝
●ホントに大爆発!!　橋本真也
●新日本バードを徹底検証!!

通販申し込み方法

●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております。（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）。

【郵便振替】
00130-3-769154
(株)ダブルクロス
【現金書留】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ケ谷
3-11-3-702
(株)ダブルクロス

●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。

※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

●送料
1冊＝310円、2冊＝380円
3冊～4冊＝450円
5冊＝520円、
6冊以上＝700円

※代引きを開始しました。詳しくはP160を参照してください。

紙のプロレス 常備店

■アイドール新宿店
■新宿ファイター
■大山アメリカン
■プロレスマニア館
■チャンピオン
■リングスパレス
■バディスラム
■タコシェ
■レッスル渋谷
■レッスル池袋
■書泉ブックマート
■書泉ブックタワー
■書泉グランデ
■グレートアントニオ
■東京イサミ
■ワールドスポーツプラザ KINGS
・池袋　・渋谷WEST　・新宿　・名古屋　・大阪　・札幌　・福岡

爆笑必至!! あのドラゴン語録をタップリ収録!!

NON STOP DRAGON

読まない奴は
絶対に許さん!!

no.32 '00.10/840yen

**藤波語録で振り返る
破壊王復活までの軌跡**

「今年は辰年、ドラゴンの年です!」
「橋本もどうせ死ぬなら、小川と
猪木さんを道連れに死んで欲しい」
「俺がポジションを奪って
格闘技路線の先頭に立ってやる」
「決定権は俺にある!
カシンの『PRIDE』参戦はない!」
「G1出場権を橋本に譲ってもいい」
……などなど多数収録!!

no.45 '01.12/880yen

**語録で振り返るマット界
2001**

「我々は殺し合いは
してるんじゃないんだ!」
「正直、キレました」
「俺がKOKルールで闘ってもいい」
「ボクを見た瞬間、
ヒクソンの目がギラついた!」
「俺だって三沢と闘いたい」
……藤波社長に対する選手らの暴言も収録!!

no.58 '03.01/880yen

**語録で振り返るマット界
2002**

「引退したら2度と復帰しません!!」
「あわよくばG1後、IWGPに挑戦したい」
「(引退宣言は) 口が滑っただけ!」
「長州の辞表は
ボクのところには届いてない!」
「退団の話も聞いてないし、
長州は残るはず」
……長州との舌戦も収録!!

no.05 表紙 高田延彦 '97.08/680yen

**すべてはここから始まった!!
高田、ヒクソン戦へ……**

●ドン荒川vs藤原喜明“昭和新日対談”
●前田日明の大好評人生相談
『人生は語らず』
●世界格闘技連盟とは何か!? 佐山聡
●長与千種&ライオネス飛鳥

no.15 表紙 小川直也 '99.02/780yen

**リアル・アルティメット・クラッシュ!!
小川vs橋本“1・4事変”勃発!!**

●あの“1・4事変”を徹底大検証!!
●“前田日明・最後の相手”
アレキサンダー・カレリン
●引退記念雑談会
「語ろうマサ・サイトー!」
●『S多重アリバイ』/佐野雄飛・編

no.16 表紙 エンセン井上 '99.03/780yen

**格闘ノストラダムス!!
エンセン表紙初奪取号!!**

●環境問題を『紙プロ』で語る!!
アントニオ猪木
●完全無欠の怪物!!
語ろうジャンボ鶴田
●相撲多重アリバイ 石川孝志
●マーク・コールマン

no.24 表紙 アレク '00.02/840yen

**ノゲイラ、ダンヘン、田村、
コピィロフが登場!!** 完売間近

●リングスロシア幻想を掘り起こせ!!
●『紙プロ』的視点から送る
「語ろう船木vsヒクソン!」
●驚ガクのUFO対談/サスケ×矢追純一
●ターザンが
有刺鉄線デスマッチを敢行!?

no.29 表紙 秋山準 '00.07/840yen

**「格闘環境」は刻一刻と変化する!
ノア勢フルメンバーで登場!!**

●三沢、秋山『紙プロ』初登場!!
●プロレススーパースター列伝・
仲野信市
●本誌独占 ジャンボ鶴田夫人
真実を語る!!
●TKおかん

no.31 表紙 アントン総帥 '00.09/840yen

**真のストロングスタイル
は『PRIDE』にあり!!** 完売間近

●桜庭和志×高阪剛
レフェリーは浅草キッドだ!!
●ボヤキ漫談 川田利明語録
●プロレスという物語について
ダン・スバーン
●プロレススーパースター列伝 永源遥

no.34 表紙 小川直也 '01.01/880yen

**『猪木祭り』開幕ーッ!! プロレスは
「闘い」を忘れたときに老いていく!**

●UFCミドル級王者
ティト・オーティズ
●プロレススーパースター列伝
ミスターヒト
●修斗から『猪木祭り』へ! 宇野薫
●ボブチャンチン&オバチャンチン

no.35 表紙 サクマシン(イラスト) '01.02/840yen

**「純プロレス」を考え倒せ!
500人アンケートも実施!** 徹底検証号

●ZERO-ONE本格始動 橋本真也
●プロレススーパースター列伝
ジョー樋口
●“ノアの怪物”杉浦貴
●UFCの巨人
ランディ・クゥートアー

no.36 表紙 橋本真也(イラスト) '01.02/840yen

**新生「闘いのワンダー
ランド」に闘魂の火種!!** 完売間近

●ノアから独立!
高山善廣を確認せよ!!
●ヴォルク・ハン―ノゲイラに狼の伝言
●W☆ING 史上最凶の歴史を紐解く
●吉田豪に
“ドラゴンの呪い”が襲う!!

no.37 表紙 小川直也(イラスト) '01.04/840yen

**小川と三沢が遂に絡んだ!!
純プロレス戦国絵巻** 完売間近

●安田忠夫が借金から
自殺未遂まですべてを語る!
●アブダビコンバット2001―大探検記!
●シュート活字×ファンタジー活字
●他に比類なきプロレスが
WWFにはある!

no.38 表紙 高田延彦(イラスト) '01.05/840yen

**小川と長州、どちらが
孤独だったのか!?** 完売間近

●忘れ物の正体は―。高田延彦
●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子
E・ヒョードル
●プロレススーパースター列伝・
阿修羅原
●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー

no.39 表紙 前田日明 '01.06/840yen

**どうなるんだ、リングス!
前田isデッド!?**

●前田道場新エース・金原弘光
●怪物か!?
それとも……藤田和之座談会
●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
●プロレススーパースター列伝・
田上明

no.40 表紙 アントン総帥 '01.07/880yen

**猪木軍vsK―1に見たいものは
“地上最強のプロレス”**

●蘇れ!Uインター&キングダム
伝説!高山善廣×金原弘光
●熱いこの叫びを聞け! 大谷晋二郎
●プロレススーパースター列伝・
グラン浜田
●グラバカの核弾頭 郷野聡寛

no.41 表紙 ビンス・マクマホン '01.08/880yen

**Can you カミングアウト?
“最後の黒船”WWF襲来!**

●リングス10周年!
ヴォルク・ハンが振り返る
●真樹日佐夫×三池崇史巨頭
対談が実現!
●W☆INGの真実・茨城清志
●毒舌知能犯 秋山準語録

no.42 表紙 アントン総帥 '01.09/880yen

**猪木なら何をやっても
許されるのか!?**

●ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
●“ヒャッホーの真実”辻よしなり
●蘇れ!UWFインター伝説!!
高山善廣×宮戸優光×金原弘光
●誇り高きルチャ戦士
ルチャカト・クン・リー

no.43 表紙 桜庭和志 '01.08/880yen

**サクと『PRIDE』のケツに
火がついた!!**

●ブラジリアン・トップチーム
3大柱インタビュー
●大谷普二郎の「俺をしんじろう!」
人生相談
●金原弘光×サスケの新日本プロレス
学校同窓会

no.44 表紙 桜庭&シウバ '01.11/880yen

**サクの連敗が『PRIDE』に
語りかけるものは何か?**

●その修羅場の数々!
シーザー武志
●怪物伝承対談!
高山善廣&杉浦貴
●ハンス・ナイマン&ディック・フライ
●闘龍門大特集

no.46 表紙 田村潔司 '02.01/880yen

**『PRIDE』LOVEを
ブチ壊す男、田村潔司!!** 完売間近

●さらばリングス!! 浅草キッド
●“蒙古の怪人”キラー・カン
●“スーパー・フライ”ジミー・スヌーカ
●エル・カネック、バードで快勝!!

リング内・リング外の情報を読者にお届けする
RADICAL情報局

>>>闘龍門6・29神戸大会でCIMAvsマグナムTOKYO決定!!
記者会見に堀口元気乱入!!

闘龍門4周年記念大会・6月29日神戸ワールド記念ホール大会のカード発表記者会見および公開調印式が、6月5日、都内で行われた。会見には、初代UDG王者のCIMA、挑戦者のマグナムTOKYO、そしてNWAウェルター級王者選手権を行うYOSSINO、K-ness.が登場した。

4人が意気込みを述べ、調印式を終えて写真撮影に移ろうとしたその時、突如頭の薄い男が会見に乱入。「オイオイオイオイ、神の宿ったオレ様の逆さ押さえ込みが、防衛戦をしたがってるぜ」と登場したのは、今年の『EL NUMERO UNO』準優勝者の"H.A.G.E."こと、堀口元気。堀口&横須賀享&斉藤了が所有するUWA世界6人タッグ王者選手権試合を、神戸大会で行うことを要求した。

神妙に行われていた会見をぶち壊しにした堀口に、本気で怒った岡村社長は、堀口にゴミ箱を投げつけ、「べちっ」と、いやな音がする正拳突きを叩き込んで制裁。選手権試合が行われることは(しぶしぶ)決定したものの、「会見をだいなしにして、おいしいところを持っていきやがって」と、堀口に対する怒りはおさまらない様子だった。

また、同日は特別試合としてストーカー市川vsＸの特別試合が行われることもあわせて発表された。前回、高山善廣という超大物Ｘが登場した直後だけに、今回は誰が登場するのか期待大だ。はたして、Ｘとは一体誰なのか!?

※神戸ワールド記念ホール大会は、ペイパービュー放送が決定している為、紙テープの投げ入れが禁止に。用意した紙テープは他の大会で投げよう。

カード・大会概要

6月29日(日) 試合開始 16:00
兵庫・神戸ワールド記念ホール
(ポートライナー「市民広場」下車、徒歩3分)

【UDG選手権試合】
(チャンピオン)CIMA vs マグナムTOKYO(挑戦者)
※チャンピオン2度目の防衛戦。CIMAは「シュバインで勝負を決める」、マグナムは「必ずベルトを巻く」と宣言。闘龍門・頂上対決の結果は!?

【NWA世界ウェルター級選手権試合】
(チャンピオン)YOSSINO vs K-ness.(挑戦者)
※今年の3月21日、札幌テイセンホールで開催予定だったK-ness. vs YOSSINOの試合が、K-ness.の負傷欠場により中止、K-ness.は王座返上。これにより、急遽YOSSINO vs 堀口元気の間で王者決定戦が行われ、YOSSINOが勝利。第53代王者に輝く。今回が初の防衛戦。

【UWA世界6人タッグ選手権タッグマッチ】
(チャンピオンチーム)堀口元気&横須賀享&斉藤了 vs (挑戦者組・未定)
※「H.A.G.E王国の王様」こと堀口元気が強引に決定。挑戦者組は未定。

【特別試合】 ストーカー市川 vs Ｘ

◆前売料金:ドラゴンVIP席15000円/特別リングサイド10000円/リングサイド8000円/アリーナA席6000円/アリーナB席5000円/2F自由席4000円/3F自由席3000円
◆チケットぴあ(0570-02-9977)、リングソウル(078-333-6690)で発売中。 ◆問:闘龍門JAPAN tel 078-333-9797

>>>須藤元気、サイン会開催!

ＵＦＣやK-1WORLDMAXで活躍中の須藤元気サイン会が行われる。同店で計3000円以上の商品を購入、もしくはＴシャツ購入者には写真無料サービスの特典つき。ポラロイドは１枚1000円、色紙は150円で販売している。当日、カメラを持参しての撮影は不可となる。

須藤元気サイン会

◆日時:6月29日(日) 14:00〜
◆場所:東京・フィットネスショップ水道橋格闘技店
(JR水道橋駅より徒歩3分 東京都千代田区三崎町3-6-13 寺本ビル 2F)
◆問:フィットネスショップ水道橋格闘技店 TEL 03-3265-4646

情報ページ担当のささきぃです。梅雨でジメジメしてますが、みなさん心までジメジメしてはいませんでしょうか。ジメジメしてる方もそうでない方も、このページを参考に、大会やイベントへバシバシ出かけてみてください。ではでは、よろしくお願いします。

ブッコミ ノリノリ★NEWS

■WOWOW『UFC増刊号』放送

『UFC増刊号』
◆7月14日(月)27:00〜 ch191にて放送
◆再放送はch191で7月17日28:00〜、19日26:30〜、31日25:10〜。ch191HVで23日6:30〜、CH193で25日28:50〜より放送。
★問:WOWOWカスタマーセンター
TEL:0570-008080
(年中無休9〜20時)

■武藤敬司オフィシャルサイト『LEGLOCK』大好評!

武藤敬司個人事務所『LEGLOCK』オフィシャルサイトが大好評! 事務所スタッフによるLegLockコラム、イベント情報の他、オンラインショップでは、武藤Tシャツやシャイニング・ニーパットなども購入できる!
★HP:http://leglock.nifty.com/index.htm

■U.W.F.スネークピットジャパン、公式サイトオープン!

宮戸優光率いるU.W.F.スネークピットジャパン公式サイトがオープン! スネークピットの歴史、ジム紹介、入会案内、最新ニュース他、宮戸優光のマル秘グルメ情報(!)、毎日更新・大江慎の日記コーナーなど内容充実! スネークピットでは会員募集中。ただいま、女性のみ1回体験レッスン可能(要電話確認)!
★住所:〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-15-1-2F
(JR高円寺駅北口より徒歩5分)
★TEL:03-3337-1889
★HP:http://uwf-snakepit.com

■今週のBCG情報

世界のレフェリー島田裕二率いる格闘技ジム・BCGでは毎週金曜、高瀬大樹の柔術クラス開講中! 『PRIDE.26』であのアンデウソン・シウバを倒した男、高瀬に直接寝技を習うチャンスだ! 時間は17:00〜と20:15〜の2クラスでそれぞれ1時間。どしどし参加しよう!
★問:BCG 03-3560-7911

■パンクラス佐藤光留、パチスロCMに出演!!

大のパチンコ好きとして知られる佐藤光留選手がサミーより6月19日に発売されるPlayStation2ソフト「実戦パチスロ必勝法! サバンナパーク」のCMに出演中! 試合同様の意気込みで挑んだ初のCM撮影でしたが、少年時代のミュージカル経験(!)を活かし、見事大役を完遂したぞ!! 6月14日より放送中!!
◆放送予定番組(テレビ東京)
・ソニックX(アニメ) 毎週日曜日 朝8:30〜9:00
・CSI科学捜査班 毎週月曜日 22:00〜22:54
・なんでも鑑定団 毎週火曜日 20:00〜20:54
・木曜洋画劇場 毎週木曜日 21:00〜22:54
・カレイドスター 毎週木曜日 17:25〜17:55

■キャットファイト界初のケータイ公式サイトがオープン!

ez-web(au/TU-KA)で、キャットファイト界初の公式携帯サイト「アイドル娘生バトル」が、6月19日より配信スタート! エロテレビ局(…)であるパラダイスTVの大人気番組『女のマジ喧嘩エンターテインメント! ザ・リアルキャットファイト』から、また新たな展開がスタートする!!

■大好評・吉田豪の三宿Webイベント第3弾!

噂のど真ん中格闘技イベント"MWA"旗揚げ第三戦! 今回のファンタジー企画もビッシビシ行っちゃうぞ、バカヤロー!!
『【MWA -Mishuku Wrestling Association-】〜G-NYAN CLIMAX〜』
★出場参加DJ:
土屋恵介(a.k.a. INAZZMA★K)
吉田豪(紙プロ・スーパーバイザー)
伊賀大介(スタイリスト)
北野アツシ(イホ・デ・ビートたけし)
なんちゃってPWC森谷代表
◆ギャグ100人組み手 猫ひろし
◆スペシャルトークバトル
ターザン山本VS吉田豪
★日時:7月3日 23:00 GONG!!
★場所:三宿Web
(世田谷区池尻3-30-10 B1・東急新玉川線池尻大橋下車、R246を三軒茶屋方向へ。三宿交差点角,松屋地下)
★料金:¥500(NO DRINK)
★問:TEL & FAX : 03.3422.1405
★HP:http://www.m-web.tv/

■『すてごろ』公開記念イベント開催!

梶原一騎先生17回忌追悼記念作品が公開されたこの機に行う豪華メンバーの競演!
『男の星座(ナミダ)を受け止めろ! 〜梶原★IZUMがあなたに去来〜』
★日時:7月9日 19:30開演
★出演 吉田豪、掟ポルシェ(ロマンポルシェ。)、ワル他
★特別ゲスト
高森篤子(梶原一騎夫人)
★料金:¥1000(飲食代別)
★場所:新宿・ロフトプラスワン
新宿区歌舞伎町1-14-7林ビルB2
TEL 03-3205-6864
★アクセス:JR新宿駅東口徒歩5分

■タダシ☆タナカ「シュート活字」トークライブ開催

シュート活字の第一人者・タダシ☆タナカ氏が、有料トークイベントを行う。以下はタナカ氏が本誌・ジャン斉藤へ送付してきてくれたメールをそのまま掲載。

「お世話になっております。2001年1月のトークライブ告知は、発売日が遅れたためにボツになってしまい、結局ネット人種しか集めることができずに悲惨でした。まだまだPC持ってない読者の方がはるかに多いので、今度こそ、告知をよろしくお願いいたします。ちゃんと16字で計算して書きました。念のためワードの添付ファイル(アップルには無理かな?)も同封します。
『誰も知らなかったプロレス&格闘技の真実』は高橋本以降の世代に向けた「シュート活字入門編」として好評発売中。マニアックなオフレコ情報と毒舌が聞きたければ全員集合!」
『東京&大阪ミニツアー』
★日時:東京6月28日(土)18:00〜
★場所:法政大学大学院棟92年館
新宿区市ヶ谷田町2-15-2(外堀通り沿い)JR・都営新宿線市ヶ谷駅徒歩7分 営団
有楽町線・南北線市ヶ谷駅5番出口徒歩2分

★日時:大阪6月29日(日)13:30〜
★場所:プロレスショップ・エース 浪速区元町3-9-3南朝日ビル6F(5Fまでエール・リカレントカレッジ)大阪府立体育館並びパチンコSUN&SUNとマクドナルド間の道へ
★参加費:2500円(超貴重資料込)
★問:観戦記ネット
090-7191-7886
大阪(ツルゾノ)080-1436-7031
★HP: www.Kansenki.net

大会★GUIDE

>>>G1出場者決定!! 今年の夏を制するのは誰だ!?

天山広吉が高山善廣に敗れ「もうダメだ。オレの存在は終わりかもしれない」と悲痛な叫びを漏らした6月9日、大阪府立体育会館。セミファイナル前に、会場スクリーンを使って今年のG1クライマックス出場者が発表になった。「宇宙ではすでに決まっている」と宣言していた西村修参戦のほか、全11名の名前が次々と映し出され、秋山準の名前が映し出された瞬間、場内から大歓声がおきた。出場選手のうち2名をアントニオ猪木推薦の枠として1名はシャムロック選手、残る1名は後日発表として、11名の発表となった。

なお、K-1に参戦が決定している中西学の名前はなし。ブロック編成、カードなどについては後日発表される。気になるのは、名前が上がっていない「猪木推薦枠」の1人。はたしてここに名乗りを上げるのは……!? ……ドラゴンか!? ドラゴンか!? ドラゴンか!? (期待しているため3回繰り返し)

G1 CLIMAX

◆G1クライマックス出場者
中邑真輔、棚橋弘至、吉江豊、西村修、安田忠夫、天山広吉、永田裕志、高山善廣、蝶野正洋、秋山準、ケン・シャムロック(発表順)。残る1人は"猪木推薦枠"となる。

『G1 CLIMAX』8月日程

10日(日)	試合開始	16:00	兵庫・神戸ワールド記念ホール
11日(月)	試合開始	18:30	愛知・愛知県体育館
12日(火)	試合開始	18:30	静岡・グランシップ
14日(木)	試合開始	18:30	宮城・宮城県スポーツセンター
15日(金)	試合開始	18:00	東京・両国国技館
16日(土)	試合開始	18:00	東京・両国国技館
17日(日)	試合開始	14:00	東京・両国国技館

>>>みちのくプロレス横須賀大会決定!

覆面岩手県議会議員、ザ・グレート・サスケ率いるみちのくプロレスの横須賀大会が決定した。なお、今大会は「チャリティーみちのくプロレス」として開催され、今大会の売り上げの一部は、交通遺児に寄付される。屋外開催のみちプロを関東で見られる機会は少ないので、このチャンスを逃さないようにしよう。

みちのくプロレス横須賀大会

◆日時:7月19日(土) 試合開始15:00 ※雨天決行
◆場所:神奈川・ヴェルニー公園特設会場(JR横須賀駅より500m 京浜急行・汐入駅より300m)
◆料金:特別席7000円 指定席5000円 立見自由席3000円
チケットぴあ・ローソンチケット・黒川スポーツ(0468-25-0390)で絶賛発売中。

イベント★GUIDE

>>>吉田秀彦・柔道教室開催!

吉田秀彦が柔道人口拡大のため、初心者を対象とした柔道教室を開催する。定員は100人で参加費は無料(!)、柔道衣も無料で借りることができる。参加希望者は事前に下記の(株)J-ROCKまで電話かFAXで申し込むこと。吉田秀彦を間近に見る&柔道に触れることができるまたとない機会だ。ゼヒ参加してみよう! なお、吉田教室は今後も2カ月に1回のペースで開催を予定している。

吉田秀彦・柔道教室「VIVA JUDO!」

◆日時:6月29日(日) 13:00〜16:00
◆場所:(財)日本柔道育英学会・講堂学舎柔道場(世田谷区駒沢3-27-9)
◆問&参加申込:(株)J-ROCK TEL 03-3414-9000 FAX 03-3414-4455

うっかり担当が送る元気な読者ページ

紙プロ元気大学

元気ですかーッ!! 1カ月で2回も携帯をなくしてしまった、読者ページ担当のささきぃです。本業は電気部で携帯サイトの担当です。……。2回とも電車の中に忘れたのでした。すぐに見つかりましたが、厳重に注意したいと思います。実を言うと、その昔トイレに落としたこともあります。くみとりだったので、永遠のさよならになってしまいました。悲しい思い出です。では、はじまりはじまり。

（東京都・相澤寛子）
➡先日、パチスロ機として復活された馬場さん。馬場さんと言えば「ポー」。『紙プロ』に来るハガキではめずらしいタッチで、シンプルでステキ。また投稿してください。

校内巡回

『紙プロ』62号 面白かった記事

◎佐々木健介インタビュー◎
★どうすればあんなに屈託なく笑えるのか教えてもらいたいです。ジョシカクの次にあの笑顔がきたのでビビりました。
（千葉県・内野さとし・36歳・世捨て人）

★次元が違う。他のレスラーと合わないのは、性格の不一致や、意見の食い違いでは無く、次元の違いだったのだとわかった。別に高い、低いの問題ではなく。
（大阪府・千本一博・20歳・左寄り）

❶以上、自由人な常連おふたりからのおハガキでした。おふたりとも、もう1年くらいは無職じゃないでしょうか？　大丈夫ですか？　もっと突っ込んでほしかった、という意見も多かったですが、笑顔に癒されまくった人続出の、健介インタビューがぶっちぎり第1位！　以下、順不同でお送りします。

（岐阜県・イザリウオ）「健介の笑顔が素敵だったのでイキオイでナンシー関さんのマネして彫ってみたけどムズかしかった」➡イキオイで消しゴムを彫らせてしまったとは、健介笑顔パワーはスゴイな。芸術の原点だ。カワイイ、消しゴム版画。

◎書評の星座◎
★「ビスート」はツボにハマってしまいました。
（北海道・安部正典・30歳・会社員）
❶実物を本で見た時は、私も大爆笑してしまいました。

★「王者の挑戦」の記事読んで、なかなかえぇ本やなぁって思ってました。5月30日、新日本プロレス高松大会行ったら、丁度売店で永田選手がサイン会やってたので買いました。本にサイン入れてくれて握手してもらったし、敬礼ポーズしたらちゃんと敬礼ポーズしてくれて嬉しかったです。『紙プロ』読んでて良かった……。
（香川県・國方知巳・25歳・会社員）
❶お買いあげになったのですか。そりゃ良かった。國方さんは、好きな選手も永田裕志。理由は「IWGPとられても腐らずにNOAH参戦とかして新日本の魂を見せてるから」。……そうか。永田選手スゴイ！　大好きッ!!

◎業☆勝ちます◎
★大阪の梅田駅でYAWARAを見ましたが、凄いオーラで誰も近づけなかったデス。
（大阪府・三宅徳仁・27歳・風俗店員）
❶披露宴に向け、着物デザインまでスタートさせるYAWARAちゃん。「柔道と野球を折り込んだ、世界でひとつのもの」になるそうです。「これも谷さんのおかげです」とのこと。一枚約3000万円！　がんばれ谷くん、がんばれオリックス！

『紙プロ』62号 つまらなかった記事

◎月刊Y2談◎
★ターザンの文章は我慢するけど、写真はいらない。
（東京都・田村友範・30歳・公務員）
❶文章中ずっと「ウェンディさん」と表記されていたウィンディ智美選手、ごめんなさい。

『紙プロ』62号 その他おたより

★60号の校内巡回に本名で質問が載っていたので、恥ずかしくて本屋にあった5冊を泣く泣く買いました。ペンネームでお願いします。自分はSWSをエスダブ、UWFをユーダブ、WJをワルジャと呼んでいます。プロのマスコミの方たちは、何と呼んでいますか。
（埼玉県・無頼庵飯野・32歳・農業見習）
❶それはそれは、ありがとうございました。うっかりミスしたフリをして今月も本名で載せてしまおうかと思いましたが、やめました。エスダブとユーダブはまだわかるんですが、ワルジャにやられました。略すとかえって通じにくくなったり、個人のセンスで略すとそれがアダ名になったりする可能性があるので、『紙プロ』では、ふつうに「えすだぶりゅーえす」「ゆーだぶるえふ」「だぶるじぇい（時には『ど真ん中』）」と呼んでいます。

★今月はじめに水ぼうそうにかかってしまったので、ペンネームは水ぼうそうでお願いします。
（静岡県・水ぼうそう・21歳・学生）
❶了解しました。面白かったので、そこだけ掲載します。お大事に。

★『PRIDE26』の会場でドラゴンをみて、ヒョードルに挑戦を表明するんじゃないかとドキドキしてみてました。あとイズマイウがいました、僕はいっしょにきてた兄にあそこにいるハゲみてみな、絶対、最後、絶対猪木のよこにいるぜ、と自慢気にせつめいしました。
（iモード投稿・てつや）
❶ロシアン・トップチームのセコンドにイズマイウそっくりな人がいたので、とうとうそっちにも……？　と、よくわからない心配をして、私もドキドキしてしまいました。別人でよかった。

今月の 紙プロ元気大学調べ

好きなレスラー人気ランキング!!

1位 小川直也
2位 橋本真也
3位 エメリヤーエンコ・ヒョードル
4位 桜庭和志
5位 田村潔司

前号の集計〆切が早かったためか、今月になって61号巻頭&5・2後楽園大爆発のOH砲がそろって1位と2位を独占。5・2は『紙プロ』を立ち読みしている人がいっぱいいて、全員に「買ってよ」と後ろから言いたくて言いたくてたまりませんでした。『PRIDE26』の2日後に集計を締め切ってしまったため、ヒョードルは3位に。4位は桜庭和志、5位には、6・29でパンクラス・冨宅飛駈との対戦が決まった田村潔司が続きました。面白かった記事があの結果になり、気になる嫌いな人1位は、前号と同じ某議員。あっちはそんなに嫌いじゃなくなったから、こっちに入れようという感じが出た結果となりました。（5/13〜6/10到着分調べ）

紙プロ62号・読者が選ぶ

面白かった記事ベスト5

1位 佐々木健介インタビュー
2位 金村キンタローインタビュー・前編
3位 書評の星座
4位 今成正和インタビュー
5位 ヒョードルインタビュー

1位は、健介、大好きッ!　佐々木健介インタビュー。続いてはロングインタビューが珍しい金村キンタローインタビュー。今月の後編も要チェキ。そして「妖怪王への容赦ないツッコミ&永田本書評のコラボにやられた」書評の星座がランクイン。続いて白黒ページながら、久々に出てきた怪しい人（&口が悪い人）こと今成正和インタビューが見事4位に。そして藤田和之を本気で殺してしまいそうな裸絞めを披露した、キラー・ヒョードルインタビュー。ちなみに6位は妖怪王、破壊王。今月は、登場する人がずいぶんバラエティに富んだランキングになりました。

辻ちゃんの使用済みマスク&ガウン

当選者は誰だ!?

『紙プロ』61号読者プレゼント、辻結花使用済みライガーマスク&ガウンプレゼント当選者は、前号の『紙プロ元気大学』にイラストが掲載された、東京都のバッシバシさんに決定ーッ!!　大量のハガキの中から、辻ちゃん自身がセレクトしてくれました。「似顔絵もポイントだったが、飼い猫の“キク”がそっくり」というのが選考の決め手だったそうです。バッシバシさん当選おめでとー!!　ウィンディ智美戦ごっこ（取ったらこれ以上ないほどにキリリとした顔をする）、はたまたライガーごっこなどして楽しんでください。

（山梨県・貝戸夏也）❶今月はマウントパンチも披露してる辻ちゃんです。夏也くんは次々新しい素材にチャレンジするその姿勢がえらい。これからもがんばるように。

突然ですがハガキ倍増計画!!『DEEP』に出場する辻ちゃんのマスクの元ネタを当てた人1名に、辻ちゃんグッズをプレゼント!!　ヒントは、海外の強豪相手に世界に羽ばたく辻ちゃん。世界に羽ばたくマスクマン……以上、1枚のハガキに正解だと思うレスラーの名前を1人だけ&今月号の感想を記入の上、読者ページ「辻オタ見参」係まで。〆切は『DEEP』大阪大会の前日、7月12日の消印有効です。

夢の競演!!

中川画伯×青木雄大

（中川雅博＆青木雄大）「青木さんからお手紙がきて『合作しましょう！』と書かれていたのです」➡『紙プロ』へ投稿するハガキにはコメントはないが、中川画伯へのお手紙は書いている青木雄大。姿勢としては正しい。ネタ担当が雄大画伯でイラストは中川画伯でしょうか？　豪華合作。……しかしそれは『ほんとにジョーク』ではないのだろうか？　と、ふと思いました。

青木雄大

（住所不明・青木雄大）➡前回に続いて、住所の記載がない青木雄大画伯からのイラストです。いつもイラストの裏に書いてあったコメントが今回は一切ナシ。どんな謎かけなのだろう……。船酔いドラゴンは方舟には乗れないのか。トラベルミンが必要ですね。船木さんが自ら チラシを配っているという話にはビックリしました。渡されたら確かにビビりそうです。

中川画伯

（埼玉県・中川雅博）アメリカの高岩竜一こと、C・W・アァンダーソォーン（オッキー調で）。後楽園人気が異常に高い、キックがステキなアンダーソン。NWAタッグ王者でもあります。高岩と行う試合中のハゲネタが大好評。本人同士がやるのが一番面白かったです。

Chris Wright Anderson

（東京都・いしどやじゅん）➡毒霧一家（直訳しすぎ？）です。広田さくらあたりが娘にあたるんでしょうか。ムリヤリ家族にこじつけなくてもいいですね。いつも投稿ありがとうです。

（愛媛県・鈴木ユージ）➡味のあるイラストだけど、目がうつろで社長らしくないフニャフニャ武藤敬司。足固めどころじゃないな。

衣料部・Tシャツ トレーナー 自慢コーナー

（静岡県・目ガ覚メタロウ）「中川画伯、明かりをつけていただき有難う御座いました。初代＆四代目タイガーマスクトレーナーを着て、暴走族を撃ち殺そうと思います。心配しないでください。押忍！（敬礼）」➡60号『ほんとにジョーク』で採用された目ガ覚メタロウさんからのトレーナー自慢です。白黒なのでわかりませんが、現物は袖の部分が赤でとてもカワイイ。頑張って暴走族を撃ち殺したり、SMクラブに行ったりしてください（あれ？）。掲載率百%なので、他の採用者も送ってきてほしい。レッツ自慢。

今月のタレコミ部

SBSラジオ キラキラッに磨きかけてま〜す!

（静岡県・森上路太郎）「静岡新聞に載ってたSBSラジオ（静岡放送）スペシャルウィークのタイムテーブルを送ります！　キラキラザアイドルという企画で放送を予定しているのですが、7日『プロレス界の元祖アイドル』として長州＆谷津が登場！　斉木しげると闘う模様。単なる翌日の試合PRとも思われますが……」➡スゴイ、ピンクレディー復活だ（直撃世代）。なんであんまり嬉しくないんだろう。全体的にアイドルが出る！　ということを打ち出したいのだとは思うけど『プロレス界の元祖アイドル』で、この写真……。内容はどうだったのだろう？　やっぱり斉木しげるに「プロレス界の元祖アイドル、長州力さんと谷津嘉章さんです！」と紹介されて、2人がちょっとテレ笑いしたりしたんでしょうか？　聞いた人のレポート求む。

（静岡県・目ガ覚メタロウ）➡ブレイク中のNOVAうさぎ（と言われていますが、本当に人気はあるんでしょうか？）。『ほんとにジョーク』あてのおハガキから頂戴しました。ま、恒例ってことで（反省の色なし）。

おハガキ・お便り・メール大募集!!

ちゃんと試合開始には間に合ったから言うんですが、『PRIDE26』の日、さいたまアリーナに行ってしまったのは私です。ヤケに人が少ねぇなぁと思いつつ、会場前に着いたら全くその気配がなく、真っ青になりました。即座に引き返して、東京から新幹線に乗り、なんとか試合開始前に横浜アリーナに着くことができました。誰も見ていないところでボケるのは空しかったです。さて、『紙プロ元気大学』では、みなさんのお便りを募集しております。ボケならオレのほうが上だぜ、という方、しっかりしろ、という励まし&叱咤のお便りの他、イラスト、その他すべての宛先は、メールは radical@kamipro.com
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702（株）ダブルクロス
紙のプロレスRADICAL編集部　紙プロ元気大学「坊主のつもりが逆モヒカン」係まで。

（本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！　プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によっては無断でこっちに載ってしまいます。匿名希望の人はその旨明記のこと。旬のネタは掲載率が高いです）

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第24回

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

山形県天童市　クロコ・ミルコップ

★ベタ？ ノー、ベター!! (by劇団ひとり)です。辻結花vsヴァンダレイ・シウバTシャツ(M)、お楽しみに!!
★やっぱり男の中の男『桜庭和志イラストTシャツ』発売中です!! http://www.takada-dojo.com
★時は来たっ!! 『橋本真也のプロレス大百科』発売中です。メンコが付いています。
★新しい家族が出来ました。北海道犬の『高麗(コマ)くん』です。犬のことを考えるとウキウキします。
可愛い家族(犬)に囲まれて幸せの中川画伯のコーナー、『ほんとにジョーク』にハガキを書こう!! 抽選で5名様にニューグッズ!! 「中川雅博手づくり缶バッヂ」、採用された方には「Tシャツ」をプレゼント!! 皆さん、ハガキをドシドシ送ってください。自分はハガキと犬が心の支えです。「缶バッヂ」割と良いですよ。

➡前号のTシャツ ジェラルド・ゴルドー

応募方法

プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S・M・L・XL)をハガキに書いて下さい。 〈例〉TOAのL

コラム担当チョロの職権乱用＆熱烈応援ページ

BEST OF THE スーパーコラム™

見てみ、この腹!! スーパーヘビー級に転向か!?

新連載!? 今月のようこそ！『紙プロ』編集部へ!!

第1回目ゲスト◎滑川康仁さん

ついでと言っては、なんですが、

滑川ギブス当選者発表ーッ!!!

突如、新連載開始！　1回目のゲストとは現在怪我で療養中＆増量中の滑川康仁選手。まず滑川選手には『紙プロNO.61』の読プレに提供してくれた『滑川ギブス』の当選者を選んでもらったぞ。応募総数5通の中から選ばれたのは大阪市の山本真理さん！　ハガキいっぱいの「滑川魂」が決め手だね。最後に滑川告知コーナー。次の店で滑川グッズが売ってるぞ！レッツ連絡!!「仙台市若林区南鍛冶町123『衝撃中心』（ショッキングセンター）TEL.0222-68-6505（担当キヨビス）」

小室vs戸井田おもしろかったなあ

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

船木

もうひとりの足関十段・花井選手がいよいよプロデビュー。足関不発で残念でしたが、スタンドでの闘いぶりが、タイムスリップさせノスタルジック炸裂であった。それはまさに〝骨法〟だったから！独特の構えから、掌底をシュパシュパシュパ～ンって、約10年前の骨法黄金時代（主にベースボールマガジン中心での）がフラッシュバック！総合の試合で、ここまで第一回祭典頃のスタンド中心の骨法スタイルが見れたのは始めてではないだろうか。もしこの日、リングサイドにターザンがいたら、どう感じただろう？　ひょっとして骨法の闘い方自体すっかり覚えてなくて、「変わった構えするなぁ～、この人」とか呑気に見てる気もするが。

あの頃、ターザンが火をつけてブレイクした骨法は、漫画から映画とマルチメディアしてましたね。『少年サンデー』の「闘将ボーイ」に骨法使いが登場したり、映画（Vシネ）にも登場です。その映画は『ファイナルファイター』、ケンカばかりしてる主人公・松田勝（極道プロレスでおなじみ、ジミー大西がムキムキになったビジュアルのマッチョ系俳優）が、ある日ケンカに負け挫折。そして出会ったのが骨法！　黒いピチッとした衣装のあの頃の骨法です。そこで主人公は、シュパシュパシュパ～ンと掌底を、浴びせ蹴りを、そして〝徹し〟をレッスン。ラストは宿敵を、徹しと浴びせ蹴りでぶっ倒します。

他分野の映像で骨法が見れるのは、この映画とロマンポルシェ。さんのDVDだけ（たぶん）！　マニアよ、TSUTAYAへ走れ。

とまあ骨法の思い出はそれぐらいにして、花井選手に話を戻すと、足関極めて華々しくデビューとはなりませんでしたが、「次もオファーしたい」「あの選手と当てたい」「また見たい」とか思わせたのは花井選手のほうなので、プロとしてその点では勝ちでしょう。それにしても、この試合の前にクラブファイトで、浪速のプリンス・池本選手を足関で秒殺した映像見たいよねえ、『サムライTV！』何してんだろう。そーゆーの流してくんないかな、『生ゴン』でもいいからさ。それとも『生ゴン』でやってたのかな？　忙しくて毎日チェックすんのキビしいから、『格闘ジャングル』みたいなの復活してくださいよ。ZSTも、その映像をあおりでうまく使えばよかったのにね。相手の大河内選手は池本選手に負けてるんだし。

そして元祖の足関十段ですが、三島vs今成って凄いね『DEEP』。でも微妙に階級違くて、ミスマッチのような気がしてならない。三島vsメロのように一方的になったら、今成選手浮かばれないよ。それでも足関取っちゃたら、そりゃ発狂もんの興奮だけど…。でもやっぱ三島選手は巨強だし、五味リベンジに辿り着く為にも負けてほしくないんで、複雑だなこのカード。『PRIDE26』、高瀬・ミル

プライド26集合写真、

今回もポジショニング抜群だイズマイ・ワ！

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の

業☆勝ちます

『菊田早苗＆久志麻理奈、熱愛発覚』の巻

お願いします！　アナタのそのルイ・ヴィトンのバッグ、俺の持ってる長州力のLPと交換して下さい！

ハイ！　というわけで意識が朦朧としています！　ああぁぁぁぁぁぁぁぁぁぁっっっっっ!!　ああ～もう、なんも考えらんねぇよ。あまりにショックで頭がグラグラしてんだよ。グラグラっつうよりグラバカっつう感じだよまったく！　大体ぁの一、『グラバカ』ってどういう意味だっけ？　「グライダーに乗って通勤する鳥人間コンテストバカ」？　「グラインドコア風に自分とこの学校の校歌をアレンジし、V6の番組に出て演奏するためのバンドのメンバー募集を近所の練習スタジオに張り紙したはいいが、そんなものを面白いと思ったのは自分だけだったので誰からも電話がかかってこないバカ」とか？　……あ！　そうか！「グラタン皿を彼女とお揃いで2つ購入する幸せバカ」ってことか！　そうなんだな！　そうだろう！　ちくしょう！　アイドルが作るグラタン俺も食いてぇ！　うらやましいにもほどがある！　俺も幸せすぎてバカになりてぇよォォォ！

幸せすぎてではなくショックのあまり俺がグラバカならぬただのバカになっている原因がなんなのか、賢明な『紙プロ』読者諸君にはおわかり

連泊目撃♡ 柔術世界一 菊田早苗を癒やす11歳年下アイドル

これが『FLASH』（NO.777）の記事。でも、菊田はいつから柔術世界一に？

コ・ヒョードル、この3人がMVP。うわさの実力をメジャーな相手にメジャーな世界で出して高瀬選手よかったなあ。「三角絞めは美しい。」ってつくづく思うね。これを機に『PRIDE』の日本人は、一本取りにいく人だけにしてほしい。日本人だからって会場を味方につけ、体力にまかせたコツコツパンチとかだけで「オーイオーイ」と会場沸せた気でいる選手とか見たくないよ。そんなつまんない戦法しかしないんなら、山本KIDやヒョードルのような破壊力抜群で恐ろしいパンチ身につけてからにしてください。

ヒョードルのたたみかけるフィニッシュ、えげつなくてよかったね。ばかでかいカエルを素手で引っこ抜いたような絵だったなあ。ますますvsサップ戦が見たくなった。えげつなくサップを痛ぶるのかなあ？

ミルコは、ますます口元がへの字にひん曲がり、顔下が馬場さんそっくりになってきた。あの顔見たら、猪木は本能的に「ミルコ負けちまえ」と思うんだろうな。

そのミルコ攻略法だが、2回目の藤田戦見てからずっと思うことが、素人考えながらあります。ミルコが、ガブった時に勝機ありではなかろうか？　胴にまわしてるほうの手を巻き込んでそのまま返すか、巻き込んだまま潜ってから返したりして上になれるのではないだろうか。大ノゲイラなら、それができると思う。vsミルコで大ノゲイラ復活、いいんじゃないですか、ドリームステージさん。

●はなくま・ゆうさく●
スキップカウズの新アルバム（8月20日発売）がまちどおしい日々。

だろう。そう、あの写真週刊誌『FLASH』が地味にスッパ抜いた「柔術世界一・菊田早苗を癒す11歳年下アイドル」というのが、元チェキッ娘で、元AceFileで、去年の5月には女子プロレスの試合にも出た久志麻理奈だったことだ。そして紙プロバックナンバーの50号を引っぱり出し、昨年の5月3日に久志麻理奈がNEOに参戦したときに俺が書いた自腹観戦レポートをもう一度よく読んで欲しい。「そういえば何故か会場に菊田早苗がいた気が……。しかも4月7日のAceFile解散コンサートにも菊田が来ていたとの情報が……。菊田と久志麻理奈の関係は？　もしかして菊田もただのアイドルヲタなのか？　つーことは俺と全然かわんないっつーこと？　菊田に対して急に親近感沸いちゃった！」とかノンキなこと書いてんじゃねぇか、俺！　『FLASH』によれば「かれこれ一年半は交際しているらしい」とあるから、二人はすっかりその頃デキていたわけで、『FLASH』に先立つこと一年、二人の関係にいち早く注目していたにも関わらず、菊田早苗を一介のコアなチェキ男（「ちぇきお」チェキッ娘ファンの男の総称）であるとしか思っていなかった俺……大ボンチもいいところである。その後、久志麻理奈は女子プロ参戦直後に芸能界を引退（この6月から復帰予定）していたため、アイドルイベント会場などで菊田早苗を見かけることはなくなったが、もし会っていたら「チェキッ娘唯一のレギュラー番組『DAIBAッテキ！』を一社提供していたドリームキャストが成功していれば今現在モーニング娘。がいる地位にもしかしたらチェキッ娘がいたかもしれなかったんだよなぁ～、な、そう思わねぇ？」などと馴れ馴れしいカンジのチェキ男トークで話しかけてしまうところだった。

当時、久志麻理奈の事務所には当然『紙プロ』の見本誌を送っていたはずなので、読みようによっては二人の関係をあっさりバラしているととれなくもない俺のレポートを見て、寝技世界一のグラップリングで半殺しにされても文句は言えないところであった。イタズラに二人の関係を嗅ぎつけ未遂してしまって、菊田選手＆久志麻理奈さん、ドーモすんませんでした！　そして末永くお幸せに！　うらやましすぎて鼻血が出そう！　畜生畜生チクショーッ！

それにしても、どこをどうやって頑張ったらアイドルと付き合うことが出来るのだろうか。これは全男性にとって永遠の命題である。アイドル事務所の社長になって商品に手をつけるという古典的な技以外で「これさえ出来ればアイドルと即ねんごろになれる！」という方法を編み出したら、それはノーベル賞モノである。ノーベルの方にその気がなくても俺が個人的にその発明者にノーベル賞をあげてしまってもいい。そんなカンジだ。菊田早苗選手と久志麻理奈の場合は格闘技雑誌の対談企画で出会ったのがそもその馴れ初めであるというが、俺も某『BUBKA』誌で毎月まがりなりにも元アイドルにインタビューしに行く企画をやっているというのに、下半身事情にピクリとも反映されないのはなんでだろうか。なにがこうも違うというのか。やはり菊田選手のように『寝技世界一』という、なんやら夜の期待度も同時に高まるような称号を持ち合わせていないとダメなんだろうか。よし、それじゃ俺もこれからペッティング世界一とか高速ピストン世界一（当然自称）とかイタズラに期待を煽る肩書きの名刺作って配り歩いちゃるぞ！　やったるで！

ロマンポルシェ。ライブ情報!!

7.18 fri　川崎・クラブチッタ
w/ガーリック・ボーイズ

7.26 sat　新宿リキッドルーム
J-POP　DJイベント
『申し訳ないと』ライブゲスト

問ミュージック・マイン
TEL.03-5774-5509

●おきて・ぽるしぇ●

ザ・検証

コラム担当のチョロです。前号の健介に続き、今回のベストインパクト賞は鈴木健想に決定！　新日時代は「明るい未来〜」と高田統轄本部長でも「お前は男だよ！」と言わずにはいられない道場伝説が印象に残っているぐらいの存在だったが、やはりWJに入団する選手は一味違う。詳しくはインタビュー参照。はい、みんなも、マドンナカッ！

今月の検証　by 椎名基樹

藤波がプライドのリングに上がった訳

エヴァンゲリスタ・サイボーグ！　いや〜いい名前ですなあ。もう一回言わせて。

エヴァンゲリスタ・サイボーグ！

エヴァンゲリスタ・サイボーグとは、もちろん先日デビューした、パンクラスの新外国人選手の名前である（通称・エヴァ）。名前はもちろん、そのニセシウバともいえる風貌、シウバほど洗練されてなく、正にケンカといえるその闘い方と、インパクト大のデビュー戦であった。初期・グッドリジ、初期・シウバと同様、久々に「コイツだけとは闘いたくないわあ」と思わせてくれる、素敵な選手である（あと、全日本キックの大月選手も闘いたくない）。思わず、エヴァンゲリスタ・サイボーグvs福原愛とか、エヴァンゲリスタ・サイボーグvs斉藤清六とか、エヴァンゲリスタ・サイボーグvsえなりかずきとか、エヴァンゲリスタ・サイボーグvs乙武くんとか、エヴァンゲリスタ・サイボーグvs森繁久弥など、つまらんことを表記したくなる、エヴァは今後注目となるであろう。

しかし、パンクラスはおもしろいね。それは考えてみれば当たり前で、あの重量級の階級で、日本人がガンガン、ガチVTで闘う団体は他になく、いつの間にか、もっともシンプルでわかりやすいコンセプトを、独占することになってる。もちろん、プライドで日本人がガンガン勝てれば、話は別だけど。

このエヴァがデビューした日のメインは、菊田vs近藤だったわけだけど、ヘビー級日本人の対決で、ここまで因縁を引っ張って、ついに実現となったVTは史上初といっていいくらいで、実はすごく画期的なことではないだろうか？　試合の方もレベルが高く、当然のごとく好試合になるし。判定ドローは納得の結果だったけど、教室のケンカで、クラスメイトが判定したら、「近藤が勝った」となってても不思議ではない内容だった。

しかし、菊田選手もチャンピオンでいるかぎり、いずれエヴァあたりとも、やらなくてはならないと思うと、なんとイバラの道だと、思わざるを得ない。

さて、本題である。プライド26でなぜ、新日本の社長である藤波がプライドのリングに意味なく予告なくさりげなく、上がったかということだ。その前に、素晴らしくおもしろかった、プライド26の試合にも少し書かせていただきたい。セミ&メインがおもしろかったのは、もちろんだが、思わずスゲーと唸ってしまったのは、やはり高瀬選手であろう。アンデウソン・シウバに勝つなんてスゲー！　高瀬選手とプライドといえば、なんと言っても「ブーイングはやめてください！」という歴史に残る迷マイクパフォーマンスが思い出される。そして、今回の勝利のマイクパフォーマンスが素晴らしかった。好き嫌いがあるようだが、「桜庭さんや吉田さんのようにヒーローになります」という言葉とともに、どんどん顔がマジにというか、怖くなっていったのが、すごく良かった。なんだかよくわからない沸き上がる感情を必死に押さえているように見え、男の子だなあと感心。

そして、この日よかったもう一人は、アリスター・オーフレイム。やっぱ、リングといえば、ロシアとオランダ。ある意味、オランダの方がよりリングスらしいと感じる人もいるだろう。アリスターはリングス・オランダが「どっこい生きている」ことを証明してくれる、希望の星である。その身体能力&風貌はクライファートを思い出し、もしかして、天才かもとも思うのであった。

あと試合ではないが気になったのは、プライド・リボーンの象徴・高田であろう。ヒョードルvs藤田の解説で「いや〜強いわあ」という、まるっきり素のオッサンのようなコメントは、明らかに谷川化が進んでいるように感じられ、何かスルスルと偉くなっていった、と、いうか貫禄たっぷりに気取った様は、サムライTV！の浅草キッドの「前田インタビュー」「佐山インタビュー」を見た後だと特に「なんかキタネーな」「ちょっとムカつく」などと、勝手に僻んでしまう俺なのであった（エル・ヒガンテ！　な〜んつってな！）。

で、藤波である。藤波がプライドのリングに上がった訳は、猪木がこの日に発した意味不明のポエム「嘘か誠かきびんだんご」が示していて、社長再選をもくろむ藤波が、猪木にコビにやってきて、きびだんごをもらいにやってきたという意味だと、新間寿氏が発言したという。

しかし、俺の読みは違う。藤波が求めたきびだんごとはプライドでのデビューそして、究極の夢である「生涯現役（藤波的不老不死）」の達成をもくろんでいるのではないか？　そうなると、「相手は誰だ？」ということになる。藤波のもう一つの夢は「鶴田戦の実現」である。しかし、その鶴田選手はもうこの世にいない、そこで総合の世界で「鶴」の文字を探すと、もうこの人しかいない。そう鶴屋浩選手である（2月に引退したばっかりだが）。鶴屋選手をジャンボ鶴屋として、デビューさせ闘おうと、藤波はたくらんでいる……ハズはないのである。

と、いうことでここまで読んでくれた人ありがとう。終わります。

近所のうどん屋のイメージキャラです。パンクラス・尾崎社長に似ていると思うんですが、どうでしょう？

今月の検証 by せき詩郎

長州力と消臭力の違い

	長州力	消臭力
本名	吉田光雄	芳香・消臭剤（トイレ用）
リングネーム	長州力	消臭力
身長・体重	184cm・115kg	400ml（内容量）
出身地	山口県徳山市	新宿区下落合
所属	ＷＪ	エステー化学
キャッチフレーズ	革命戦士	強力＆長持ち
意気込み	ギアが入らなくても強引に走らせるだけ 排気ガス撒き散らして、騒音立てて突っ走る	さわやかな香りと強力な消臭効果で快適な トイレ空間にします
見た目	パーマ→長髪	パノラマ効果のイラストでトイレを演出
技の種類	リキラリアット　サソリ固め　ストンピング バックドロップ　ブレーンバスター	アクアソープ　ラベンダー　シトラスレモン アップルミント　ラズベリー
希望小売価格	不明	420円
成分	炭素、水素、酸素、窒素等	植物製油、香料、界面活性剤等
バックボーン	アマレス（72年ミュンヘンオリンピックのアマレス代表）	11種類の天然植物抽出成分
スタイル	長州流スタイル	リキッドタイプスタイル
使命	業界のど真中を突っ走る	トイレの悪臭をしっかり消臭
寿命	右手の拳を上に目一杯突き上げられなくなったら終わり	大容量なので、香りと消臭効果が2～3ヶ月間持続

例えば、佐々木健介という名前をもじってつけたような『佐々木健漬け』という名前の漬物が発売されたら!? 二等身でかわいらしく描かれた健介がパッケージにプリントされている漬物。食べるだけでもりもりとパワーが出てきそうではないか。

また越中詩郎という名前からヒント得た『越中シーソー』なる遊具が発売されたとする。反対側に自分より体重が重い人が乗ったとしても、重力に逆らい、上にあがるのをヤッコ凧のような物凄い形相で耐える。実に反骨心に溢れた遊びができる越中シーソー。時を忘れ、暗くなるまで遊びふけることだろう。

このように慣れないダジャレを多用しながら商品のネーミングを試みてみたのだが、やはり今回検証する『消臭力』には到底敵わない。それほど『消臭力』という名前のインパクトは並大抵ではないのだ。消臭力が長州力からネーミングされたかどうかは定かではないが、誰もが長州を連想することだけは確かだ。商品に見え隠れする長州のキャラクターが消臭力という商品の存在感を高めている。「俺はトイレやお部屋の悪臭の噛ませ犬じゃやない！」と、今にも悪臭に噛みつきそうではないか。お部屋を良い香りにしたあと「俺の人生にも一度くらい幸せな時があってもいいだろう」と言いそうではないか。芳香＆消臭界に革命を起こしてくれそうだ。さっきビーバップを読みながら適当に考えた『越中シーソー』や『佐々木健漬け』ではそこまでの存在感はでないであろう。

などと書いてはみたが『消臭力』という商品が発売されたのはもうかれこれ数年も前のこと。最近ではCMを見る機会さえ少なくなった。発売当初は「長州力が元ネタか？」と様々な論議を生んだだろうし、ギャグとしても多用されたに違いない。しかし、今現在は決して旬の話題であるとは言えない。かといって敢えて取り上げるほどの時間は経過していない。「レーサー100！」や「ショッチュー！」などの懐かしさを感じさせてくれるわけでもない。

それならなぜ今『消臭力』を検証するのか？ 誰もが不思議に思うことだろう。その答えは簡単だ。〝今だから〟するのだ。今だからこそしなければいけないのだ。

中学生の頃、本当はビーバップを読みたいのに無理矢理読まされた「徒然草」の中に「高名の木登り」という話があった。弟子が高い木に登っているのを見守っていた木登り名人が、高く危険なところでは何もアドバイスしなかったのに、地上まであと少しの安全なところまできた時に「注意せよ」だか「ちょっと注意しなさいよ」と美川憲一の物まねで言ったかして、それを見てた人に「なぜ今さら？」と訊かれ「危険な時には誰でも注意するが、低く安全な所にきた時油断する。その時こそ注意してやることが大切」という趣旨のことを高見山の声か普通の声で言ったという話だ。

つまり『消臭力』という名前に皆が慣れて、定着してた今、私たちは油断してしまい長州力と消臭力を言い間違える可能性があるのだ。これは大変危険である。長州力と言わないといけないところで消臭力と言ってしまったがために、就職の面接試験で失敗してしまう可能性もある。もし『週刊ゴング』の長州に詳しいメガネの人が長州のことを「長州力はほのかな香りが通常2～3ヶ月持続する。もちろん使用状況により異なるが」だとか「長州力の中の揮散紙は取り出さないで下さい」などと間違って真剣に語ってしまったら!? これは大変なことになるだろう。

そこで私が木登り名人気取りで警鐘を鳴らそうと立ち上がったわけだ。

そういうわけで今回、長州力と消臭力の違いを表にまとめてみた。スペースを必要以上に取り、ページを大きく贅沢に使い、しかもこんなどうでも良い内容の表など二度と見られないかもしれないので、今一度良く見て両者を混同しないよう気をつけていただきたい。それでは私はビーバップをバカ牛のところまで読みながら寝ないといけないので今月はここまで！

PART 2

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである———(ネール元インド首相の娘への手紙)

吉田文豪人生劇場

書評の星座

前号で募集したタダシ☆タナカ先生の書評を読みたいとの声は、なぜか本人からしか到着せず。しかも「朝日新聞の書評で取り上げて下さい」とのことだったから、もちろん却下! そして妖怪王の新作は、福岡県の山崎君から「今日、書店にて妖怪王のアメプロ本(中級のファンがどーのこーのとかいうタイトル。もう忘れたけど)を見ました。パラパラっと10秒ほど読んだだけなのに、『ストンコールド』『スパースター』などのパワフルな誤植が見つかりました。きっと今回も時間がなかったんでしょうね。また書評できっちり叩いてやってもらいたいけど、また調子に乗るかもしれないので無視してください。では」とのメールが届いたので、その通りにする次第。そんな、読者の声に左右されやすい書評コーナー。〈e-mail:go@kamipro.com〉

「昭和プロレス」名勝負読本 '70→'80

宝島社

『昭和プロレス名勝負読本'70→'80』(宝島社/1200円)

いまあえて馬場と猪木のライバル関係のみに焦点を当てた、『別冊宝島』プロレスシリーズの最新作。巻頭で中田潤先生が突如タダシ☆タナカに噛み付いたり、市瀬英俊記者が「**見てみたかった。ミルコ・クロコップの攻撃をしのぐ馬場の姿**」なんて無茶を言い出したりと見所はそれなりにあるが、ここでは過去に書評で何度も取り上げてきた2人について言及してみたい。

まずはUWF黎明期、当時ハマっていたというUWFやシューティングの素晴らしさをジャイアント馬場取材時にぶつけたところ、「**UWFだってプロレスだよ**」「**君は、もっとプロレスを勉強してから私のところに来たほうがいい**」との理由であっさりインタビューを打ち切られた経験を持つ男・近藤隆夫君の場合。

その後、本人によると「**天国の馬場サン、あなたに言われたとおり、私はプロレスが何であるかを勉強しました。今ではよく理解しているつもりでいます**」とのことなんだが、なぜか彼の発言には格闘技への理解はあってもプロレスへの理解がほとんど感じられないのであった。

「**願わくば、あのときにもう少しわかりやすく話してほしかった。『シューティングを超えたものがプロレスである』。これは、あなたの〝至高の名言〟として語り継がれています。でも、わかりにくい言葉です。『プロレスとリアルファイトは別物である。プロレスこそがエンターテインメントとして素晴らしい。私はそう思ってリングに上がっている』。そう噛み砕いて言ってくれればよかったのに。もうひとつ。1987年6月9日、日本武道館でのラジャ・ライオン戦は、やるべきではなかった**」

そう。あのラジャ・ライオン戦の素晴らしさが理解できなかったりで彼氏、結局は単なるガチバカでしかないのであった。

思えば、馬場がこの名言を発した時点ではもちろんUWFはプロレスだったし、プロレスは道場での極めっこ(=シューティング)をマスターしておくべきものであったし、佐山が始めた新興格闘技・シューティングを超えたものでもあったはず。

それが、真剣勝負幻想に包まれたUWFと、それにすっかり毒されたファンによって営業妨害をされつつあったようなときに、なんで余計なカミングアウトをする必要があるんだって!

その後、「K-1もプロレス」と言い出すことになる馬場がそんな格闘技側に都合のいいことを公言するわけがないのだから。

まあ、それでも近藤君の場合は主張が一貫しているから別にいい。問題は魔界倶楽部のブレイクによって、パンクラス番から新日本番へとすっかり移行したヤスカクこと安田拡了記者だ。

あれだけ「パンクラスは真剣勝負!」と言い続けた彼が、なんでまた「**タイガー・ジェット・シン戦でも腕折りをやってのけた。アントニオ猪木ほど、ここぞというところでセメントマッチをやってのけ、自分の名誉を守った男はいない**」などと言い出すのか、ボクには不思議でしょうがないのである。かつて船木が、この〝腕折り〟について「折ってなんかいないですよ。せいぜい脱臼程度でしょう」と証言していたのは気のせい?

それは「**猪木だからこそ、最後までウィリー(・ウィリアムス)をリードして、かろうじてドクターストップという終わり方ができた。他のレスラーであれば、とんでもない終わり方をしていたことだろう**」との記述にしても同様なんだが、かつて梶原一騎やユセフ・トルコといった面々が「ドクターストップは予定通り」と内幕を暴いたのもボクの気のせいなのだろうか?

さらに、猪木対パク・ソンナンに至ってはこの調子である。

引き分けにしようというパクの申し出を猪木が飲まなかったため舞台裏で揉めまくったのは、いまとなっては有名な話。

その際、「**試合当日は、暴力団Y組のY会長(柳川次郎か?)が会場の貴賓席についていて、なかなか試合が始まらないので会長はイラだっていた**」ので、「**すぐに社長(猪木)に、Y会長が〝やっちまえ〟と言ってますと伝えたんだ。そしたら社長が、〝よし、わかった〟とリングに飛び出していった。セメントをやろうと決めたんだよ**」という、新間寿ならではの〝猪木がセメントを決意した真相〟を明らかにしたのはいい仕事だと思うんだが、なぜか彼はそんな闘いをこう結論付けてしまうのだ。

「**パクは全日本プロレスのリングに上がったあとに渡米し、WWAタイトルを取った。身長は197センチもあり巨人だったが、それゆえにプロレスという職業を甘くみていたといってもいい。要するに、パクがそれまでやってきたプロレスは、話し合いやマッチメーカーが勝敗を決める予定調和のプロレスだった。猪木の新日本プロレスも同じようなものだと思い込んでいたのだ。そこが甘かった**」

なんと、巨人は「**プロレスという職業を甘く**」みるので、世界の巨人・ジャイアント馬場率いる全日本プロレスは「**話し合いやマッチメーカーが勝敗を決める予定調和のプロレス**」だったと、『週プロ』の新日本担当記者が暴露したわけなのである!

かつて過激な仕掛人と呼ばれていた頃の新間寿は「ストロングスタイルの新日本は本物の闘いだが、全日本は偽物!」と事あるごとに全日本をコキ下ろしまくったんだが、いまになってそれを復活させるヤスカク恐るべし! パンクラスとの交流を仕掛けたとの噂もあるし、まさに平成の過激な仕掛人だよ!

ただ、それなら新日本の闘いとパンクラスの闘いは果たして本当に同じものなのか? もし同じ真剣勝負だと言い張るのなら、鈴木みのるが新日本に参戦するためにわざわざパンクラス・ミッションなる別組織を作らなければいけなかったのは何故なのか? 是非ともヤスカクに聞いてみたいものなのである。

『格闘技VSプロレス 誰がいちばん強いんだ!』(芸文社/1143円)

表紙&裏表紙にデカデカと写真が出ている選手が誰一人としてインタビューなどで誌面に登場しないという、不思議な一冊。

無闇に熱いタイトルはどうやら企画&編集を担当した芸文社の黒木氏が命名したらしいんだが、果たしていま誰がいちばん強いのかをテーマにすることに何の意味があるのだろうか?

とりあえず、プロレスというジャンルからは「あいつは本気でやったら強い」的な最強幻想がすっかり消え去った現在。

だったら格闘技はどうなのかといえば、プロレスファンがずっと待ち望んでいたはずの完全ガチンコ・トーナメントがいざ実現しても、たとえK-1グランプリや『PRIDE』グランプリで優勝したところで、そのときそのルールでとりあえず強い選手を決めただけでしかないことに誰もが気付いたはずだろう。

その上、最強の座に就いたと思った選手があっさり負けていく様を何度も目の当たりにしたことで、最強とは闘わないこと、すなわち単なる幻想に過ぎないことも痛感させられたはず。

だからこそ、この本の巻頭対談でボクは10年ぐらい前のプロレス活字状況を「**牧歌的ですよね。『誰がいちばん強いんだろう?』ってみんなが考えてる**」と語ったし、長年プロレスを見続けてきた門馬忠雄先生は「最強」をこう定義付けていたのだ。

「**僕らが考える『最強』っていうのは、集客能力があって、その選手の試合をみたら『もう一度会場に足を運んでみよう』と感じさせる選手。(略) 昔の外国人レスラーは『本気にさせたら強いぞ』という鬼気迫る迫力を持ち、そのうえでいかにお客さんから支持されるかが『最強』の条件といえたのです**」

つまり、実際に強いかどうかではなく強く見えるかどうか、すなわり最強幻想を背負えるかどうかが重要だったわけである。

それは、「**アントニオ猪木の『ダーッ!』や、大仁田厚の『ファイヤー!』を見ていると、なんだかヒットラーやフセインをホーフツさせる**」だのと正直ピント外れなことばかり言っていた『噂の真相』岡留編集長でさえ多少は理解していたようだ。

「**しょせん、プロレス、格闘技って『噂の真相』の真相追求路線からいえば、本質的にショービジネスの論理の延長線上にある以上、最強なんて最初から考えない方がいいかもしれないね**」

ところが「**岡留編集長を師と仰いでいる**」らしい芸文社の黒木氏は最強をクソ真面目に考えた結果、「**有名人&本誌執筆者が選ぶ最強格闘家ベストテン**」といういまとなってはナンセンス極まりない企画を立てると、編集者ながら真っ先に登場して1

人だけ1ページ奪取（他の人は半ページ）！　さらにプロローグ部分では、プロレス界へと闇雲に牙を剥きまくるのであった。

「プロレス業界は、これまで、ファンや一般世間に対して、ウソをつき、誤魔化しを行ってきたことに対して、けじめをつけなければいけない時期に来ている。（略）いつまでも、北朝鮮や、かつてのイラクなどのように、独裁国家の政権が、報道管制や情報規制、言論統制、鎖国政策などを行うのを真似るようなことをしていては、体制（業界の安定基盤）の維持ができるわけがない。あるいは、カルト新興宗教のような活動が、永続的に行われるものでもない。（略）やはり、プロレスは、カミングアウトを経て、WWEや『闘龍門』などのように、ハイレベルなショービジネスの世界を標榜するか、さもなければ、プロボクシングや、『K－1』『PRIDE』と同レベルの、ルールを厳守した格闘競技、つまり、真剣勝負によるプロスポーツ競技に転換、もしくは体質改善していくべきなのだ」

……って、おい！　だからって「真剣勝負によるプロスポーツ競技に転換」したら、もはやプロレスでも何でもないよ！

確かに真剣勝負へと転換しながらもプロレスを名乗り続けたパンクラスという例外もあるにはあったが、そこで活躍した選手たちがいま純プロレス回帰現象を起こしていることからも、この主張に何の説得力もないのはわかってもらえるはずだろう。

それでも黒木氏は、「プロレスラーが［過保護児童］のようでは、ファンだってやってられない。どんどん総合格闘技や、他流試合に打って出るべきだ。一般的なビジネスの世界はシュートであり、現実の社会は、リアルファイトなのだから」と不甲斐ないプロレスラーを徹底糾弾。編集後記では「キラー黒木」を名乗り、この本を作るきっかけになったらしい小原道由対ヘンゾ・グレイシー戦にも容赦なく噛み付いていくのであった。

「（小原は）優男系で一般人とあまり変わらない体格のヘンゾに怯えきって、コーナーポストやロープにしがみついたまま、まともに組み合おうとさえしなかった。たしかにヘンゾは実力者だが、『プロレスラーって、こんなに弱かったのか!?』と、当時プロレス観戦歴34年の私でさえ、衝撃を受けずにはいられなかった。これではかばいようがない！（略）小原は自らの価値を致命的に暴落させただけでなく、さかのぼって（新日本で闘ったゲーリー・）グッドリッジにも迷惑をかけた。でも、いるんだよねえ。この時のオハラみたいなしょっぱいヤツって。マスコミ・出版業界にもいるし、世間にもいる。みなさんも、間の悪いヤツと、アングルお調子者には気をつけてください」

……あのときの小原がまったく駄目だったのは紛れもない事実なんだが、さすがにこれは言い過ぎじゃないかとボクは思う。

それに、これだけ小原に駄目出ししておいて、最強は誰かをテーマにした本で「本誌推薦！」「格闘技のマットで奮戦する勇気あるファイター」として大山峻護を登場させるのは、誰がどう見ても矛盾しすぎだって！　まあ、「（プロレスってものを本当に知ったのは）つい最近なんですよ（笑）。ホントについ最近まで、ある種信じてた部分があったんですよ。アブダビ・コンバットに出場したときかな……。そういう話になって。ショックでしたよ！」と言い出す大山の香気さは抜群ではあるんだが。

結局のところ、黒木氏主導のページとスーパーバイザーのターザン山本が手掛けたページとがまったく噛み合っていなかったわけだが、それならターザンの担当部分にはどんなテーマがあるのかというと、おそらく本人も無意識のまま必ず話題にしていたのがRINGSであり、そして前田日明だったのである。

なかでもシビレたのは、KRSのスーパーバイザーであり小室哲哉のクラスメートだった喜多村豊氏による、この発言だ。

「僕が一番反省しているのは、オフィシャル刊行物の試合結果速報版で『プロレスが負けた！』という見出しで記事が書かれてしまって、そのうえ『前田さん、あなたはこれでも黙っているんですか!?』と追い討ちをかけるような内容になっていたことです。本来ならばオフィシャルの立場ですから、『Uの魂は消えていない』とか『高田健闘するも敗れる』『前田さん、次はあなたが高田さんの敵討ちを』と書くべきでした」

正確に言うと、このプロレス敗北宣言は見出しどころか表紙のコピーであり、前田を無闇に挑発したのは裏表紙。ついでに言うとこの速報号の編集長は近藤隆夫君だったんだが、どうしてこれをいまさら反省しているのかと思ったら、もうビックリ。

「実は前田さんは『PRIDE．2』のリングに上がること、そしてヒクソン戦も視野に入れていただいていたんですね。それがこの記事によって白紙になってしまって、実現しなかった」

……は!?　前田の『PRIDE』参戦を消滅させたのは近藤隆夫君だったのか!?　なんてことをしやがったんだよ、畜生！

それ以外にも「前田日明に裏切られた」とボヤく長尾迪カメラマンが「当時に総合格闘技って形でガチンコをやってたのはリングスだけだったと思いますよ」と言ってたり、堀江ガンツのインタビューのタイトルにしか残っていないのは残念だが「え、KOKは全部、ガチンコだったんだ！」とターザンが素で驚いてたりで、完全なシュートファイト組織としては始まらなかったなかったことと、どうこう言ってもRINGSと前田日明は凄いということが不思議と伝わってくる一冊なのであった。

真実のメッセージ！　本誌は、本当のことだけをお伝えします！

格闘技vsプロレス 誰がいちばん強いんだ!

GEIBUN MOOKS No.447 Dynamism! VOL.1

ターザン山本（SUPER VISER）

RADICAL CALENDAR

『紙プロ』編集部おススメ興行
★ 山口日昇 ◆ 堀江ガンツ ♥ ささきぃ
♠ 松澤チョロ ◎ ジャン斉藤 ● スモーノフ

6 June

25 WED.
『DEEP』■東京・後楽園ホール(18:00)
全女■岩手・北上体育館(18:30)
LLPW■千葉・川口道場(14:00)

26 THU.
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
DDT■東京・渋谷ATOM(19:00)

27 FRI.
修斗■広島・広島サンプラザ(18:30)
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)
大日本■北海道・札幌すすきのエンペラー(18:00&21:15)
LLPW■愛知・豊橋総合体育館サブアリーナ(18:30)

28 SAT.
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
NEO■東京・板橋区立産文ホール2Fホール(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
大日本■北海道・札幌すすきのエンペラー(18:00&21:15)
アルシオン■東京・バトルスフィア東京(18:30)
GAEA■京都・KBSホール(18:00)

29 SUN.
K-1■埼玉・さいたまスーパーアリーナ(15:00)
U-STYLE■大阪・梅田ステラホール(17:00)
ZERO-ONE■山口・海峡メッセ下関(15:00) ♥
闘龍門■兵庫・神戸ワールド記念ホール(16:00) ♥
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
大日本■神奈川・横浜赤レンガ倉庫(16:00)
WJ■北海道・道立総合体育センター(14:00) ♠
全女■東京・後楽園ホール(12:00)
NEO■板橋区立産文ホール2Fホール(18:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
DEMOLITION■東京・TOKYO FMホール(17:30)
ナイトメアー■東京・バトルスフィア東京(14:00)
GAEA■大阪・大阪ドームスカイホール(13:00)
JD■千葉・流山道場(17:00)
アルシオン■神奈川・よみうりランドEAST(14:00)

30 MON.
ZERO-ONE■長崎・佐世保市体育文化館(18:30)
PWC■東京・北沢タウンホール(19:00)

7 July

1 TUE.
ノア■岩手・岩手県営体育館(18:30)
ZERO-ONE■佐賀・唐津市文化体育館(18:30)
WJ■北海道・札幌テイセンホール(18:30)

2 WED.
ノア■ 秋田・秋田市立体育館サブアリーナ(18:30)

3 THU.
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
闘龍門■長崎・佐世保市体育文化館(18:30)
ノア■福島・福島市国体記念体育館(18:30)
ZERO-ONE■福井・福井市体育館(18:30)
WJ■北海道・旭川大成市民センター体育館(18:00)

4 FRI.
新日本■東京・後楽園ホール(18:30) ◎
闘龍門■大分・大分県立荷揚町体育館(18:30)
ノア■新潟・長岡市厚生会館(18:30)
ZERO-ONE■新潟・新潟市体育館(18:30) ♥
WJ■青森・八戸市体育館(18:30)

5 SAT.
新日本■神奈川・小田原市総合文化体育館・小田原アリーナ(18:30)
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
闘龍門■熊本・合志町総合センター「ヴィーブル」(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
WJ■青森・青森県武道館(18:30)
JD■大阪・NGKスタジオ(17:00)

6 SUN.
新日本■岐阜・岐阜産業会館(16:00)
スマックガール■東京・六本木ベルファーレ(12:00) ♠
K-DOJO■千葉・Biue Field(13:00)
全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
IWA■神奈川・横須賀臨海公園特設リング(15:00)
闘龍門■鹿児島・鹿児島アリーナ(15:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(17:00)
ノア■東京・ディファ有明(17:00)
ZERO-ONE■東京・両国国技館(17:00) ★◆♥
新宿■東京・歌舞伎町クラブハイツ(18:00)

7 MON.
闘龍門■福岡・小倉北体育館(18:30)
ノア■愛知・津島市文化会館(18:00)

8 TUE.
新日本■富山・魚津市総合体育館(18:30)
全日本■熊本・熊本興南会館(18:30)
IWA■ 東京・後楽園ホール(18:30)
ZERO-ONE■長野・伊那市勤労者福祉センター体育館(18:30)
WJ■岩手・岩手県営体育館(18:30)

9 WED.
新日本■大阪・大阪市中央体育館サブアリーナ(18:30)
全日本■大分・諏訪山体育館(18:30)
闘龍門■宮崎・延岡市民体育館(18:30)
WJ■ 山形・山形市総合スポーツセンター(18:30)
LLPW■鹿児島・吉松町総合体育館(18:00)

10 THU.
全日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
闘龍門■福岡・久留米リサーチパーク(18:30)
ノア■ 京都・KBSホール(18:30)
ZERO-ONE■愛知・愛知県体育館(16:00)

11 FRI.
新日本■大阪・岸和田市総合体育館(18:30)
闘龍門■ 長崎・長崎NCC&スタジオ(18:30)
WJ■新潟・新潟市体育館(18:30)
NEO■東京・板橋区産文ホール(18:00)
『OH砲祭り』■東京・後楽園ホール(18:00) ★♥

12 SAT.
全日本■島根・くにびきメッセ(18:00)
新日本■滋賀・滋賀県立体育館(18:00)
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
闘龍門■ 佐賀・諸富町文化体育館(18:00)
ノア■石川・七尾総合市民体育館(18:00)
JD■東京・北沢タウンホール(14:00&18:00)

13 SUN.
K-1■福岡・マリンメッセ福岡(15:00)
『DEEP』■大阪・グランキューブ大阪(15:00) ◎◆
修斗■東京・後楽園ホール(18:00)
大日本■愛知・ポートメッセ名古屋(15:00)
全日本■大阪・大阪府立体育館(16:00)
みちのく■埼玉・桂スタジオ(18:00)
闘龍門■福岡・博多スターレーン(16:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
ノア■石川・根上町総合文化会館円形ホール(17:00)
GAEA■東京・後楽園ホール(12:00)
『OH砲祭り』■徳島・徳島市立体育館(18:00) ★

16 WED.
新日本■青森・野辺地町立体育館(18:30)
ノア■大阪・大阪府立体育館(18:00)
『OH砲祭り』■愛知・ポートメッセなごや(18:00) ★

17 THU.
全日本■神奈川・横須賀市総合体育会館(18:30)
K-DOJO■千葉・Biue Field(19:00)
DDT■東京・後楽園ホール(19:00)
WWE■神奈川・横浜アリーナ(19:30) ●

18 FRI.
新日本■北海道・室蘭市体育館(18:30)
闘龍門■神奈川・川崎市体育館(18:00)
『OH砲祭り』■兵庫・尼崎記念公園総合体育館(18:00) ★
WWE■神奈川・横浜アリーナ(19:30) ●

19 SAT.
新日本■北海道・札幌テイセンホール(18:00)
大日本■北海道・弟子屈祭り特設リング(時間未定)
全日本■東京・日本武道館(18:00)
みちのく■神奈川・横須賀市ヴェルニー公園特設リング(15:00)
闘龍門■岐阜・岐阜商工会議所大ホール(16:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
NEO■板橋区立産文ホール(18:30)
WWE■兵庫・神戸ワールド記念ホール(18:00) ●

20 SUN.
新日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
K-DOJO■千葉・Biue Field(13:00)
みちのく■岩手・矢巾町民総合体育館(15:00)
DDT■ 新潟・新潟フェイズ(15:00)
闘龍門■岐阜・岐阜商工会議所大ホール(13:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
WJ■東京・両国国技館(18:30)

21 MON.
大日本■東京・後楽園ホール(12:00)
新日本■北海道・月寒グリーンドーム(15:00)
みちのく■青森・はちのへハイツ(15:00)
闘龍門■静岡・ツインメッセ静岡(15:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
ナイトメアー■東京・バトルスフィア東京(14:00)
『OH砲祭り』■山梨・富士急ハイランド"コニファーフォレスト"(17:00) ★♥

22 TUE.
みちのく■福島・塩川町民体育館(19:00)

23 WED.
新日本■北海道・帯広市総合体育館(18:30)
みちのく■ 宮城・女川総合体育館(18:30)

いや、これホント!!　波瀾万丈にもホドがある!!

OH クライシス!!

7・6ZERO-ONE両国大会
『OH祭り～ワールドタッグリーグ戦～』直前!
本番前に破壊王が右ヒザ大負傷!
OH砲に最大の危機!!

どうする、どうなるOH砲!!

7·6以降に備えて、次期シリーズは
-ONEは俺が守る!!」〈暴走王〉

7月だよ、全員集合ーーッ!! 行くゾーッ!! オー、エイチ……と勢いよく行きたいところだったが、OH砲にいきなりの危機が訪れた。破壊王が右ヒザに重傷を負ってしまったのだ。どうなる両国、どうする『OH祭り』!!

俺たちの"祭り"は闘うことだ、オー、エイチ、ホーーッ!!――!! とばかりに、7・6ZERO―ONE両国大会、7・11開幕の『OH祭り～ワールドタッグリーグ戦～』に向けてフルスロットルで加速するはずのOH砲に突然、怒濤のクライシスが訪れた。

6・13全日本・愛知大会で小島聡相手に三冠王座を死守した破壊王・橋本真也は、翌日の6・14ZERO―ONE福島大会ではメインの6人タッグに出陣。しかし、とんでもないことに、その試合中に破壊王がアクシデントに見舞われ、古傷の右ヒザを破壊してしまった!

佐藤耕平に容赦ない蹴りをブチ込んでいった破壊王に異変が起きたのは、試合開始5分過ぎ。蹴り続けた破壊王が、耕平の髪を鷲掴みにして、唐突に自軍コーナーに戻り、藤原組長とタッチ。それ以降は、終始コーナーに張りつきっぱなしだった。

藤原組長が試合を決め勝利を得たものの、破壊王はロープにもたれたまま「今日は不甲斐ない試合ですいません。たくさん、たくさん怪我人も出てます。でも、みんな命懸けで頑張ってます。どうか今後もよろしくお願いします! ありがとうございました!!」と、ファンにマイクで挨拶。

締めの「スリー、トゥー、ワン、ゼロワンッ!!」は佐藤耕平が代役で務め、一足先に若手に担がれて控え室に戻った破壊王は、右足がまったく床につけない状態だった。

破壊王はコメントを出せる状態ではなく、中村渉外部長が代わりに「右ヒザの半月板か前十字靭帯損傷。医者に行って診てもらわないとわからないんですけど、いま足をつけない状態なんで。昨日の小島戦のツケもあるのでは」と事態を説明した。

両国でのOH砲vs武藤&川田というビッグカードを発表したのは6・14。破壊王は、7・6は全日本が昼間に後楽園ホールで大会を開催するため、武藤&川田がダブルヘッダーになることを指し、「後楽園で怪我なんかしたら許さねぇゾ! 五体無事で出てこい!」と吠えた。が、その吠えた日に怪我を負ったのは破壊王のほうだった……。嗚々。

松葉杖姿で破壊王は会場を後にしたが、帰京しても破壊王の右ヒザの腫れは引かないまま。

16日には、山口県で行われた故・大谷恵子さんの告別式に出席。終始、車椅子と松葉杖を使った

6・17――『OH祭り～ワールドタッグリーグ戦～』の参加チーム発表会見に、車椅子姿の破壊王をオーちゃんが押しながら登場。破壊王はデッカイ大五郎のようなたたずまいだ

O.H.Hohhhh!!!!!

「(破壊王は)見ての通り重傷。7・6 休んでほしい。ZERO-ON

OHクライシス!! 1 7・6両国

遂に全日本の"黒い奴"(小川談)・川田が"潰し合い"の場に進み出た!!

移動で、まだ右足はつけなかった。

そして翌日の17日、ZERO—ONE道場で行われた『OH祭り』の参戦チーム発表会見に現れるはずだったOHは、時間になってもなかなか姿を現さず。

建物の2階にある道場内に集まっていた報道陣が階下に様子を見に行くと、道路の向こう側から、車椅子に座った破壊王を、暴走王・小川直也がナースマンとなり、エッチラオッチラ押してくるではないか。

遠目から見ると、まったく笑えて素敵な光景以外の何ものでもないのだが、破壊王の右ヒザにはブ厚いアイシングがされ、実に辛そうだ。

なんとか2階の道場内に移動し、会見は負傷した破壊王をかばうように小川が主導権を取って始まった。

小川　とにかくいまOH砲、このような状態なんで、ちょっと不安なんですが……逆に言えば、他の選手たちはチャンスじゃないかな、と。これぐらいのハンデはOH砲には必要だろう。まあ、心して行きたいと思います。見ての通り……こんな車椅子乗るぐらいの重傷なんでね。まぁ最悪、次のシリーズ(6・27後楽園で開幕)は、ボクとしては7月6日に備えて、それまでは休んでほしいなって気持ちはあります。代わりといってはなんですけど、ボクが出て、破壊王のいない間、ZERO—ONEは俺が守る!　まあ、これは橋本選手の怪我の状態次第なんですけど、ボクとしてはそういう気持ちです。橋本選手は、いま足をつける状態で「よくはなってる」とは言ってるんですけど……ボク個人の気持ちは、7月6日は大事な試合なんでね。全日本の川田、武藤といえば、向こうのベストメンバーなんで、こういう中途半端な体制じゃ、ハッキリ言って危ないっていうのがわかってるから。7月6日、一発勝負で行けるようにっていうことは、橋本選手には言っときました。

橋本　細かいことを多く語るつもりはない!　それに、闘えるとか、闘えないとかじゃなくて、"闘えるようにする"というだけの話や!　(7・6の)1試合だけに絞るのか、シリーズに行くのか、そんなのは俺だってわからない。だけど俺たちは保障のない中で生きてるわけだから、そこに向かって命懸けでやる。だから、怪我の状態がどうであれ、やらなきゃいけねえんだよ、ホントに!!　立ち上がれない場合はしょうがないけど、そうじゃない限りは、やるよりほかねぇから!

小川　とにかく、5・2で(川田に)やられたっていうのは忘れちゃいないし。それはもちろん両国でキッチリ返す。とにかく(破壊王に)早くよくなってもらって、全力でやるしかない。シングルだったら全然問題ないんだけど、タッグの場合、コンビネーションも必要だから。当然、向こう(全日本)も後がないところで、おまけに敵地に乗り込んで来るわけだから全力を出してくるだろうし、最後の火事場のクソ力でくると思う。だから、いまこういう状況だからこそ、いい結果を招くように頑張りたい。

橋本　同じ条件にすりゃいいんだから!　武藤も川田も足が悪いんだから、これで同じ条件ですよ。身の回りにあるもの全部使ってやるよ!　この椅子だって凶器にしてやる。それでもいくよ!　足も地べたにつけなかったのが、いまはつけるし。昨日が一番痛かったんだけど。これから腫れが引いてくればわかってくると思うんだよ。まだ日にちがありますから……まぁ、親からもらった体を精一杯活用して、精一杯痛めつけていかなければいけないのがプロレスの性分ですから。親不孝かもしれないし、親孝行になるのかもしれない。それは自分で決めるもんじゃない。でも、それを目指した以上は、どこが壊れようとも

を生きている。闘える、闘えない
する』というだけの話や!!」〈破壊王〉

やってくしかないと思ってます。立てなかったときはごめんなさい、と。でも立てる限りは何回でも立ち上がっていきます！　だから小川がやっぱり背中を押してくれた。これが、いつか反対になるときもあるかもしれないし。（報道陣を睨み）いいか！　いまのOH砲っていうのは、ただのつながりじゃねぇゾ！

怪我の状態がどうであれ、あくまでも7・6両国と『OH祭り』の二つの大きなヤマを乗り切るつもりの破壊王。両国を乗り切ったとしても、『OH祭り』には大概の強豪が集まってくる（出場チームはP134〜参照）。来日前から話題のガファリ・ブラザーズを始めとして、「強くて、凄くて・面白い」チームが出揃った。巨腹、巨人、怪力、正統派、実力派、怪奇派、マスクマンとバラエティに富んだが、OH的に要注意チームはどのチームなのか？

橋本　みんな、凄い奴らだよ。ただ強いモン同士がただ集まったって、タッグチームなんてうまくいかないんだから。藤原さんと石川が「純血師弟」なんて資料に書いてあったけど、師弟じゃねえしさ、あんなの。耕平と藤井だってライバルだから。コンビネーションうまくいくわけがない。俺たちは違うゾ！　まぁ、FUJIYAMA（OH第四の必殺合体技）が出せるどうかっていうのがちょっと、まだ不安っていうか、必死だけどな。

小川　まぁ、それぞれ、今回みんな初めてのパートナーとか初めての選手が多いんで、どうなるかまったく見当つかないです。ガファリの弟もガファリ以上にデカいって話は聞いてます……非常にわからない、どうなるかは。読めないのが多いです。わからないものだらけだよ……。ジェイソンズはレジェンドとダイナマイト。総合格闘技の大会とは全然関係ない。ジェイソンの1号、2号だと思ってください。メキシコの方も、ドスカラスJr.と

本当に怪我してるのかと思えるほど元気な破壊王だが、本当に怪我してるから困ってしまう。立つんだ、破壊王！

来日前から話題のガファリ弟。兄を上回る200キロのデブ＆巨腹だが「兄貴はデブだが、俺はデブじゃない」

『W—1』でプロレス参戦を果たしたランデルマンのスピード＆瞬発力＆バネ＆跳躍力＆パワーは脅威だ！

OHクライシス!! 2

7・11開幕『OH祭り』

ガファリ・ブラザーズ、まだ見ぬ強豪タッグ、そして、ランデルマンまでがOHを襲撃!!

O.H.Hohhhh!!!!!

「俺たちは保証のない中を生
じゃなくて、『闘うようにする

リスマルクJr．の方もあるんで、こっちの方も非常にわからないですね、どうなるかは。読めないのが多いです。トム・ハワードとジョージKっていうのは、トム・ハワードがフランスの特殊部隊とコンタクトを取って連れてきたっていうけど……わからないものだらけだよ（笑）。

驚きなのは、プレデターと〝リアル・ドンキーコングス〟を結成するケビン・ランデルマンだ。プロレス参戦は、評価が高かった昨年11月と今年1月の『W—1』以来だが、『PRIDE』のミドル級GPを蹴ってまで、〝打倒、OH〟に名乗りを挙げたとも言われるプロレスへのモチベーションは、どうやら本物のようだ。

小川　（ランデルマンは）日本の状態を知ってるから。要するに『PRIDE』に出てる選手でも、日本の状況っていうのはわかってますから。どこに出たら自分が一番目立つかとか、どれをやったら自分が一番になれるかっていうのが、よくわかってる選手じゃないかなって思いますね。

会見を終えたOHは、来たときと同じように、オーちゃんが車椅子に乗った破壊王を後ろから押してホテルまで移動。しかしまたここで事件が！　破壊王が「ヴァーーーッ!!」という大声を張り上げた。段差と破壊王の体重で車椅子の小さな車輪がベキッとヘシ曲がってしまったのだ。さすが〝破壊〟王！　しかも車椅子から降りようとしても、し、尻が抜けない！（「俺はデブじゃないゾ！」by破壊王）見てみ、この台本のないコントのようなハプニング！　怪我人に対し、報道陣も「ダメだ、こりゃ」とも言えないが、破壊王自らが「最後にいいオチがついたな。ガハハハハ」と豪快に大笑い。そんな破壊王を見ていると、心配することもなさそうな気もしてくるのだが、20日の時点で正式な検査結果発表、病状報告はされていない。

19日には都内で、オーちゃんが申し出た、次期シリーズの〝代打参戦〟を「ありがたいことだ」と言いながらも、27日の開幕戦から強行出場する覚悟を吐露した破壊王。

関係者の話によると、右ヒザの半月板と前十字靭帯の両方が損傷している可能性もあり、さらには靭帯が切れている可能性もまだ否定できず、この場合は半年以上リングに上がることはできないという。

「切れてたら切れてたときのことや！」と破壊王は豪快に言い放つが、松葉杖は手放せず、痛みも消えていないという。あくまでシリーズフル出場にこだわった場合、7・6両国までに右ヒザがパンク。最悪、選手生命が終わることもありえる。「それも運命と思うしかない」と破壊王はつぶやくが……。

ノーアングルでのアクシデントで、OHクライシスはMAXに達してしまった。この号が出るころには破壊王の動向＆病状はハッキリしているだろうが、7・6両国、そして『OH祭り』は、破壊王と暴走王にとって地獄のリングとなりそうだ。どうなる、OH砲!?

破壊王、車椅子を破壊!!
その意気で立ち上がれ!!

ココに注目!!

会見終了後、まるでドリフのコントのように車椅子を破壊してしまった破壊王。段差のせいか？　それとも体重のせいか？

破壊された車椅子での移動をあきらめ、松葉杖を使っての移動に切り替えた破壊王。ピッタリ寄り添う暴走王がかいがいしい

『OH祭り～ワールドタッグリーグ戦～』概要

2リーグ
全10チームが2リーグに分かれてリーグ戦を行い、両リーグのトップチーム同士が7・21富士急ハイランド大会で決勝戦を行なう。リーグ分けは、この号が発売される頃には発表されてるはず！

ルール
「OHルールや！」（破壊王・談）。正式にはこの号が発売される頃には発表されてるはず！
コリノのパートナー・Mr.Xは現在のところ未定。「小川の所属はUFOだからな。MIEちゃんかもしれない。KEIちゃんかもしれない」とのこと。

ルドタッグリーグ戦～』出場全チーム!!

世界からの刺客だ!!

夏だ！ 祭りだ！ 闘いだ！ OH砲を襲う世界の強豪タッグの全貌（or半貌）が遂に明かされた。破壊王の負傷によって瀕死の状態のOH！ 頑張れ！「オー、エイチ、ホーーッ!!」

実力派、正統派、
特殊部隊、怪奇派、
巨人、巨腹!!
のスケール&
白さ&迫力の
ド・タッグリーグ
に開幕!!

“超獣と野獣がド迫力合体!!”

ザ・プレデター&ケビン・ランデルマン

［リアル・ドンキーコングス］

驚くことに“超獣”の相棒は、“野獣”ランデルマンだった！ PRIDEミドル級ＧＰを蹴ってまで参戦したというプロレスへのモチベーションは本物だ。大きいドンキーコングのパワー＋小さいドンキーコングのスピード＆跳躍力は、OHにとって最大の脅威だ！

“圧殺巨腹兄弟、上陸!!”

マット・ガファリ&シブ・ガファリ

［ガファリ・ブラザーズ］

来日前から伝説化しているガファリ弟のベールが遂に剥がされる。シブは当然レスリングの強者で、兄貴よりデカイという話だ。兄貴とダブルで相手を挟む“ガファリ・サンド”で圧殺されるチームは後を絶たないだろう。弟がコンタクト・レンズをしているかどうかは定かではないが優勝候補だ。

?

?

“米仏特殊部隊、参上!!”

トム・ハワード&ジョージK

トム・ハワードがフランスの特殊部隊出身の謎のレスラーとコンタクトを取ったという噂は以前から一部で流れていたが、この栄誉あるタッグリーグ戦に、いよいよトムがその強者を投入してくる。生い立ち、経歴、戦績等、すべて謎に包まれたジョージＫとは、いったい何者だ!?

“13日の金曜日の恐怖が襲う!!”

ジェイソン・ザ・レジェンド&ジェイソン・ザ・ダイナマイト

［ザ・ジェイソンズ］

火を噴く電動ノコを持ちZERO-ONEマットで暴れ回るＪ・レジェンドが、２ｍを超す巨体を誇るというＪ・ダイナマイトを引き連れ襲来！「レジェンド」に「ダイナマイト」？ なんだか昨年夏を思い出すぞ。“ん～、ダイナマイッ！”な恐怖は、超ダークホース的匂いが充満だ

7·11開幕!!『OH祭り～ワールドタ

これが

OH砲を襲う、世界

「ハシモト、バカー！」と叫んでのDDT。「オガワ、モットバカー！」と叫びながらのヘナチョコSTOを見るまでもなく、密かに“打倒、OH”を企てているのがコリノだ。Mr. Xの正体は開幕戦まで明かさないと言い張るところが逆に不気味。大物の可能性も大アリだ

昨年一度対戦し、ギリギリまでOHを追い込んだ大谷&田中に、大舞台での“OH刈り”のチャンスが遂に巡ってきた。このリーグ戦後には『火祭り』を控える炎武連夢だが、その前にOH、そして「ビッグネームの皆さん」（大谷調）を火祭りにあげる腹づもりだ

“灼熱のOH刈り!!”
大谷晋二郎&田中将斗
［炎武連夢］

“漂う企みの香り”
スティーブ・コリノ&Mr.X

実力派正統
怪物、特殊部隊
巨人亘尻
怒濤のカ
面白さ、迫
ワールド・ッ
遂に開

藤原組直系の弟子・石川雄規を引き連れ、組長も灼熱のリーグ戦に名乗りを挙げた。組長のキャリアと石川社長の情念が絡まれば大物の足を引っ張ることも可能で、相手にとっては実に嫌なチームとなってくる。純血師弟のコンビネーションとしつこさに注目だ

“唸る純血師弟コンビ!”
藤原喜明&石川雄規

“ルチャ最強の重量編隊飛行”
ドス・カラスJr.&リスマルクJr.

『DEEP』で大車輪の活躍を見せるドスJr.が、“青い翼”と呼ばれた有名ルチャドール・リスマルクの息子を伴って飛来。ドスJr.もルチャドールにしてはデカイが、リスマルクJr.も190cm級の体格を誇るだけに重量編隊飛行が見れそうだ。「重量変態じゃないぞ！」（by破壊王）。

『OH祭り～ワールドタッグリーグ戦～』日程&チケット情報

［第1戦］7月11日（金）東京・後楽園ホール
特別リングサイド¥7000／A席¥6000／B席¥5000

［第2戦］7月13日（日）徳島・徳島市立体育館
特別リングサイド¥7000／リングサイド¥6000／指定A席¥5000／指定B席¥3500

［第3戦］7月16日（水）愛知・ポートメッセなごや
特別リングサイド¥15000／リングサイド¥10000／1階スタンド席¥6000／2階スタンド席¥5000

［第4戦］7月18日（金）兵庫・尼崎記念公園総合体育館アリーナ
A席¥8000／アリーナB席¥7000／1階スタンド席¥6000／2階スタンド席¥5000

［決勝戦］7月21日（月・祭）
山梨・富士急ハイランド“コニファーフォレスト”17:00
VIP席¥20000／特別リングサイド¥15000／リングサイド¥10000／指定A席¥8000／指定B席¥5000

※時間表記のない大会は18時試合開始。当日券はすべて¥1000増。

［チケット発売所］
CNプレイガイド03-5802-9999／チケットぴあ0570-02-9977 他で絶賛発売中!!

［チケット等問い合わせ］ OH祭り事務局 03-5251-5320

“越境若虎タッグ!!”
藤井克久&佐藤耕平

ライバルでもあるUFOとZERO-ONEの若虎同士が越境コンビを結成。勢いよく殴り込んでくる。進境著しい耕平に、いい意味でのライバル心を燃やせば、藤井の大バケもありえる。ふだんよりもこういったリーグ戦で起こりやすい“大物喰い”に期待だ。ん～、ワカトラッ!!

OH砲と闘わせたかった!!

THE LEGEND of 史上最強タッグチーム列伝 TAG TEAM

現代の日本マット界では唯一の本格派超大物タッグとして、その地位を不動のものとしているOH砲。しかし、かつての日本マット黄金時代には、OHに劣らぬ名コンビが多数存在したのだ。というわけで、ここでは時空を超えてそんな歴史に残る名コンビとOH砲の対決に思いを馳せてみよう。

構成／堀江ガンツ
designed by hisa（Two Three）

すべてのライバル関係の頂点!

“BI砲”
ジャイアント馬場 & アントニオ猪木
GIANT BABA　ANTONIO INOKI

まさに空前絶後、プロレス界という括りなど遙かに飛び越え、プロ野球のＯＮ（王・長嶋）と並んで、戦後の日本を代表する永遠のライバル同士、それがＢＩ砲だ。日本のマット界がここまで発展したのは、この二人の30年以上に渡る“人生の力比べ”があったからこそだということに、異論を挟む者はいないだろう。「ライバル」や「同志」などの言葉では到底語り尽くせない関係。そしていま、唯一それを感じさせてくれるのがＯＨ砲なのだ。

“超獣コンビ”
スタン・ハンセン & ブルーザー・ブロディ
STAN HANSEN

BRUISER BRODY

25歳以上のプロレスファンに「史上最強のタッグチームは誰か」と聞けば、ほぼ全員がこの二人と答えるのではないかというほど、“強さ”のリアリティを体中から発散していた超獣コンビ。最高の親友であり最大のライバルである、最強のシングルプレイヤー同士が合体した、究極のタッグチームだ。そして80年代後半、プロレスファンの誰もが見たがった二人の一騎打ちが実現しかけたその直後に、ブロディが殺害され、唐突に幕を閉じた二人の関係。すべてがドラマチック。月並みだが、こんなタッグは二度と現れないだろう。

誰もが口を揃える史上最強タッグ

新日本プロレス史上最高のタッグチーム

“スーパー・バイオレンス・コンビ”
ディック・マードック & アドリアン・アドニス
DICK MURDOCH

ADRIAN ADONIS

今も昔もシングル指向が強い新日マットだが、80年代前半には最高のタッグチームが存在した。それがこのマードック＆アドニスだ。喧嘩をやらせたらプロレス界最強と言われたマードックと、“鬼コーチ”フレッド・アトキンスに徹底的に鍛えられた“暴走狼”アドニス。誰もが口を揃える“強さ”の裏付けを持ちつつ、リング上では合体パイルドライバーを初公開するなど、プロレスの面白さを、時にはお尻ペロンしながら見せてくれたこの二人こそ、タッグチームの、そしてプロレスラーの鏡と言えるだろう。

“エリック・ブラザース”
ケビン・フォン・エリック & ケリー・フォン・エリック
KEVIN VON ERICH

KERRY VON ERICH

若き日の破壊王の憧れ！

日本人抗争が主流になって以来、魅力的な外人選手の存在が乏しかった80年代中頃の新日マットに、華やかで明るいアメリカン・プロレスの魅力を運んで来た“鉄の爪兄弟”エリック・ブラザース。藤波辰巳と木村健悟が「ニューリーダーズ」としてタッグ王座に君臨してしまうような当時の新日本には、二人の輝きはあまりにも眩しすぎた。ちなみに当時若手だった破壊王は、この二人の格好良さに憧れ「どう？ ケビン・フォン・エリックみたいだろ？」と言ってよく裸足で練習していたという。ビバ、破壊王！

“マクガイヤー・ブラザーズ”

ベニー・マクガイヤー&

BENNY McGUIRE

ビリー・マクガイヤー

BILLY McGUIRE

究極のクソデブ！ 二人揃ってオーバー300キロ！

見てみ、この腹！ これぞ究極の「クソデブ」、オーバー300ポンド（137キロ）どころか、両者共にオーバー300キロ（0.3トン！）の双子という、ガファリ・ブラザースも裸足で逃げ出すビックリ人間大賞だ。ロクな外人が呼べずに観客動員に大苦戦していた黎明期の新日本で、大いに人気を博したこの二人、ホンダのミニバイクに乗って入場する姿が有名だが、弟ビリーは結局バイク事故で死んでしまうというオチも完璧だった。

悪のプロフェッショナル！

“狂える最凶コンビ”

タイガー・ジェット・シン

TIGER JEET SINGH

&上田馬之助

UMANOSUKE UEDA

歴史に残る悪党コンビというと、ブッチャー＆ザ・シークの“最凶コンビ”も捨てがたいが、本稿の趣旨である「ＯＨ砲と闘わせたい」となると断然、シン＆上田組となる。会場中の憎悪を一身に浴びる本物のヒールであるだけでなく、グレート・ガマ流レスリングの正統継承者シンと、前田日明も認める力道山道場の元祖シューター・上田という、本物の実力者タッグだけに、ＯＨ砲と闘うには打ってつけのチームと言える。

これぞ王者の中の王者！

“ミスター・プロレスコンビ”

ハーリー・レイス&

HURRY RACE

ニック・ボックウィンクル

NICK BOCKWINKLE

今年の５月、どっかの日本人二人の試合が「ミスター・プロレス対決」などと一部では呼ばれていたようだが、“ミスター・プロレス”と言えば、誰が何と言おうと我らがハーリーにおいて他ならぬことは、賢明なる『紙プロ』読者にはおわかりいただけるだろう。なんと言っても“世界最高峰”ＮＷＡ王座に就くこと実に７回。その理由が、「どんな素人に喧嘩を売られても、必ずブチのめしてプロレスの権威を守れる裏の実力があるから」というのだから、最高過ぎる。

“北米タッグ王者コンビ”

坂口征二 & 長州力

BIG SAKA　RIKI CHOSYU

これぞ“リアル”新日本プロレス代表コンビ。「キング・オブ・スポーツ」「プロレスこそ最強」を標榜した昭和・新日本プロレスの中でも、間違いなく“リアル最強コンビ”と呼べるのはこの二人であることは、ピーター本を読むまでもなくおわかりいただけるであろう。しかも、長州、坂口共にオーちゃんとは抜き差しならない因縁があるのだから、ＯＨ砲の相手としては、これ以上ないタッグだ。いまもし、実現してもメチャクチャ見たい！

“リアル”新日本史上最強タッグ

目ぇつぶって30秒！

“ナチュラル・パワーズ”

谷津嘉章 & キング・ハク

YOSHIAKI YATSU　KING HAKU

ＳＷＳ世界タッグ王者として龍原砲やロード・ウォリアーズと対戦するなど活躍していた谷津＆ハク。しかし、よくよく考えてみたら、米マット界で「ケンカ最強」の名を欲しいままにするキング・ハクと、「目ぇつぶって30秒！」の我らが谷津親分がなぜか国境を越えてタッグを組んでしまった、ホントにメチャ強いコンビだったのだから、さすがは「真剣試合」を標榜するＳＷＳなのだ。

“馬場一家”を支え続けた門番

全日本プロレスを代表して登場するのは、鶴龍コンビでも龍原砲でもなく、ましてや川田＆田上であるはずがなく、やはりこの極道コンビを推薦したい。バットで叩かれてもびくともしない頑丈な肉体を誇る大熊と、力道山道場の集隊魂を持つ小鹿のコンビは、あの“超獣コンビ”ハンセン＆ブロディ組の初戦を努めるなど、馬場一家の門番として昭和全日本のポリスマン的役割を果たしていた裏実力派タッグだ。まぁでも、極道コンビの相手は、ＯＨ砲じゃなくて、昭和・新日本の前座実力派タッグ、藤原＆荒川でもいいか。

“極道コンビ”

大熊元司 & グレート小鹿

MOTOSHI OKUMA　GREAT KOJIKA

荒くれ二丁拳銃！

“UWF最強コンビ”

前田日明 & 髙田延彦

AKIRA MAEDA　NOBUHIKO TAKADA

“U系のＢＩ砲”とも言うべき、マット界の二大巨頭。80年代後半はＵＷＦの若大将コンビとして、ＩＷＧＰ王座に君臨。そんな凄いベルトをいまは、棚橋＆吉江組が巻いているというのだから、現在の新日本プロレスは悪い冗談としか言いようがない。もし、この時代の前田と高田がＯＨ砲との対戦していたならば、前田と小川の攻防がセメントに発展、するとすぐさま高田が破壊王からアッサリピンを取られて事態を収拾。客席からは「お前は男だ」ならぬ「お前は大人だ！」と言われる展開になることは、容易に想像がつくだろう。そう、87年11月19日のように。

激震＆爆進!!
ZERO-ONEの今を読み解く6つのキーワード

＆
6月シリーズ『ZERO-ONE FLASH』
6·14『Fantastic Fukusima』
詳細レポート

試合写真／平工幸雄、乾晋也 構成／ささきぃ
designed by hisa（Two Three）

『紙のZERO-ONE』
「特別ふろく」
つき!!

ZERO-ONEの今後を読み解くキーワード

01 重傷

破壊王、右ヒザ負傷!! 小川直也、次期シリーズ休場を進言!!

6月17日に行われた『OH祭り』会見で、松葉杖姿の痛々しい破壊王。暴走王も心配そうに寄り添っている

破壊王に代わって中村渉外部長が「足がつけない状態で、右ひざじん帯損傷、もしくは半月板損傷の疑い」とコメント。この日は山笠Z"信介も第1試合で右ヒザをケガ、病院に運ばれていた

破壊王、右ヒザ負傷!! エンジン全開、イケイケドンドン状態のZERO—ONEに、突如暗雲がたちこめた。6・14福島大会では、現在入団保留中の葛西純がメイン初登場。同じくメイン初登場のFEC・日高郁人を羽交い締めにする組長。葛西が平手を放つも、日高にかわされて組長に同士討ち! 組長に「反省しろ!」と叱られ、リング内で「反省」を披露するおサル。この日の注目ポイントはあくまでおサルのはずだった。しかし、この時すでに事故は起きていた。

大会の最後、いつもリング中央で行うシメの挨拶時にも、破壊王は自軍コーナーから動けぬまま。「しょっぱい試合になってしまってすいません」。早々にリングを降りる破壊王。葛西が観客を気遣って「お前がシメろよ!」と、耕平にマイクを渡す。

若手に付き添われ、松葉杖で会場を去る破壊王。雨でスリップしかけた姿に、女性記者の悲鳴があがった。苦しい表情で「今のがトドメだったんじゃないか」と、破壊王がつぶやく。

今まで、何度もマイナスをプラスに変えてきた破壊王だが、ケガだけは、どうしようもない。プロレス界の明るい話題を提供しつづけてきた破壊王を襲ったアクシデントに、関係者が重い気持ちに包まれる。

しかし、3日後の『OH祭り』会見に車イス姿で登場した破壊王は、ミゾにはまって車イス(借り物)の車輪を曲げ、お尻がイスから抜けなくなるという方法(?)で、アッサリその重い気持ちをブチ壊してくれた。ビバ、破壊王!

さすがの破壊王も事故当日は落ち込んだらしいし、ケガが重傷であるのも間違いないのだが、破壊王はやっぱり破壊王であるのだな、という、当然の事実が大きな希望のように感じられた。どんな時でも笑いの神が勝手に降りてきてしまうという破壊王の精神のタフさは、冗談でなく本当に素晴らしいと思う。あとは、ケガが回復することを祈るのみだ。頑張れ、破壊王(の右ヒザ)!!

試合序盤、耕平に強烈なストンピングを放った破壊王。自軍コーナーに戻ると、深刻な表情となって自身の右ヒザを確認、これ以降は、ほとんど試合に参加することはなかった

「お前がシメろよ!」と、葛西にマイクを渡された耕平は「えー、自分がやっていいのかわかりませんが……ご起立ください」と、戸惑いながらマイク。日高、横井、耕平という珍しいメンバーで「スリー、トゥー、ワン、ゼロワン!」が行われた

目を真っ赤にして、大粒の涙を流しながらコメントする大谷。「プロレスの教科書100ページ、記念すべき100ページだ」。手には、いつも携えている火祭り刀をしっかり握っていた

大谷晋二郎、母の死を乗り越え プロレスラー魂を貫く……!!
「プロレスの教科書」の教えとは!?

破壊王が三冠防衛に成功した翌日、ZERO－ONE入団試験・追試中の葛西純がはじめてZERO－ONEのメインに出場！　さらに当日は、7・6両国大会のカード発表記者会見！……という、ボーナストラック的な闘いを期待して訪れた6・14福島大会。だが会場には、とても悲しいニュースが届いていた。大谷晋二郎の母、恵子さんがこの日の朝、交通事故で亡くなった。まだ、56歳の若さだという。

言葉がない。こういう時、出場するという事実が大谷晋二郎というレスラーの強さだということは分かっているつもりだった。きっと、いつも以上に熱く面白いファイトをするのが大谷晋二郎だ。その相手が流星番長・星川尚浩ならば、なおさらだ。

大谷のファイトから、母を今朝失った男の悲しさを感じ取った観客はいなかったと思う。いつも以上、いや、いつもと同じ、熱くてよくしゃべる大谷晋二郎の闘いがそこにあった。「どうしたジュニアヘビー！」と叫んで星川に平手を放つ。星川も放送席をひっくり返して大谷に飛び込んだ。突然のことに、放送席で試合を見守っていた阿部八郎レフェリーが転んで痛みをこらえる中、顔面ウォッシュ、逆片エビ、スワンダイブ、ドラゴンスープレックスと、必殺技のフルコースを経て、スパイラル・ボムで大谷が勝利した。

試合後大谷は、集まった報道陣を見回して「ジュニアだからと言って、星川の力をなめてたところがあるかもしれない。苦戦させられちまった。あいつと高岩がいる限り、ZERO－ONEのジュニアは大丈夫だ」と、試合を振り返った後、声を震わせた。

「プロレスの教科書100ページ。記念すべき100ページだ。しっかり書いておけ。プロレスラーが暗い顔してて、誰がプロレスを好きになるんだ。やってる奴らが楽しくなくて、誰がプロレスの楽しさを伝えられるんだ。俺はプロレスラーだ。プロレスラーには、プライベートなんかない。つらいけど、つらくなんかねぇよ」と、刀を振り回し、涙を流しながら語った。

観客に、断固としてその事実を隠し通した大谷は、報道陣に対しても、最後まで隠し続けるかと思っていた。だが、そうではなかった。それが、大谷が亡くしてしまった存在の大きさを語っていたのと同時に、大谷のプロ意識の高さを物語っていた。

何も語らずに、控室に消えたとしても、全く非難されるはずはないのに、大谷は普段「俺たちはいつ

スパイラルボムで勝利後、星川の手を上げて健闘を称え、いつものように火祭り刀を構える大谷。福島の観客に礼をしてリングを降りた

試合当日の朝、母を亡くしたとは思えない熱い表情とファイトで、星川を追いつめる大谷。悲しみを抱えた状態で試合に出場した大谷はもちろんだが、その相手を務めた星川尚浩もまた称えられるべきだろう。ヘビー級の大谷を相手に、終始引かないファイトを展開した

ZERO-ONEの今後を読み解くキーワード

02

プロレスの教科書

プロレスの教科書シリーズ・その2、6・13全日本愛知県大会。大谷は田中&保坂とタッグを組んで川田&奥村&荒谷組と対戦、保坂が川田のパワーボムで敗れた。大谷は「プロレスの教科書の87ページを忘れてた。川田利明は、全日本プロレスの切り札。そうだったな。負けたけど、ちっともこたえちゃいねぇぞ。俺たちはピンピンしてる。またあと12試合だって出来る。……いや、12試合は無理だな、あと2試合にしてくれ」と、訂正をしながらコメント

プロレスの教科書シリーズ・その1、6・6千葉大会。マイクで『火祭り』参戦を直訴してきた耕平&横井に対して「出場を決めるのは俺たちじゃねぇ」とけん制。さらに「耕平、客にヤジられるような、しょっぺぇマイクアピールしてんじゃねぇよ！　お前はアレクか」と続けた。田中が「うまいこと言うた」と感心する横で「プロレスの教科書37ページ、よく読んで復習してこい」と、これまで極秘裏にされてきた幻の"プロレス教科書"の存在を初めて明かした

だって何でもしゃべる」と宣言していた事実を守った。今シリーズからその存在を明かしている「プロレスの教科書」から引用して、流れる涙を隠すこともなく、とてつもない悲しみを抱えた自らの思いを引きずり出して、さらけ出した。

大谷は、記者陣を見回して「どいつもこいつも、しけた顔してんなぁ。もっと明るい顔しろよ、プロレスは楽しいぞ。こんなに素晴らしいものはない。プロレスが好きで好きでしょうがねぇ俺が、どんな状況だってそれを教えてやる」と言い放ち、「俺の大事な人も、きっとそう思ってお天道様から見守っていてくれる」と続けた。最後はいつものように「何かありますか？」と記者に質問をうながし「『火祭り』よろしくお願いします。ありがとうございました」と礼をして、控室へ消えた。

大谷の持つ「プロレスの教科書」のどこかには、プロレスラーは、親の死に目にもあえない職業だという、重く厳しい掟が記されている。だが、それを守るか、守らないかは、レスラー一人一人の判断に託されている。

大谷は、己の意志でその掟を守ることを選び、あくまでも「プロレスラー」であることを選んだ。観客にはすべてを隠してプロレスの楽しさを見せ、報道陣には、すべてをさらけ出して「プロレスラー」の在り方を突きつけたのだ。その精神力とプロ意識は、どれほどの言葉を尽くしても、称えきれるものではない。

最後に、謹んで大谷恵子さんの御冥福をお祈りいたします。

アレクサンダー大塚、ZERO-ONEマットで大・大・ブーイング&帰れコール!!

5・29後楽園大会、セミファイナルの大谷晋二郎&田中将斗vs藤原喜明&臼田勝美戦の最中にアレクが乱入。大谷の足をすくい、そのまま乱入！　豪快なジャーマンをぶちかましてストンピング。観客は大・大・ブーイングを送っていた

観客を「うるさい、黙れ」と罵倒するアレク。観客は大“帰れ”コール

6・5後楽園大会では、藤原組勢の入場時、セコンドにつくアレクに大ブーイングと、大帰れコールが発生。これに対し、アレクは本当に控室へ帰ってしまう。先生に「やる気がないなら出て行きなさい」と叱られ、本当に出ていってしまう小学生のようだった。意地を見せろ、アレク!!

「こんなことがやりたいんなら、ZERO-ONEに来るんじゃねぇ！」と、アレクを罵倒する田中。試合後も「誰が、あんなん見たいねん。簡単にプロレスプロレス、言うなボケ!!」と、怒り心頭

ZERO-ONEの今後を読み解くキーワード

03 中途半端

アレクサンダー大塚が、予告通りZERO-ONEマットに乱入!! 5月29日、後楽園大会のセミファイナル、大谷と藤原組長の因縁タッグ対決のさ中、突如アレクが大谷の足をすくい上げてマットに乗り込み、いきなりジャーマン!! 不意打ち(投げ?)をくらって失神状態の大谷に代わり、怒りの田中将斗がマイクを持った。

「おいアレク!! 『PRIDE』に上がれなくなったからってZERO-ONEに来たんかい!!」

田中のマイクに「ワイはなぁ、本気でプロレスをするんじゃぁ」とアレクが阿波弁で叫ぶも、会場の“帰れコール”は強くなるばかり。後日、アレクに対し、大谷は「オレがアレクの立場だったら、最高のヒールになってやるけどな。アレク、いつまでいい子ちゃんぶってるんだ。2度とオレの前に顔見せるな」と吐き捨てた。

1週間後の6・5後楽園大会、セミファイナル後にリングに登場したアレクは、ブーイングを送る客を「うるさい、黙れ、客!!」と罵倒。「大谷ィ、こんな客に応援されて嬉しいか?」と続ける。アレクの戸惑い気味の不器用なヒールっぷりを、今度は「中途半端。よそのマットで勉強しろ」と一刀両断する大谷。

己をさらけ出すことについては天才揃いのZERO-ONE選手の中に入ると、アレクはまだまだ、本当の自分をさらけ出してはいないということが、ありありと見えてしまう。

ZERO-ONE旗揚げ戦から参戦していながら、石川雄規らとともに2年前の『火祭り』参戦を土壇場でキャンセルしたアレク。事情があったにしても、「苦しい時期」を知らずに、今になってZERO-ONEに上がろうとするアレクを、ファンが図々しいと思うのも仕方がない。それを受け入れ、己の“罪”を背負いきる強さを持たない限り、アレクはきっと、観客から受け入れられない中途半端なヒールのままだろう。まして、いまのアレクがベビーフェイスに戻れるはずもない。

アレクは、このままZERO-ONEマットからフェードアウトしていってしまうのか!? それとも己の“わがまま”を貫き通し、ZERO-ONEの会場に“AOコーナー”を鳴り響かせることが出来るのか!?

横井宏考、破壊王に全てを出し切って敗北！ そのままリング上で〝逆モヒカン〟に!!

「自分の力を試すため、橋本さんと闘いたいです」5・29後楽園大会で、破壊王に挑戦表明した横井。破壊王は「正々堂々としていて、伝わりました。受けてやるゾォ!!」と、対戦を受諾した

「追いつき追い越して、橋本さんより素晴らしいプロレスラーになりたい。それが橋本さんへの恩返し」と、“プロレスラー”横井宏考の誕生を宣言した横井。翌日は見ての通りのつるつる坊主で千葉大会に参戦、試合後は『火祭り』参戦に名乗りをあげた

激闘の後、リング上で横井の髪にバリカンを入れる破壊王。「向かってくる魂は、俺を震撼させるのに十分だった」と、横井のファイトを評価したからこその叩きつぶしだった

ZERO-ONEの今後を読み解くキーワード 04 恥

6・5後楽園大会に、鬼の破壊王・降臨！　挑戦を申し込んできた横井宏考をボコボコに!!　横井の関節技、打撃に苦しい表情をみせた破壊王だったが、容赦なく、説得力ありすぎのコーナートップからの重爆フットスタンプ、顔面を狙った頭突きを放つ。腕ひしぎは、横井のニーパットを外してヒザにグーパンチを叩き込むという、前代未聞の方法で切り抜ける。「そんな手があったか」と感心する間もなく、ヒザ蹴り、ボディプレスをカウント2で起こしてSTO。格闘家・横井の心を折るためか、あえて3カウントではなく、関節技（腹固め）で、破壊王が勝利した。

付き人として、橋本の側についていた佐藤耕平が、大の字にのびている〝RОWDY〟の仲間・横井のもとへたまらず駆け寄った。立ち上がった横井は「橋本さん、ありがとうございました。自分は、今までプロレスに対して冷めた気持ちがありました。でも、今日闘ってみて、プロレスの素晴らしさを知りました。今から自分は、坊主に頭を丸めて、1からプロレスラーとして頑張っていきます」と、マイク。破壊王は「今からやるか！　椅子持ってこーいッ!!」と、横井の髪にバリカンを入れる。容赦なく叩きつぶされての、見事な玉砕。破壊王の手による丸刈りは、横井にとって、これまでの自分と決別する儀式の意味が込められていただろう。

しかし儀式は、横井の中央の髪の毛を剃り落とした、逆モヒカン状態でなぜか終了。負けた直後にその頭で「スリー、トゥー、ワン、ゼロ、ワーン!!」と拳を突き上げる横井の姿は、すがすがしいほどマヌケで、まさしく「恥」という単語がピッタリだった。

「かいて　かいて　恥かいて　裸になったら見えてくる　己の本当の姿」——かつて、破壊王が小川直也に敗れた時、アントン総帥が破壊王に送ったポエムである。圧倒的な敗北という赤っ恥をかいたことで、己の殻を破壊した男が、また新たに誕生した。

試合後、逆モヒカン状態のままリングを降りようとする横井を「いま全部、恥かいちまえよ！　一緒に恥かけ!!」と引き留めた破壊王。2人で「スリー、トゥー、ワン、ゼロ、ワーン!!」を行った後「また1人、プロレスの宝ができあがったと思います」と、横井を高く評価した

6・13の三冠戦は、小島が健闘するも破壊王が垂直落下式DDTで勝利。破壊王は「小島よ、強くなったな。一発一発が重いよ」と、ポツリ。すぐに「小島、ごちそうさん!!」と、お腹いっぱいの攻撃だったことを表現し「全日本、逃がさんぞ。オラァ」と続けた

小島聡、ZERO-ONEマットに殴り込み!! 対抗戦をイッキに熱くさせる!!

5・24岩手大会では、嵐とのタッグで橋本真也＆横井宏考と激突!! 破壊王の強烈なチョップを喰らうも、ラリアットで横井をフォール!! 試合後は「オマエら、スリー、トゥー、ワン、全日本だ!! 行くぞ!!」と、マットを一時占領、コールを要求した（観客は応えず）

ZERO-ONEの今後を読み解くキーワード

05 オレンジ仮面

オレンジ仮面、ZERO—ONEマットに襲来！ 合い言葉は「いっちゃうぞ、バカヤロー!!」……ところで、オレンジ仮面って何？

オレンジ仮面の正体について説明するには、現在、ZERO—ONEと絶賛抗争中の全日本の若大将・小島聡のことを避けては通れない。小島は、嵐、ケンドー・カシンらとともに、5・22からZERO—ONE東北3大会にシリーズ参戦。5・22の試合後はOH砲を襲撃、小川直也から「出てこい、このオレンジ!!」という「小島、お前誰だ!?」に続く名マイクを引き出すことに成功。後に、小島が「いまだに僕の名前を覚えてくれていないから、オレンジ仮面として出てやる」と、小川を皮肉ったことから、小島＝オレンジ仮面という図式が成立した。

「潰すゾ!!」「根絶やしだ、根絶やし!!」「三倍返しにしてやる!!」と、いちいち素敵なコメントを放つ破壊王と、対抗戦になると途端に一枚岩になるZERO—ONE勢に対し、いわば〝特攻隊長〟として殴り込みをかけ、全日本内のムードも高め、抗争を盛り上げたのが小島聡である。ZERO—ONEの客をひとりでも多く全日本に奪ってやるとばかりに闘い、乱入しまくり、その後も「小川君に、プロレスを教えてやる」「付け人時代、橋本にセミ300匹を部屋に放たれた恨みを晴らす」と、OH砲を追い込み、三冠戦に挑む自分を追いつめた。

6・13の三冠戦では、敗れるも「強くなったな、小島」という言葉を破壊王から引き出し、武藤敬司・川田利明の2人をリングに登場させた。

結果だけを見ると、トップ対決へ向けての引き立て役になってしまったかのように見える小島だが、ZERO—ONEで目立ちまくり、シリーズ参戦を経て、どれだけの観客を小島聡に注目させていったか、ということを考えると、今後最もZERO—ONEを苦しませる男は、小島、いやオレンジ仮面かもしれない。

突然殴りかかってマイク、そして去っていった男に暴走王の怒りは止まらない。「ふざけんじゃねぇぞ、出て来い、このオレンジ!!」と、小島を呼び戻すべく叫ぶが、小島はリングには現れず。「黒いヤツ（川田）しか頭にはなかったが、あのオレンジがそう来るんなら、次はブチ殺してやる」と激昂

5・22福島大会では、試合後のOH砲を襲撃!! 小川の顔面にパンチを叩き込み、マイクで「橋本ォ!! オマエの三冠ベルト、オレに、いや全日本に返してもらうからな!! 小川、パンチとキックしかできねぇのなら、俺がプロレスを教えてやるよ、バカヤロー!!」と叫んだ

ZERO-ONEの今後を読み解くキーワード

06 亘ちゃん

(ワタル)

葛西純、天下一Jr.チャンピオンのベルトを盗んで大暴れ!! ウッキー!!

試合序盤、「亘ちゃん」こと坂田の強烈なキックの嵐で早くも葛西は大流血!! 構わず攻め込む坂田の真っ白なタイツとレガースが、返り血でみるみる赤く染まっていった

坂田が掴んだ葛西のしっぽは、ズボンとともにするりと脱げてしまった!! リング上からマイクで「亘ちゃん」呼ばわりする葛西を、悔しげに見つめる天下一Jr.王者。

5・29後楽園大会の第5試合、〝小池栄子のプリンス〟坂田亘に挑んだ葛西純のZERO—ONE入団査定試合で、とんだハプニングが起きてしまった!!

前哨戦となった5・24岩手でのタッグ対決で「亘ちゃん出てこいよ!!」と、おサルから「亘ちゃん」呼ばわりされたことに、本気でカチンときていたらしい坂田は、葛西のゴング前からのちょっかいで、早速ブチ切れモードに突入。「あ〜あ、怒らせちゃった」と、観客が期待(?)する中、厳しい攻めでおサルを大流血させる。

起死回生の急所蹴りから有刺鉄線バット攻撃で反撃するサル。得意の場外戦へ持ち込み、坂田と大・椅子チャンバラを繰り広げる。カウント19が数えられ、誰もが両者リングアウトと思った瞬間、坂田が葛西のしっぽを掴むと、しっぽごとズボンを脱いだ葛西がリングアウト勝ち!!

予想もしないサプライズに大興奮の館内!! そして思わぬ敗北に悔しがる坂田に対し、マイクを握った葛西は「亘ちゃん、格闘技は強けりゃいいのかもしれないけど、プロレスは強さプラスおつむの良さが必要なんだよ!! それからもうひとつ、チャンピオンはいつ何時、誰の挑戦でも受けるんだよな? 今日は俺っちが勝ったから、ベルトはもらって行きま〜す!!」と、ベルトを手に全力疾走!! 逃げた葛西は、現在もベルトを勝手に保持。このままでは、権威あるZERO—ONEの天下一Jr.ベルトが、かつてのWWEのハードコア選手権(もしくは、DDTのアイアンマンチャンピオンベルト)のように、いつ何時でもチャンピオンシップが行われるベルトになってしまう可能性もある(のか?)。

事態を重く見た破壊王は、葛西のZERO—ONE入団を保留。次シリーズでの「追試」を宣告した。はたして、おサルの傍若無人な行動を止めるのは誰か!? そして、奥深いプロレスの領域に踏み込んだ天下一Jr.の報復は、いつ行われるのか!?

事件の翌日、5・30三重大会で中村部長はベルト返却を要求。しかし、おサルは「エッ、母ちゃんが危篤!? こうしちゃいられねぇ」とその場から逃走!! 6・6千葉大会では「あっ、オッキーが呼んでますよ」と、部長の目をそらしたスキにやっぱり逃走

6・5後楽園では、高岩竜一に敗れたおサル。「俺的には、今日は天下一Jr.ベルトはかけてません」と、自作の「猿下一Jr.ベルト」を高岩に譲渡……しようとするも、断られる。「つきあい悪りぃな!!」と怒りながらも「今日から俺っちを二冠王と呼べ」と豪語

紙のケンドー・カシン

ケンドー・カシン ZERO-ONEリングアナ オッキーを襲撃!!

こんなことが許されるのか!? 6月13日、全日本愛知県大会控室前で事件は起こった。試合を終えて控室へ戻ってきたカシン＆ジャイアント・キマラは、炎武連夢の控室前で、火祭り刀を捧げ持って待機していたオッキーこと沖田リングアナを発見。カシンは「お前、こんなところで何してるんだ」と、全日本控室前に居る他団体のリングアナ兼営業に語気を荒め、火祭り刀に対し「何だそれは、銃刀法違反じゃないか」と、キマラとともにオッキーに襲いかかった。カシンは「中村はどうした」と威嚇しながらテーピングでオッキーを後ろ手に縛り、メガネと火祭り刀を奪った。

オッキーが「メガネ、メガネ」と、懇願するのも聞かず、カシンは火祭り刀をサヤから抜き、そばにいた全日本青木取締役に命じてオッキーの首をはねようとする。しかし、本来の持ち主でない青木取締役には刀を使いこなすことが出来なかったのか、それともカシンが生まれてまもないオッキーの子供のことを考えたのか、真相は謎のままに打ち首は中断され、オッキーは生きて全日本会場を出ることに成功。全日本vsZERO-ONEの抗争は、フロント陣も油断できない、まさしく“潰しあい”の名にふさわしい状況となってきた。

村山大値レフェリーもビックリ!!

ZERO-ONEの1カ月丸わかり（?）

紙のZERO-ONE

今後のZORO-ONEを探っていくべく、6つのキーワードを用意したものの、それだけではおさまりきらないニュースが盛り沢山のZORO-ONE今シリーズ（いつもだけど）。よって、以前に一度だけ開設した幻の『紙のZORO-ONE』が電撃復活！ ZORO-ONEのページなのに、なぜか『紙のケンドー・カシン』もプチ開設!! いくぞーッ、スリー、トゥー、ワン、ゼロ、ワーンッ!!

Others

●5・30、三重大会の会場で某メジャー団体の営業が「スパイ行為（※映像説明より）」を働き、これに怒ったプレデターがチェーンで柱に縛り付け、暴行を加えるという事件が起きた。この映像は、6・5後楽園大会の試合前にダイジェストで放映。しばりつけられた営業の顔は、「キング・オブ・スポーツ」と入ったライオンマークで隠されていたので、どこの営業かは謎に包まれている。

●同じく5・30、耕平＆横井がUFO・藤井克久を自身らのチーム“ＲＯＷＤＹ”に勧誘。ともに闘っていくことを呼びかけた。この日、耕平＆横井＆藤井は、コリノ＆ハワード＆ヘンデンリッチと対戦。藤井は「今日はオレのせいで負けてしまったんで、急だし少し考えさせてほしい」と返答した。

●大谷、クレジットカード停止!! これまた三重大会で、大谷晋二郎が、『火祭り』に向けて独自の方法（熱い試合をし、その後は朝まで飲む）で体の調整を行っていることを明かした。大谷は、シリーズ中連日連夜におよぶこの「調整」によって、クレジットカードが限度額一杯に。ジーンズを購入しようとした時にこの事実を知らされたという。その後は現金で「調整」を続け、現在はカードも復活した模様だ。

●金村、パーマで鶴見五郎に変身!? 6・14福島大会に登場し、田中＆保坂組と対戦した金村キンタロー＆黒田哲広。金村は、この日より頭にパーマをかけ、冬木弘道を思わせる風貌へ変身していた。パーマの理由を尋ねられると「これはもう、わかるやろ! 鶴見五郎のマネですよ」と、ジャブをかました後「ボスが現役だったころから、からかってたまにやってたから。いいきっかけでね」とコメント。

5.25 ZORO-ONE、宮城県でも大人気!

宮城・築館町にZERO-ONEが初見参！ ハコも小さく、試合も5試合とコンパクトな大会となったが、田園風景が続くのどかな町は破壊王以下のメンバーを心待ちにしていたこともあって、開場前には山の上までファンの長蛇の列が続いた（ちょっと大げさ）。第1試合から、メインの日米4vs4スペシャルタッグマッチまでノンストップの熱気に包まれた今大会開場前には、幻のツチノコ仮面が出現したとの未確認情報もあり。ん〜っ、ゼロワンッ!!

5.30 OH砲、“FUJIYAMA”を初披露!!

“刈龍怒”、“オレごと刈れ”、“ＤＤＯ”に続くＯＨ砲第4の合体技が、三重大会で初披露された。その名も“ＦＵＪＩＹＡＭＡ”!! 「小川ーッ、フジヤマだーッ!!」と叫んだ破壊王が、ジェイソンを垂直落下式ブレーンバスターの体勢にかつぎあげた所に小川のＳＴＯがサク裂!! 勝利したＯＨ砲は「次はドドンパだ」と、『ＯＨ祭り』の最終決戦の地である、富士急ハイランドにちなんだ第5の技も近日中に披露することを予告した。ん〜っ、ドドンパッ!!

6.14 怒りのテング、丸井記者を通じてコメント

“テングカイザー査定マッチ 残留or山帰り”と銘打たれたテングカイザーvs佐藤耕平の一戦は、マスク……いや、外皮膚に手をかけられたテングが激怒。ビンタの連打からグーパンチ、逆水平で耕平を大の字にした。試合後はスポニチ丸井記者を通じて「若造、ナメるな。アイツは25歳だろう。オレは1300年生きてるんだ」とコメント。このコンビネーションをはじめて見た報道陣は「何でわかるんだ」と驚き、丸井記者をフラッシュ攻めにしていた。

7・6両国でZERO-ONEvs全日本のトップ対決実現!!

OH砲［小川直也&橋本真也］ vs. 武藤敬司 & 川田利明

ついに“黒いヤツ”が、ZERO—ONEのリングに登場する!! 6月14日、福島大会前に行われた会見で、7・6両国大会の一部対戦カードが発表された。メインはOH砲vs全日本プロレス・武藤敬司&川田利明!! まさしくZERO—ONEと全日本のトップ同士の対決。会見に出席した破壊王は「向こうも、せっぱつまったんじゃないの。この2人を破ってしまえば、あとは（全日本を）追いつめるだけ」と、意欲満々。全面対抗戦の頂上対決を経て、イッキに全日本壊滅へ乗り出すつもりだ。全日本勢は、7・6後楽園大会を終えてからのダブルヘッダーとなるが、これに対して、破壊王は「文句ありますか! ケガなんかしたら、許さねぇぞ。五体無事で来い」と、万全の状態での対決を絶対条件として突きつけた。が、その直後、破壊王自身が右ヒザを負傷！ これを伝え聞いた武藤は「なんだよ、それ」と呆れ顔。非常にバツの悪い思いをするハメになってしまった破壊王だが、もちろんこんなことでくじけはしない！「武藤も川田も膝が悪いんだから。これで同じ条件や！」と、ヤケクソ気味に言い放っていた。
また、会見の前日6・13全日本愛知県大会で、橋本との三冠戦に敗れた小島聡が、高岩竜一と対決することが決定。破壊王は「小島はスゴイぞ。だけど、お前もスゴイ」と高岩にエール。高岩は「ラリアットで小島の首を刈ってやる」と、意欲満々だ。
そして、『紙プロ』62号で、破壊王の語っていた「7月をお楽しみに」の意味は、この事だった!! スペシャルシングルマッチとして空手狂・小笠原和彦と、キング・アダモwith島崎俊郎のスペシャルシングルマッチが決定!! はたして「アダモちゃーん」と呼んだとき、応えてくれるのはどっちだ!? この他、嵐参戦のNWAスーパーヘビー級初代王者決定戦・『OVER-300』バトルロイヤルも開催！ こいつは行くしかないぞ!!

誰が一番重く強いか決めたらいいんや!
『OVER-300』とは何か!?

『OVER-300』とは、300ポンド（=約136キロ）以上のレスラー限定で、世界一強い巨漢を決定する闘いのこと！ 7・6で開催されるバトルロイヤルに勝利すると、NWAスーパーヘビー級初代王者のとして認定され、ベルトではなく、金メダルが授与される（お腹に回らないからではない。多分）。噂によると、米NWAのMr.フレッドが、金メダルが欲しくて仕方ないマット・ガファリと結託して作り出したものらしい。マット・ガファリ、ザ・プレデター、次シリーズから参戦する“違いの分かる男”キング・ダバダの他、全日本プロレスから嵐が参戦名乗りをあげた!! はたして一番重い肉、いや一番強い男は誰だ!?

ZERO-ONE『EXTERMINATION−D』
7月6日（日）東京・両国国技館　試合開始17:00

［『The Conclusion』Destruction or Dangerous］
橋本真也&小川直也vs武藤敬司&川田利明

［NWAスーパーヘビー級初代王者決定戦『OVER-300』（バトルロイヤル形式）］
マット・ガファリ／ザ・プレデター／嵐／キング・ダバダ

小島聡vs高岩竜一

［NWAインターコンチネンタルタッグ選手権］
（6/27後楽園ホール勝利チーム）vs佐藤耕平&横井宏考

［スペシャルシングルマッチ］
小笠原和彦vsキング・アダモwith島崎俊郎

チケット料金
SS席15000円／S席12000円／A席7000円／B席5000円／2階S席6000 円／2階A席4000円

［お問い合わせ］ZERO-ONE　03-5730-3401

『橋本真也のプロレス大百科』を5名にプレゼント!!

ZERO—ONE初のパーフェクトガイドブックがサムライTV！ との強力タッグでメディアファクトリーから発売！ プロレス王者・橋本真也まるわかり特集“破壊王のすべて”、選手名鑑、歴史年表、まんが・大谷晋二郎物語など見逃せない企画が盛り沢山！ 『紙プロ』でおなじみの中川画伯もたくさんイラストを描いているぞ。特製めんこもついたこの本を、5名にプレゼント!! 宛先はP159の読者プレゼントコーナーを参照!! 定価は1429円（税抜）、全国書店で絶賛発売中ダーッ!!

今年も熱い季節がやってきた!! 熱い男の熱い闘い
『火祭り'03』を制するのは誰だ!?

またしても、熱い男の季節がやってきた!! 今年で3回目になる、ZERO—ONEの「熱い男決定戦」『火祭り』。昨年、一昨年と二連覇の大谷晋二郎が、優勝賞品の火祭り刀を振り回して熱い男を募っている！ 参加資格は熱いこと。大谷は、炎武連夢の田中将斗はもちろん、昨年準優勝の黒田哲広、金村キンタロー、TAKAみちのく、そして全日本の小島聡・嵐らにも「オマエらの素直な気持ちを聞かせてくれ！ 出たくないのなら、それでいい。他の若手も、名乗りをあげるのはタダだぞ」と、名乗りをあげるよううながしている。これに対し、一昨年の準優勝者・佐藤耕平、丸刈りとなって熱さをました横井宏考の“ROWDY”2人が、6・6千葉大会で「大谷ぃ、『火祭り』オレたちの枠はあるんだろうな!?」と、参戦要求。大谷は「オレは火祭り実行委員長じゃねぇんだよ」と言いながらも、熱い後輩たちの言葉になんだかうれしそう。果たして、参戦メンバーはいつ決定するのか!? そして今年の優勝者は誰だ!?

『火祭り'03』スケジュール
7月25日（金）静岡・キラメッセぬまづ　試合開始18:30
7月30日（水）東京・後楽園ホール　試合開始18:30
7月31日（木）大阪・大阪府立体育会館 第2競技場　試合開始18:30
8月1日（金）東京・後楽園ホール　試合開始18:30

『01 Storm』
6月27日（金）試合開始 18:30
東京・後楽園ホール
6月29日（日）試合開始 15:00【小川直也参戦!!】
山口・海峡メッセ下関
6月30日（月）試合開始 18:30【小川直也参戦!!】
長崎・佐世保市体育文化館
7月1日（火）試合開始 18:30
佐賀・唐津市文化体育館
7月3日（木）試合開始 18:30
福井・福井市体育館
7月4日（金）試合開始 18:30【小川直也参戦!!】
新潟・新潟市体育館

［お問い合わせ］ZERO-ONE　03-5730-3401

聞き手／中村カタブツ君
構成／堀江ガンツ
撮影／森"モーリー"鷹博

Road To Yasukuni

本製圏道公開間近！ 憂國の虎が“日本人”復活・解放の為に遂に立ち上がった！

「プロレスやります！ 今回は本格的。減量して上半身も脱ぎま～す！」

初代タイガーマスク改め

ザ・マスク・オブ・タイガー

THE MASK OF TIGER

佐山聡

今回は本格的だよぉ！ UFOは棒持って歩いてただけだったけど

トラトラトラ！ ここ最近、右翼チックな発言で一部で絶大なる支持を得ている佐山聡がついにタイガーマスク復活を宣言した！ その真意は何のなのか？ そして本掣圏道とは何か？ その高き志を堪能してほしい！

――（ウエイターさんに）あ、すいません、僕が頼んだのアイスじゃなくてホットコーヒーなんですけど。

佐山 じゃあ俺、それ飲みます。多分二ついけますから。え～とね、こっちにはクリームを入れて、こっちにはガムシロップを二つ入れようっと（笑）。

――あのー、佐山さん、今、復帰戦に向けてダイエットしてるんですよね？

佐山 うん。まだ本格的にやってないけど、やってますよォ、練習。

――と言って二ついっぺんにアイスコーヒーを飲む佐山さん（笑）。

佐山 美味しい！

――面白いなぁ、やっぱり（笑）。で、今日はちまたで話題沸騰中のタイガーマスク復活についてお話を聞きに来たんです。

佐山 やるよォ、完全復活。マスクもユニフォームも全部新しくするから。

――マスクのデザインも変わるんですか。

佐山 今持ってるよ。被ろうか？

（とカバンからニューマスクを取り出し、なぜか、いきなり口元に）

佐山 あ、これじゃあ、SARS対策用のマスクになっちゃうね。ごめんねぇ。うふ。

――ホントにこの人だけは（笑）。

佐山 これ、たぶん本邦初公開。

――9月はそのマスクでいくんですか。

佐山 いや、これは普段着用ですから。だってこれだと試合にはちょっと無理じゃない？ 取れたらマズいよね、一応みんな顔知ってるとはいえ。

――本番用のマスクはまた別にあるわけですか？

佐山 ん？ うふうふ。

――……考えてないんですね、何も。

佐山 うん。考えてない。そういえばこの前ね、真っ白のマスクに日の丸を縫いつけて送って来てくれた人がいたよ。完全にボイス・オブ・タイガー（佐山さんのホームページ）に感化されてるね。民族運動はいいねぇ（笑）。

――ワハハハ！ 自分から誤解されるようなことばっかり言ってる。そういえば、佐山さんの私設団体タイガー・ユーゲントはタイガー・インテリジェント・エージェンシーに改名したんですね。

佐山 よく知ってますねぇ。略してTIA。ティアって呼んでね（笑）。で、なんで改名したかっていうと、みんなまともな人が多いから。「いい加減タイガー・ユーゲントはやめてくれ」っていう人たちだから。うふふふ。

――やっぱりユーゲントはちょっと、と（笑）。

佐山 「俺たちはナチスじゃない」と。色々誤解が生じてしまいますからね。

――でも、誤解を承知でやってる所ありますからね、佐山さんの場合。本掣圏道でも「切腹の儀式を行います」とか言ってますからね。

佐山 でも、切腹は誤解じゃないから。今ね、カタブツ君って人がやりたいと名乗りをあげてるからね（笑）。

――は？ 僕が？

佐山 やってね（笑）。

――イヤですよォ！

佐山 何で？ 僕が介錯やるから。

――何でじゃないですよォ！ 佐山さん、本当に刀を振り降ろしそうだもん。

佐山 じゃあ、介錯は吉田豪くんにやってもらおうっと。いいな、いいなぁ（笑）。

――っていうか、そういうことをホームページに書いてねぇ。ホント、からかわれてるんだよなぁ、俺……。

佐山 面白いよねぇ（笑）。

――ありがたいですけどぉ。ということで、タイガーマスク復活の話をしてください。

佐山 はい！ プロレスをやります！ もうね、今回は本格的。上半身脱ぐからね。

――そうするとキチンとダイエットもやるわけですね。

佐山 ダイエットというか、基本練習をしてるんですよ。今だって足パンパンよぉ。UFOで練習やって痩せたって言ってたけど、あれは棒を持って歩いてただけだからね。

――どういう自慢の仕方ですか（笑）。じゃあ、あれですか、闘魂棒を持って歩いていたのがUFOだと？

佐山 うん（笑）。

――またそういう心ない返事をして（笑）。

佐山 だってさ、あの時、僕はオーチャンの指導とかの方が重要だったじゃない？ だから、自分のことなんか腕立てもやってないし、足の運動もやってないしさ、腹筋なんてローラーでやってたよ。

――ローラーって通販でよく売ってる床で転がす腹筋運動の道具ですか。

佐山 そう！ だから、ほとんど何もやってないの、ホントは（笑）。でも、今回はそういうんじゃなくてキッチリとしたプロレスをやっておきたいなって。身体が動くうちにやっておきたいなっていうのがあるんですよ。だって、喜んでくれるじゃないですか、ファンの人たちは。そのためにやりますよ。

――どのくらい体重は落とすつもりですか。

佐山 15キロぐらい。今、107キロぐらいだから、92、3ぐらいまでは落とすよ。簡単ですよ。

――ホントに落ちるんですか？ なんか不安なんですよね。

佐山 簡単だって。だってね、これみんな誤

ザ・マスク・オブ・タイガー

解してると思うけど、俺の10キロと皆さんの5キロが一緒。10キロぐらい簡単に落ちるんだから、俺たちの体重っていうのは。
――俺たちっていうのは俺たちみたいな、まあ……デブってことでいいんですか？
佐山 そうそう。自覚はあるよ（笑）。だから、俺は太ってることはまるっきり気にしてない。いつでも戻せるって頭があるから。
――じゃあ、UFO時代は猪木さんが痩せろ痩せろって散々言ってきたのにまったく痩せる気がなかったんですね。
佐山 だって、歩くの面倒臭いじゃない？
――面倒臭くないですよ。やりましょうよ。
佐山 だから、ローラーをやってたよ、ローラー。うふふふ。
――信じられない（笑）。今はちゃんとやる気になってるんですね。
佐山 そう。かる〜く走れるようにもなってるし。だけど、足の運動のが先で、本格的にやり始めたら走りますよ。でも、前は走ったよ、ちょっと前だけど……。
――すいません、普通はみんな走れてますよ。
佐山 （小声で）えぇ！ ウソォ！
――ウソじゃないです。
佐山 走れるまでちゃんとしなきゃダメだねぇ。……だから、やりますよォ、ちゃんと。
――やってくれるとは思ってますけど、新日に上がる時も痩せるって言って痩せてなかったっていうのがあるんでどうも。
佐山 いつだっけ？
――ライガー戦（94・5・1福岡）です。
佐山 あれはダッシュし過ぎて腿の肉離れが凄かったからだよォ。普通はあんなんで試合なんか出来ないんだから。試合じゃなくてエキシビションだったけどね、エキシビションを勝手に試合って永島（勝司＝元・WJ取締役）がやったんだけど。
――その辺の話は紙プロ44号で詳しく語ってらっしゃいますね。
佐山 頭に来るよね、こっちだってね。
――それでシュートを仕掛けないって話になったと思うんですけど、ただ、あの時は腿が肉離れになるまで走ってしまったことが失敗だったと。
佐山 だから、今回はそういう轍は踏まないように足の運動から入ると。足を強化してキッチリ走りに入るということです。だってね、今、このまま走るとねぇ……怖い。
――佐山さんのが怖いです（笑）。甘いものは控えてます？
佐山 うん（可愛く）。
――『BUBKA』って雑誌で取材してた時は事務所のオバさんたちがくれるお菓子をバクバク食べてたって言ってましたよね。
佐山 それはさすがに断った。そしたら、ホントに出してくれなくなっちゃったから、今は自分で買って食べてる（笑）。
――はぁ、もういいです。9月に間に合えばいいんですからね。本格的な減量はいつ頃からやり始めるんですか。

5月30日に映画「すてごろ」公開を記念したトークショーを行った佐山館長と真樹先生。二人の仲の良さが伺い知れる素晴らしい笑顔だ。

佐山 今月には合宿に入りますよ。
――合宿の場所は仙台のミネラルの道場でしたよね。
佐山 そうそうそう。特別なミネラルを飲みながら、食事も特別メニューでやるんですけど、冗談じゃなく、そこに一週間いたら10キロなんて簡単に痩せられるよ。ミネラルって、食べ方があるんだよね。
――では心配ないと。相手は誰になりそうですか。
佐山 それはまだちょっと言えないですね。もうほとんど決まってるんだけど、もう少ししたら発表できると思うよ。
――で、今回の復活では佐山さんがこれまでやってきた掣圏道の集大成、"本掣圏道"が初公開されるっていうのも楽しみなんですけど、本掣圏道とはどんなものなんですか。
佐山 はい！ まず本掣圏道は、アルティメットボクシングとは違います。あれはお客さんのためにロシア人を呼んで、ロシア側のルールも考慮してやってるものでしょ。でも、自分が本当にやりたいのは精神的な部分の事ですから。日本文化の復活って言うか、日本精神の復活。これを掲げた武道である、と。簡単に言えばこういう事ですね。で、今回の僕の復活は武士道精神とは何かをキチンと形にして見せたいという思いがあるからですよ。タイガーマスクにしても現役時代以上に絶対に動けるようになるからね！
――信じてます！ そして本気だからこそ切腹の儀式もあると。
佐山 うふうふうふ。
――いや、僕はやりませんよ！ なんで佐山さんがやらないんですかァ。
佐山 僕はやりませ〜ん（笑）。
――先頭に立ちましょうよ。
佐山 やだ。
――ホント、黄色い悪魔ですね（笑）。
佐山 黄色い悪魔だよねぇ（笑）。
――佐山さんはどこまで本気なんだか分かんないんですけど。
佐山 きっちり決める所は決めるから。芯は絶対に曲げないからね。でも、芯を通そうとするともの凄い固い人間というか、もの凄い偏った人間に思われちゃうから、それで誤魔化すわけ。そうしないとひょっとしたらみんなに右翼だと思われるかもしれないからね。
――あれ？ 右翼じゃないんですか？
佐山 ヒッドイなァ！ 僕は右翼じゃありませ〜ん。中道で〜す。
――その辺の話も誤解なきようあとで聞きますけども、今回の本掣圏道とタイガーマスク復活は武士道精神をよみがえらせることだと。だから、選手も刀を持って入場するということですね。
佐山 刀というのは武士道精神の心ですから、その刀を持って試合場に臨むという事ですね。そして一刀流の作法で刀に礼して試合を始めるわけです。
――実際に刀を使うんですか？
佐山 やってもいいよ。やる？（笑）。
――もう勘弁してください。試合形式はどういう風になるんですか。
佐山 まず、一応四角形のリング。でも、上段の二つのロープだけで、ロープのある相撲みたいなもんですよ。だから、相撲取りがグローブを付けて、パンチ、キックをやると思うとわかりやすいですね。
――グラウンドの展開もあるんですか。
佐山 ありますよ。踏みつけても殴ってもいいし、関節を取ってもいいですよ。ただ、実戦を考えてますから、抑え込みをすれば一本で、これは制圧っていうんですけど、この制圧を3本取れば勝ちですね。もしくはその間にノックアウトや関節を極めれば1本勝ちです。
――今まで関節は必要ないって言ってましたよね。
佐山 関節はほとんどないでしょう。関節行くより抑え込みした方が早いでしょ。あと一番下のロープは抑え込みの邪魔になるから外

ザ・マスク・オブ・タイガー

本掣圏道では靖国神社に向かって全員敬礼！ 海ゆかば全員合唱！

しますね。まあ、選手が落ちたら落ちたで構わないし（笑）。

——その試合形式は街の実戦を想定したものですね。

佐山　実戦ですよ。これは何をしたいかと言うと、総合格闘技における真の立ち技の確立ですね。絶対に下にならないというか、タックルが来ても絶対に取られないような相撲取りのバランスと足腰。そういうものを作りたいわけです。そうなると打撃というものも変わって来ますしね。で、寝技は、練習でいくらでも出来るから、そんなのやんなくたっていいじゃない、と（笑）。

——つまり、それって今のミルコみたいなものですよね。『PRIDE』のミルコ戦って見ました？

佐山　見てないですよ。興味ないですから。

——そう思いましたけど（笑）。でも、凄かったですよ。ヒース・ヒーリングのタックルを全部闘牛士のように避けてミドルキックを入れて勝っちゃったんですよ。

佐山　ああ、そうですかぁ。

——だから、佐山さんの掣圏道の目指すものと一緒だと思うんですよね。

佐山　前から言ってることですけど、富士山という頂上があるとすればいろんな裾野があると思うんですよ。それにどうやったら近づいていけるかっていう話だけですから結局分かるんですよ。20年後の総合格闘技のランキングがあるとすれば、その立ち技を早く見付けましょうというのが自分の理論。それをミルコが立証してくれてるだろうし、今、我々も立証しようとしてるわけですよね。

（ここで一旦、階下の道場で写真撮影して、その後インタビュー再開）

——ミルコの強さを見るにつけ、佐山さんが言うことって本当に10年、20年先を行ってるんだなって思いますね。

佐山　はぁ～。

——あれ？　どうしたんですか？　息上がってるんですか？

佐山　階段昇ってきたから？　ふざけんなよぉ、ホントにぃ！（笑）。

——ワハハハ！　だって、「はぁ～」って言うから（笑）。

佐山　ヒドいよねぇ、ホントに（笑）。

——すいません！

佐山　いや、皆さんよく10年先とか言ってくれるじゃない？　でも、今、僕は格闘技のことじゃなくて、日本のことを考えてるからね。格闘技をホメてもらってもね。

——本当に強い日本を甦らせるということですよね。そこで一番重要なのは精神であると。ただ、もう少し技術の話も聞かせてください。実際、ミルコは今、一番強いんじゃないかってぐらい凄かったんで。

佐山　でもね、相手次第だと思うよ。ミルコがタックルを切れたってことは彼の打撃の掣圏に対して相手が威圧されてるからですよ。このヒースっていうのがもっとパンチキックが強くなればタックルも強くできるはずですよ。だから、ミルコにだってまだ穴がある。将来の総合格闘技の選手はもっと上の方にいるってことですよ。

——まだまだ強くなる余地があると。

佐山　だから、ミルコが凄いんじゃなくてミルコにタックルが出来る人間がいたらもっと凄くなるってことですね。それをやるために今、我々が模索してるっていうことですよ。

——それが今回の本掣圏道でお披露目されるということですね。

佐山　絶対に引かないって精神ですね。

——凄いのが掣圏道の桜木選手や瓜田選手はガチンコの試合を2日連続でやって勝ってるんですよね。普通は2カ月に1回の試合でもキツいとか、言うんですけど。

佐山　だから、ふざけんなって話ですよ（笑）。

——ふざけんなですか。でも、結構無茶だなって思うんですよ。

佐山　桜木も瓜田も自分から挑戦してるんだもん。俺が行けって言ってるんじゃないんだもん。

——僕はズッと佐山さん、鬼だなぁって思ってたんですよ（笑）。

佐山　鬼じゃないよォ（笑）。よく身体がボロボロになるとか言うけど、ボロボロになんかなんないって。もちろん、KO負けとかしてたら絶対やらせないよ。だけどぉ、何て言うかな、やるんだよね。やっちゃうの（笑）。

——昔のボクシングってそういう

無茶をいっぱいやってたんですよね。でも、平成の世でそれができる男たちがいるのは驚きですよ。

佐山　それが精神だから。テクニックもそりゃやるけど、ウチはテクニックはそんなに重要視してないもん。だってさ、色んなテクニック教えて格好良くタンタンタンタンタ〜ンてやってるでしょ？　でも、リング上でビビったらおしまいだから。そこの勝負だから。

―技術だけあってもですよね。

佐山　だから、「三ヶ月に一回しか試合出来ない」とか言ってる人間が強いのか、「平気ですよ、私がやりますよ」って言ってる人間が強いのか、どっちが強いかって事ですよ。

―そりゃ掣圏道でしょ。

佐山　絶対強いよね（笑）。

―だから、この本掣圏道はこれまでの格闘技の試合とはまったく違ったものになると。

佐山　そう！　今の選手たちは本当に強いってことがどういうことかわかってないから！

―究極の強さが見えると。で、大会は具体的にどんな構成になるんですか。

佐山　本掣圏道は12人のトーナメントになるんですよ。4人はシードしてるんですけども。それで勝ち上がって、準決勝まで行ったらプロレスの試合が何試合か入りますね。

―儀式はほかにどんなものが見られるんでしょうか。結構期待してんですけど（笑）。

佐山　靖国神社に向かって全員で敬礼とか、海ゆかばを全員で合唱とか。それで僕が「はい、皆さん、戦争いきましょうね」って。危ない、危ない、危ない（笑）。

―だから、そういうことを言うから、「右翼になったぞ」って言われるんですよ（笑）。

佐山　ね（笑）。でもね、さっきも言ったように僕は右翼じゃなくて中道。今ね、戦後の歴史教育がいかに捏造されてきたかってことが分かり始めてきてますからね。例えば、昭和14年のノモンハン事件ってあるんだけど、日本軍はロシア軍にやられてたっていうのが定説になっていたわけ。それは俺も信じてたんだけど、最近になってロシア側の資料が全部出てきたの。

80年代始め、新日本でタイガーマスクとして一世を風靡し、80年代中盤にはスーパー・タイガーとして、旧UWFのリングで"Uスタイル"を確立した佐山館長。そして21世紀、マスク・オブ・タイガーとして、我々にどんな夢を見せてくれるのか？

―全然違っていたんですか。

佐山　全部嘘！　確かに日本兵も1万7千人死んでるけれど、ロシア側は2万5千人以上死んでて、戦車に至っては800台以上破壊してるの。でも、日本側の戦車は29台なんだよぉ。飛行機も日本側は170機落とされてるんだけど、ロシア側は1600機。どっちが強かったかっていったら分かるよね（笑）。

―明らかに日本ですね。

佐山　そういう捏造がいっぱいあるわけ。だから、戦前の日本人は強かったんだよって。それがなぜ今こうなっちゃったのって。精神も弱いし、礼儀も知らないでしょ。格闘技のチャンピオンとか言っても、リングを降りたら弱いもん。ヤクザのが全然強いからね。

―また、ミもフタもないことを（笑）。

佐山　そういう人いっぱい見てるからね（笑）。あのね、格闘技には二つあって娯楽のための格闘技と日本を強くするための格闘技ってあるの。これが武道なんだけど、どっちを選ぶかっていったら、俺は後者だから。だって、今の日本はおかしいでしょ？　不登校22万、引きこもり5万。母親が子供を殺す率が世界一で虐待をする率も世界一高いわけでしょ。何でこんなに荒廃してしまったの？　信じるものがないからだよね。魂がない。

―病んでる感じはしますね。

佐山　昨日もね、新宿で高校生3人がタバコ吸ってたんだよ。街の真ん中で。

―もちろん誰も注意しないんですよね。

佐山　そう。ただ、彼らの隣りにたまたま僕がいたのね、可哀相に（笑）。

―同情しますね（笑）。

佐山　それで、ずっと睨んでいたの。そしたら、コソコソし始めてさ。でも、そこに仲間がもう3人やってきたら嬉しそうな顔になるの。もう、それ見たら腹が立ってきて、「貴様らーッ」ってやったら、全員横断歩道を後ろ向きに渡ってっちゃったの。面白い人たちだなって思ったけど（笑）。

―そういえば、以前、電車の中でも態度の悪い若者たちを注意したんですよね。

佐山　そうそうそう。電車に乗ってたら髪の毛染めたロックみたいな子たちが、「カツアゲしようかな」とかみんなに聞こえるように大きな声で言ってるんですよ。頭に来るでしょ？

―社会をナメてますね、確かに。

佐山　だから、「殺すぞ、コラ！」って言ったら、ビビっちゃって声も出せなくなってるの。

―「殺すぞ」。でも、佐山さんに言われたら誰でもビビりますよ（笑）。

佐山　でも、俺らの頃はそう言われたら、喧嘩するか、謝るかどっちかしたよ。でも、真っ青になってブルブル震えてるだけなんだもん。これって凄く異常だよね。

―それはそうですね。

佐山　でしょ？　彼らは叱られた事がないんだよね。こないだ、九州行って俺の同級生と話したんだけど、時代が変わったな、と。昔はさ、（なにか棒を握るようなポーズして）これ持って相手の学校に入ってたんだよねって。

―"これ"って木刀ですか？

佐山　包丁（笑）。マグロとか切る長いヤツ。

―それはもう日本刀と一緒じゃないですか！　怖ろしいなぁ。

佐山　水産高校だったんでいっぱいあったから（笑）。

―佐山さんのがよっぽど危ない気がするんですけど（笑）。

佐山　ちょっと無茶だよね（笑）。でも、なんかいまは気骨がない気がしない？　弱い奴は徹底的にいじめるけど、強い人間にはへつらう風潮は許せないよね。で、それを一番感じたのはたまたま僕が黒いサングラスをかけて街を歩いていた時。みんな僕を避けるの。

―いや、それは避けるでしょ（笑）。

ゴッチさんはナチスの収容所でも寒さしのぎに練習してたらしいよ

ザ・ブック・オブ・タイガー

佐山 でもさ、ピアスしたり、髪の毛染めたりした不良も避けていっちゃうんだよ。おっかしいよね。俺らの若い頃ってメンチの切り合いってしたじゃない、不良だったら。そういうのもないっていうのは何なんだと。この国には骨がないのかなって思うと悲しいよね。

——サングラスの中で泣いている、と。

佐山 泣いているよぉ。

——本当かなぁ（笑）。

佐山 うん。僕にからんできてほしい。そしたら誉めてあげたいね（笑）。

——ちなみにヤクザの人が歩いて来た時はどうだったんですか？

佐山 普通にすれ違うだけ。同業者だと思ってるんじゃないの？（笑）。

——自分で言いますか（笑）。

佐山 ただ、ここからは真面目な話なんだけど、例えば、キリスト教国とかは神という名の下に、神の形而上のものを信じて、挨拶、礼儀、礼節、愛とかそういうものを全て神との見返りの下にやってるわけでしょ。だから、道で人が倒れてても助けてあげるでしょ。今、六本木で人が倒れてても日本人は誰も助けようとしないよ。助けるのは外人ばっかりじゃない。彼らは宗教心や正義心を子供の頃からちゃんと植え付けられてるから、そういう行動ができるわけ。でも、その神との契約をしていない日本人が同じような事をやるとすれば何をするか？　武士道しかないでしょ。彼らの神に匹敵する崇高なものは武士道精神しかないんですよ。腹も切れるような精神。

——やっぱり拘るのは精神であり、武道であると。ところで、佐山さんのそういう思想は実は昔からあったんですよね。

佐山 そうですよ。あのね、僕はお婆ちゃんっ子だったんだけど、そのお婆ちゃんが右翼をよく勉強してる人だったの。

——そうだったんですか（笑）。

佐山 そう。お婆ちゃんの家系はみんな軍人だったし、親父もシベリアに抑留されてたからね。だから、自然とそうなってるんじゃないの？　だから、気骨というものが自分の中に絶対にあると思うし。

——なんか軍人的な教えで覚えているものはありますか。

佐山 ウチの親父はロシアにいつか復讐してやるとか言ってたんだけどね（笑）。

——それが今アルティメットボクシングでロシア人を倒すことに繋がってるんですかね（笑）。

佐山 そうそうそう（笑）。

——あとはゴッチさんの教えっていうのも大きいんじゃないんですか。確か、ゴッチさんってナチスの崇拝者だったんですよね。

佐山 ナチスの信者だから。というか、ヨーロッパ人は結構ナチスの信者ですよ。

——そうなんですか？

佐山 知らないの？　日本人はナチスとかヒットラーに対して諸悪の根元だと思ってるわけでしょ。それはアメリカとかメディアによって植え付けられたものなんだけど、ヨーロッパは肯定する人多いよ。例えば、フランスなんてドイツの反対側だよね。でもね、ルペンっていう極右の人が選挙に出て20％も獲得してるんだよ。あとね、ムッソリーニはイタリアでもう復権してるんだよ。そしてムッソリーニの流れを汲む党は与党に入ってるんだよ。

——全然知らなかったです。

佐山 そういうのを日本のメディアは伝えないの。ユダヤ人を殺したのは悪いけど、政策とかは泥棒がいなくなったとか、犯罪率が下がったとかいい面もいっぱいあるの。だって、ゴッチさんはナチスに捕まって強制収容所に入れらていたこともあるんだよ。

——それでもナチス支持（笑）。

佐山 娘さんが嘆いていたけどね（笑）。でもね、ゴッチさんは収容所でも足の運動を毎日9千回くらいやってたみたいだよ、寒さしのぎに。

——凄いッスね（笑）。ゴッチさんは甘い物も好きだったし、ナチス信者だし、佐山さんはまさにゴッチイズムの継承者なんですね（笑）。

佐山 俺ナチスじゃないよぉ！　もう、やめてそういうこと言うの。危ない、危ない（笑）。そういえば、ゴッチさんはオカマも大嫌いだった。

——佐山さんもオカマとかSMとか嫌いなんですよね。でも、最近SMクラブに行かれたそうですよね、真樹先生と（笑）。

佐山 うん、真樹先生寝てた（笑）。

——で、佐山さんは暴れたんですよね（笑）。

佐山 うん。ちょっとね（笑）。でも、昔行った店は本当に暴れたからね。俺はね、そういう所に行くと何を思ってるかって言うと、213万3777名の英霊を本当に全部裏切りやがってって思ってるわけ。

——カリカリしてたわけですか。

佐山 カリカリしてるわけよ。だって、ああいう店って女王様が凄い生意気な事を言ってるじゃん。

——それが女王様ですよ（笑）。

佐山 でも、俺関係ないから。抹殺してやろうと思っちゃうんだよ。

——行かなきゃいいのに（笑）。

佐山 お付き合いだからさ。それで目の前にいた若い奴は上司に連れられて来てて、SMの気がないのが分かるわけよ。でも、上司に言われて女王様の前に座ってポ〜ンって叩かれるの。それ見たら頭来ちゃってさ。やって

“平成の佐山番” 中村カタブツ君に見えない日本刀を振り下ろす佐山館長。本掣圏道公開のあかつきには、カタブツ君が「切腹の儀式」を行う（介錯人はなぜか本誌・吉田豪）とのことだが、はたしてどうなるか？

やろうかなって思ったんだけど、連れてきてくれた人の手前我慢して。

――大人ですね（笑）。

佐山　凄いでしょ（笑）。でも、カーッとなってるのよ。でも、それを見た女王様がつまらなそうにしてると思ったんじゃない？　だから、M女に指示して俺のところに来させたの。それはないと思わない？

――女王様の気遣いでしょうね（笑）。

佐山　でも、俺はそんな変態みたいな所に行ってて嫌なのにさぁ。その上に、「縄をほどいて下さい」って芝居がかってきたからさ、「殺すぞこの野郎、あっち行け」って怒鳴っちゃったの。そうしたら、俺も止まらなくなってテーブルひっくり返して、黒服の方に、「お前らどういう教育してんだ！」って。

――SMクラブとしては正しいと思いますけど（笑）。

佐山　そうかなぁ。でも、そうなっちゃったらしょうがないからぁ、連れてきてくれた人に、「こいつら常識ないんで俺は帰ります」って帰ってきたの（笑）。

――すいません、常識ないの、佐山さんだと思いますよ。店にとっては凄い迷惑（笑）。

佐山　でも、楽しかったよぉ（笑）。

――何か本当にゴッチイズムを継いでますね、聞けば聞くほど。それに武士道というものも小さな頃から佐山さんが持っていたものだってことも確認できましたし。

佐山　ともかく一番誤解されたくないのは俺がやってることは真面目にやってるものですから。ヤクザみたい右翼とか、そういうものと一緒にされるのだけは徹底的に我慢できないですね。

――これを読んで興味を持ったら、佐山さんのホームページを是非とも見ていただきたいなと思いますね。

佐山　そうして頂戴。いつ発売？

――6月25日です。

佐山　じゃあ、26日のホームページには凄いことを書いておこうっと（笑）。

――だけど、佐山さんいっぱい誤解されてますよね（笑）。

佐山　誤解されてるよ、俺。ふざけた右翼じゃないって俺は。

――本製圏道を立ち上げ、今回も本気で復活するわけですからね。

佐山　そうですよぉ。だから、今回は一切おちゃらけた部分はなしにして。

――はい、ありのままにいきます！

佐山　じゃあ、おちゃらけじゃん（笑）。これでまた誤解されちゃうなぁ。よし、こんな雑誌の記事にめげないように頑張ろう。ホームページには紙プロでインタビューしたのは俺じゃないって書いておこうっと（笑）。

【03年6月10日／六本木『ボディプラント』にて収録】

さやまさとる■76年新日本プロレスでデビュー。81年にタイガーマスクとなり日本中に一大旋風を巻き起こすも83年に引退。その後、シューティングを設立。さらに世界格闘技連合、UFOを立ち上げ、現在は製圏会館館長として、愛国心溢れる活動を行っている。

「Voice of Tigermask」は日本男児全員必読!!

製圏道オフィシャルWEBサイト

http://www.seiken-do.com/

俺には『PRIDE』ミドル級GP枠をくれ!!

RADICAL PRESENTS

CHARACTER PRODUCT PART1

コンプリートして着色するのは必至のプロレスラー消しゴム!! 髙田統括本部長、桜庭はもちろん、謙吾、佐山タイガーまで取り揃えた男の中の男シリーズだ! 【キャラプロ提供】1BOX ￥300(無彩色消しゴム・レスラー2体入り)

●初代タイガーマスク(3種)

●髙田道場 髙田延彦(3種)・桜庭和志(2種)・松井大二郎・山本憲尚

●藤原喜明(2種)

●パンクラス 船木誠勝(3種)・鈴木みのる・菊田早苗・近藤有己・美濃輪育久・謙吾

●前田日明(4種)

●みちのくプロレス ザ・グレート・サスケ(2種)・新崎人生・白使

●馳浩(2種)

セットで 3 名様

CHARACTER PRODUCT PART2

●新日本プロレス ロゴ(2種)

●パンクラス ベルト&ロゴ

●髙田道場1 髙田レガース&サクロゴ&サクベルト

●髙田道場2 ベルト&道場ロゴ(2種)

●みちのくプロレス 白使&新崎人生

●初代タイガーマスク(2種)

セットで 3 名様

マニアにはたまらないピンズコレクションが出た! 保存用&展示用に2つも3つもほしいコレクション! 髙田レガースは特に最高だって!
【キャラプロ提供】各￥480

BAMBAM BIGELOW

バンバンビガロより、ボブ・サップと8人のアーティストのコラボTシャツが登場!! 今回ご紹介するのはそのうちの3枚。あとは各自調査! フォフォフォ!
【バンバンビガロ提供】各￥4000(税抜き)【お問い合わせ】バンバンビガロSHIBUYA【TEL】03-3477-8939

各 1 名様

●「b-STYLE」HANAKUMA

BACK

●「b-STYLE」ROLLING CRADLE

BACK

●「b-STYLE」YAMAGUCHI NORIKAZU

BACK

RADICAL No.63 応募券

『PRIDE』

『PRIDE』からニューTシャツが続々登場！ ノドから手が出るぐらいほしいラインナップとなったが、注目は"男の中の男"フライと高山の男塾Tシャツ！ お前も着るか、『PRIDE』男塾!?【DSE提供】
【お問い合わせ】 DSE【TEL】03-5464-1531【URL】http://www.so-net.ne.jp/pride/

各1名様

●SILVA Iam champion（¥4000）

●ランデルマンTシャツ（¥3800）

●SKAL MASK Tシャツ（¥3800）

●『PRIDE』男塾ドン・フライTシャツ（¥4000）

●暴走戦士族Tシャツ（¥3800）

BACK

●花くまステッカー（¥1000）

●SAKU SKAL MASK Tシャツ（¥3800）

BACK

©宮下あきら／集英社

●『PRIDE』男塾高山一号生筆頭Tシャツ（¥4000）

K-1

遂にボブ・サップがプレイステーション初登場！ ホースト、ミルコとの激闘、K-1GPの興奮がブラウン管で甦る！ 総勢23名のファイター登場のこの夏ブレイク間違いなしのソフトだ。スリー、ツー、ワン、K-1!!
【コナミ提供】発売日7月31日（予定） ¥5800（予価）【TEL】コナミホットライン0570-086-573
©2003 KONAMI &Konami Compoter Entertainment Studios ©K-1 2003

●『PS2／K-1 WORLD GRAND PRIX』THE BEAST ATTACK!

3名様

HAOMING

「プロレス&格闘技をテーマにしたストリートブランド」HAOMINGが『紙プロ』侵攻開始!! コアなマニアからマーク（タダシ☆タナカ調）まで着こなせるオリジナルブランドに刮目せよ!!
【ハオミン提供】
【URL】www.haoming.jp【TEL】03-3452-3666（ティグレ）

●Viva La Lucha Libre　Tシャツ

●RUDO Tシャツ

●MASK COIN CASE（バッヂ付き）

各3名様

LOVE

1名様

●坂田亘サイン入りトッポジージョ人形

なんと！ 裏耳には破局説が囁かれた某有名女性タレントのサイン入り！ ん〜ッ、イエローキャブ！ 【坂田亘提供】

ZST

1名様

●6・1ZSTパンフレット

リングス・リトアニア乱闘事件の手打ち式！ 怒った人・レミギウス・モリカビュチスと、沈静させた人・ヤノタクが握手で和解！ 記念の証に2人のサイン入りパンフを頂きました！ ビバZST!!
【ヤノタク&モリカビュチ提供】

ALISTAIR

1名様

●アリスター・ハンマー

『PRIDE.26』で勝利を飾ったアリスター・オーフレイムのおもちゃハンマー！ バックステージで滑川に譲った物を編集部がGETしました!! ランペイジの部屋にも転がっていたんで大量に配っていた模様です
【アリスター→滑川提供】

ADCC

セットで1名様

●ブッカーKアブダビ土産

盛況で幕を閉じた寝技世界一を決める祭典アブダビ・コンバット！ 記念グッズをブッカーKこと川崎浩市氏から頂きました！ 目を閉じれば、ブラジルの香り漂う逸品です！【川崎浩市提供】

応募要項

応募券

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦好きな選手&嫌いな選手

【宛　先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「イズマイウをミドルGPに出そう！」係まで
※締切は2003年7月23日（水）当日消印有効

BOOK

1名様

●『PRIDE.26REBORN』大会パンフレット

今号の『Y2談』でも触れられている、各紙の記者による『PRIDE』ミドル級GP参加メンバー予想が行われた『PRIDE.26』パンフレット！ しかも世界最強の男・ヒョードルのサイン入りでプレゼントです！ 【編集部提供】

5名様

●格闘技vsプロレス 誰が一番強いんだ！

ターザン山本がメインホストを務めたプロレス・格闘技読本。選手、業界関係者、他ジャンルの論客が顔を出す中、山口日昇、吉田豪、堀江ガンツも登場してます！ I編集長も出てますよ、アンタ!!（ドン）。 【芸文社提供】
芸文社・刊　¥1143（税込み）

5名様

●武藤敬司『プロレスの砦』

『サムライTV!』で放映された武藤のトーク番組『プロレスの砦』が念願の単行本化!! 日明兄さん、ビック・サカ、朝青龍、ドラゴン、マサさんら23人との対談を収録しており、300ページを超えるマニア納得のボリュームだ！ 吉田豪が帯文で登場！ 【白夜書房提供】
白夜書房・刊　¥2800（税抜き）

5名様

●ウルティモ・スーパースター

日常に退屈する高校生とドサ回りプロレス団体のデタラメな暴走を描き、『月刊コミックビーム』で連載された秀逸のプロレスマンガ！ ウルティモとサスケも推薦する面白さ！ 「るちゃプロレス」に惹かれろ!!【エンターブレイン提供】
エンターブレイン・刊　¥920（税抜き）

やっちゃうゾ、バカヤローッ!

『紙プロ』Tシャツ 夏の半額セール!!

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800　S or M or L

WHO ARE U
YOU ARE U
www.u-filecamp.com

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800　S or M or L or XL

WHO ARE U
YOU ARE U
www.u-filecamp.com

『紙のプロレス』・紙Tシャツ〈ネイビー〉
¥~~3,000~~→¥1,500　S or M or L or XL
残りわずか!　残りわずか!

紙 no pro-wrestling

『紙のプロレス』・紙Tシャツ〈ホワイト〉
¥~~3,000~~→¥1,500　S or M or L or XL
残りわずか!　残りわずか!

紙 no pro-wrestling

紙プロネックピース
¥~~1,200~~→大特価¥600

リング・アフロラグラン半袖Tシャツ〈黒×グレー〉
¥~~3,800~~→¥1,800　S or M or L（SOLD OUT）
残りわずか!

KING of MAGAZINE
KAMI-NO PRO-WRESTLING
カミノプロレスリング

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥4,500　S or M or L

KING of MAGAZINE
KAMI-NO PRO-WRESTLING
カミノプロレスリング

Kapraパーカー〈カーキー〉
¥6,000　M or L
Back　Front

Kapra

Kapraパーカー〈ネイビー〉
¥6,000　M or L
Back　Front

Kapra

トートバック〈ブラック〉
¥1,500

Kapra

トートバック〈ネイビー〉
¥1,500

Kapra

『紙プロ』通販方法

★TPOにあわせて選べる通販方法
★消費税サービス
★全国どこでも送料一律500円（離島、山間部は除く）
★代引御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

代引　郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを

kapra@kamipro.com

まで送り下さい。
申し込みメール確認後、佐川急便にて発送。代金引換でのお受け取りになります。商品代金のほかに送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）代引手数料約¥315がかかります。（代引金額によって異なります）。）御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

現金書留　希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可・ネックピースだけなら¥300。離島、山間部は除く）を現金書留で

〒151-0051
東京都渋谷区
千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

まで送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

郵便振替　希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可・ネックピースだけなら¥300。離島、山間部は除く）を郵便振替で送り下さい。

郵便振替の宛先は
00130-3-769154
（株）ダブルクロス

郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

●問い合わせ●
（株）ダブルクロス 03-3403-5188

通販完売商品は直販店にある!?
【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン（TEL.03-3221-6237）★東京イサミ（TEL.03-3352-4083）★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160）★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551）★グレート・アントニオ（TEL.03-3219-9550）★三恵格闘技SHOP長崎（TEL.095-824-8658）★三恵格闘技SHOP諫早（TEL.0957-22-4646）★浜松市・Buddy（TEL.053-450-7888）

紙のプロレス RADICAL

No.63
2003年7月25日発行

No.64は
7月下旬発売予定!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（中西百重ヌードに失神したため非番）

見習い
斉野政智

スーパーバイザー
吉田豪

助っ人
片山ボン
ジャイ子

電気部
ささきぃ
スモーノブ

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん
ブンちゃん（以上TwoThree）

トメさん
はなえちゃん（以上さおとめの事務所）

海老沢勇
古賀ゆきえ（以上Zero graphics）

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島俊彦
緒方秀美

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林"ヘックション"一枝

出前
出前持ち入江（TwoThree）

フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所
ゼロ・グラフィックス

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元　株式会社ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町一番地　TEL.03-3357-2911（販売・営業）
発行元　株式会社ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　TEL.03-3403-5188（編集・制作）